

美しい伊豆創造センター 御中

ビッグデータ活用による 観光客動線調査業務 報告書



2017年3月17日
株式会社リクルートライフスタイル
じゃらんリサーチセンター

目次

1. 前提条件の確認	P 2	～	6
2. ビッグデータ活用による観光客導線調査			
(1) 観光客に関する分析	P 7	～	50
(2) 交通手段に関する分析	P 51	～	67
(3) 立寄りに関する分析	P 68	～	82
(4) 周遊に関する分析	P 83	～	98
(5) 観光地の相関関係に関する分析	P 99	～	144
(6) 旅程に関する分析	P 141	～	157
(7) 宿泊地に関する分析	P 158	～	201
(8) 季節・曜日に関する分析	P 202	～	212
3. 考察	P 213	～	228

前提条件の確認

目的

G P S（Global Positioning System：全地球測位システム）機能により蓄積される位置情報等を用いて観光客の行動及び動態を把握し、伊豆半島の観光の実態を明らかにする

分析項目

- 【１】観光客に関する分析
- 【２】交通手段に関する分析
- 【３】立寄りに関する分析
- 【４】周遊に関する分析
- 【５】観光地の相関関係に関する分析
- 【６】旅程に関する分析
- 【７】宿泊地に関する分析
- 【８】季節・曜日に関する分析

前提条件の確認

定義

【データ利用期間】 2016/1/1～2016/12/31

【動態観測対象】 伊豆半島エリアに来訪した人のうち、居住者・通勤者を除外した観光客
※本調査は生活圏のデータを除外しています

【動態観測対象ユーザー実数】 伊豆半島全体：68,695サンプル
沼津市（19,559）、熱海市（19,093）、三島市（11,195）、伊東市（21,029）、下田市（7,470）、伊豆市（12,089）、伊豆の国市（8,271）、東伊豆町（6,484）、河津町（3,665）、南伊豆町（3,219）、松崎町（1,776）、西伊豆町（2,852）、函南町（2,987）
※サンプル数は期間内における各市区町村毎のユニーク数となります。
例：伊東市と伊豆の国市を観光した場合、各市それぞれに1サンプルずつカウントされます

【属性定義】 性別（男性／女性）×年齢層（～34歳／35～49歳／50歳～）
※リクルートライフスタイル社及びブログウォッチャー社の提携アプリのユーザーから許諾を得て取得
※属性データはじゃらんnet、およびリクルート各サービスデータより推計し統計処理しています
※観光客データは地域住民や通過者を可能な限り除く処理を入れて判定したユーザーです
※属性データは全データのうち、取得可能なユーザーのデータのみ集計対象となります

【季節定義】（気象庁の定義より）
＜春＞ 3月～5月 ＜夏＞ 6月～8月 ＜秋＞ 9月～11月 ＜冬＞ 12月～2月

※本レポートには個人を特定できる情報は一切含まれておりません

前提条件の確認

地域定義

北海道・東北（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

北関東（茨城県、栃木県、群馬県）

首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）

甲信越・北陸（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）

東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

近畿（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

九州・沖縄（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

来訪カレンダー定義

旅程を出発日のカレンダー【平日／休日】により分類

平日：主に月～金曜日

休日：主に土～日曜日

前提条件の確認

【観光客判定】 生活圏（※ 1）から大きく外れた行動をしているユーザーを観光客と判定

【宿泊地判定】 22時～翌8時の間に最も長く滞在した場所

※ 時間内にデータ取得がなかった場合は宿泊地不明とする

※ 2泊以上の旅程者は1泊でも宿泊地が不明な場合は宿泊地不明とする

【旅程定義】 旅程を域内泊あり／なしに応じて下記3項に分類

1. 日帰り：旅程に宿泊が含まれない観光客

2. 域内泊あり（1～2泊、3泊以上）

3. 域外泊のみ（1～2泊、3泊以上）

【滞在時間】 分析対象地域／観光エリアで観光客が滞在した時間の平均滞在時間

【観光エリア（伊豆）来訪判定】 ユーザーが観光エリア内にて位置情報ログが計測された場合

【流入経路判定】 指定した経路上に位置情報ログが複数あった場合に、その観光客の流入経路と判定

【秘匿処理】 個人情報保護観点から、実数が10人以下になるデータは「----」と表記

※ 1 位置情報の密度準拠による機械学習システムにより、ユーザー毎の生活圏を判定

※ 2 本レポートには個人を特定できる情報は一切含まれておりません

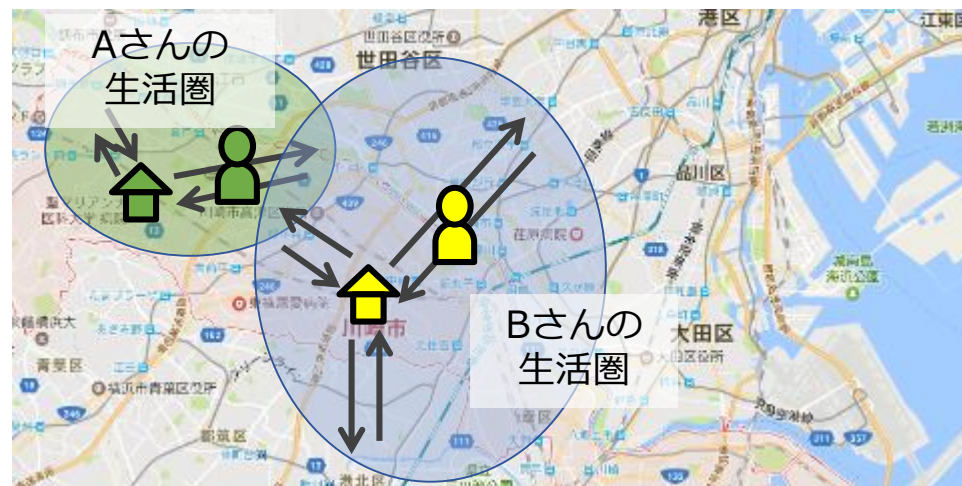
前提条件の確認 ～「観光客」判定の分析手法について～

定常的に取得している行動データから「観光客」であるかを判定し、居住者と観光客を混同しない、観光客を抽出した分析を行いました。

I. 自宅・生活圏判定

定常的に取得している行動（位置）データ情報に対し、機械学習(密度準拠のクラスタリング手法)を行うことで、各々の生活圏を割り出す深夜帯の行動データの出現頻度が高いものに着目し、自宅を判定する

※生活圏の広さはユーザによって異なります



II. 観光判定

I.の、自宅・生活圏判定で割り出した生活圏から外れた位置情報データ行動をしている場合において、「観光」と判定する。



観光客に関する分析

どこからどのくらい来ているか

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島（伊豆半島全域、および各13市町単位）を訪れた、国内に居住する観光客がどこからどのくらい訪れているかを地域別、県別、市区町村別、属性別（性別・年代）に分析します。

※都道府県・市区町村別データは上位のみ表示しています。

※伊豆半島エリアに一定時間滞在した人を対象に分析します。

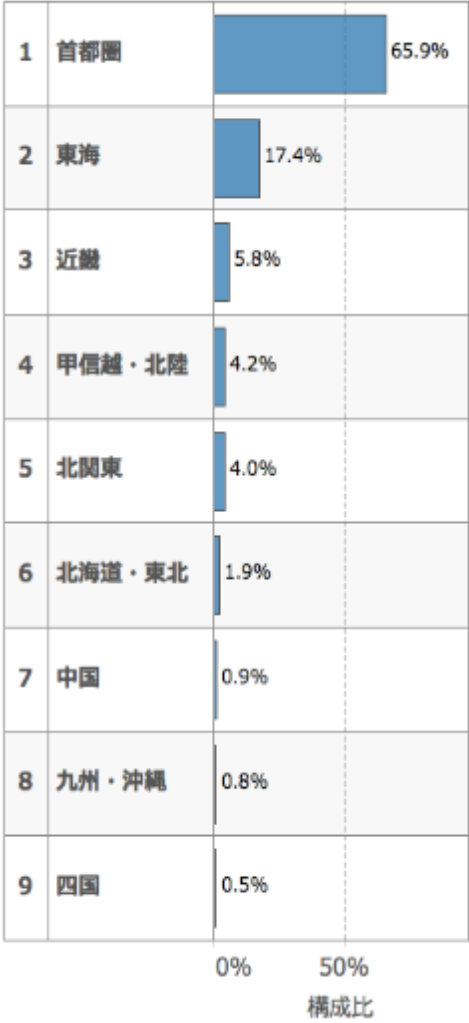
発地分析（地域別）伊豆半島7市6町（合計）

伊豆半島7市6町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約66%。次いで東海が約17%、近畿が約6%となっている。性年代別ではいずれの地域とも男女50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	45,300人
2	東海	11,943人
3	近畿	4,018人
4	甲信越・北陸	2,902人
5	北関東	2,768人
6	北海道・東北	1,271人
7	中国	603人
8	九州・沖縄	533人
9	四国	320人
総計		68,695人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	首都圏	13.6%	11.2%	30.0%	12.6%	10.2%	22.5%
2	東海	11.1%	11.2%	18.7%	17.5%	17.4%	24.0%
3	近畿	13.0%	16.5%	30.3%	9.7%	12.1%	18.4%
4	甲信越・北陸	7.7%	10.4%	15.3%	16.9%	22.4%	27.2%
5	北関東	26.6%	10.7%	23.6%	18.5%	7.3%	13.3%
6	北海道・東北	7.4%	14.2%	31.2%	7.5%	14.1%	25.7%
7	中国	7.4%	16.2%	41.6%	4.5%	9.7%	20.6%
8	九州・沖縄	6.0%	-----	33.5%	10.9%	-----	49.7%
9	四国	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越したり単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

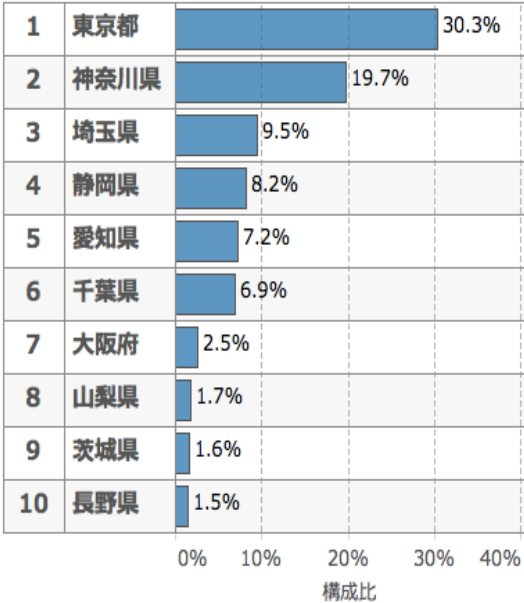
発地分析（都道府県別）伊豆半島7市6町（合計）

都道府県別では東京都が最も多く約30%。次いで神奈川県が約20%、埼玉県が約9%。
性年代別では東京都、神奈川県、埼玉県の男女とも、50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	20,781人
2	神奈川県	13,558人
3	埼玉県	6,506人
4	静岡県	5,617人
5	愛知県	4,931人
6	千葉県	4,770人
7	大阪府	1,718人
8	山梨県	1,202人
9	茨城県	1,110人
10	長野県	1,044人
総計		68,695人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下：7,458人 / 10.9%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

順位	都道府県	女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	12.5%	12.0%	26.0%	13.6%	12.8%	23.1%
2	神奈川県	12.7%	9.4%	29.8%	13.3%	9.6%	25.2%
3	埼玉県	12.5%	9.1%	44.5%	7.3%	5.3%	21.2%
4	静岡県	13.1%	11.9%	18.8%	18.4%	16.4%	21.4%
5	愛知県	10.8%	10.1%	21.6%	16.2%	14.9%	26.4%
6	千葉県	28.2%	19.6%	21.6%	13.3%	9.1%	8.3%
7	大阪府	17.0%	21.7%	31.9%	7.8%	9.7%	11.8%
8	山梨県	8.8%	11.3%	12.4%	19.9%	24.9%	22.7%
9	茨城県	64.7%	35.3%	-----	-----	-----	-----
10	長野県	7.9%	12.1%	17.7%	14.4%	21.6%	26.3%

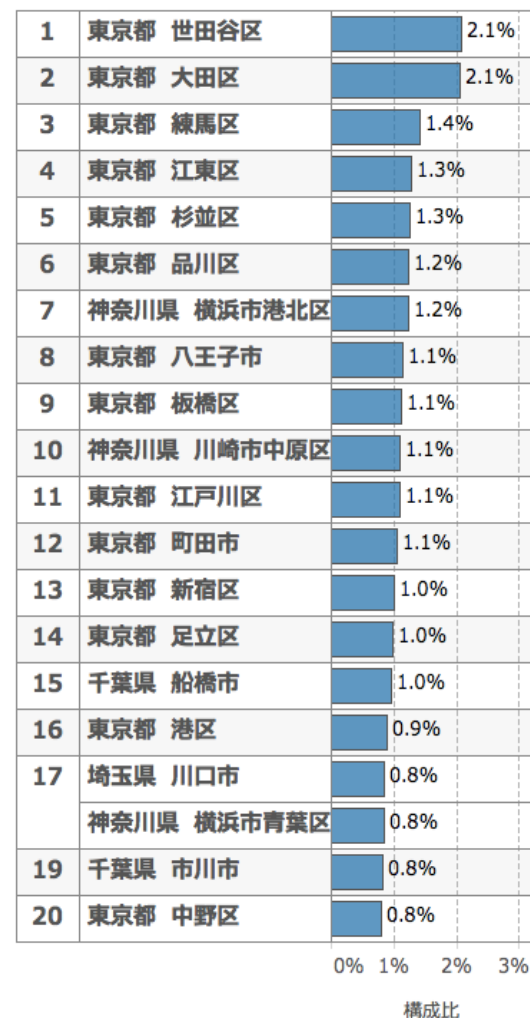
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越や単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村）伊豆半島7市6町（合計）

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	1,433人
2	東京都 大田区	1,414人
3	東京都 練馬区	979人
4	東京都 江東区	884人
5	東京都 杉並区	867人
6	東京都 品川区	848人
7	神奈川県 横浜市港北区	843人
8	東京都 八王子市	781人
9	東京都 板橋区	774人
10	神奈川県 川崎市中原区	752人
11	東京都 江戸川区	746人
12	東京都 町田市	724人
13	東京都 新宿区	690人
14	東京都 足立区	670人
15	千葉県 船橋市	660人
16	東京都 港区	613人
17	埼玉県 川口市	576人
	神奈川県 横浜市青葉区	576人
19	千葉県 市川市	566人
20	東京都 中野区	541人
総計		68,695人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：52,758人 / 7.7%

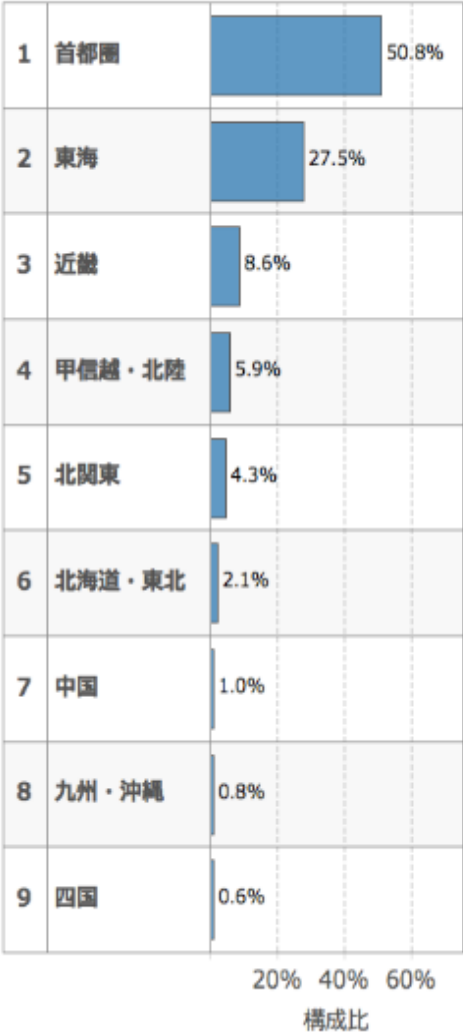
発地分析（地域別） 沼津市

沼津市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約51%。次いで東海が約28%、近畿が約9%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	9,942人
2	東海	5,387人
3	近畿	1,676人
4	甲信越・北陸	1,146人
5	北関東	848人
6	北海道・東北	410人
7	中国	197人
8	九州・沖縄	156人
9	四国	125人
総計		19,559人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	首都圏	18.7%	12.3%	28.0%	14.3%	9.3%	17.4%
2	東海	8.9%	10.9%	17.6%	16.5%	19.8%	26.3%
3	近畿	8.3%	17.1%	51.0%	2.9%	6.0%	14.7%
4	甲信越・北陸	11.4%	4.7%	28.3%	16.3%	6.6%	32.6%
5	北関東	14.3%	5.0%	29.6%	17.0%	5.8%	28.4%
6	北海道・東北	-----	-----	100.0%	-----	-----	-----
7	中国	-----	-----	100.0%	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越したり単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

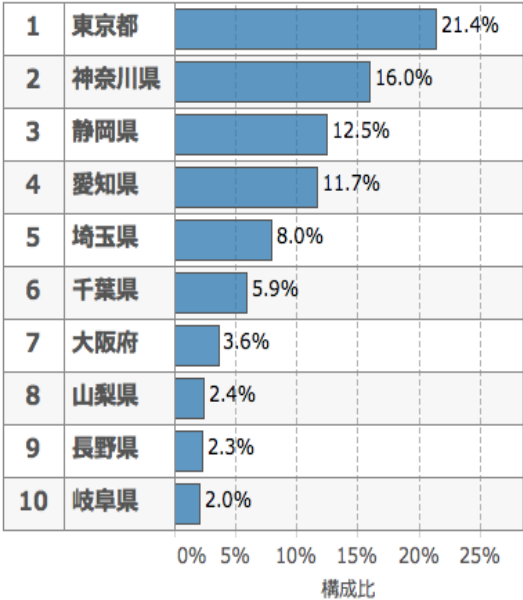
発地分析（都道府県別） 沼津市

都道府県別では東京都が最も多く約21%。次いで神奈川県が16%、静岡県が約13%。
性年代別では東京都が男女とも35～49歳が最も多く、神奈川県は男女とも50歳以上、静岡県は男女とも10～34歳が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	4,178人
2	神奈川県	3,121人
3	静岡県	2,448人
4	愛知県	2,291人
5	埼玉県	1,562人
6	千葉県	1,153人
7	大阪府	702人
8	山梨県	473人
9	長野県	447人
10	岐阜県	395人
総計		19,559人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下：2,789人 / 14.3%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

順位	都道府県	女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	東京都	16.7%	22.5%	10.3%	17.8%	23.6%	9.0%
2	神奈川県	20.9%	7.2%	28.7%	17.6%	6.0%	19.6%
3	静岡県	26.1%	14.3%	9.5%	27.3%	14.7%	8.1%
4	愛知県	1.9%	9.2%	19.7%	4.9%	23.3%	41.0%
5	埼玉県	12.4%	7.7%	46.0%	7.3%	4.5%	22.1%
6	千葉県	35.0%	18.1%	-----	31.1%	15.8%	-----
7	大阪府	18.3%	6.3%	75.4%	-----	-----	-----
8	山梨県	14.9%	10.3%	30.6%	13.2%	8.9%	22.1%
9	長野県	8.5%	4.4%	26.3%	15.1%	7.7%	37.9%
10	岐阜県	-----	-----	-----	66.3%	33.7%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越や単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

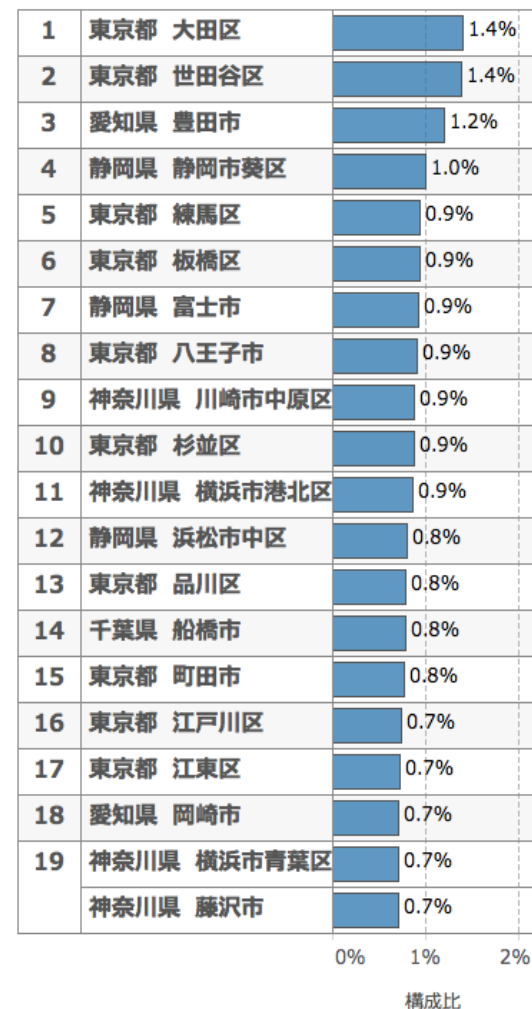
発地分析（市区町村別） 沼津市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	276人
2	東京都 世田谷区	272人
3	愛知県 豊田市	235人
4	静岡県 静岡市葵区	196人
5	東京都 練馬区	185人
6	東京都 板橋区	183人
7	静岡県 富士市	180人
8	東京都 八王子市	177人
9	神奈川県 川崎市中原区	173人
10	東京都 杉並区	171人
11	神奈川県 横浜市港北区	169人
12	静岡県 浜松市中区	157人
13	東京都 品川区	155人
14	千葉県 船橋市	154人
15	東京都 町田市	151人
16	東京都 江戸川区	144人
17	東京都 江東区	142人
18	愛知県 岡崎市	139人
19	神奈川県 横浜市青葉区	138人
	神奈川県 藤沢市	138人
総計		19,559人

※TOP21以下：16,024人 / 8.2%

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



発地分析（地域別）熱海市

熱海市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約72%。次いで東海が約12%、近畿が約5%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	13,815人
2	東海	2,209人
3	近畿	976人
4	北関東	741人
5	甲信越・北陸	611人
6	北海道・東北	401人
7	中国	182人
8	九州・沖縄	147人
9	四国	80人
総計		19,093人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	12.8%	9.3%	29.7%	13.4%	9.5%	25.3%
2	東海	14.9%	17.9%	21.5%	13.7%	16.1%	16.0%
3	近畿	15.6%	28.0%	-----	20.4%	36.0%	-----
4	北関東	54.3%	27.9%	-----	11.8%	6.0%	-----
5	甲信越・北陸	3.9%	8.4%	-----	28.1%	59.5%	-----
6	北海道・東北	2.3%	13.8%	33.3%	2.7%	16.0%	31.9%
7	中国	-----	34.2%	-----	-----	65.8%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性がございます。

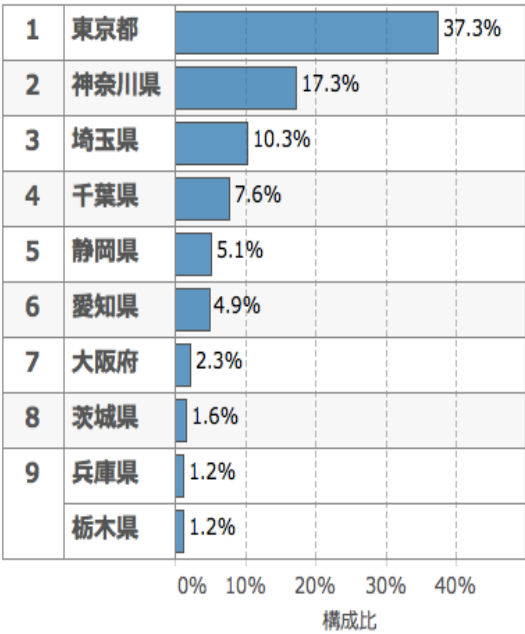
発地分析（都道府県別）熱海市

都道府県別では東京都が最も多く約37%。次いで神奈川県が約17%、埼玉県が約10%。
性年代別では東京都、神奈川県、埼玉県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	7,126人
2	神奈川県	3,305人
3	埼玉県	1,969人
4	千葉県	1,460人
5	静岡県	973人
6	愛知県	932人
7	大阪府	432人
8	茨城県	312人
9	兵庫県	227人
	栃木県	227人
総計		19,093人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	11.5%	9.7%	24.6%	15.2%	12.6%	26.4%
2	神奈川県	14.5%	8.7%	28.0%	15.5%	9.1%	24.2%
3	埼玉県	6.7%	5.1%	44.0%	6.2%	4.7%	33.2%
4	千葉県	24.7%	11.4%	41.2%	8.1%	3.7%	10.9%
5	静岡県	14.5%	24.4%	21.0%	10.5%	17.3%	12.3%
6	愛知県	12.3%	5.5%	22.2%	20.7%	9.1%	30.3%
7	大阪府	-----	34.2%	-----	-----	65.8%	-----
8	茨城県	45.5%	54.5%	-----	-----	-----	-----
9	兵庫県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
	栃木県	51.0%	24.4%	-----	16.7%	7.8%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

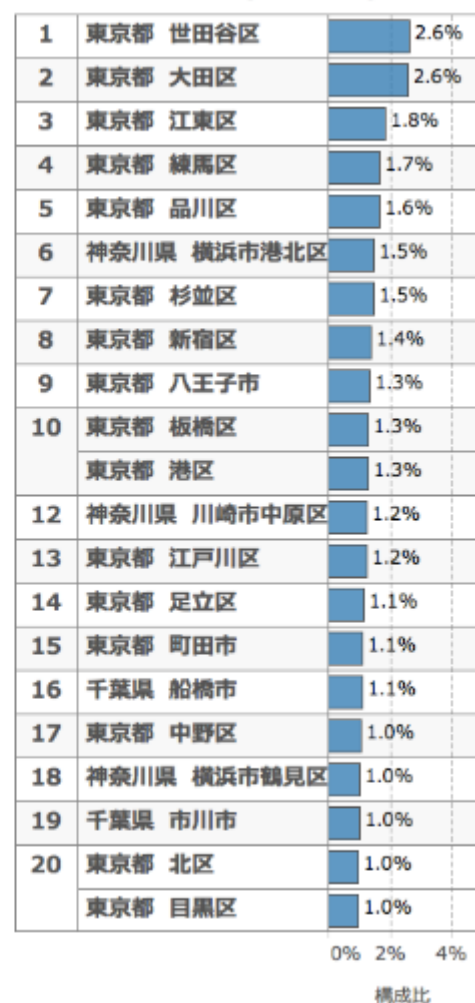
※TOP11以下：2,130人 / 1.1%

発地分析（市区町村別）熱海市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	500人
2	東京都 大田区	490人
3	東京都 江東区	347人
4	東京都 練馬区	317人
5	東京都 品川区	311人
6	神奈川県 横浜市港北区	282人
7	東京都 杉並区	280人
8	東京都 新宿区	263人
9	東京都 八王子市	254人
10	東京都 港区	241人
	東京都 板橋区	241人
12	神奈川県 川崎市中原区	236人
13	東京都 江戸川区	232人
14	東京都 足立区	218人
15	東京都 町田市	213人
16	千葉県 船橋市	207人
17	東京都 中野区	197人
18	神奈川県 横浜市鶴見区	195人
19	千葉県 市川市	193人
20	神奈川県 横浜市青葉区	187人
	東京都 北区	187人
	東京都 目黒区	187人
総計		19,093人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：13,315人 / 7.0%

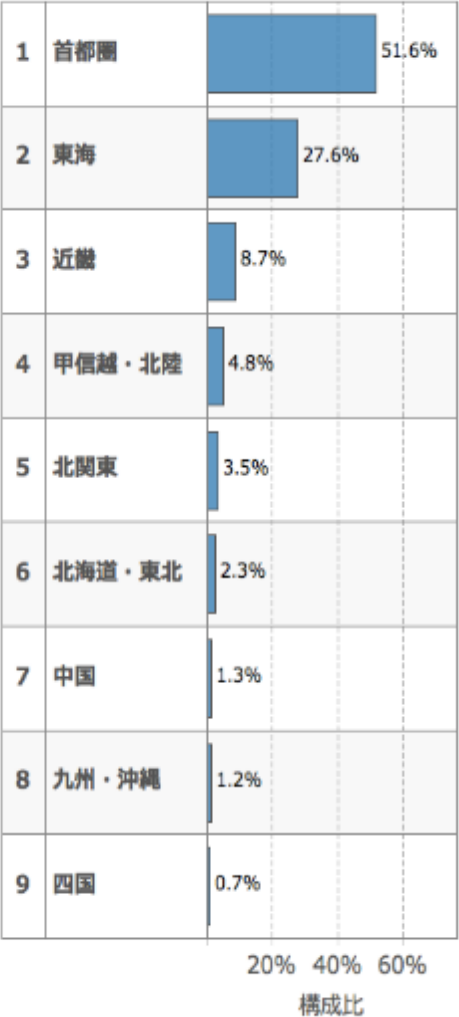
発地分析（地域別）三島市

三島市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約52%。次いで東海が約28%、近畿が約9%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	5,777人
2	東海	3,092人
3	近畿	977人
4	甲信越・北陸	536人
5	北関東	392人
6	北海道・東北	255人
7	中国	144人
8	九州・沖縄	131人
9	四国	82人
総計		11,195人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性			生 50歳..
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	
1	首都圏		13.5%	11.7%	31.0%	11.8%	10.0%	22.0%
2	東海		12.0%	10.1%	16.5%	20.9%	17.2%	23.2%
3	近畿		49.3%	21.3%	-----	20.7%	8.8%	-----
4	甲信越・北陸		4.8%	9.4%	16.6%	12.2%	23.2%	33.9%
5	北関東		7.2%	-----	24.6%	18.0%	-----	50.2%
6	北海道・東北		6.7%	25.9%	45.7%	2.1%	8.0%	11.7%
7	中国		100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
8	九州・沖縄		14.7%	-----	50.3%	9.2%	-----	25.7%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

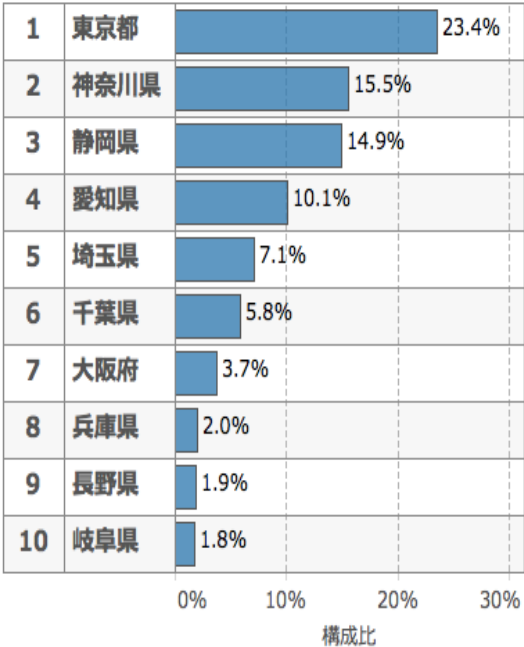
発地分析（都道府県別） 三島市

都道府県別では東京都が最も多く約23%。次いで神奈川県が約16%、静岡県が約15%。
性年代別では東京都、神奈川県、静岡県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	2,625人
2	神奈川県	1,739人
3	静岡県	1,666人
4	愛知県	1,128人
5	埼玉県	791人
6	千葉県	649人
7	大阪府	414人
8	兵庫県	220人
9	長野県	211人
10	岐阜県	199人
総計		11,195人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下 : 1,553人 / 13.9%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別 : TOP10 : ウェイトバック)

順位	都道府県	女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	12.1%	14.6%	29.7%	10.5%	12.3%	20.8%
2	神奈川県	11.6%	9.0%	31.8%	11.9%	9.1%	26.6%
3	静岡県	10.3%	8.4%	19.2%	18.7%	15.1%	28.3%
4	愛知県	22.7%	9.8%	17.3%	24.5%	10.4%	15.2%
5	埼玉県	23.7%	-----	40.6%	14.9%	-----	20.8%
6	千葉県	37.4%	24.2%	-----	23.5%	14.9%	-----
7	大阪府	30.8%	39.8%	-----	12.9%	16.4%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別）三島市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	静岡県 沼津市	200人
2	東京都 大田区	188人
3	静岡県 駿東郡長泉町	173人
4	東京都 世田谷区	168人
5	神奈川県 横浜市港北区	148人
6	東京都 練馬区	124人
7	東京都 品川区	110人
8	東京都 杉並区	109人
9	東京都 江東区	108人
10	東京都 江戸川区	105人
11	東京都 町田市	98人
12	東京都 板橋区	94人
13	神奈川県 川崎市中原区	91人
	静岡県 浜松市中区	91人
15	静岡県 静岡市葵区	89人
	東京都 港区	89人
17	東京都 八王子市	87人
18	静岡県 田方郡函南町	84人
19	神奈川県 横浜市青葉区	83人
	東京都 新宿区	83人
総計		11,195人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下 : 8.873人 / 79.3%

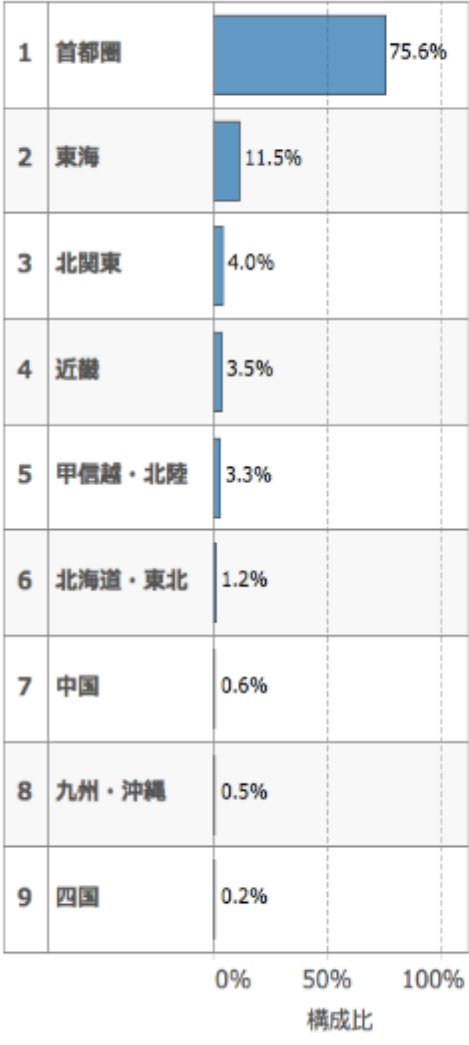
発地分析（地域別）伊東市

伊東市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約12%、北関東が4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	15,889人
2	東海	2,422人
3	北関東	846人
4	近畿	732人
5	甲信越・北陸	692人
6	北海道・東北	251人
7	中国	130人
8	九州・沖縄	111人
9	四国	52人
総計		21,029人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	13.0%	11.5%	29.2%	12.6%	10.9%	22.9%
2	東海	8.9%	6.7%	25.3%	14.6%	10.8%	33.7%
3	北関東	69.6%	30.4%	-----	-----	-----	-----
4	近畿	6.7%	29.5%	-----	12.0%	51.7%	-----
5	甲信越・北陸	12.9%	10.6%	17.0%	20.7%	16.6%	22.2%
6	北海道・東北	-----	100.0%	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

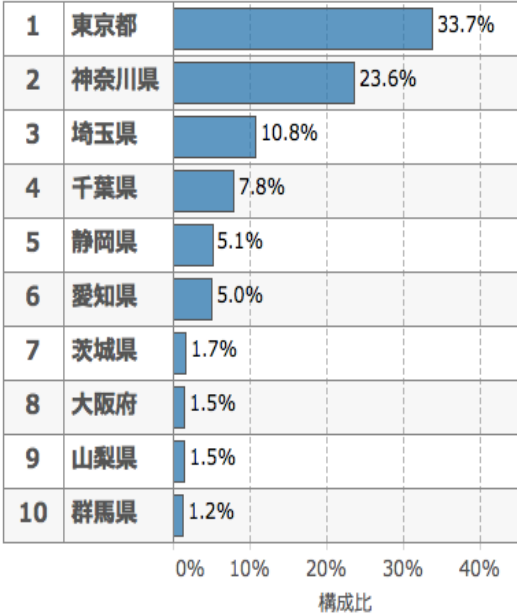
発地分析（都道府県別）伊東市

都道府県別では東京都が最も多く約34%。次いで神奈川県が約24%、埼玉県が約11%。
性年代別では東京都、神奈川県、埼玉県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	7,081人
2	神奈川県	4,958人
3	埼玉県	2,264人
4	千葉県	1,636人
5	静岡県	1,075人
6	愛知県	1,053人
7	茨城県	350人
8	大阪府	318人
9	山梨県	313人
10	群馬県	259人
総計		21,029人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下：1,722人 / 8.2%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	10.4%	11.3%	23.2%	14.1%	15.2%	25.7%
2	神奈川県	12.2%	9.0%	29.8%	13.2%	9.6%	26.2%
3	埼玉県	20.6%	11.3%	54.5%	3.7%	2.0%	7.9%
4	千葉県	42.3%	57.7%	-----	-----	-----	-----
5	静岡県	8.2%	8.9%	21.5%	14.6%	15.6%	31.2%
6	愛知県	16.8%	3.7%	35.5%	15.0%	3.2%	25.8%
7	茨城県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
8	大阪府	12.4%	40.8%	-----	11.1%	35.7%	-----
9	山梨県	11.6%	8.5%	-----	46.6%	33.3%	-----

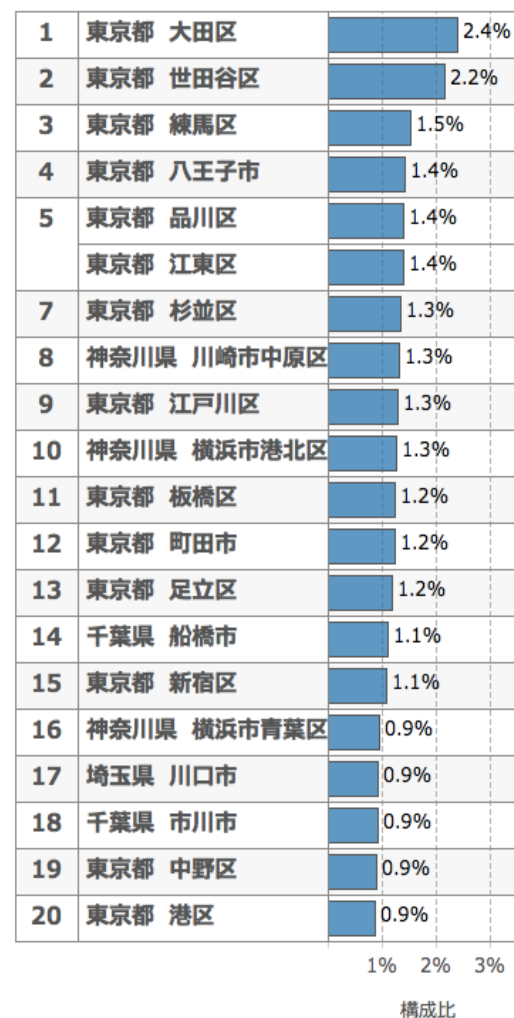
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、
引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別）伊東市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	507人
2	東京都 世田谷区	456人
3	東京都 練馬区	319人
4	東京都 八王子市	301人
5	東京都 江東区	294人
	東京都 品川区	294人
7	東京都 杉並区	282人
8	神奈川県 川崎市中原区	276人
9	東京都 江戸川区	269人
10	神奈川県 横浜市港北区	266人
11	東京都 板橋区	262人
12	東京都 町田市	259人
13	東京都 足立区	248人
14	千葉県 船橋市	234人
15	東京都 新宿区	229人
16	神奈川県 横浜市青葉区	199人
17	埼玉県 川口市	196人
18	千葉県 市川市	192人
19	東京都 中野区	189人
20	東京都 港区	182人
総計		21,029人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：15,575人 / 74.1%

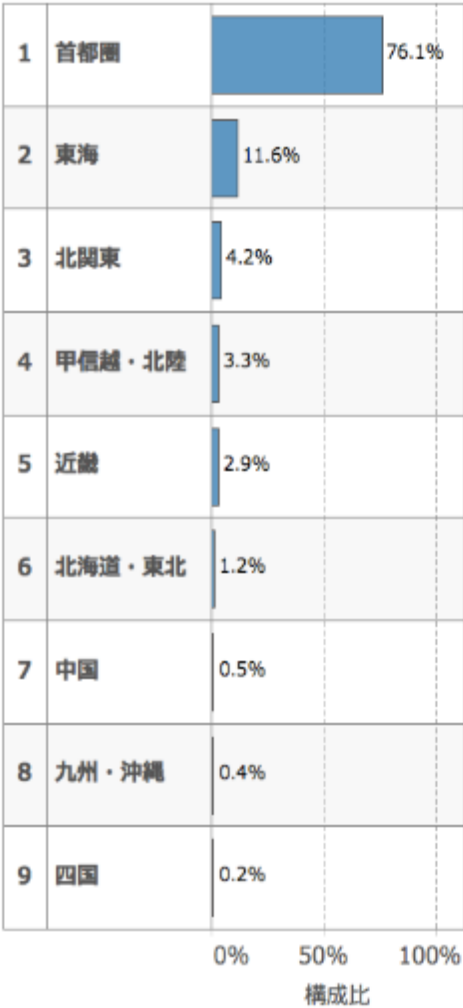
発地分析（地域別） 下田市

下田市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約12%、北関東が約4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	5,682人
2	東海	867人
3	北関東	312人
4	甲信越・北陸	243人
5	近畿	219人
6	北海道・東北	88人
7	中国	38人
8	九州・沖縄	27人
9	四国	16人
総計		7,470人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	12.1%	12.7%	28.2%	12.0%	12.3%	22.6%
2	東海	13.9%	4.6%	26.9%	18.8%	6.1%	29.6%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

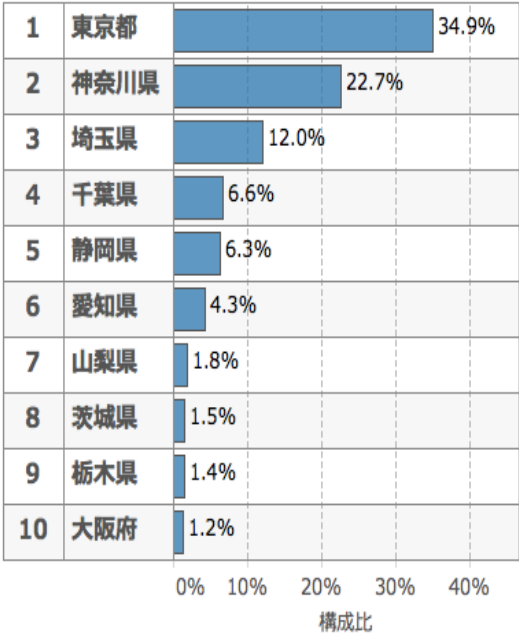
発地分析（都道府県別） 下田市

都道府県別では東京都が最も多く約35%。次いで神奈川県が約23%、埼玉県が12%。
性年代別では東京都、神奈川県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	2,610人
2	神奈川県	1,695人
3	埼玉県	894人
4	千葉県	494人
5	静岡県	467人
6	愛知県	319人
7	山梨県	132人
8	茨城県	115人
9	栃木県	106人
10	大阪府	92人
総計		7,470人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	13.2%	13.2%	25.7%	13.5%	13.2%	21.2%
2	神奈川県	9.4%	9.4%	34.1%	9.6%	9.4%	28.2%
3	埼玉県	26.7%	39.9%	-----	13.6%	19.9%	-----
4	千葉県	16.6%	16.5%	-----	33.8%	33.1%	-----
5	静岡県	16.6%	16.5%	-----	33.8%	33.1%	-----
6	愛知県	13.6%	-----	39.7%	13.9%	-----	32.8%
7	山梨県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しましや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

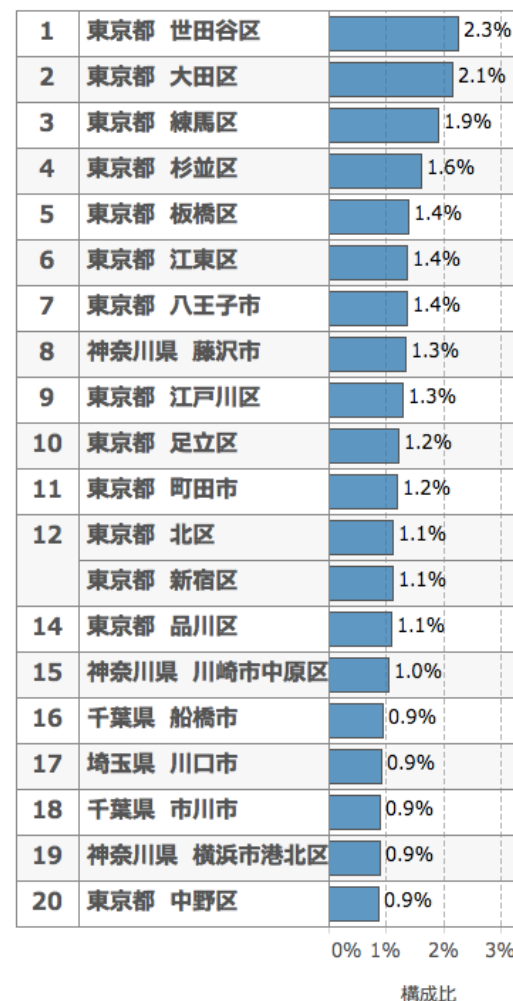
※TOP11以下：546人 / 7.3%

発地分析（市区町村別） 下田市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	169人
2	東京都 大田区	160人
3	東京都 練馬区	142人
4	東京都 杉並区	121人
5	東京都 板橋区	103人
6	東京都 江東区	102人
7	東京都 八王子市	101人
8	神奈川県 藤沢市	100人
9	東京都 江戸川区	97人
10	東京都 足立区	91人
11	東京都 町田市	88人
12	東京都 新宿区	83人
	東京都 北区	83人
14	東京都 品川区	81人
15	神奈川県 川崎市中原区	77人
16	千葉県 船橋市	70人
17	埼玉県 川口市	68人
18	千葉県 市川市	67人
19	神奈川県 横浜市港北区	66人
20	東京都 中野区	64人
総計		7,470人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下 : 5,537人/ 74.1%

発地分析（地域別）伊豆市

伊豆市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約70%。次いで東海が約16%、近畿が約5%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	8,360人
2	東海	1,883人
3	近畿	549人
4	北関東	491人
5	甲信越・北陸	488人
6	北海道・東北	160人
7	中国	79人
8	九州・沖縄	76人
9	四国	51人
総計		12,089人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性 10歳~34歳	女性 35歳~49歳	女性 50歳以上	男性 10歳~34歳	男性 35歳~49歳	男性 50歳以上
1	首都圏	15.3%	13.2%	29.8%	12.2%	10.3%	19.3%
2	東海	11.5%	12.0%	23.7%	14.3%	14.6%	23.8%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

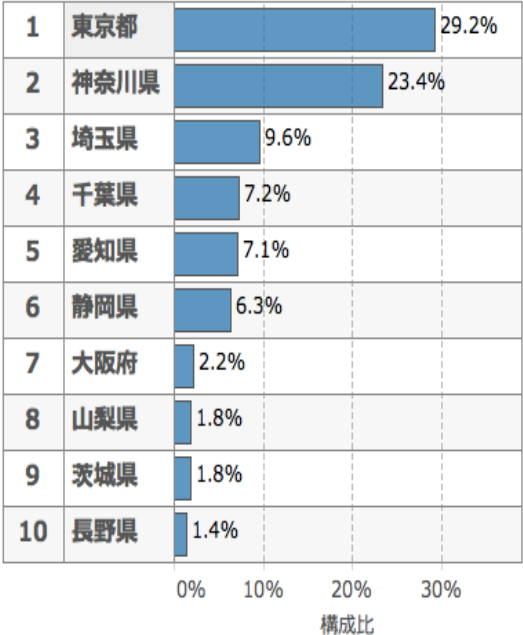
発地分析（都道府県別）伊豆市

都道府県別では東京都が最も多く約29%。次いで神奈川県が約23%、埼玉県が約10%。
性年代別では東京都、神奈川県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	3,527人
2	神奈川県	2,829人
3	埼玉県	1,156人
4	千葉県	870人
5	愛知県	855人
6	静岡県	761人
7	大阪府	267人
8	山梨県	223人
9	茨城県	217人
10	長野県	166人
総計		12,089人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別 : TOP10 : ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	10.3%	16.7%	30.9%	8.4%	13.3%	20.4%
2	神奈川県	14.8%	10.5%	31.0%	12.9%	9.0%	21.9%
3	埼玉県	43.7%	-----	26.1%	20.3%	-----	9.9%
4	千葉県	30.9%	37.6%	-----	14.4%	17.1%	-----
5	愛知県	21.6%	6.6%	38.7%	12.0%	3.6%	17.5%
6	静岡県	4.6%	11.2%	16.6%	10.7%	25.6%	31.3%
7	大阪府	-----	-----	100.0%	-----	-----	-----
8	山梨県	-----	-----	-----	100.0%	-----	-----
9	茨城県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
10	長野県	45.2%	54.8%	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、
引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

※TOP11以下 : 1,218人 / 10.1%

発地分析（市区町村別）伊豆市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	248人
2	東京都 世田谷区	238人
3	東京都 練馬区	165人
4	神奈川県 横浜市港北区	150人
	東京都 杉並区	150人
6	東京都 八王子市	143人
7	東京都 江東区	137人
8	東京都 品川区	136人
9	東京都 町田市	134人
10	東京都 江戸川区	133人
11	神奈川県 藤沢市	131人
12	神奈川県 川崎市中原区	129人
	東京都 板橋区	129人
14	東京都 足立区	127人
15	千葉県 船橋市	114人
16	千葉県 市川市	108人
17	神奈川県 横浜市青葉区	103人
18	埼玉県 川口市	100人
19	神奈川県 川崎市高津区	94人
	神奈川県 相模原市南区	94人
	東京都 港区	94人
総計		12,089人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：9,232人 / 76.4%

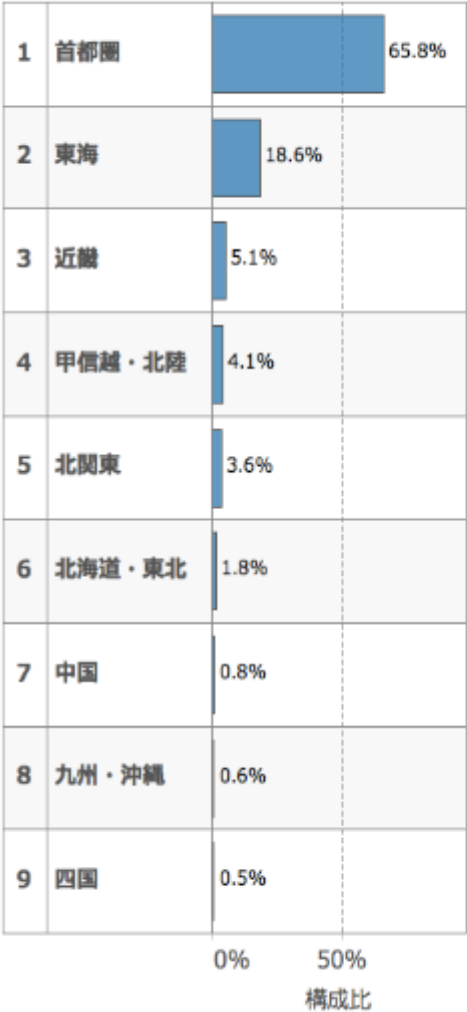
発地分析（地域別）伊豆の国市

伊豆の国市を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約66%。次いで東海が約19%、近畿が約5%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	5,440人
2	東海	1,535人
3	近畿	418人
4	甲信越・北陸	335人
5	北関東	301人
6	北海道・東北	146人
7	中国	66人
8	九州・沖縄	50人
9	四国	42人
総計		8,271人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	14.9%	10.2%	23.4%	17.5%	11.8%	22.3%
2	東海	6.3%	13.4%	13.2%	14.0%	29.3%	23.8%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

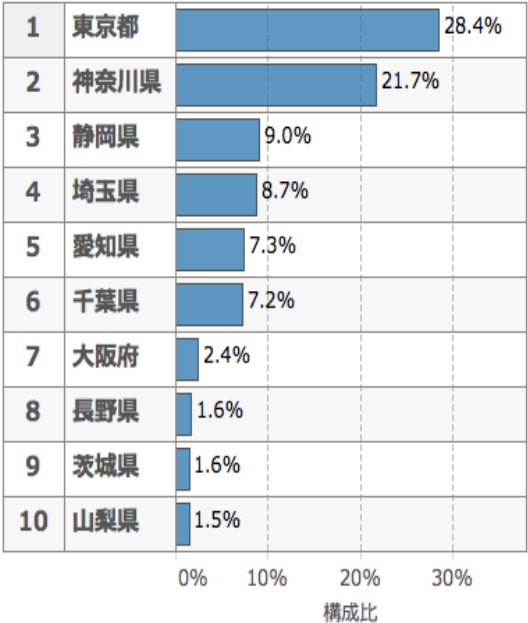
発地分析（都道府県別）伊豆の国市

都道府県別では東京都が最も多く約29%。次いで神奈川県が約22%、静岡県が9%。
性年代別では東京都、神奈川県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	2,347人
2	神奈川県	1,794人
3	静岡県	745人
4	埼玉県	722人
5	愛知県	604人
6	千葉県	596人
7	大阪府	198人
8	長野県	132人
9	茨城県	130人
10	山梨県	123人
総計		8,271人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	13.8%	10.9%	18.6%	19.8%	15.2%	21.6%
2	神奈川県	14.9%	11.4%	23.4%	16.6%	12.4%	21.2%
3	静岡県	-----	-----	-----	12.7%	22.8%	64.6%
4	埼玉県	14.8%	-----	46.3%	11.0%	-----	27.9%
5	愛知県	26.7%	73.3%	-----	-----	-----	-----
6	千葉県	24.8%	22.7%	-----	27.6%	24.8%	-----
7	大阪府	-----	12.7%	87.3%	-----	-----	-----
8	長野県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
9	茨城県	52.2%	47.8%	-----	-----	-----	-----
10	山梨県	6.7%	12.2%	41.9%	5.0%	8.9%	25.3%

※TOP11以下：880人 / 10.6%

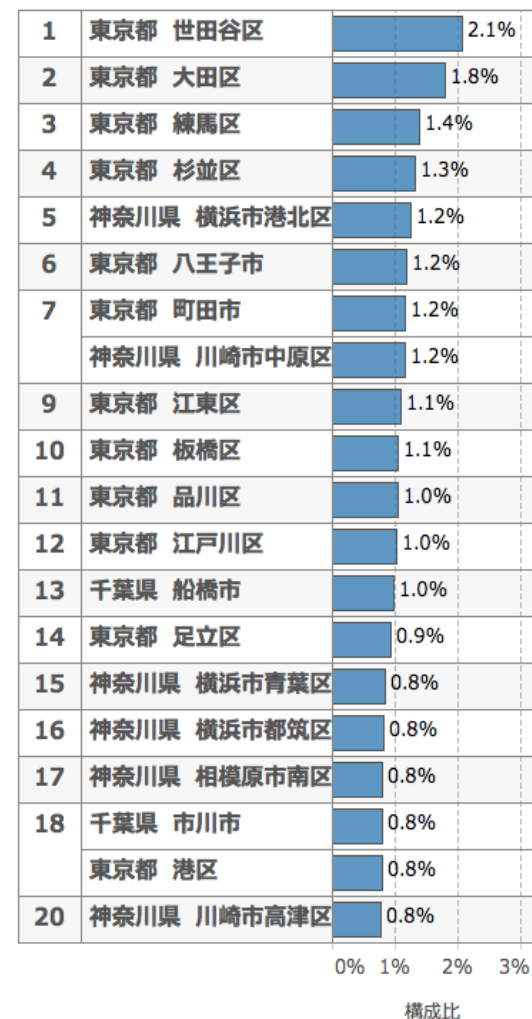
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、
引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別）伊豆の国市

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	172人
2	東京都 大田区	148人
3	東京都 練馬区	114人
4	東京都 杉並区	110人
5	神奈川県 横浜市港北区	103人
6	東京都 八王子市	98人
7	神奈川県 川崎市中原区	96人
	東京都 町田市	96人
9	東京都 江東区	91人
10	東京都 板橋区	87人
11	東京都 品川区	86人
12	東京都 江戸川区	84人
13	千葉県 船橋市	80人
14	東京都 足立区	78人
15	神奈川県 横浜市青葉区	69人
16	神奈川県 横浜市都筑区	67人
17	神奈川県 相模原市南区	66人
18	千葉県 市川市	65人
	東京都 港区	65人
20	神奈川県 川崎市高津区	64人
総計		8,271人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：6,432人 / 77.8%

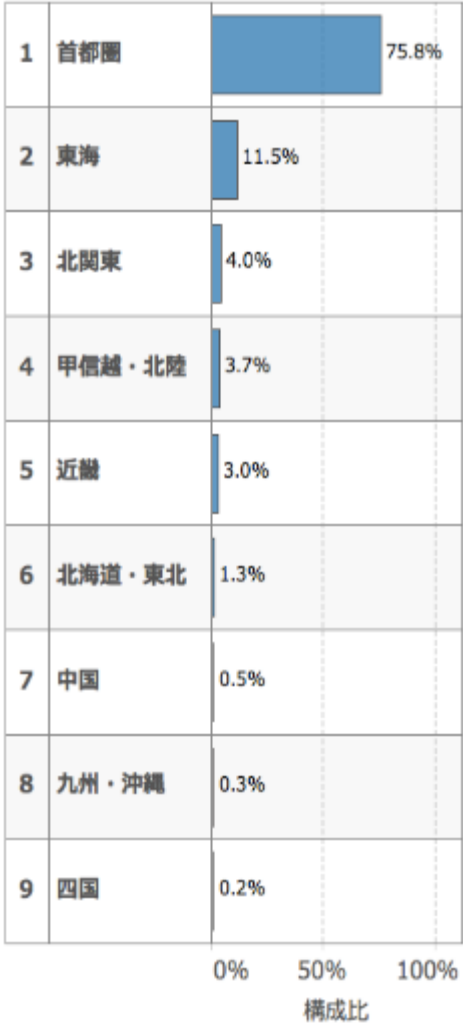
発地分析（地域別） 東伊豆町

東伊豆町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約12%、北関東が4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	4,914人
2	東海	745人
3	北関東	258人
4	甲信越・北陸	240人
5	近畿	195人
6	北海道・東北	82人
7	中国	30人
8	九州・沖縄	22人
9	四国	14人
総計		6,484人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	14.3%	11.7%	31.8%	11.7%	9.4%	21.2%
2	東海	16.2%	7.6%	27.2%	17.4%	8.0%	23.6%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（都道府県別） 東伊豆町

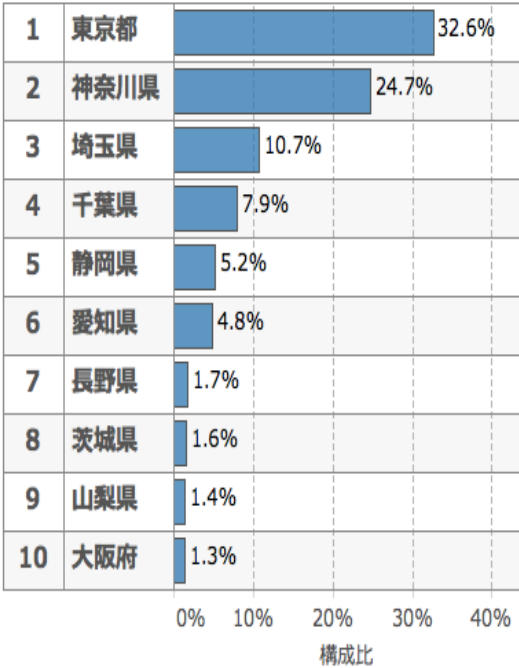
都道府県別では東京都が最も多く約33%。次いで神奈川県が約25%、埼玉県が約11%。
性年代別では東京都、神奈川県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	2,113人
2	神奈川県	1,601人
3	埼玉県	691人
4	千葉県	514人
5	静岡県	339人
6	愛知県	311人
7	長野県	111人
8	茨城県	103人
9	山梨県	92人
10	大阪府	85人
総計		6,484人

※TOP11以下：524人 / 8.1%

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	11.3%	12.9%	28.4%	11.4%	12.8%	23.2%
2	神奈川県	19.0%	7.6%	27.2%	18.1%	7.1%	21.0%
3	埼玉県	-----	7.7%	55.0%	-----	5.4%	31.9%
4	千葉県	68.1%	31.9%	-----	-----	-----	-----
5	静岡県	18.8%	13.2%	-----	40.3%	27.7%	-----
6	愛知県	7.8%	5.4%	38.9%	8.3%	5.7%	33.9%
7	長野県	-----	-----	100.0%	-----	-----	-----
8	茨城県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
9	山梨県	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----
10	大阪府	18.8%	13.2%	-----	40.3%	27.7%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、
引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が s 100%からずれる可能性がございます。

発地分析（市区町村別）東伊豆町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	142人
2	東京都 大田区	133人
3	東京都 練馬区	100人
4	東京都 八王子市	90人
5	東京都 板橋区	88人
6	東京都 江東区	87人
7	神奈川県 横浜市港北区	86人
8	東京都 品川区	85人
9	神奈川県 藤沢市	79人
10	東京都 江戸川区	76人
11	東京都 町田市	73人
12	東京都 杉並区	71人
13	神奈川県 川崎市中原区	70人
14	東京都 新宿区	68人
	東京都 足立区	68人
16	埼玉県 川口市	65人
17	千葉県 船橋市	63人
18	神奈川県 横浜市鶴見区	61人
19	神奈川県 横浜市青葉区	57人
	静岡県 静岡市葵区	57人
	千葉県 市川市	57人
	東京都 港区	57人
総計		6,484人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下 : 4,751人 / 73.3%

発地分析（地域別） 河津町

河津町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約12%、北関東が約4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	2,771人
2	東海	446人
3	北関東	135人
4	甲信越・北陸	120人
5	近畿	110人
6	北海道・東北	42人
7	九州・沖縄	22人
8	中国	19人
9	四国	8人
総計		3,665人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	16.2%	9.7%	26.9%	16.0%	9.5%	21.6%
2	東海	3.5%	12.9%	32.6%	4.2%	15.1%	31.8%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

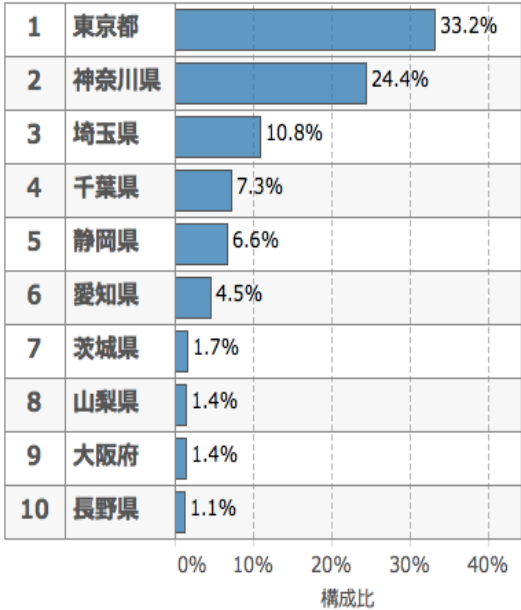
発地分析（都道府県別）河津町

都道府県別では東京都が最も多く約33%。次いで神奈川県が約24%、埼玉県が約11%。
性年代別では東京都、神奈川県の男女とも50歳以上が最も多い。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	1,215人
2	神奈川県	895人
3	埼玉県	397人
4	千葉県	266人
5	静岡県	242人
6	愛知県	165人
7	茨城県	61人
8	山梨県	53人
9	大阪府	51人
10	長野県	42人
総計		3,665人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下：278人 / 7.6%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	13.0%	10.5%	22.9%	16.6%	13.2%	23.8%
2	神奈川県	17.9%	4.7%	36.0%	14.3%	3.7%	23.4%
3	埼玉県	-----	38.9%	-----	-----	61.1%	-----
4	千葉県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
5	静岡県	-----	7.5%	19.1%	-----	23.7%	49.7%
6	愛知県	9.0%	16.7%	42.4%	4.8%	8.7%	18.3%

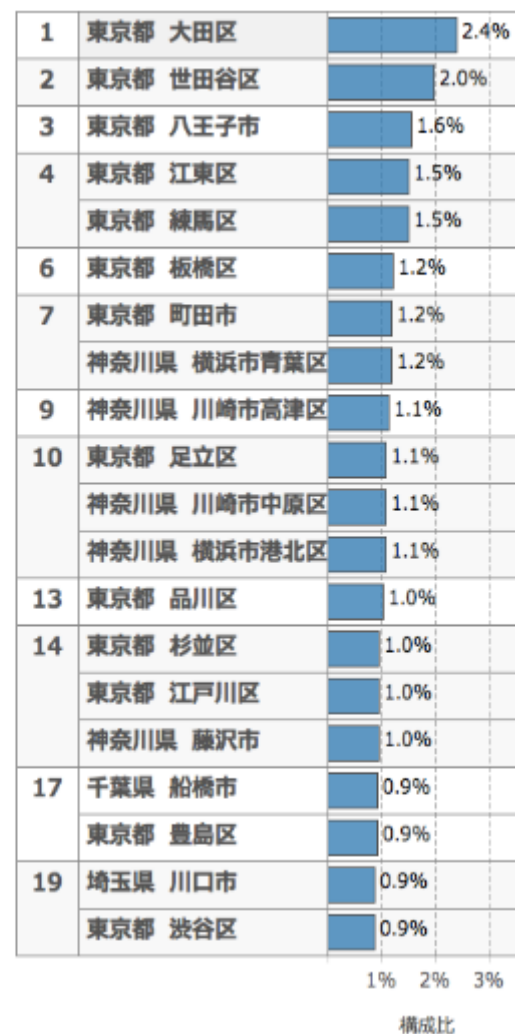
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別）河津町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	88人
2	東京都 世田谷区	72人
3	東京都 八王子市	57人
4	東京都 江東区	55人
	東京都 練馬区	55人
6	東京都 板橋区	44人
7	神奈川県 横浜市青葉区	43人
	東京都 町田市	43人
9	神奈川県 川崎市高津区	41人
10	神奈川県 横浜市港北区	39人
	神奈川県 川崎市中原区	39人
	東京都 足立区	39人
13	東京都 品川区	38人
14	神奈川県 藤沢市	35人
	東京都 江戸川区	35人
	東京都 杉並区	35人
17	千葉県 船橋市	34人
	東京都 豊島区	34人
19	埼玉県 川口市	32人
	東京都 渋谷区	32人
総計		3,665人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：2,775人 / 2.4%

発地分析（地域別）南伊豆町

南伊豆町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約12%、北関東が約4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	2,431人
2	東海	372人
3	北関東	143人
4	甲信越・北陸	113人
5	近畿	101人
6	北海道・東北	38人
7	中国	16人
8	九州・沖縄	12人
9	四国	8人
総計		3,219人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	首都圏	10.5%	13.8%	33.0%	8.8%	11.4%	22.4%
2	東海	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（都道府県別）南伊豆町

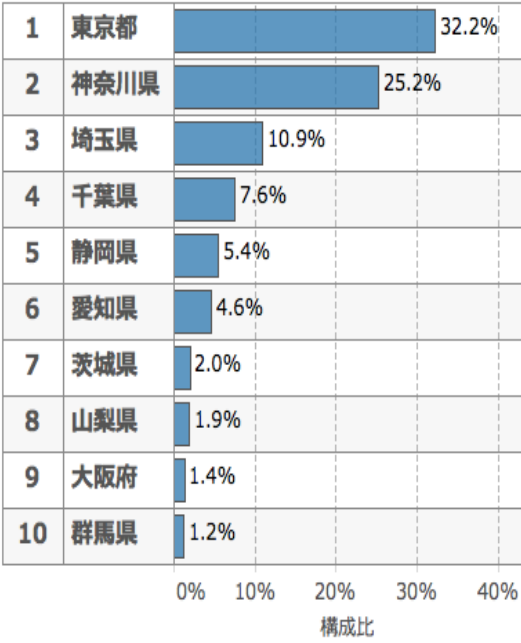
都道府県別では東京都が最も多く約32%。次いで神奈川県が約25%、埼玉県が約11%となっている。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	1,035人
2	神奈川県	810人
3	埼玉県	350人
4	千葉県	244人
5	静岡県	175人
6	愛知県	148人
7	茨城県	65人
8	山梨県	61人
9	大阪府	44人
10	群馬県	40人
総計		3,219人

※TOP11以下：247人 / 7.7%

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性 10歳~34歳	女性 35歳~49歳	女性 50歳以上	男性 10歳~34歳	男性 35歳~49歳	男性 50歳以上
1	東京都	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
2	神奈川県	7.1%	8.3%	29.7%	9.9%	11.4%	33.6%
3	埼玉県	-----	100.0%	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越や単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別）南伊豆町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	67人
2	東京都 大田区	61人
3	東京都 八王子市	60人
4	東京都 杉並区	53人
5	東京都 練馬区	45人
6	千葉県 船橋市	43人
7	神奈川県 藤沢市	42人
8	東京都 江東区	40人
9	東京都 板橋区	39人
10	東京都 江戸川区	36人
11	東京都 北区	35人
12	埼玉県 川口市	34人
	千葉県 市川市	34人
	東京都 町田市	34人
	東京都 品川区	34人
16	神奈川県 茅ヶ崎市	31人
17	神奈川県 横浜市戸塚区	30人
	神奈川県 相模原市南区	30人
19	神奈川県 横浜市港北区	29人
	神奈川県 相模原市中..	29人
	東京都 足立区	29人
総計		3,219人

※TOP21以下：2,384人 / 74.1%

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



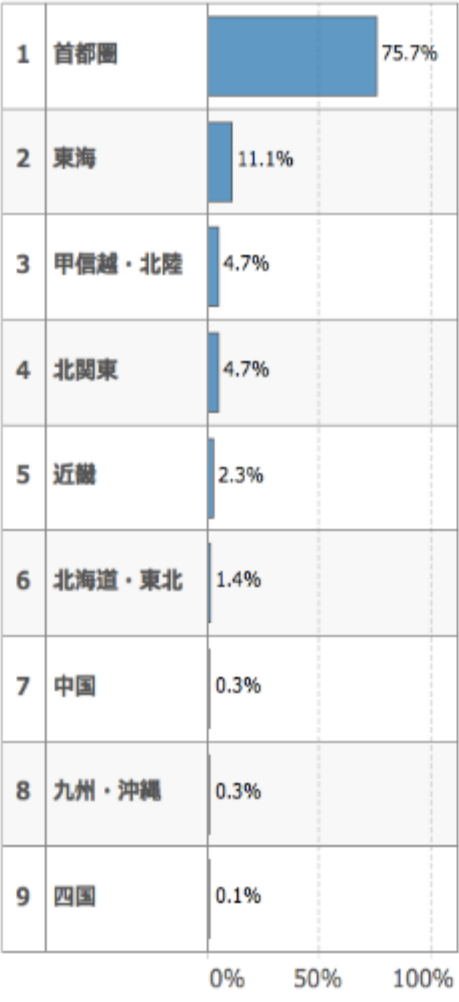
発地分析（地域別） 松崎町

松崎町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約76%。次いで東海が約11%、甲信越・北陸および北関東が約5%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	1,344人
2	東海	197人
3	甲信越・北陸	84人
4	北関東	83人
5	近畿	40人
6	北海道・東北	24人
7	中国	6人
8	九州・沖縄	5人
9	四国	1人
総計		1,776人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	首都圏	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

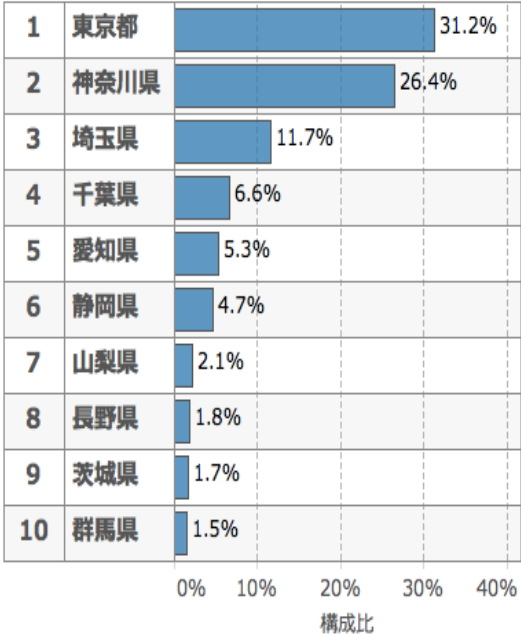
発地分析（都道府県別） 松崎町

都道府県別では東京都が最も多く約31%。次いで神奈川県が約26%、埼玉県が約12%となっている。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	554人
2	神奈川県	469人
3	埼玉県	207人
4	千葉県	117人
5	愛知県	95人
6	静岡県	83人
7	山梨県	37人
8	長野県	32人
9	茨城県	30人
10	群馬県	27人
総計		1,776人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



※TOP11以下：125人 / 7.0%

発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

順位	都道府県	女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東京都	12.8%	6.7%	80.4%	-----	-----	-----
2	神奈川県	9.1%	4.8%	-----	56.8%	29.3%	-----
3	埼玉県	-----	100.0%	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性がございます。

発地分析（市区町村別）松崎町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	36人
2	東京都 八王子市	35人
3	東京都 世田谷区	31人
4	東京都 板橋区	28人
5	神奈川県 平塚市	26人
6	東京都 練馬区	23人
7	東京都 足立区	22人
8	東京都 杉並区	21人
9	神奈川県 川崎市多摩区	20人
	東京都 江戸川区	20人
11	神奈川県 相模原市中..	19人
	千葉県 船橋市	19人
	東京都 品川区	19人
	東京都 目黒区	19人
15	神奈川県 川崎市中原区	18人
16	千葉県 松戸市	17人
	東京都 江東区	17人
	東京都 町田市	17人
19	神奈川県 横浜市緑区	16人
	神奈川県 川崎市幸区	16人
	東京都 港区	16人
総計		1,776人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：1,321人 / 74.4%

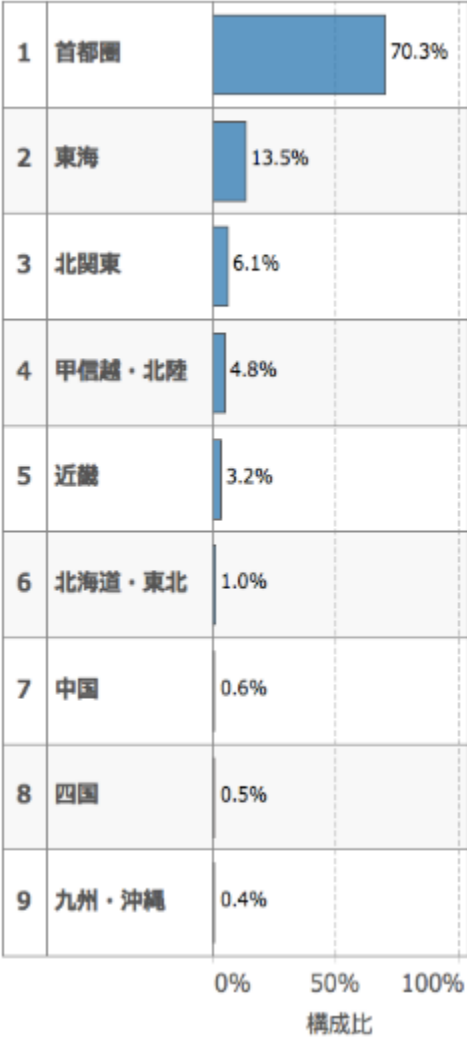
発地分析（地域別）西伊豆町

西伊豆町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約70%。次いで東海が約14%、北関東が約6%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	2,004人
2	東海	384人
3	北関東	174人
4	甲信越・北陸	137人
5	近畿	92人
6	北海道・東北	28人
7	中国	18人
8	四国	13人
9	九州・沖縄	11人
総計		2,852人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

発地	性別	女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	首都圏	7.1%	9.3%	29.6%	9.5%	12.2%	32.2%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越したり単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

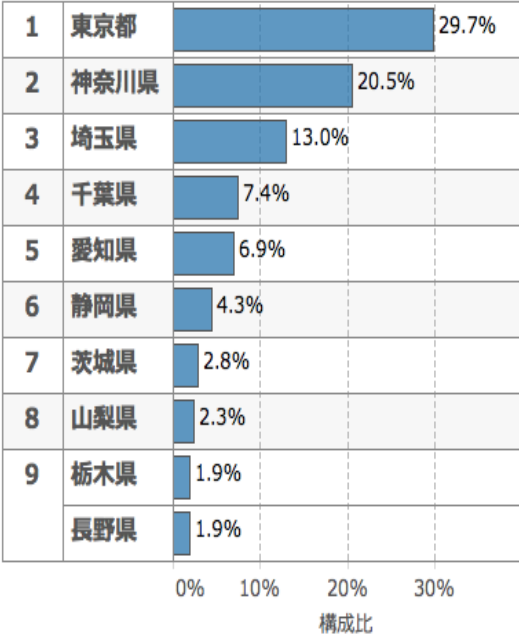
発地分析（都道府県別）西伊豆町

都道府県別では東京都が最も多く約30%。次いで神奈川県が約21%、埼玉県が13%となっている。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	847人
2	神奈川県	585人
3	埼玉県	370人
4	千葉県	211人
5	愛知県	196人
6	静岡県	124人
7	茨城県	80人
8	山梨県	67人
9	栃木県	54人
	長野県	54人
総計		2,852人

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性		男性		男性	
		10歳~34歳	35歳~49歳	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	50歳以上
1	東京都	2.8%	-----	23.6%	9.4%	-----	64.1%
2	神奈川県	11.3%	14.8%	23.6%	12.6%	16.3%	21.4%
3	埼玉県	-----	100.0%	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

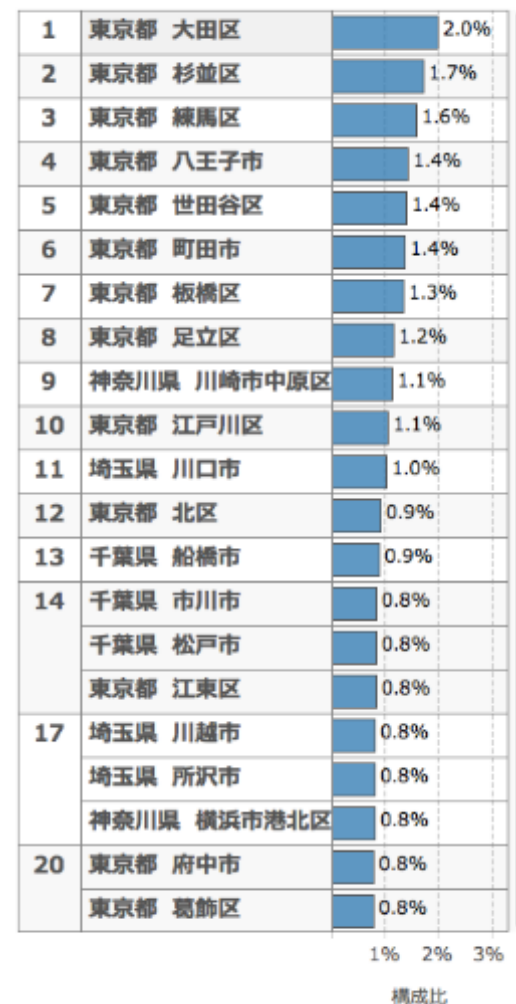
※TOP11以下：264人 / 9.3%

発地分析（市区町村別）西伊豆町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 大田区	57人
2	東京都 杉並区	49人
3	東京都 練馬区	45人
4	東京都 八王子市	41人
5	東京都 世田谷区	40人
6	東京都 町田市	39人
7	東京都 板橋区	38人
8	東京都 足立区	33人
9	神奈川県 川崎市中原区	32人
10	東京都 江戸川区	30人
11	埼玉県 川口市	29人
12	東京都 北区	26人
13	千葉県 船橋市	25人
14	千葉県 市川市	24人
	千葉県 松戸市	24人
	東京都 江東区	24人
17	埼玉県 所沢市	23人
	埼玉県 川越市	23人
	神奈川県 横浜市港北区	23人
20	東京都 葛飾区	22人
	東京都 府中市	22人
総計		2,852人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：2,183人 / 76.5%

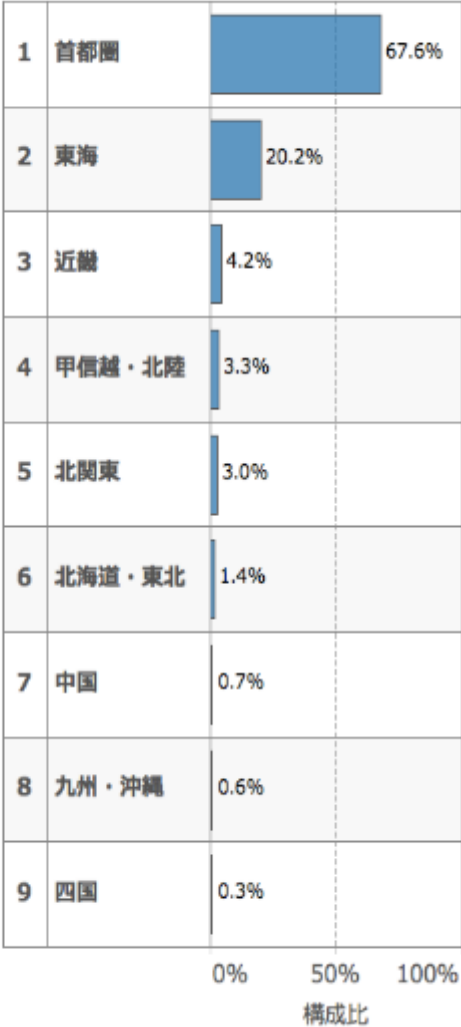
発地分析（地域別） 函南町

函南町を訪れた観光客は、首都圏からの来訪が最も多く約68%。次いで東海が約20%、近畿が約4%となっている。

発地毎の来訪者数(地域別)

1	首都圏	2,019人
2	東海	603人
3	近畿	126人
4	甲信越・北陸	98人
5	北関東	89人
6	北海道・東北	42人
7	中国	20人
8	九州・沖縄	19人
9	四国	9人
総計		2,987人

発地毎の来訪者構成比(地域別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	首都圏	16.0%	12.7%	27.8%	13.6%	10.6%	19.3%
2	東海	8.4%	6.7%	29.3%	12.1%	9.4%	34.2%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（都道府県別） 函南町

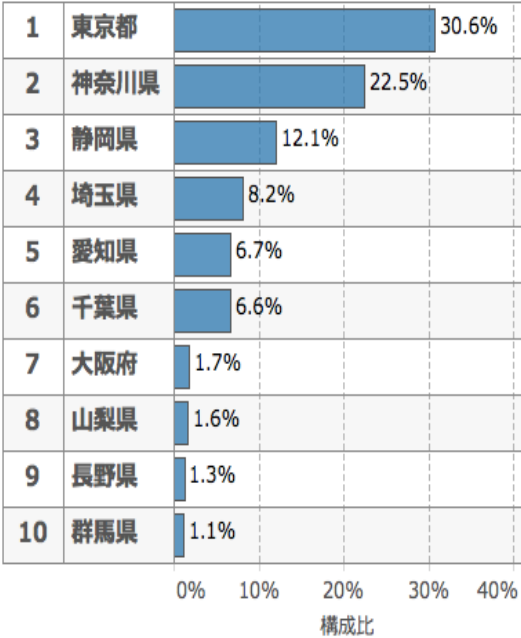
都道府県別では東京都が最も多く約31%。次いで神奈川県が約23%、静岡県が約12%となっている。

発地毎の来訪者数(都道府県別)

1	東京都	915人
2	神奈川県	671人
3	静岡県	361人
4	埼玉県	244人
5	愛知県	199人
6	千葉県	197人
7	大阪府	52人
8	山梨県	47人
9	長野県	38人
10	群馬県	32人
総計		2,987人

※TOP11以下：231人 / 7.7%

発地毎の来訪者構成比(都道府県別)



発地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：TOP10：ウェイトバック)

		女性		男性	
		10歳~34歳	35歳~49歳	10歳~34歳	35歳~49歳
1	東京都	23.9%	13.6%	23.8%	16.4%
2	神奈川県	-----	7.4%	21.5%	20.8%
3	静岡県	-----	7.1%	31.1%	13.4%
4	埼玉県	100.0%	-----	-----	-----
5	愛知県	51.0%	-----	49.0%	-----
6	千葉県	-----	-----	-----	100.0%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理の為除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計
※観光客を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越しまりや単身赴任の方の分、構成比が100%からずれる可能性があります。

発地分析（市区町村別） 函南町

発地毎の来訪者数(市区町村別)

1	東京都 世田谷区	71人
2	東京都 大田区	65人
3	東京都 江東区	60人
4	神奈川県 横浜市港北区	50人
5	静岡県 三島市	46人
6	神奈川県 川崎市中原区	42人
7	東京都 八王子市	41人
8	東京都 町田市	40人
9	神奈川県 横浜市青葉区	38人
	東京都 杉並区	38人
	東京都 品川区	38人
12	神奈川県 川崎市宮前区	34人
13	静岡県 伊豆の国市	33人
14	神奈川県 横浜市緑区	31人
	東京都 練馬区	31人
16	千葉県 船橋市	29人
	東京都 新宿区	29人
18	東京都 江戸川区	28人
19	神奈川県 横浜市神奈..	27人
20	神奈川県 横浜市戸塚区	26人
	神奈川県 横浜市都筑区	26人
	東京都 板橋区	26人
総計		2,987人

発地毎の来訪者構成比(市区町村別)



※TOP21以下：2,138人 / 71.6%

＜東京都南西部に主要な発地が集まる＞

伊豆半島への来訪発地を見ると首都圏でも南部、西部に主要発地が集中している。

上位6つは東京都世田谷区・大田区・練馬区・江東区・杉並区・品川区が並んでおり、全体の9.4%を占めるほどになっている。

同地域において、移動の距離と時間を考えると、南部であれば房総半島、西部であれば山梨県や長野県と比較検討をされることが想定される。

また、伊豆半島に程近い箱根も比較検討をされる地域である。

伊豆半島への誘客を図るプロモーションを行う際には、これら競合地域との差別化を発地と合わせて考えていく必要がある。

＜来訪比率が高い50歳以上、低い若年層＞

来訪発地ごとにややばらつきはあるものの、50歳以上の観光客が多く来訪していることがわかる。

来訪比率の高い50歳以上のリピーター化や、周遊を高める資源整理を行う一方で、比較的来訪比率の低い「若者」という新規カスタマーの掘り起し策を深めることが必要と思われる。また、若者の車離れが進む中、二次交通の整備等で新しい旅の過ごし方の提案が求められる。

交通手段に関する分析

どの交通経路を利用して各エリアに流入・流出したか

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島（伊豆半島全域、および各13市町単位）を訪れた国内に居住する観光客がどこからどのくらい訪れているかを地域別、県別、市区町村別、属性別（性別・年代）に分析します。

交通手段に関する分析の見方

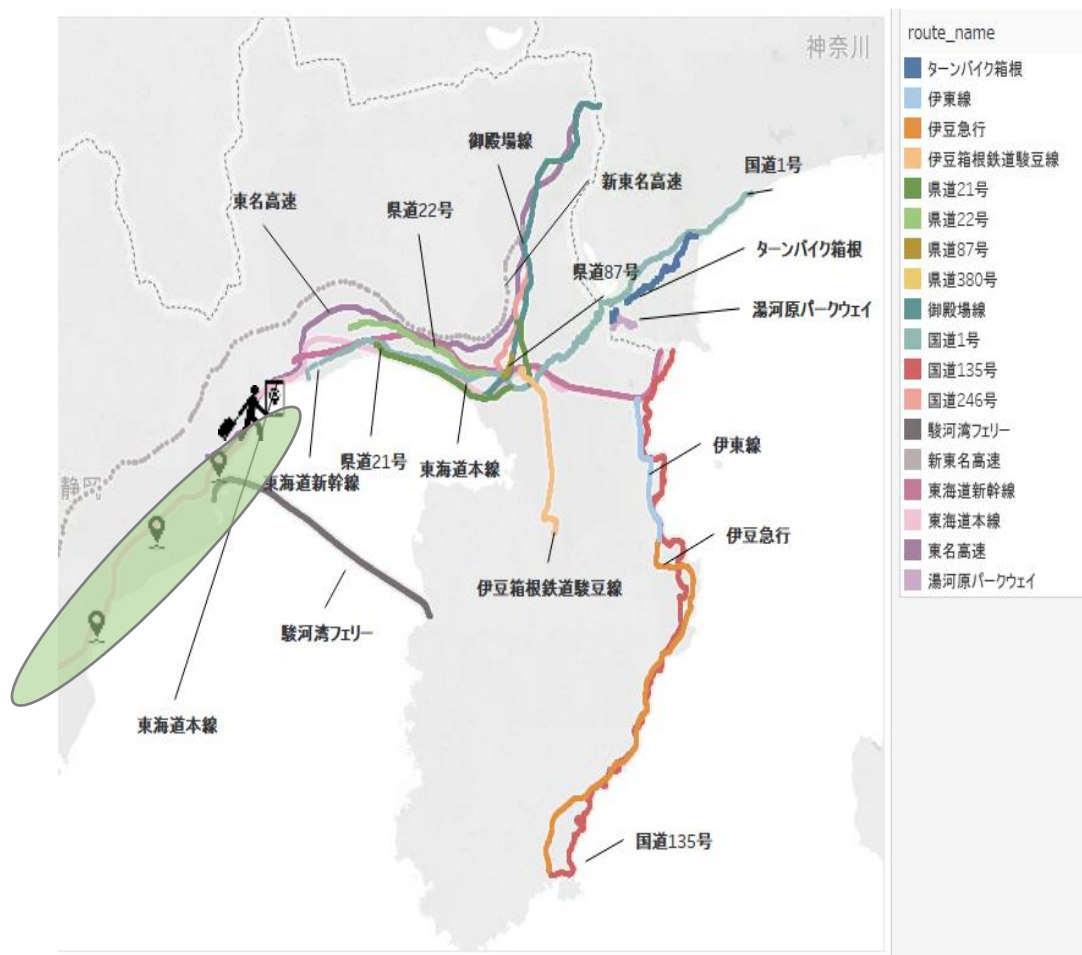
あらかじめ指定した経路上に観光客の位置情報ログが“複数”重なる場合に経路を特定。

13市町へ来訪した際の旅程中に利用した経路をデータとして推定。

※複数の経路を利用した場合は、それぞれの経路利用に1カウントずつされるが、その利用者が複数回同じ経路を利用しても1カウントにしかない

※1時間に1回取得される位置情報ログを用いた経路判定のためカーナビの様な高精度の判定ではなく推定値

※属性ごとの割合は属性取得できたユーザーのみで集計



▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	24.1%
2	東海道本線	17.7%
3	東海道新幹線	12.2%
4	伊豆急行	8.4%
5	国道1号	7.4%
6	伊東線	5.8%
7	東名高速	5.0%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	4.6%
9	県道21号	4.5%
10	御殿場線	3.4%
11	国道246号	2.3%
12	県道380号	1.8%
13	新東名高速	1.3%
14	県道22号	0.8%
15	県道87号	0.4%
16	ターンバイク箱根	0.2%
17	駿河湾フェリー	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

交通手段に関する分析 伊豆半島全域

伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客の交通手段は電車が約52%、自動車が約48%。
経路別では国道135号線が最も多く約24%。次いで東海道本線が約18%、東海道新幹線が約12%、伊豆急行が約8%、国道1号線が約7%となった。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	24.1%
2	東海道本線	17.7%
3	東海道新幹線	12.2%
4	伊豆急行	8.4%
5	国道1号	7.4%
6	伊東線	5.8%
7	東名高速	5.0%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	4.6%
9	県道21号	4.5%
10	御殿場線	3.4%
11	国道246号	2.3%
12	県道380号	1.8%
13	新東名高速	1.3%
14	県道22号	0.8%
15	県道87号	0.4%
16	ターンバイク箱根	0.2%
17	駿河湾フェリー	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	11.3%	5.9%	9.2%	11.3%	11.4%	8.4%
東海道本線	18.7%	14.3%	12.8%	22.2%	19.9%	15.9%
御殿場線	4.0%	2.5%	3.7%	4.1%	3.3%	1.9%
伊東線	6.4%	10.2%	11.0%	6.2%	8.5%	11.2%
伊豆急行	7.8%	11.5%	11.0%	6.7%	4.9%	7.5%
伊豆箱根鉄道駿豆線	5.3%	2.5%	5.5%	5.2%	4.1%	8.4%
東名高速	2.1%	2.2%	4.6%	2.1%	3.3%	2.8%
新東名高速	0.4%	0.3%	0.9%		1.2%	
国道1号	5.9%	9.0%	7.3%	5.2%	6.5%	14.0%
国道135号	28.2%	32.3%	29.4%	23.2%	25.2%	23.4%
国道246号	2.1%	1.9%	0.9%	1.0%	1.2%	0.9%
ターンバイク箱根	0.2%				0.8%	
県道21号	4.2%	4.0%	1.8%	8.2%	6.1%	1.9%
県道22号	0.9%	1.6%		1.0%	2.0%	0.9%
県道87号	0.9%		0.9%	0.5%	0.4%	2.8%
県道380号	1.5%	1.9%	0.9%	3.1%	1.2%	
駿河湾フェリー	0.2%					
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 沼津市

沼津市を訪れた観光客の交通手段は電車が約46%、自動車が約54%。
経路別では東海道本線が最も多く約19%。
次いで国道1号線、東海道新幹線が約12%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	東海道本線	18.8%
2	国道1号	12.0%
3	東海道新幹線	11.5%
4	東名高速	11.0%
5	御殿場線	10.9%
6	県道21号	7.7%
7	国道246号	6.3%
8	県道380号	6.3%
9	国道135号	3.8%
10	県道22号	2.9%
	新東名高速	2.9%
12	伊豆箱根鉄道駿豆線	2.5%
13	県道87号	1.1%
14	伊豆急行	1.1%
15	伊東線	0.9%
16	ターンバイク箱根	0.1%
17	駿河湾フェリー	0.0%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	8.4%	4.9%		6.3%	15.0%	11.8%
東海道本線	14.7%	14.8%	10.5%	25.0%	10.0%	5.9%
御殿場線	14.7%	11.5%	21.1%	16.7%	10.0%	11.8%
伊東線	2.1%		5.3%			
伊豆急行				2.1%		
伊豆箱根鉄道駿豆線	5.3%	3.3%	10.5%			5.9%
東名高速	7.4%	3.3%	21.1%	2.1%	12.5%	5.9%
新東名高速	1.1%				2.5%	
国道1号	8.4%	29.5%	15.8%	10.4%	20.0%	35.3%
国道135号	1.1%		5.3%	4.2%		
国道246号	11.6%	9.8%	5.3%	2.1%	5.0%	
県道21号	9.5%	6.6%		14.6%	7.5%	
県道22号	5.3%	8.2%		4.2%	12.5%	5.9%
県道87号	4.2%		5.3%	2.1%	2.5%	17.6%
県道380号	6.3%	8.2%		10.4%	2.5%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 熱海市

熱海市を訪れた観光客の交通手段は電車が約54%、自動車が約46%。
経路別では国道135号線が最も多く約40%。
次いで東海道本線が約26%、東海道新幹線が約17%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	39.5%
2	東海道本線	25.9%
3	東海道新幹線	17.1%
4	伊東線	7.3%
5	国道1号	2.8%
6	伊豆急行	2.7%
7	東名高速	1.3%
8	県道21号	0.8%
9	伊豆箱根鉄道駿豆線	0.7%
10	御殿場線	0.4%
11	新東名高速	0.4%
12	国道246号	0.4%
13	県道380号	0.2%
14	ターンバイク箱根	0.2%
15	県道87号	0.1%
16	湯河原パークウェイ	0.1%
17	県道22号	0.1%
18	駿河湾フェリー	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	16.7%	13.3%	18.0%	14.3%	12.8%	7.9%
東海道本線	28.2%	25.7%	24.0%	26.8%	34.0%	31.6%
御殿場線	0.5%				2.1%	
伊東線	8.1%	10.5%	14.0%	5.4%	10.6%	23.7%
伊豆急行	1.9%	2.9%	2.0%	1.8%	3.2%	
伊豆箱根鉄道駿豆線	0.5%				1.1%	
東名高速	1.4%	1.9%		1.8%		
国道1号	1.4%	4.8%	4.0%	5.4%		7.9%
国道135号	41.1%	40.0%	34.0%	44.6%	34.0%	28.9%
県道21号		1.0%	2.0%		1.1%	
県道380号			2.0%		1.1%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 三島市

三島市を訪れた観光客の交通手段は電車が約63%、自動車が約37%。
経路別では東海道本線が最も多く約26%。
次いで東海道新幹線が約21%、県道21号線が約13%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	東海道本線	26.1%
2	東海道新幹線	21.3%
3	県道21号	12.6%
4	国道1号	12.3%
5	伊豆箱根鉄道駿豆線	11.6%
6	東名高速	3.7%
7	国道135号	3.0%
8	御殿場線	2.7%
9	国道246号	2.2%
10	県道380号	1.0%
11	新東名高速	0.9%
12	伊東線	0.8%
13	伊豆急行	0.7%
14	県道87号	0.5%
15	県道22号	0.4%
16	ターンバイク箱根	0.1%
17	駿河湾フェリー	0.0%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	16.0%	8.7%	11.1%	23.9%	12.2%	16.0%
東海道本線	20.0%	26.1%		28.3%	22.4%	16.0%
御殿場線	5.0%			4.3%	2.0%	
伊東線					2.0%	
伊豆急行		4.3%		2.2%	2.0%	
伊豆箱根鉄道駿豆線	18.0%	8.7%	33.3%	15.2%	10.2%	24.0%
東名高速	1.0%	4.3%	11.1%		4.1%	4.0%
新東名高速					2.0%	
国道1号	19.0%	17.4%	33.3%	2.2%	10.2%	28.0%
国道135号				2.2%	4.1%	4.0%
県道21号	16.0%	30.4%	11.1%	21.7%	24.5%	8.0%
県道87号	2.0%					
県道380号	3.0%				4.1%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 伊東市

伊東市を訪れた観光客の交通手段は電車が約47%、自動車が約53%。
経路別では国道135号線が最も多く約45%。
次いで伊豆急行が約20%、伊東線が約16%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	45.2%
2	伊豆急行	19.7%
3	伊東線	16.0%
4	東海道本線	6.4%
5	東海道新幹線	3.5%
6	国道1号	3.1%
7	東名高速	2.0%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	1.0%
9	県道21号	0.8%
10	新東名高速	0.7%
11	御殿場線	0.5%
12	国道246号	0.4%
13	ターンバイク箱根	0.4%
14	県道380号	0.3%
15	県道22号	0.1%
16	駿河湾フェリー	0.1%
17	県道87号	0.0%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	0.8%	1.0%	3.6%	4.8%	4.3%	
東海道本線	6.7%	5.0%	10.7%	7.1%	10.9%	
御殿場線					2.2%	
伊東線	18.5%	18.0%	17.9%	21.4%	21.7%	21.4%
伊豆急行	21.8%	22.0%	25.0%	23.8%	10.9%	28.6%
伊豆箱根鉄道駿豆線	0.8%					
東名高速	1.7%					
新東名高速			3.6%		2.2%	
国道1号	3.4%	2.0%			2.2%	
国道135号	45.4%	51.0%	39.3%	42.9%	43.5%	50.0%
県道21号	0.8%	1.0%				
県道380号					2.2%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 下田市

下田市を訪れた観光客の交通手段は電車が約44%、自動車が約56%。
 経路別では国道135号線が最も多く約45%。
 次いで伊豆急行が約28%、東海道本線が約6%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	44.6%
2	伊豆急行	28.0%
3	東海道本線	5.5%
4	伊東線	5.2%
5	東名高速	4.2%
6	国道1号	4.0%
7	東海道新幹線	3.1%
8	御殿場線	1.1%
9	伊豆箱根鉄道駿豆線	1.0%
10	国道246号	0.9%
11	県道21号	0.8%
12	新東名高速	0.6%
13	県道380号	0.3%
14	駿河湾フェリー	0.2%
15	ターンバイク箱根	0.2%
16	県道22号	0.1%
17	県道87号	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	3.6%					
東海道本線	10.7%	5.0%		16.7%		
御殿場線	3.6%				10.0%	
伊東線		10.0%				
伊豆急行	35.7%	40.0%		16.7%	20.0%	33.3%
国道135号	42.9%	45.0%	100.0%	50.0%	60.0%	66.7%
国道246号				16.7%		
ターンバイク箱根	3.6%				10.0%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 伊豆市

伊豆市を訪れた観光客の交通手段は電車が約46%、自動車が約54%。
経路別では国道135号線が最も多く約22%。
次いで伊豆箱根鉄道駿豆線が約14%、国道1号線、東海道本線が約11%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	22.2%
2	伊豆箱根鉄道駿豆線	14.1%
3	国道1号	11.4%
4	東海道本線	11.2%
5	東名高速	10.1%
6	伊豆急行	8.0%
7	東海道新幹線	6.3%
8	伊東線	3.8%
9	県道21号	3.2%
10	御殿場線	2.4%
11	新東名高速	2.3%
12	国道246号	2.2%
13	県道380号	1.1%
14	駿河湾フェリー	0.8%
15	ターンバイク箱根	0.5%
16	県道87号	0.2%
17	県道22号	0.2%
18	湯河原パークウェイ	0.1%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	11.1%			22.2%		
東海道本線	25.0%	22.2%		11.1%		
御殿場線	15.0%			11.1%		
伊東線				11.1%		
伊豆急行		11.1%				12.5%
伊豆箱根鉄道駿豆線	35.0%	22.2%	25.0%	28.6%		25.0%
東名高速		22.2%	25.0%	28.6%		37.5%
新東名高速	5.0%					
国道1号	5.0%		37.5%	14.3%	11.1%	12.5%
国道135号	5.0%	11.1%	12.5%		11.1%	12.5%
国道246号					11.1%	
ターンバイク箱根					11.1%	
県道21号	5.0%			14.3%		
県道380号				14.3%		
駿河湾フェリー	5.0%					
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 伊豆の国市

伊豆の国市を訪れた観光客の交通手段は電車が約58%、自動車が約42%。
経路別では伊豆箱根鉄道駿豆線が約24%。
次いで国道135号線が約15%、東海道本線が約14%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	伊豆箱根鉄道駿豆線	24.1%
2	国道135号	14.9%
3	東海道本線	14.2%
4	東海道新幹線	9.5%
5	国道1号	9.0%
6	東名高速	7.5%
7	伊豆急行	4.8%
8	県道21号	4.2%
9	伊東線	3.0%
10	御殿場線	2.3%
11	国道246号	2.2%
12	新東名高速	2.0%
13	県道380号	1.2%
14	ターンバイク箱根	0.3%
15	県道22号	0.3%
16	県道87号	0.2%
17	駿河湾フェリー	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.1%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線					14.3%	
東海道本線	16.7%		10.0%		14.3%	
御殿場線	5.6%					
伊東線		8.3%	10.0%			
伊豆急行		8.3%				11.1%
伊豆箱根鉄道駿豆線	44.4%	16.7%	30.0%		28.6%	33.3%
東名高速	5.6%		30.0%		4.8%	22.2%
新東名高速		8.3%			4.8%	
国道1号	16.7%	25.0%	20.0%		9.5%	11.1%
国道135号	5.6%	25.0%		100.0%	4.8%	11.1%
国道246号						11.1%
ターンバイク箱根					4.8%	
県道21号	5.6%				14.3%	
県道380号		8.3%				
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 東伊豆町

東伊豆町を訪れた観光客の交通手段は電車が約45%、自動車が約54%。
経路別では国道135号線が最も多く約46%。
次いで伊豆急行が約30%、伊東線が約7%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	46.0%
2	伊豆急行	29.9%
3	伊東線	6.6%
4	東海道本線	4.8%
5	国道1号	3.5%
6	東海道新幹線	2.8%
7	東名高速	2.3%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	0.9%
9	新東名高速	0.9%
10	県道21号	0.5%
11	御殿場線	0.4%
12	ターンバイク箱根	0.4%
13	国道246号	0.4%
14	県道380号	0.2%
15	駿河湾フェリー	0.1%
16	県道22号	0.1%
	県道87号	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	5.3%			4.3%		
東海道本線	5.3%			15.4%	21.7%	
伊東線	5.3%	11.5%	16.7%	15.4%	17.4%	
伊豆急行	26.3%	30.8%	50.0%	46.2%	21.7%	33.3%
国道1号		3.8%				
国道135号	57.9%	50.0%	33.3%	23.1%	34.8%	66.7%
県道380号		3.8%				
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 河津町

河津町を訪れた観光客の交通手段は電車が約43%、自動車が約57%。
経路別では国道135号線が最も多く約43%。
次いで伊豆急行が約26%、東海道本線が約6%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	43.2%
2	伊豆急行	26.3%
3	東海道本線	5.7%
4	東名高速	4.8%
5	伊東線	4.7%
6	国道1号	4.6%
7	東海道新幹線	3.1%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	1.7%
9	御殿場線	1.6%
10	国道246号	1.2%
11	県道21号	1.2%
12	新東名高速	1.1%
13	ターンバイク箱根	0.2%
14	県道380号	0.2%
15	駿河湾フェリー	0.1%
16	県道22号	0.1%
17	県道87号	0.0%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道新幹線	7.7%					
東海道本線	15.4%	10.0%				
伊東線		20.0%				
伊豆急行	30.8%	40.0%	50.0%	50.0%	44.4%	50.0%
国道1号		10.0%	25.0%			
国道135号	46.2%	20.0%	25.0%	50.0%	55.6%	50.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 南伊豆町

南伊豆町を訪れた観光客の交通手段は電車が約42%、自動車が約58%。
 経路別では国道135号線が最も多く約41%。
 次いで伊豆急行が約24%、国道 1 号線が約7%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	40.6%
2	伊豆急行	24.1%
3	国道1号	7.1%
4	東名高速	6.1%
5	東海道本線	6.0%
6	伊東線	5.6%
7	東海道新幹線	2.9%
8	伊豆箱根鉄道駿豆線	1.5%
9	御殿場線	1.4%
10	新東名高速	1.4%
11	国道246号	1.1%
12	県道21号	0.9%
13	県道380号	0.5%
14	ターンバイク箱根	0.4%
15	駿河湾フェリー	0.2%
16	県道87号	0.1%
17	県道22号	0.1%
18	湯河原パークウェイ	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性			男性
	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	50歳以上
東海道本線	16.7%			
伊豆急行	33.3%	100.0%		50.0%
国道135号	50.0%		100.0%	50.0%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 松崎町

松崎町を訪れた観光客の交通手段は電車が約40%、自動車が約59%。
 経路別では国道135号線が最も多く約26%。
 次いで伊豆急行が約15%、東名高速が約13%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	25.7%
2	伊豆急行	15.1%
3	東名高速	13.0%
4	国道1号	12.1%
5	東海道本線	8.3%
6	伊豆箱根鉄道駿豆線	4.9%
7	東海道新幹線	4.7%
8	伊東線	3.5%
9	御殿場線	3.4%
10	県道21号	2.4%
11	国道246号	2.1%
12	新東名高速	2.0%
13	駿河湾フェリー	1.0%
14	県道380号	0.9%
15	県道22号	0.3%
16	県道87号	0.2%
	ターンバイク箱根	0.2%
	湯河原パークウェイ	0.2%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性 35歳～49歳	男性 10歳～34歳
東海道本線		33.3%
御殿場線	16.7%	
伊東線	16.7%	
伊豆急行	33.3%	
伊豆箱根鉄道駿豆線		66.7%
国道135号	33.3%	
総計	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 西伊豆町

西伊豆町を訪れた観光客の交通手段は電車が約38%、自動車が約58%。
 経路別では国道135号線が最も多く約22%。
 次いで東名高速が約14%、国道 1 号線が約13%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	国道135号	21.6%
2	東名高速	13.7%
3	国道1号	12.8%
4	伊豆急行	12.3%
5	東海道本線	10.7%
6	東海道新幹線	5.5%
	伊豆箱根鉄道駿豆線	5.5%
8	御殿場線	3.7%
9	県道21号	2.9%
10	新東名高速	2.9%
11	伊東線	2.8%
12	国道246号	2.5%
13	駿河湾フェリー	1.4%
14	県道380号	0.9%
15	県道22号	0.3%
16	ターンバイク箱根	0.3%
17	県道87号	0.1%
	湯河原パークウェイ	0.1%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性		男性	
	10歳～34歳	35歳～49歳	10歳～34歳	35歳～49歳
東海道本線	25.0%		25.0%	
御殿場線	25.0%	33.3%		
伊豆箱根鉄道駿豆線	25.0%	33.3%	50.0%	
東名高速		33.3%		
国道135号	25.0%			100.0%
国道246号			25.0%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通手段に関する分析 函南町

函南町を訪れた観光客の交通手段は電車が約59%、自動車が約41%。
 経路別では東海道本線が最も多く約24%。
 次いで東海道新幹線が約17%、国道1号線が約15%となっている。

▼流入・流出時の利用交通経路の比率

1	東海道本線	23.7%
2	東海道新幹線	17.0%
3	国道1号	14.5%
4	伊豆箱根鉄道駿豆線	13.0%
5	国道135号	9.3%
6	東名高速	5.7%
7	県道21号	4.7%
8	御殿場線	2.3%
9	国道246号	2.2%
10	伊東線	2.1%
11	新東名高速	1.7%
12	県道380号	1.5%
13	伊豆急行	1.3%
14	県道87号	0.4%
15	県道22号	0.3%
16	ターンバイク箱根	0.1%
	湯河原パークウェイ	0.1%
18	駿河湾フェリー	0.0%
総計		100.0%

▼性年代別 経路の利用状況

	女性		男性		
	10歳～34歳	35歳～49歳	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
東海道本線	25.0%	66.7%		22.2%	
伊豆箱根鉄道駿豆線	25.0%				
東名高速			100.0%	22.2%	
新東名高速				11.1%	
国道1号	37.5%			11.1%	
国道135号	12.5%				100.0%
県道21号		33.3%		33.3%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

＜伊豆半島に訪れる観光客の4人に1人が通過する国道135号＞

伊豆半島に訪れる観光客のうち24.1%が通過する国道135号は、35歳～49歳の女性では32.3%まで高まり、伊豆半島来訪における主要な導線となっている。

よって、この導線上にある主要観光スポットや道の駅などを活用した伊豆半島の着地情報発信、各種キャンペーンの実施は有効であると思われる。

また、国道1号経由の流入を増やすことで、夏場を中心とした渋滞の緩和に繋がり、顧客満足度向上を図ることができる。

＜50歳以上比率が高い伊東線・伊豆急行・伊豆箱根鉄道駿豆線＞

既にこの導線は東海岸エリアや中伊豆エリアを移動する際の主要な導線であるが、若者の車離れが進む中、伊豆半島全体としてより重要な位置付けとなってくる。

立寄りに関する分析

目的地に到着する前後でどこに立ち寄ったか

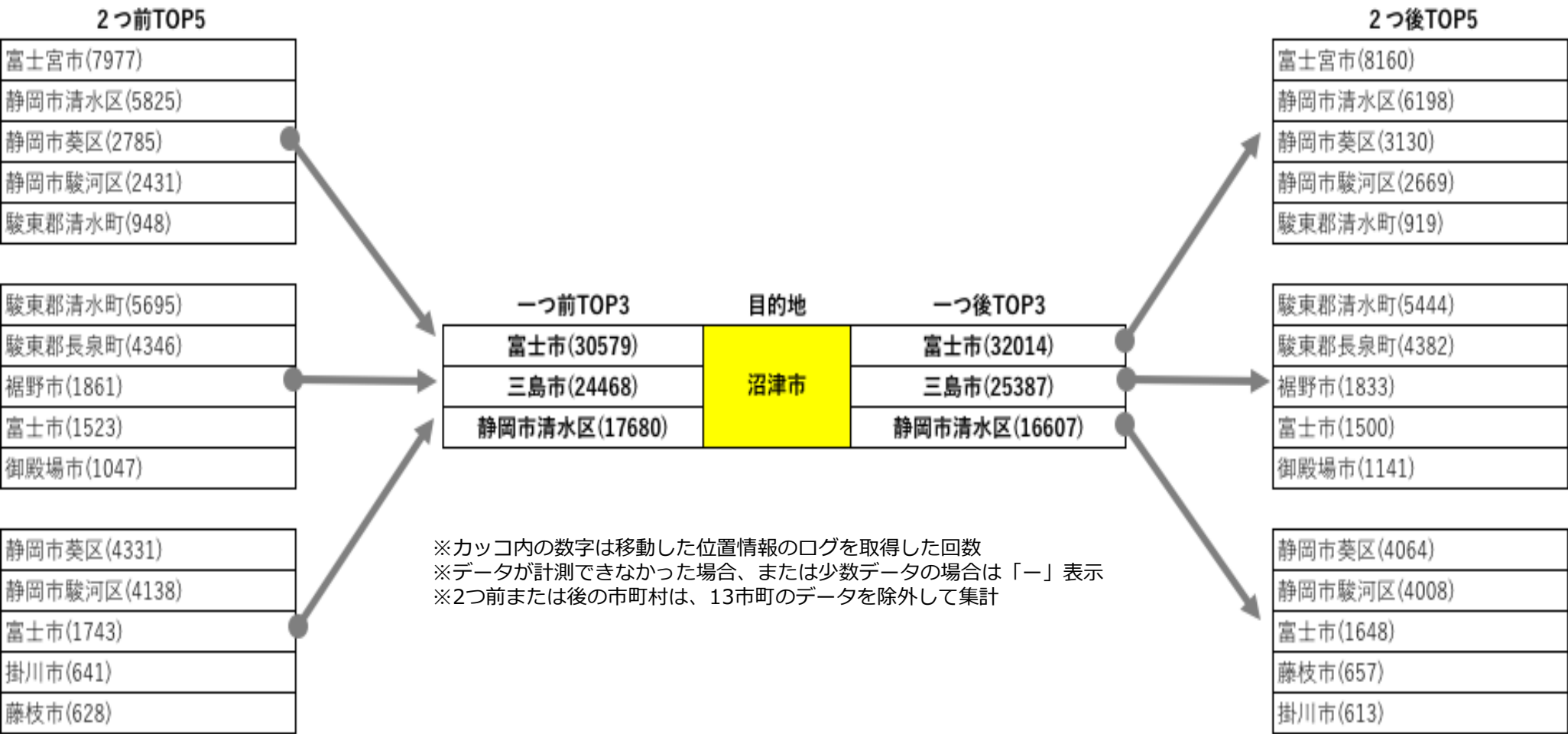
2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島を訪れた国内に居住する観光客の目的地「前」または「後」に立ち寄った2か所の市区町村を分析します。

※継続して取得された位置情報のログ（通過を含む）が、別の市町に切り替わったタイミングを計測し、前後の立寄り市町を推定しています。

※1つ前の立寄り箇所はTOP3、2つ前はTOP5までの内訳を表示しています

※2つ前または後の市町村は、13市町のデータを除外して集計しています

立寄りに関する分析 沼津市



立寄りに関する分析 熱海市



立寄りに関する分析 三島市



立寄りに関する分析 伊東市



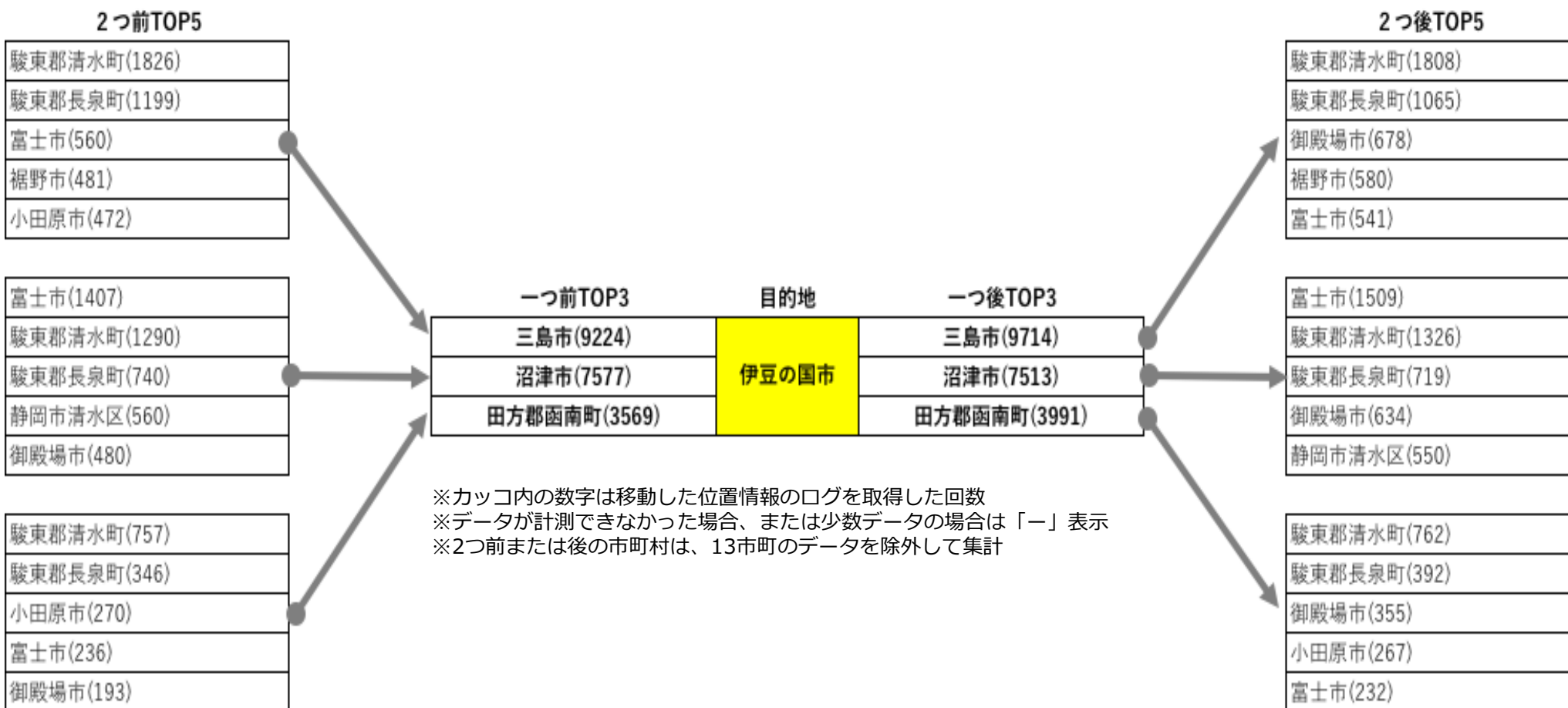
立寄りに関する分析 下田市



立寄りに関する分析 伊豆市



立寄りに関する分析 伊豆の国市



立寄りに関する分析 東伊豆町

2つ前TOP5

小田原市(1108)
足柄下郡湯河原町(355)
足柄下郡真鶴町(171)
平塚市(167)
中郡大磯町(88)

2つ後TOP5

小田原市(1018)
足柄下郡湯河原町(431)
足柄下郡真鶴町(227)
中郡大磯町(125)
平塚市(113)

小田原市(375)
平塚市(106)
足柄下郡湯河原町(72)
横浜市西区(56)
茅ヶ崎市(56)

一つ前TOP3

目的地

一つ後TOP3

伊東市(3472)		伊東市(3525)
熱海市(1574)	賀茂郡東伊豆町	熱海市(1214)
伊豆市(526)		伊豆市(403)

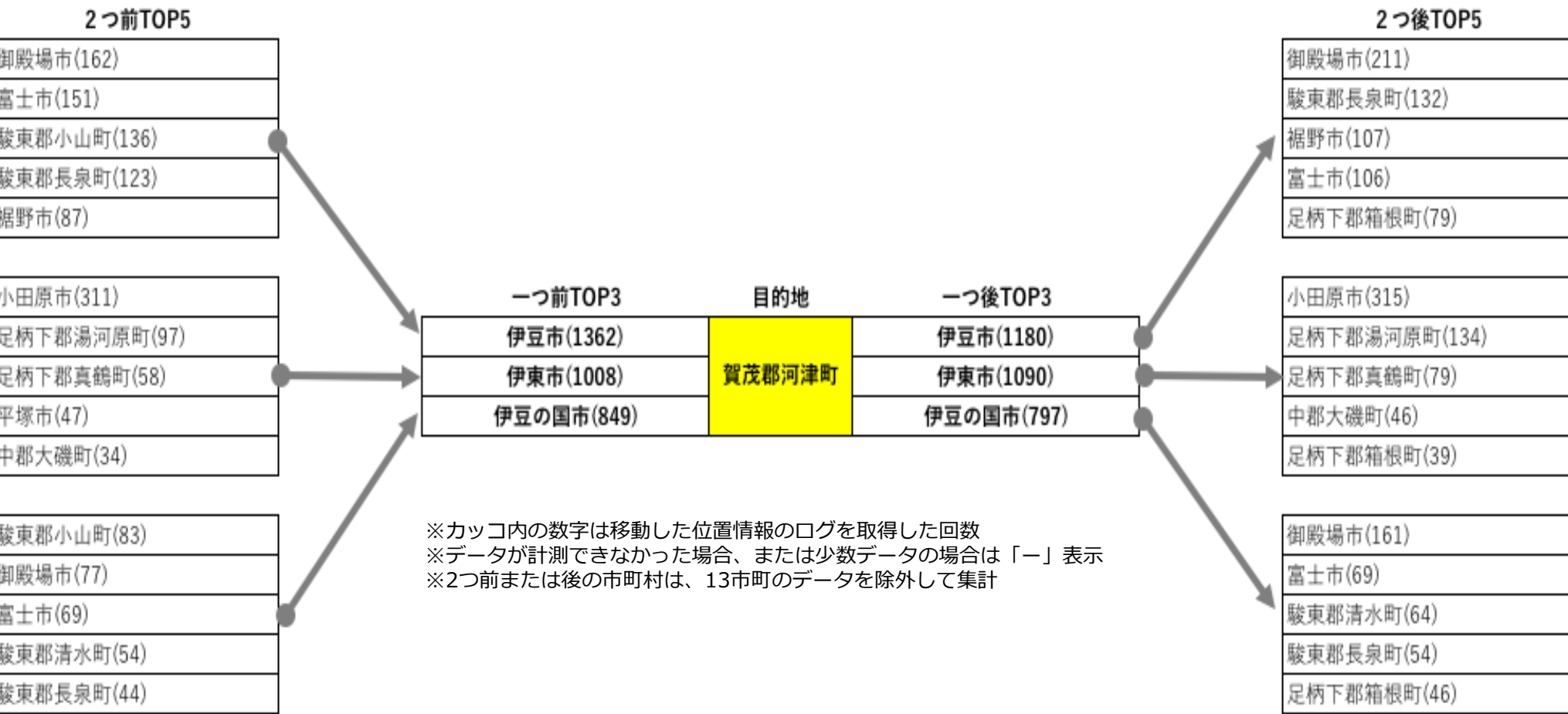
小田原市(270)
足柄下郡湯河原町(87)
平塚市(72)
茅ヶ崎市(48)
中郡大磯町(45)

小田原市(52)
駿東郡清水町(51)
富士市(51)
御殿場市(41)
駿東郡長泉町(39)

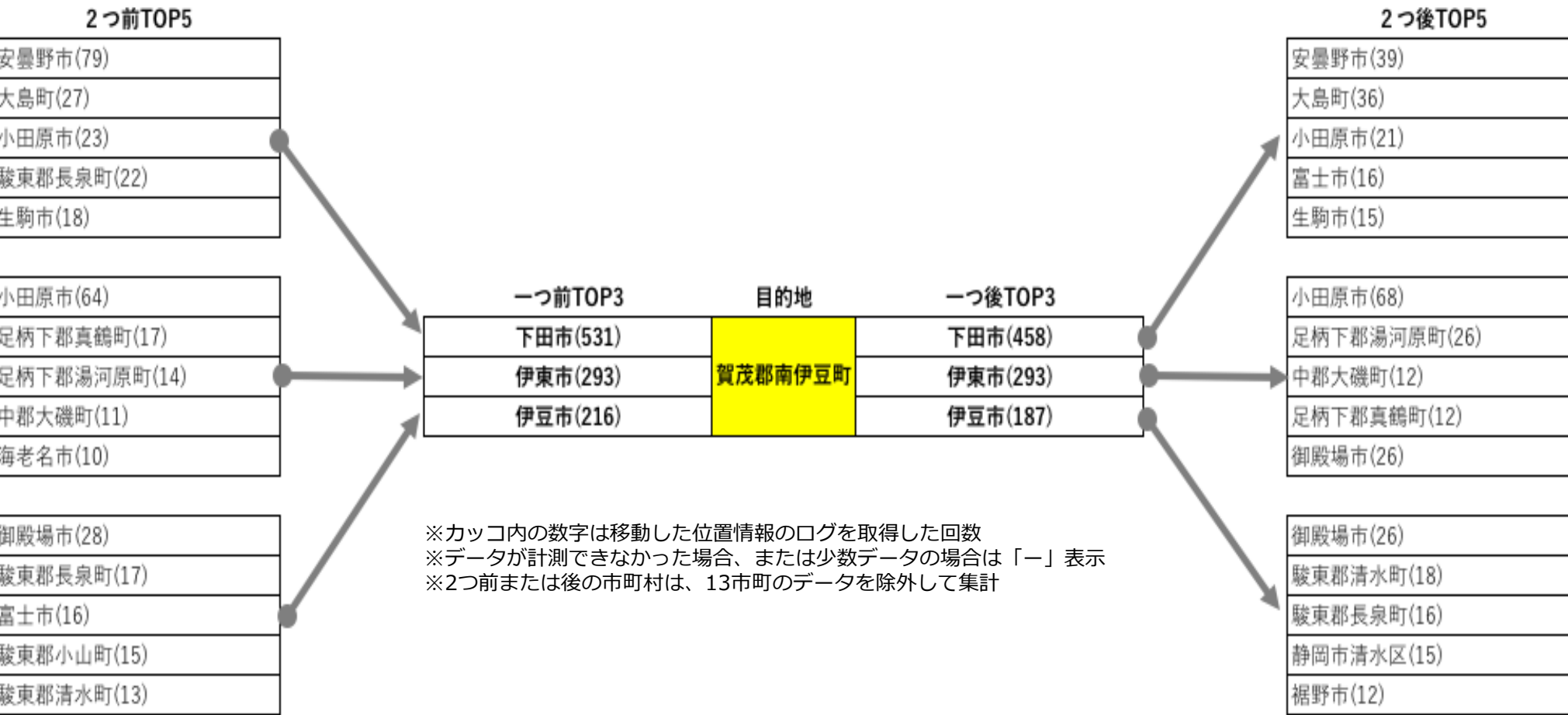
駿東郡長泉町(66)
御殿場市(47)
足柄下郡箱根町(42)
富士市(33)
駿東郡清水町(29)

※カッコ内の数字は移動した位置情報のログを取得した回数
 ※データが計測できなかった場合、または少数データの場合は「－」表示
 ※2つ前または後の市町村は、13市町のデータを除外して集計

立寄りに関する分析 河津町



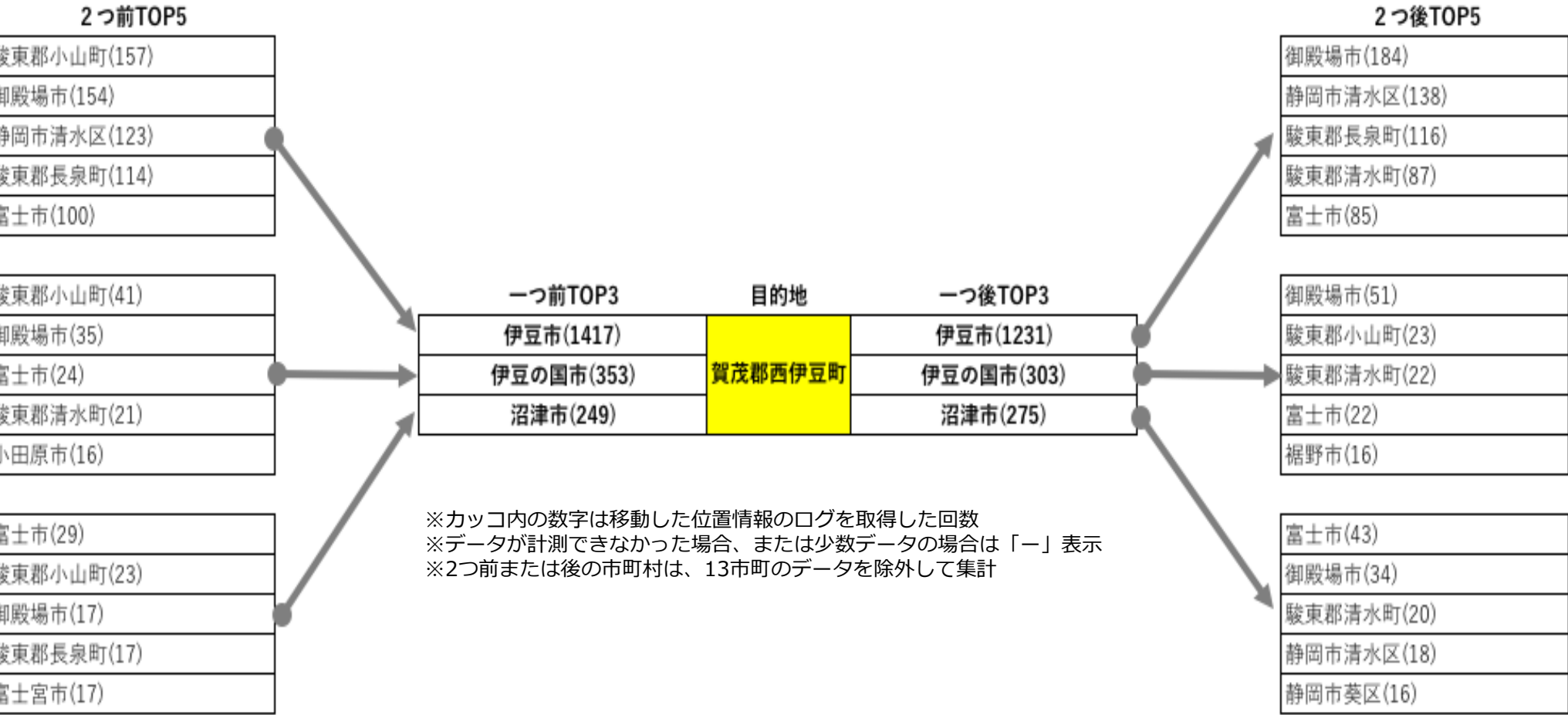
立寄りに関する分析 南伊豆町



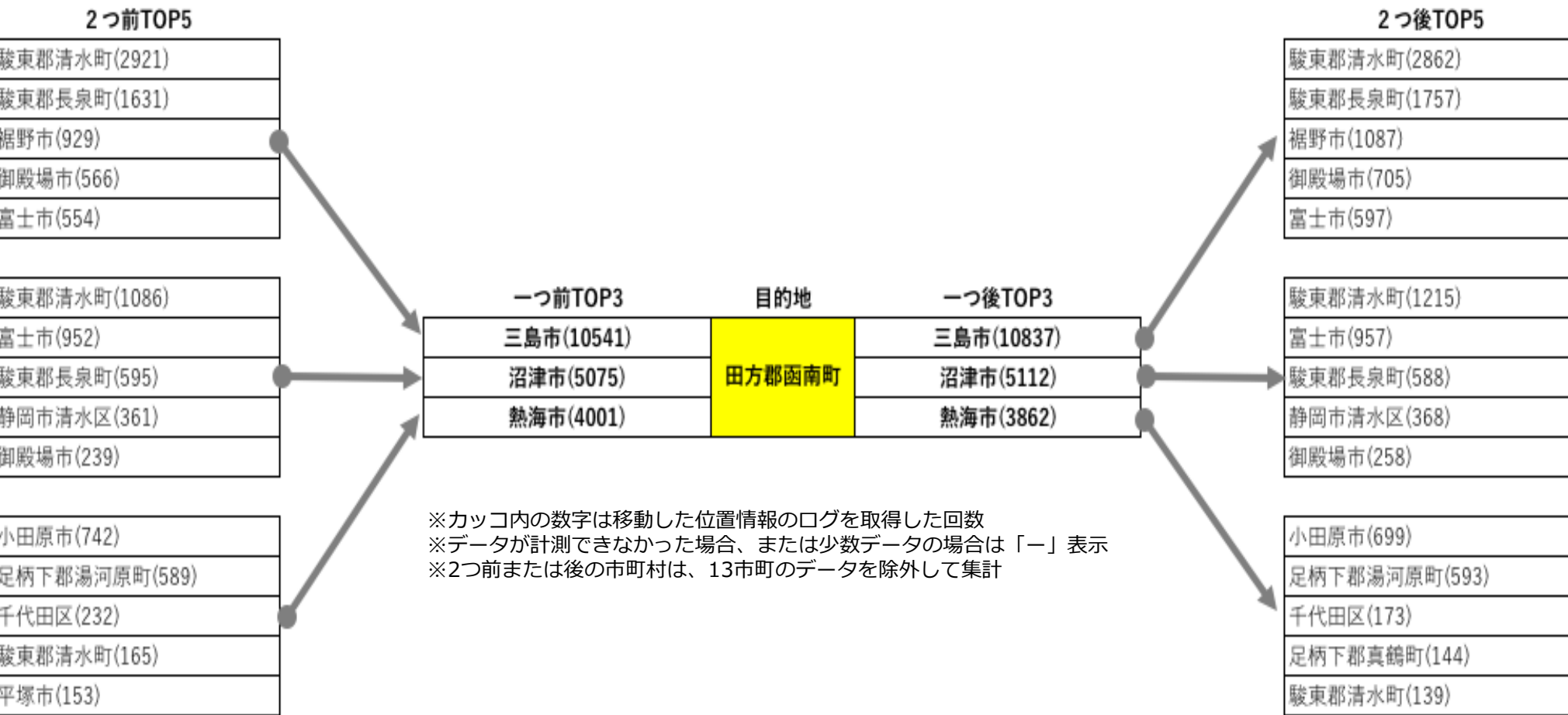
立寄りに関する分析 松崎町



立寄りに関する分析 西伊豆町



立寄りに関する分析 函南町



＜地域への出入り導線に近い傾向が見られる＞

どの市町においても、地域へ至る経路、地域より出てからのログについて、近い傾向が見られる。交通導線上、伊豆半島への入り口と出口は絞られる傾向にはあるが、目的地への入り方と出方については異なる経路を促すことで、地域内周遊性は高まると思われる。例えば、国道135号線経由で入られた旅行者が国道136号線経由で帰路について頂くだけでも、多様な観光資源に触れて頂く機会を作ることができる。

＜着地情報充実の為の立ち寄り周辺市町＞

小田原市、富士市、富士宮市、御殿場市、平塚市については伊豆半島域外において、通過立ち寄りのログが多く見受けられた。立ち寄り市町については、伊豆半島内に対する着地情報発信の観点で有効に活用できる。

周遊に関する分析

伊豆半島13市町間の周遊状況を把握

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島を訪れた国内に居住する観光客の周遊を分析します。13市町の中で、どの様に周遊しているのかを把握することができます。

※2つ以上の市町を訪れているユーザー（通過を含まない）を抽出し、全体を100%として集計します

※2つ以上訪れた市町は累計して集計しています

周遊に関する分析 伊豆半島 7 市 6 町（合計）

伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客は三島市⇔沼津市、伊東市⇔熱海市を最も多く周遊しており、それぞれ全体の約10%。
次いで伊豆の国市⇔伊豆市の約7%、伊東市⇔伊豆市、伊豆の国市⇔三島市の約6%となった。

順位	ルート	訪問回数	割合
1	静岡県 三島市 ⇔ 静岡県 沼津市	17,993 回	10.2%
2	静岡県 伊東市 ⇔ 静岡県 熱海市	17,589 回	10.0%
3	静岡県 伊豆の国市 ⇔ 静岡県 伊豆市	11,713 回	6.7%
4	静岡県 伊東市 ⇔ 静岡県 伊豆市	9,836 回	5.6%
5	静岡県 伊豆の国市 ⇔ 静岡県 三島市	9,628 回	5.5%
6	静岡県 伊東市 ⇔ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	8,991 回	5.1%
7	静岡県 伊豆市 ⇔ 静岡県 三島市	8,847 回	5.0%
8	静岡県 三島市 ⇔ 静岡県 熱海市	8,828 回	5.0%
9	静岡県 伊豆の国市 ⇔ 静岡県 沼津市	8,439 回	4.8%
10	静岡県 伊豆市 ⇔ 静岡県 沼津市	8,353 回	4.7%
11	静岡県 沼津市 ⇔ 静岡県 熱海市	8,134 回	4.6%
12	静岡県 伊東市 ⇔ 静岡県 伊豆の国市	7,714 回	4.4%
13	静岡県 三島市 ⇔ 静岡県 田方郡函南町	7,239 回	4.1%
14	静岡県 伊東市 ⇔ 静岡県 下田市	6,512 回	3.7%
15	静岡県 田方郡函南町 ⇔ 静岡県 熱海市	6,343 回	3.6%
16	静岡県 伊豆市 ⇔ 静岡県 下田市	6,310 回	3.6%
17	静岡県 伊豆市 ⇔ 静岡県 賀茂郡河津町	5,971 回	3.4%
18	静岡県 沼津市 ⇔ 静岡県 田方郡函南町	5,918 回	3.4%
19	静岡県 下田市 ⇔ 静岡県 賀茂郡河津町	5,907 回	3.4%
20	静岡県 伊豆市 ⇔ 静岡県 熱海市	5,670 回	3.2%

周遊に関する分析 沼津市

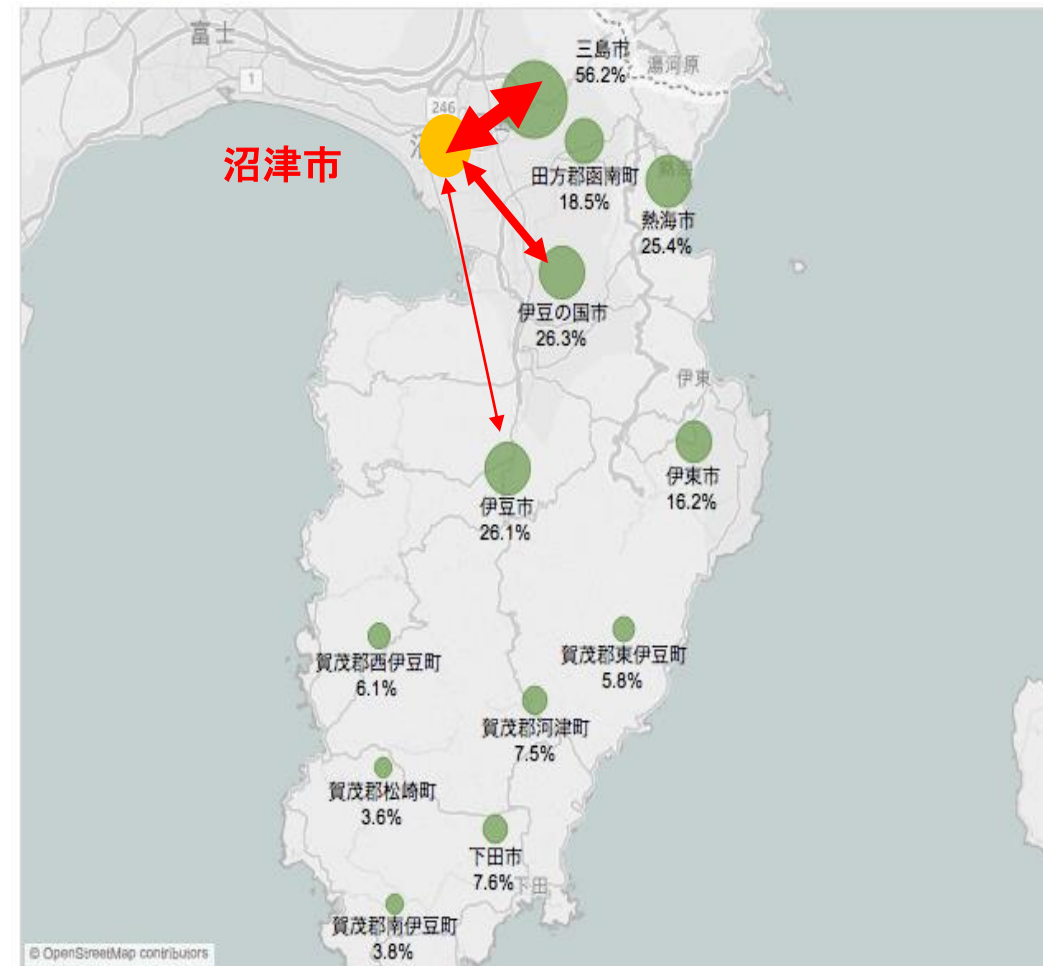
沼津市の周遊に関する相関性は三島市が最も強かった。
次いで伊豆の国市、伊豆市、熱海市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 三島市	17,993 回	56.2%
2	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	8,439 回	26.3%
3	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 伊豆市	8,353 回	26.1%
4	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 熱海市	8,134 回	25.4%
5	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	5,918 回	18.5%
6	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 伊東市	5,195 回	16.2%
7	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 下田市	2,441 回	7.6%
8	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	2,404 回	7.5%
9	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,966 回	6.1%
10	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	1,871 回	5.8%
11	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,230 回	3.8%
12	静岡県 沼津市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,153 回	3.6%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 熱海市

熱海市の周遊に関する相関性は伊東市が最も強かった。
次いで三島市、沼津市、函南町となった。

周遊（市区町村）ランキング

	訪問回数	割合
1 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 伊東市	17,589 回	52.8%
2 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 三島市	8,828 回	26.5%
3 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 沼津市	8,134 回	24.4%
4 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	6,343 回	19.0%
5 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 伊豆市	5,670 回	17.0%
6 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	5,456 回	16.4%
7 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	5,191 回	15.6%
8 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 下田市	3,996 回	12.0%
9 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	3,249 回	9.7%
10 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,569 回	4.7%
11 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	873 回	2.6%
12 静岡県 熱海市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	657 回	2.0%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 三島市

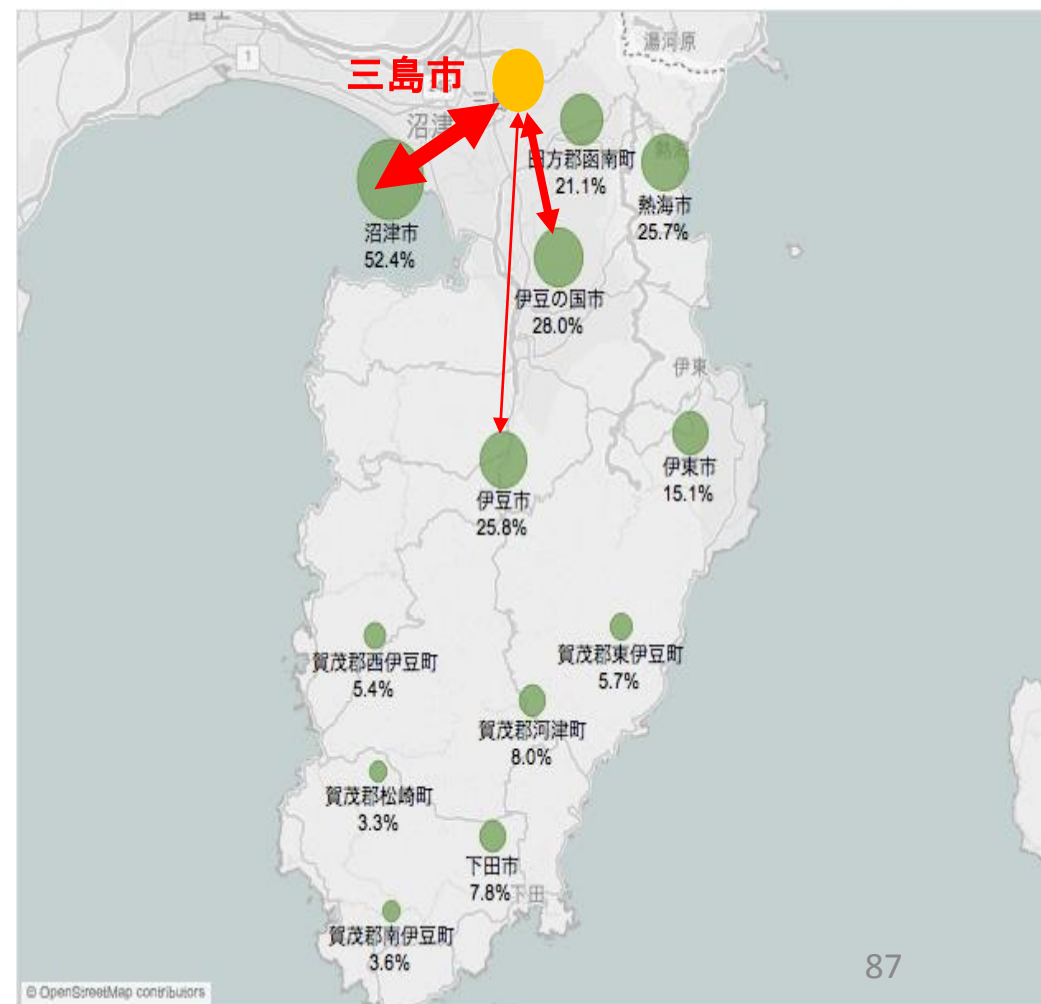
三島市の周遊に関する相関性は沼津市が最も強かった。
次いで伊豆の国市、伊豆市、熱海市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 沼津市	17,993 回	52.4%
2	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	9,628 回	28.0%
3	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 伊豆市	8,847 回	25.8%
4	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 熱海市	8,828 回	25.7%
5	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	7,239 回	21.1%
6	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 伊東市	5,181 回	15.1%
7	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	2,730 回	8.0%
8	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 下田市	2,680 回	7.8%
9	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	1,954 回	5.7%
10	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,865 回	5.4%
11	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,222 回	3.6%
12	静岡県 三島市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,141 回	3.3%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 伊東市

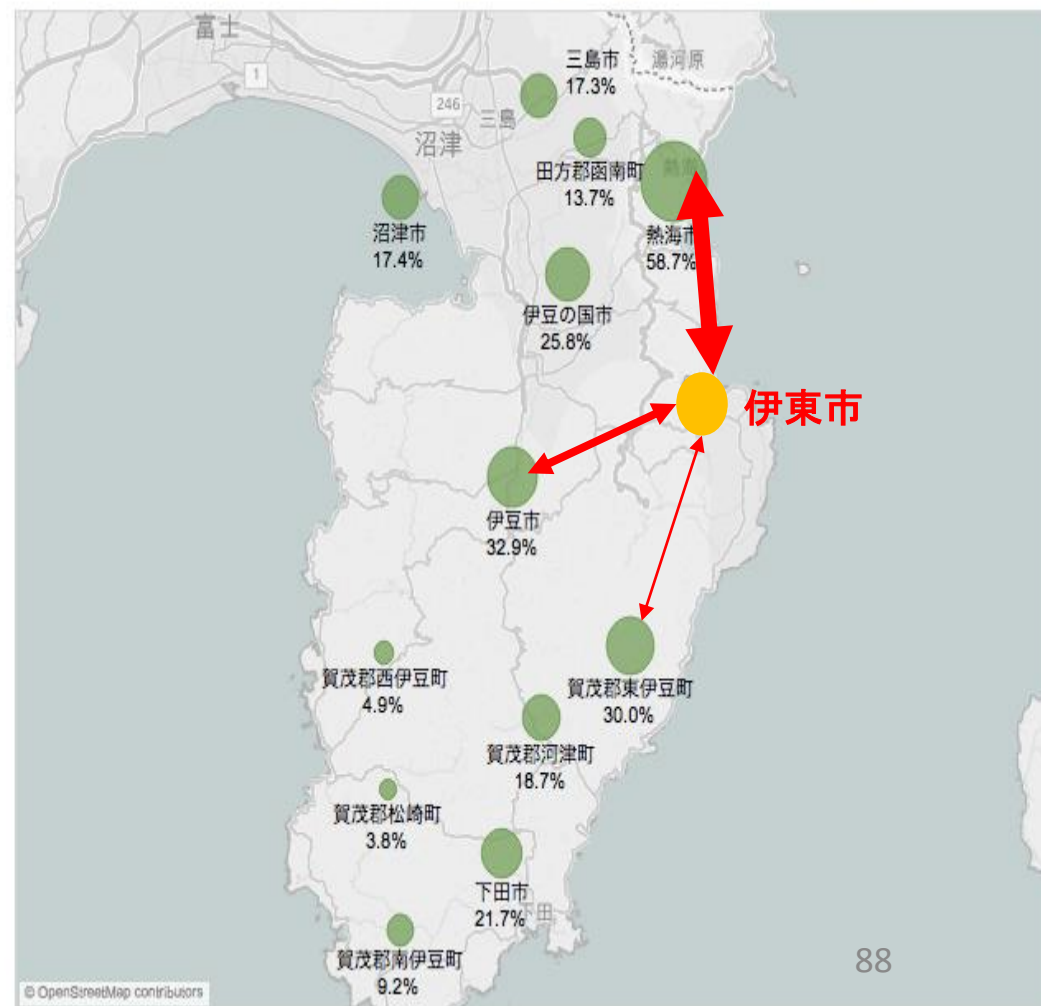
伊東市の周遊に関する相関性は熱海市が最も強かった。
次いで伊豆市、東伊豆町、伊豆の国市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 熱海市	17,589 回	58.7%
2	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 伊豆市	9,836 回	32.9%
3	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	8,991 回	30.0%
4	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	7,714 回	25.8%
5	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 下田市	6,512 回	21.7%
6	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	5,602 回	18.7%
7	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 沼津市	5,195 回	17.4%
8	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 三島市	5,181 回	17.3%
9	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	4,107 回	13.7%
10	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	2,764 回	9.2%
11	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,477 回	4.9%
12	静岡県 伊東市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,137 回	3.8%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 下田市

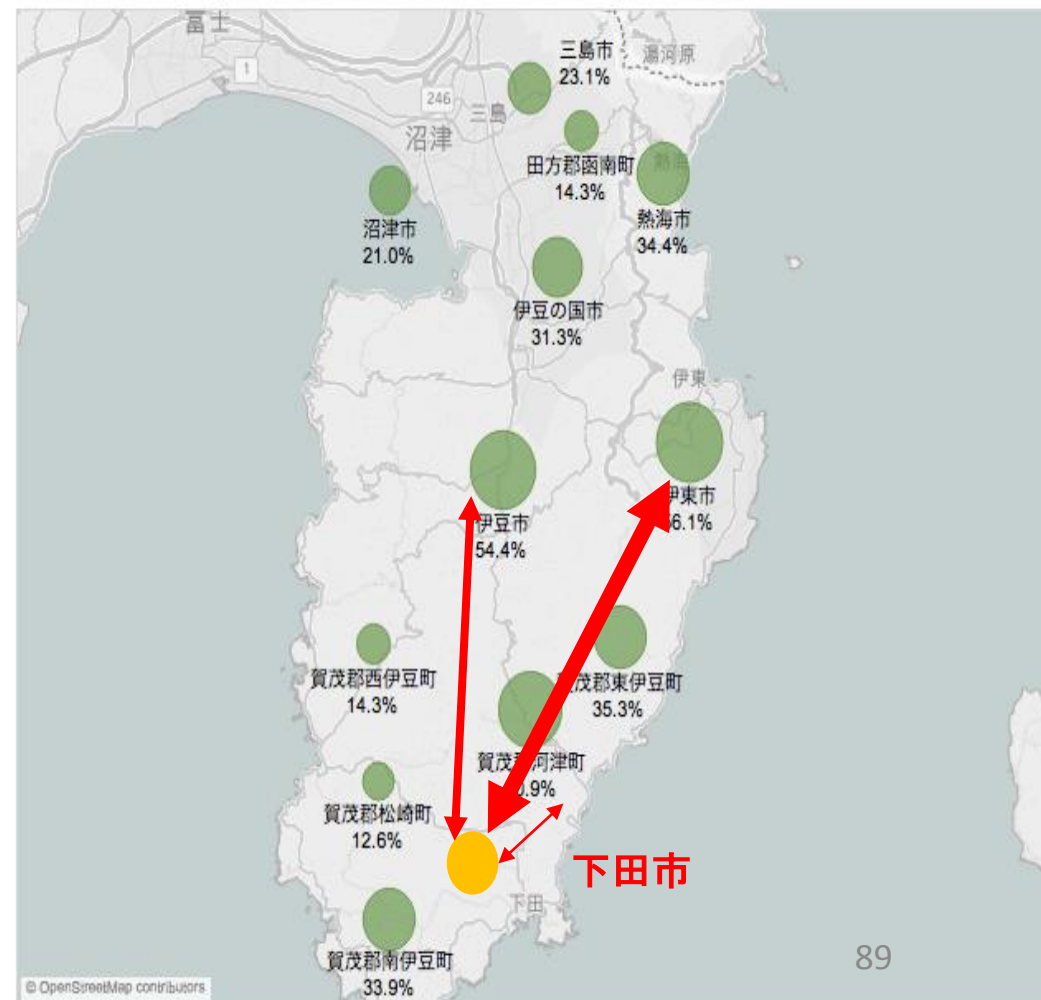
下田市の周遊に関する相関性は伊東市が最も強かった。
次いで伊豆市、河津町、東伊豆町となった。

周遊（市区町村）ランキング

	訪問回数	割合
1 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 伊東市	6,512 回	56.1%
2 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 伊豆市	6,310 回	54.4%
3 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	5,907 回	50.9%
4 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	4,102 回	35.3%
5 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 熱海市	3,996 回	34.4%
6 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	3,936 回	33.9%
7 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	3,631 回	31.3%
8 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 三島市	2,680 回	23.1%
9 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 沼津市	2,441 回	21.0%
10 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,655 回	14.3%
静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	1,655 回	14.3%
12 静岡県 下田市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,457 回	12.6%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



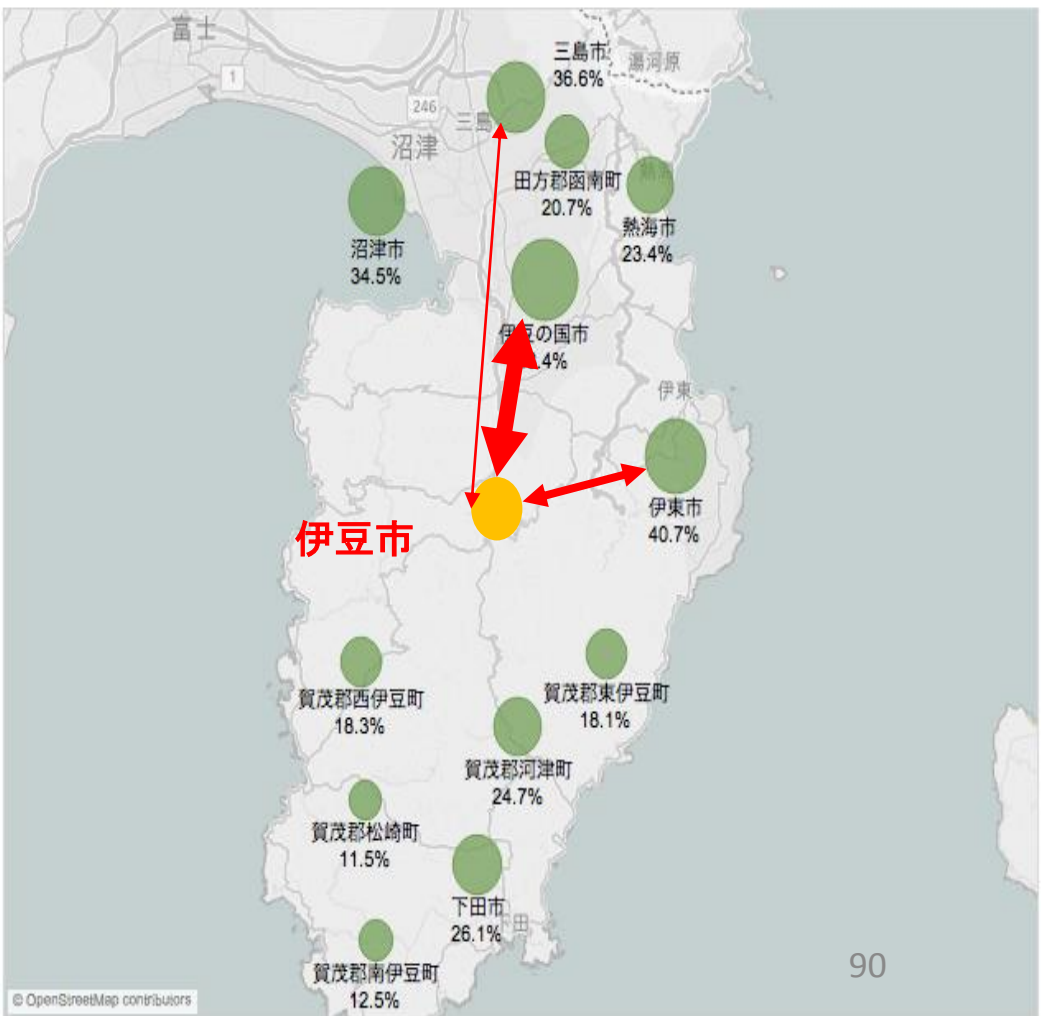
周遊に関する分析 伊豆市

伊豆市の周遊に関する相関性は伊豆の国市が最も強かった。
次いで伊東市、三島市、沼津市となった。

周遊（市区町村）ランキング

	訪問回数	割合
1 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	11,713 回	48.4%
2 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 伊東市	9,836 回	40.7%
3 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 三島市	8,847 回	36.6%
4 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 沼津市	8,353 回	34.5%
5 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 下田市	6,310 回	26.1%
6 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	5,971 回	24.7%
7 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 熱海市	5,670 回	23.4%
8 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	5,002 回	20.7%
9 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	4,418 回	18.3%
10 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	4,374 回	18.1%
11 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	3,033 回	12.5%
12 静岡県 伊豆市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	2,780 回	11.5%

周遊地図（市区町村） 目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 伊豆の国市

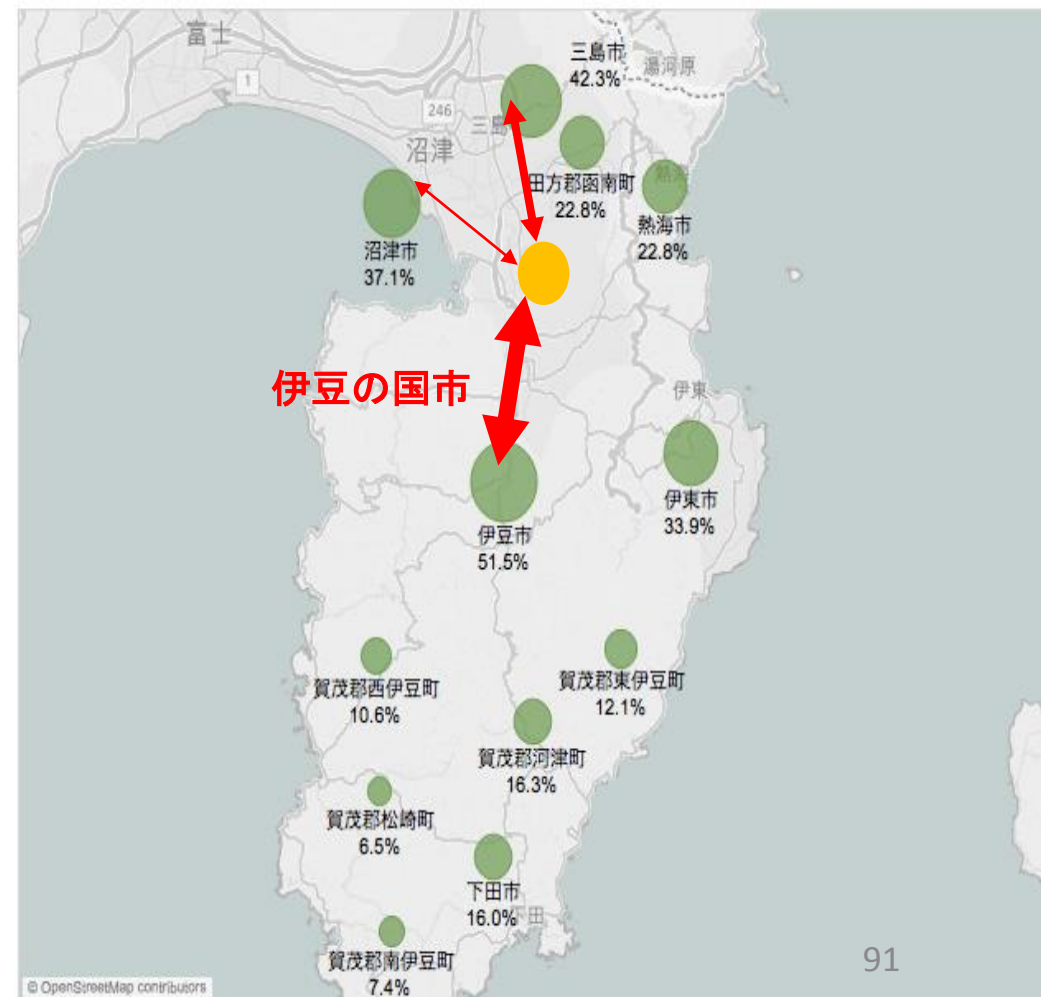
伊豆の国市の周遊に関する相関性は伊豆市が最も強かった。
次いで三島市、沼津市、伊東市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 伊豆市	11,713 回	51.5%
2	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 三島市	9,628 回	42.3%
3	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 沼津市	8,439 回	37.1%
4	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 伊東市	7,714 回	33.9%
5	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	5,193 回	22.8%
6	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 熱海市	5,191 回	22.8%
7	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	3,710 回	16.3%
8	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 下田市	3,631 回	16.0%
9	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	2,747 回	12.1%
10	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	2,405 回	10.6%
11	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,684 回	7.4%
12	静岡県 伊豆の国市 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,485 回	6.5%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 東伊豆町

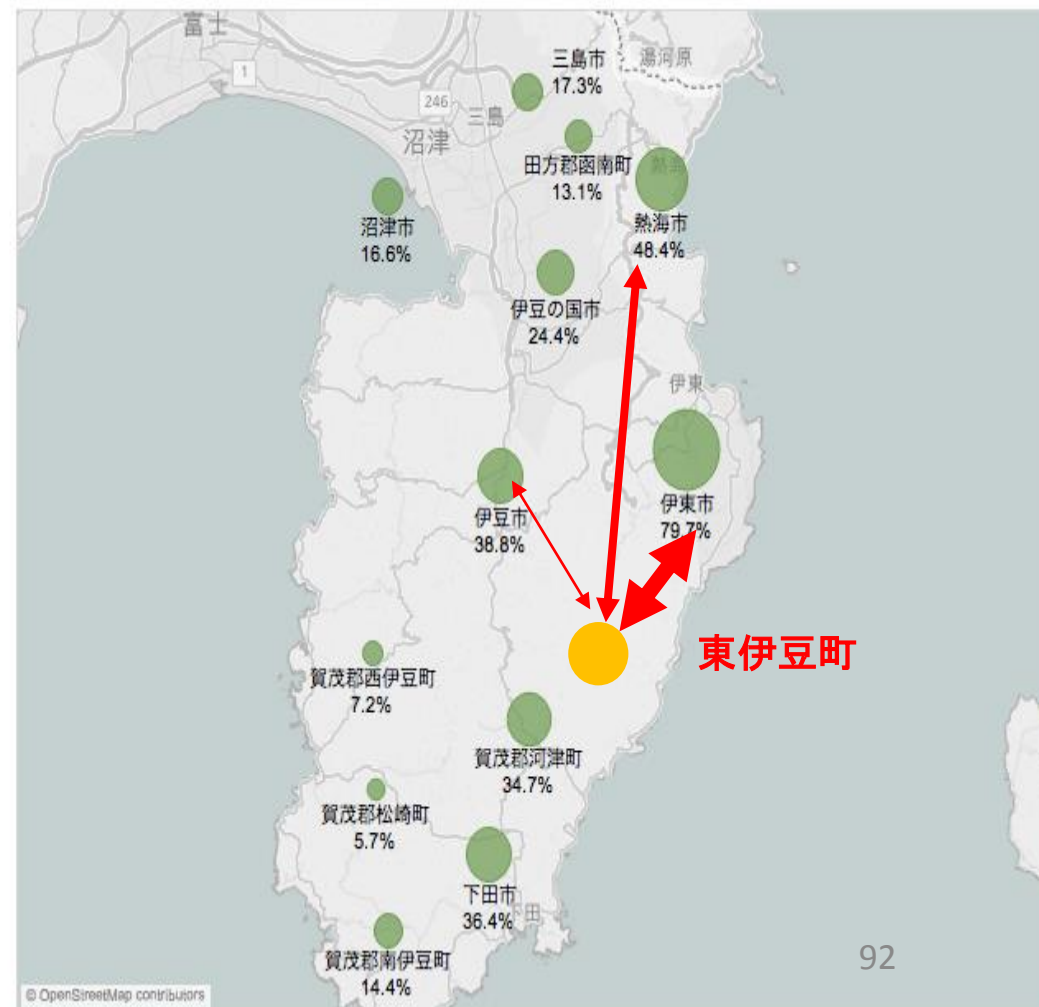
東伊豆町の周遊に関する相関性は伊東市が最も強かった。
次いで熱海市、伊豆市、下田市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 伊東市	8,991 回	79.7%
2	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 熱海市	5,456 回	48.4%
3	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆市	4,374 回	38.8%
4	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 下田市	4,102 回	36.4%
5	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	3,918 回	34.7%
6	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	2,747 回	24.4%
7	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 三島市	1,954 回	17.3%
8	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 沼津市	1,871 回	16.6%
9	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,628 回	14.4%
10	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	1,476 回	13.1%
11	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	817 回	7.2%
12	静岡県 賀茂郡東伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	640 回	5.7%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 河津町

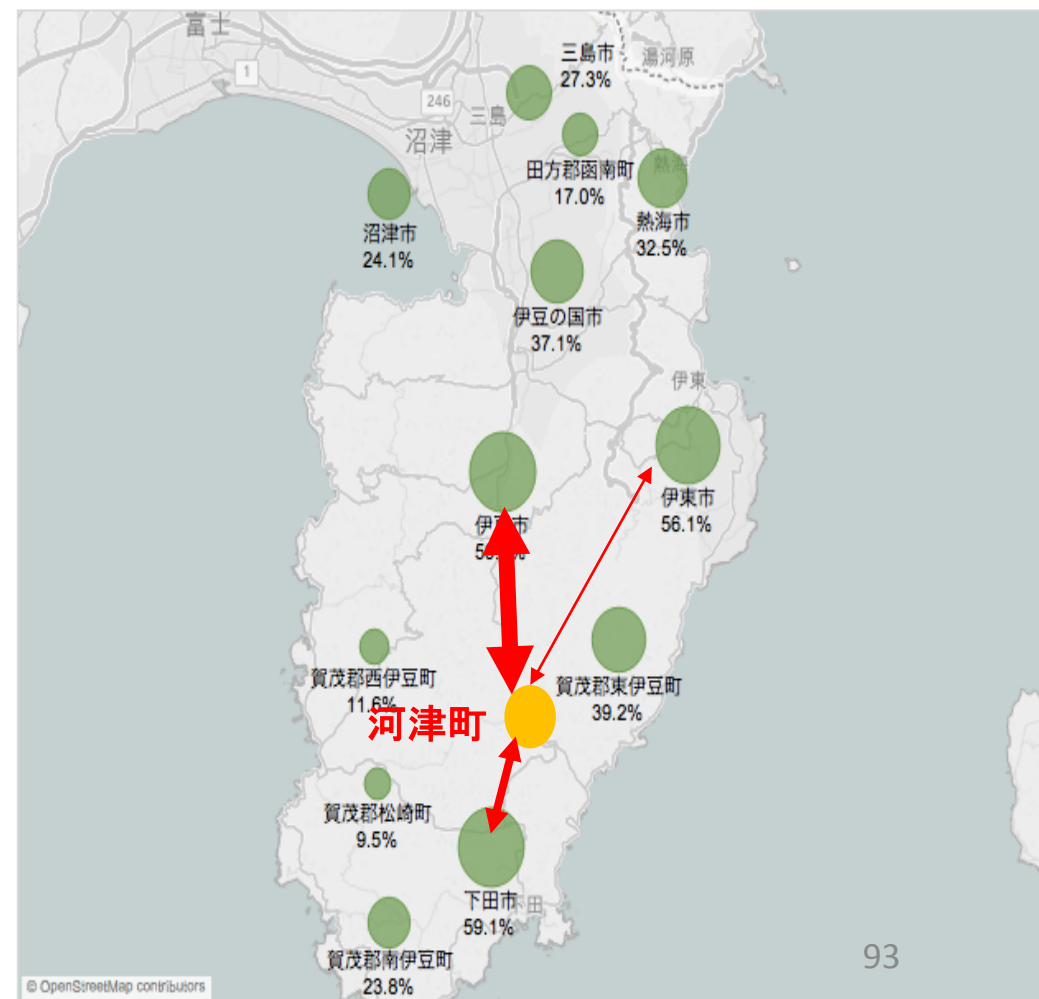
河津町の周遊に関する相関性は伊豆市が最も強かった。
次いで下田市、伊東市、東伊豆町となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 伊豆市	5,971 回	59.8%
2	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 下田市	5,907 回	59.1%
3	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 伊東市	5,602 回	56.1%
4	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	3,918 回	39.2%
5	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	3,710 回	37.1%
6	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 熱海市	3,249 回	32.5%
7	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 三島市	2,730 回	27.3%
8	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 沼津市	2,404 回	24.1%
9	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	2,373 回	23.8%
10	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	1,694 回	17.0%
11	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,157 回	11.6%
12	静岡県 賀茂郡河津町 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	947 回	9.5%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 南伊豆町

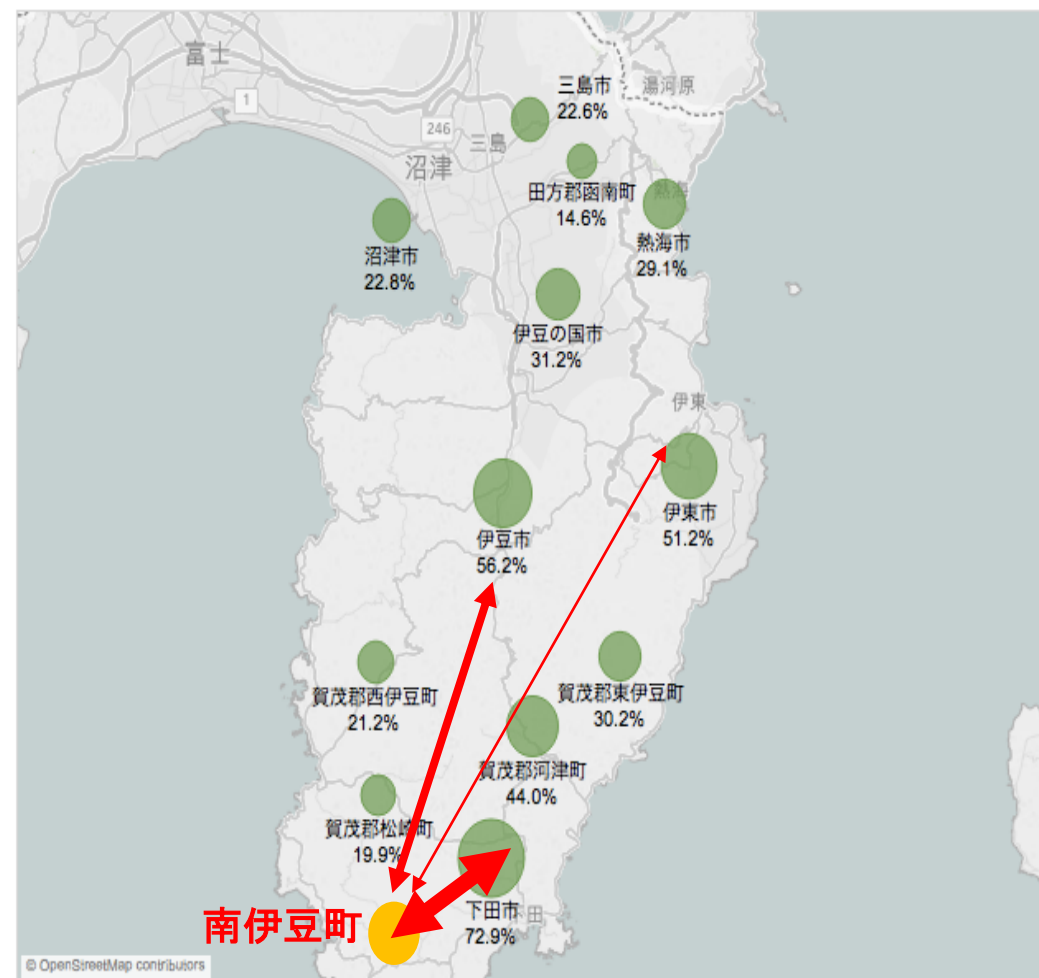
南伊豆町の周遊に関する相関性は下田市が最も強かった。
次いで伊豆市、伊東市、河津町となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 下田市	3,936 回	72.9%
2	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆市	3,033 回	56.2%
3	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 伊東市	2,764 回	51.2%
4	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	2,373 回	44.0%
5	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	1,684 回	31.2%
6	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	1,628 回	30.2%
7	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 熱海市	1,569 回	29.1%
8	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 沼津市	1,230 回	22.8%
9	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 三島市	1,222 回	22.6%
10	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,147 回	21.2%
11	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	1,074 回	19.9%
12	静岡県 賀茂郡南伊豆町 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	787 回	14.6%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



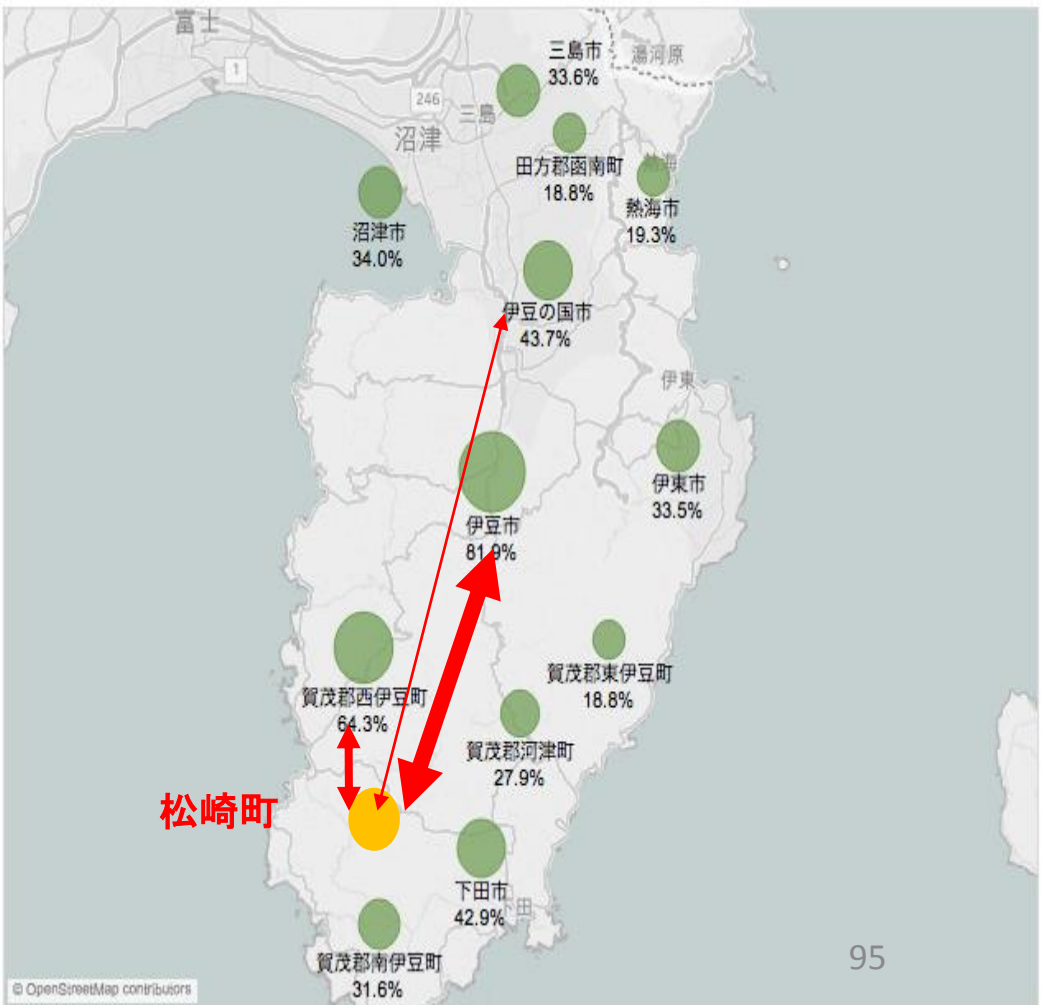
周遊に関する分析 松崎町

松崎町の周遊に関する相関性は伊豆市が最も強かった。
次いで西伊豆町、伊豆の国市、下田市となった。

周遊（市区町村）ランキング

	訪問回数	割合
1 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 伊豆市	2,780 回	81.9%
2 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	2,183 回	64.3%
3 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	1,485 回	43.7%
4 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 下田市	1,457 回	42.9%
5 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 沼津市	1,153 回	34.0%
6 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 三島市	1,141 回	33.6%
7 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 伊東市	1,137 回	33.5%
8 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,074 回	31.6%
9 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	947 回	27.9%
10 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 熱海市	657 回	19.3%
11 静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	640 回	18.8%
静岡県 賀茂郡松崎町 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	640 回	18.8%

周遊地図（市区町村） 目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 西伊豆町

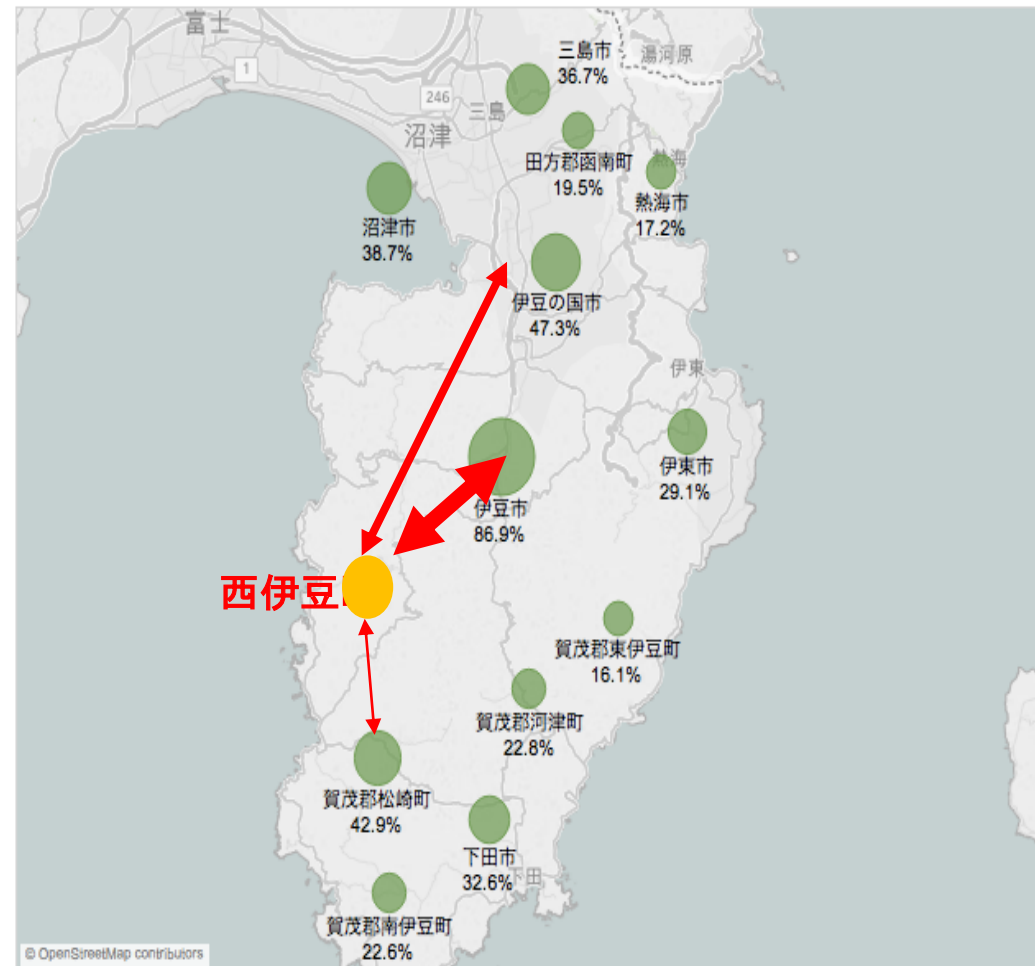
西伊豆町の周遊に関する相関性は伊豆市が最も強かった。
次いで伊豆の国町、松崎町、沼津市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆市	4,418 回	86.9%
2	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	2,405 回	47.3%
3	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	2,183 回	42.9%
4	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 沼津市	1,966 回	38.7%
5	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 三島市	1,865 回	36.7%
6	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 下田市	1,655 回	32.6%
7	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 伊東市	1,477 回	29.1%
8	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	1,157 回	22.8%
9	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,147 回	22.6%
10	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 田方郡函南町	992 回	19.5%
11	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 熱海市	873 回	17.2%
12	静岡県 賀茂郡西伊豆町 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	817 回	16.1%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



周遊に関する分析 函南町

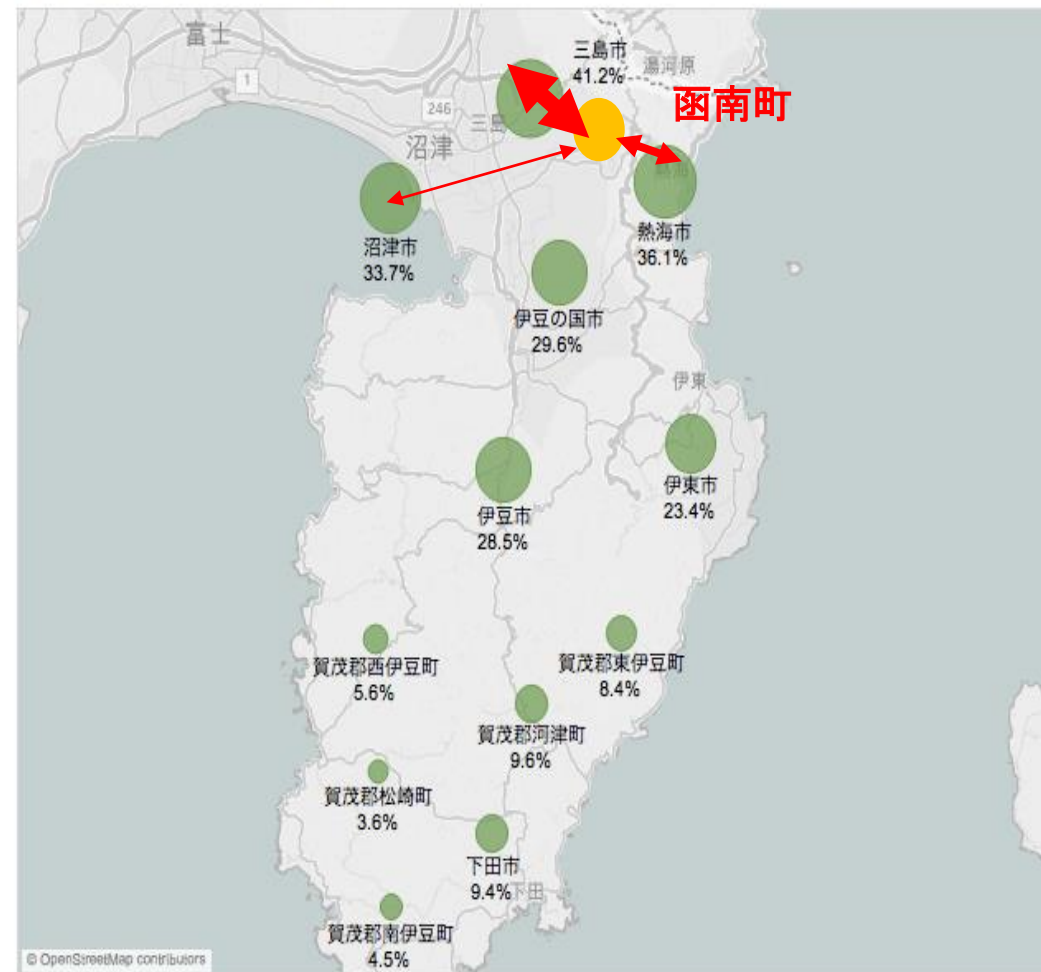
函南町の周遊に関する相関性は三島市が最も強かった。
次いで熱海市、沼津市、伊豆の国市となった。

周遊（市区町村）ランキング

		訪問回数	割合
1	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 三島市	7,239 回	41.2%
2	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 熱海市	6,343 回	36.1%
3	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 沼津市	5,918 回	33.7%
4	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 伊豆の国市	5,193 回	29.6%
5	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 伊豆市	5,002 回	28.5%
6	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 伊東市	4,107 回	23.4%
7	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 賀茂郡河津町	1,694 回	9.6%
8	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 下田市	1,655 回	9.4%
9	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 賀茂郡東伊豆町	1,476 回	8.4%
10	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 賀茂郡西伊豆町	992 回	5.6%
11	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 賀茂郡南伊豆町	787 回	4.5%
12	静岡県 田方郡函南町 ⇄ 静岡県 賀茂郡松崎町	640 回	3.6%

周遊地図（市区町村）

目的地（市区町村）への旅行時に訪れている周遊地（市区町村）の割合



＜伊豆半島周遊のハブとなる伊豆市＞

伊豆市は、松崎町、西伊豆町、河津町、南伊豆町、下田市といった南部エリアや西伊豆エリアの市町からの高い周遊性を実現し、伊豆半島内周遊におけるハブ機能を有している。

一方で、伊豆市は北部エリアの沼津市や三島市との周遊性も高いことから、伊豆半島での滞在時間を延ばす為には、伊豆の入り口であるこの2市との連携が必要となる。

＜西伊豆エリアと伊豆東海岸エリアの連携＞

一方、伊東市も南伊豆、東伊豆の各町と高い周遊性を実現している。

今後の伊豆半島全体の周遊性向上の為には、伊東市と伊豆市の連携が不可欠である。

現段階でも伊東市来訪の32.9%は伊豆市へ、伊豆市来訪の40.7%は伊東市へ来訪しており、この連携を更に強化することで、西伊豆エリアと伊豆東海岸エリアの周遊性が高まり、滞在時間延長が実現する。

観光地の相関関係に 関する分析

指定40観光スポットの重複利用状況

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島を訪れた国内に居住する観光客を対象に、あらかじめ指定した観光スポット間をどのように周遊したのかを分析します。1つの観光スポットを軸に分析し他のどの観光スポットにどのぐらいの割合で訪れたか分析します。

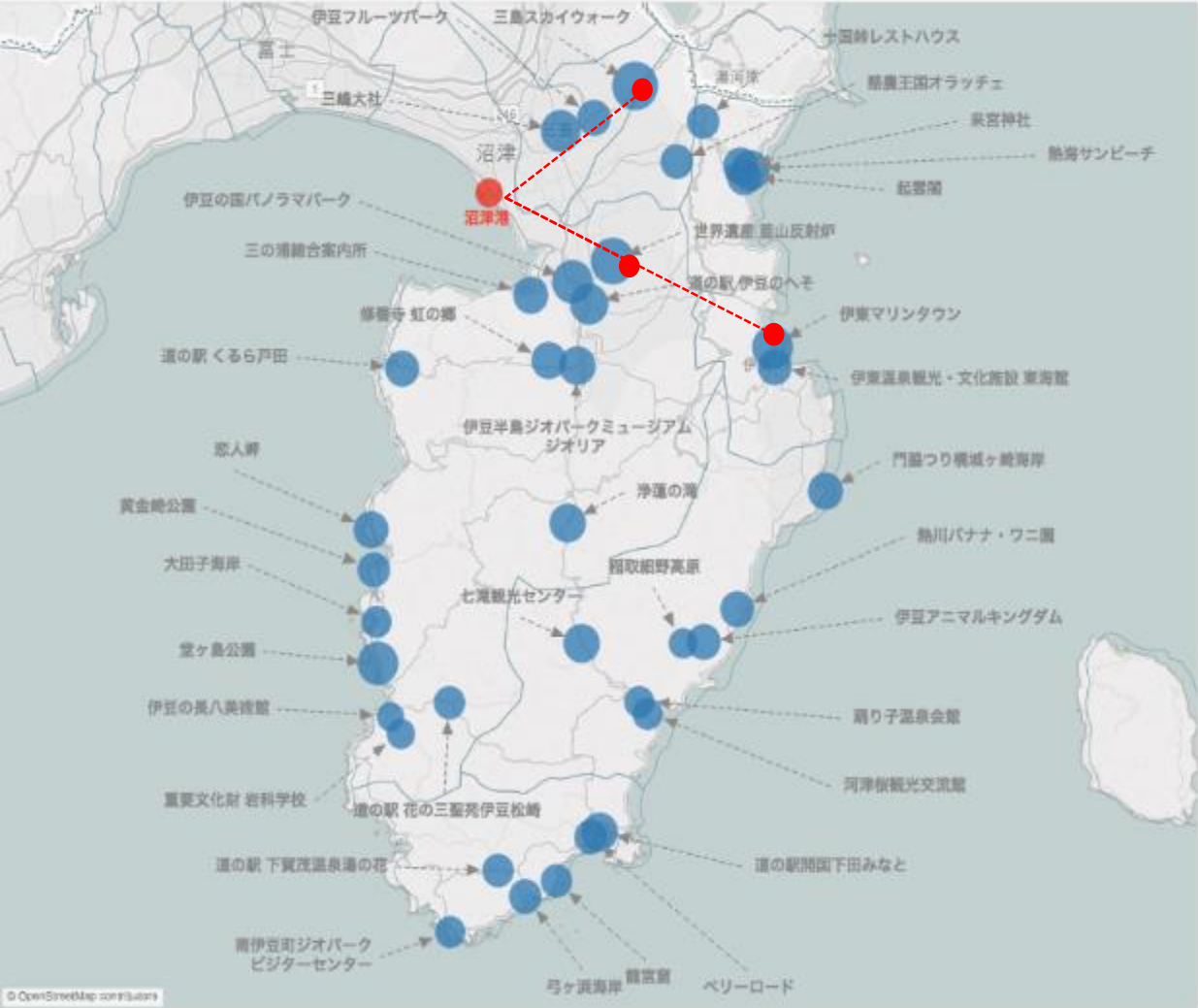
※2地点以上のスポットを訪れているユーザーのみを抽出し集計しています

※2地点以上訪れたスポットは累計して集計しています

観光地の相関関係に関する分析 起点：沼津港

沼津港は三島スカイウォークと最も相関関係が強く、周遊割合は約19%。
次いで韮山反射炉が約15%、道の駅伊東マリンタウンが約11%となっている。

周遊地域（地図）



起点	三. 順位	周遊先	
1_沼津港	1	三島スカイウォーク（三島市）	18.65%
	2	韮山反射炉（伊豆の国市）	14.76%
	3	伊東マリンタウン（伊東市）	11.01%
	4	堂ヶ島公園（西伊豆町）	10.06%
	5	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	9.54%
	6	三嶋大社（三島市）	8.37%
	7	熱海サンビーチ（熱海市）	6.68%
	8	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	5.87%
	9	ジオリア（伊豆市）	4.92%
	10	道の駅開国下田みなと（下田市）	4.70%
	11	七滝観光センター（河津町）	4.41%
		浄蓮の滝（伊豆市）	4.41%
	13	来宮神社（熱海市）	3.67%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	3.67%
	15	三の浦総合案内所（沼津市）	3.52%
	16	修善寺 虹の郷（伊豆市）	3.38%
	17	恋人岬（伊豆市）	3.30%
	18	道の駅 くるら戸田（沼津市）	2.94%
	19	伊豆フルーツパーク（三島市）	2.79%
	20	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.72%
	21	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.42%
	22	東海館（伊東市）	2.13%
	23	起雲閣（熱海市）	2.06%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.76%
	25	ベリーロード（下田市）	1.69%
	26	酪農王国オラッチェ（函南町）	1.62%
	27	黄金崎公園（西伊豆町）	1.47%
	28	十国峠レストハウス（函南町）	1.40%
	29	龍宮窟（下田市）	1.03%
	30	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.81%
	31	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.66%
	32	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.59%
	33	踊り子温泉会館（河津町）	0.51%
	34	河津桜観光交流館（河津町）	0.44%
	35	大田子海岸（西伊豆町）	0.37%
	36	稲取細野高原（東伊豆町）	0.15%
		岩科学校（松崎町）	0.15%
	38	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.07%

観光地の相関関係に関する分析 起点：三の浦総合案内所

三の浦総合案内所は沼津港と最も相関関係が強く、周遊割合は約82%。
次いで道の駅 くるら戸田、伊豆の国パノラマパークが約5%となっている。

周遊地域（地図）

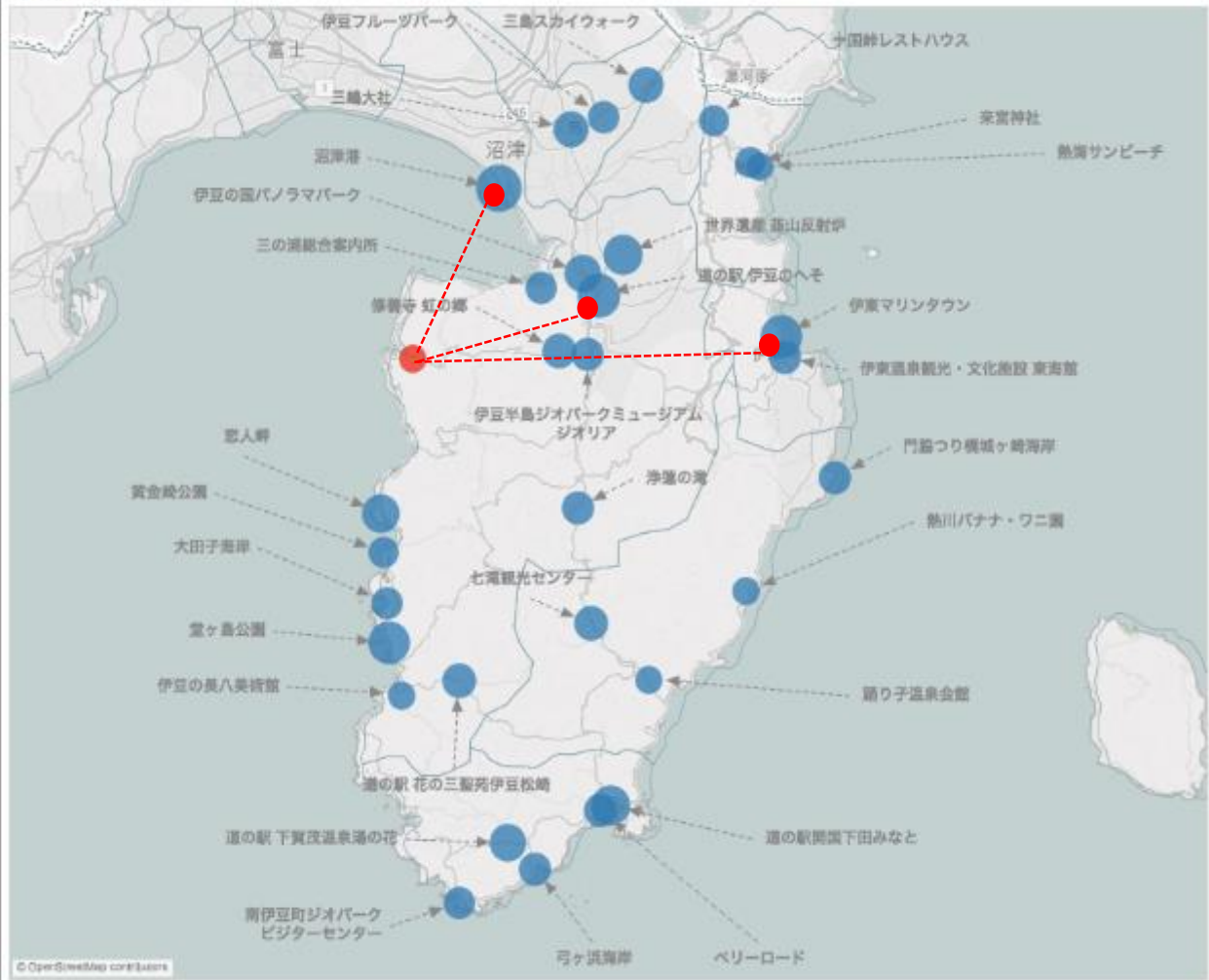


起点	二 順位	周遊先	
14_三の浦総合案内所	1	沼津港（沼津市）	81.36%
	2	道の駅 くるら戸田（沼津市）	5.08%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	5.08%
	4	堂ヶ島公園（西伊豆町）	3.39%
	5	三島スカイウォーク（三島市）	1.69%
		恋人岬（伊豆市）	1.69%
		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.69%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.69%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	1.69%
		ペリーロード（下田市）	1.69%
		七滝観光センター（河津町）	1.69%
		伊東マリンタウン（伊東市）	1.69%
		道の駅開国下田みなと（下田市）	1.69%
		蓑山反射炉（伊豆の国市）	1.69%

観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅くるら戸田

道の駅くるら戸田は沼津港と最も相関関係が強く、周遊割合は約24%。
次いで道の駅伊豆のへそが約18%、道の駅伊東マリンタウンが約15%となっている。

周遊地域（地図）

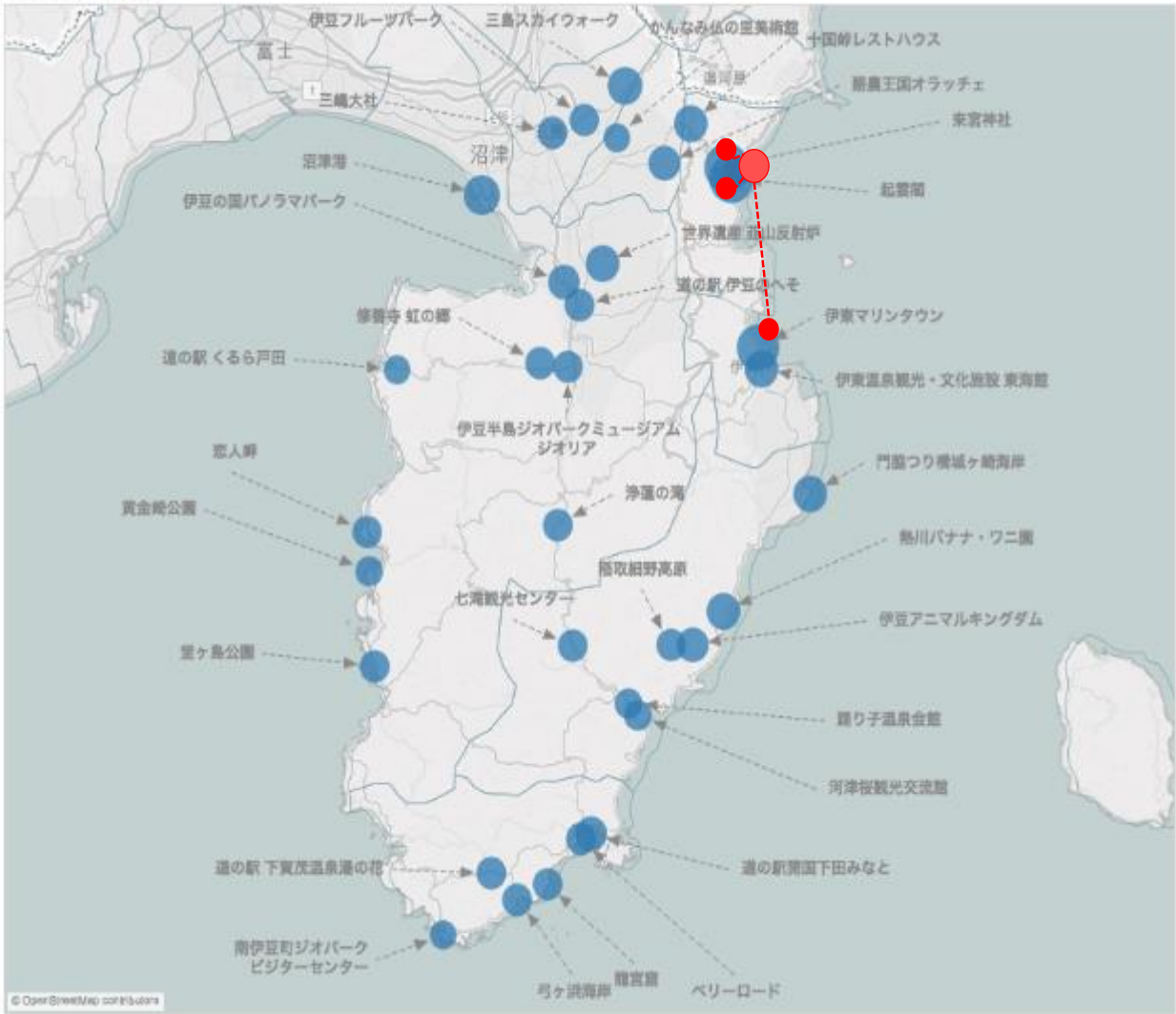


起点	ニ	順位	周遊先	
26 道の駅くるら戸田	1	1	沼津港（沼津市）	24.39%
	2	2	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	17.68%
	3	3	伊東マリンタウン（伊東市）	15.24%
	4	4	堂ヶ島公園（西伊豆町）	14.63%
	5	5	韭山反射炉（伊豆の国市）	11.59%
	6	6	道の駅関国下田みなと（下田市）	10.37%
	7	7	恋人岬（伊豆市）	7.93%
	8	8	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	7.32%
	9	9	道の駅 下賀茂温泉道の花（南伊豆町）	6.71%
	10	10	三島スカイウォーク（三島市）	5.49%
	11	11	三嶋大社（三島市）	4.88%
	12	12	修善寺 虹の郷（伊豆市）	4.27%
	13	13	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	3.66%
			七滝観光センター（河津町）	3.66%
	15	15	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	3.05%
			ジオリア（伊豆市）	3.05%
			ペリーロード（下田市）	3.05%
			浄蓮の滝（伊豆市）	3.05%
	19	19	東海館（伊東市）	2.44%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	2.44%
	21	21	三の浦総合案内所（沼津市）	1.83%
			伊豆フルーツパーク（三島市）	1.83%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.83%
			大田子海岸（西伊豆町）	1.83%
	25	25	来宮神社（熱海市）	1.22%
			黄金崎公園（西伊豆町）	1.22%
			十国峠レストハウス（函南町）	1.22%
	28	28	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.61%
			熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	0.61%
			踊り子温泉会館（河津町）	0.61%
			熱海サンビーチ（熱海市）	0.61%

観光地の相関関係に関する分析 起点：熱海サンビーチ

熱海サンビーチは来宮神社と最も相関関係が強く、周遊割合は約27%。
次いで起雲閣が約26%、道の駅伊東マリンタウンが約20%となっている。

周遊地域（地図）

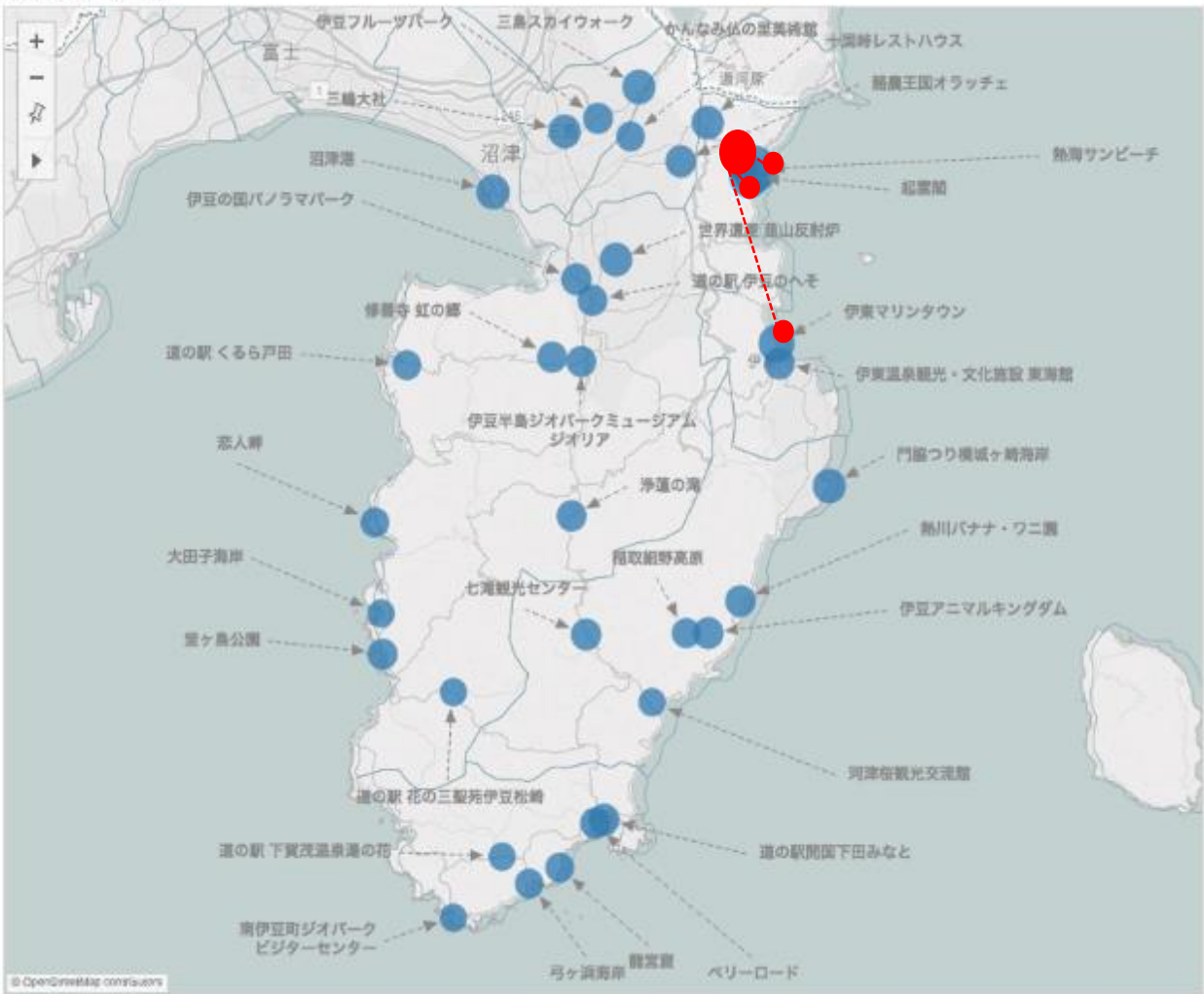


起点	ニ	順位	周遊先	
2 熱海サンビーチ	1		来宮神社（熱海市）	27.20%
	2		起雲閣（熱海市）	26.26%
	3		伊東マリンタウン（伊東市）	20.27%
	4		沼津港（沼津市）	7.78%
	5		三島スカイウォーク（三島市）	5.30%
	6		城ヶ崎海岸（伊東市）	4.11%
	7		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.85%
	8		十国峠レストハウス（函南町）	3.25%
	9		東海館（伊東市）	3.17%
	10		葦山反射炉（伊豆の国市）	2.99%
	11		道の駅開国下田みなと（下田市）	2.48%
	12		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	2.40%
	13		酪農王国オラッチェ（函南町）	2.22%
			伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.22%
	15		堂ヶ島公園（西伊豆町）	1.71%
	16		ベリロード（下田市）	1.63%
	17		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.54%
			三嶋大社（三島市）	1.54%
	19		浄蓮の滝（伊豆市）	1.37%
	20		七滝観光センター（河津町）	1.28%
	21		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.03%
	22		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.94%
			修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.94%
	24		ジオリア（伊豆市）	0.86%
			龍宮窟（下田市）	0.86%
	26		恋人岬（伊豆市）	0.77%
			伊豆フルーツパーク（三島市）	0.77%
	28		稲取細野高原（東伊豆町）	0.68%
	29		河津桜観光交流館（河津町）	0.26%
	30		踊り子温泉会館（河津町）	0.17%
			黄金崎公園（西伊豆町）	0.17%
	32		道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.09%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.09%
			かなみ仏の里美術館（函南町）	0.09%

観光地の相関関係に関する分析 起点：来宮神社

来宮神社は熱海サンビーチと最も相関関係が強く、周遊割合は約45%。
次いで起雲閣が約22%、道の駅伊東マリンタウンが約10%となっている。

周遊地域（地図）

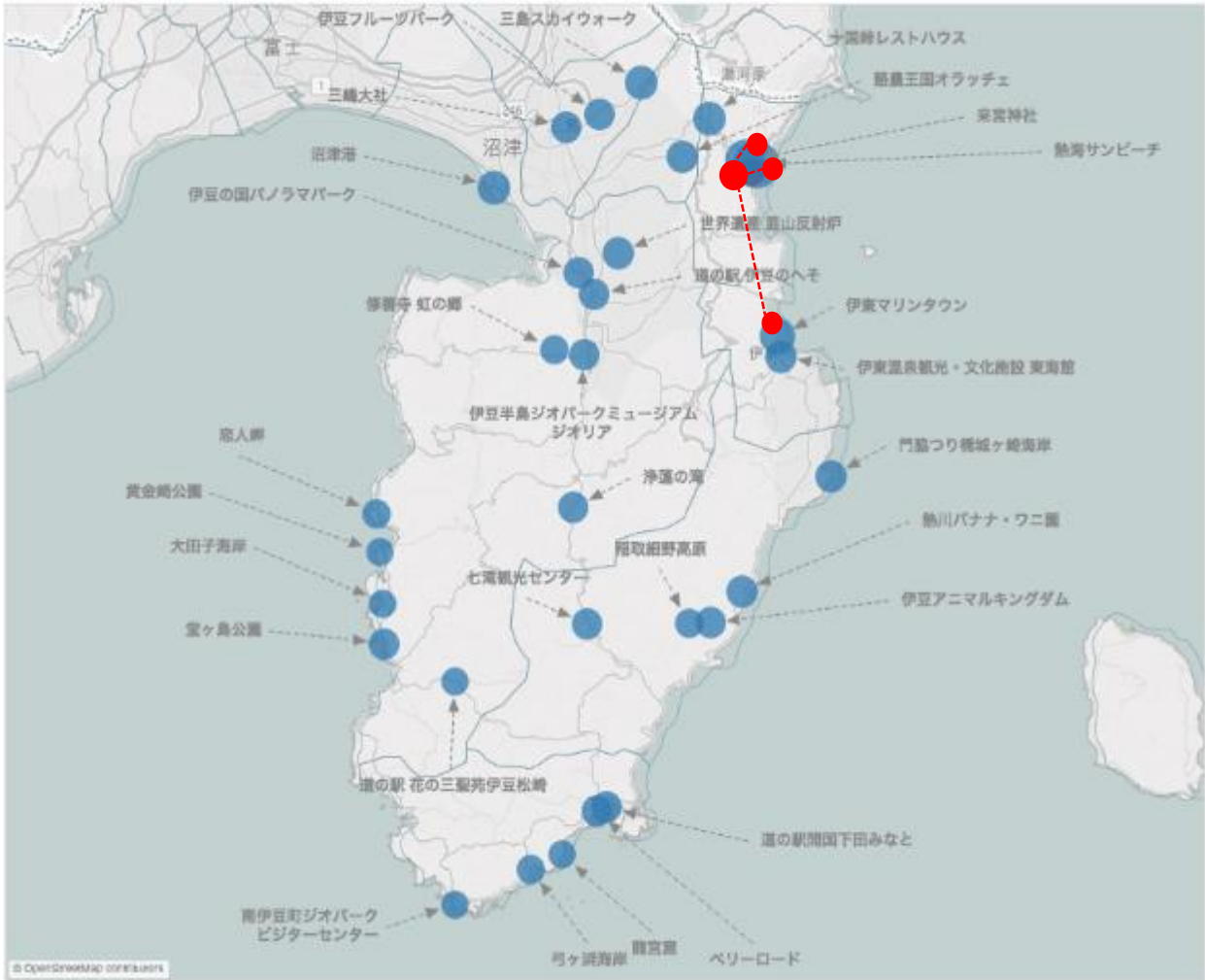


起点	順位	周遊先	
15_来宮神社	1	熱海サンビーチ（熱海市）	44.79%
	2	起雲閣（熱海市）	22.11%
	3	伊東マリンタウン（伊東市）	10.28%
	4	沼津港（沼津市）	7.04%
	5	三島スカイウォーク（三島市）	6.06%
	6	城ヶ崎海岸（伊東市）	4.79%
	7	三嶋大社（三島市）	4.23%
	8	葦山反射炉（伊豆の国市）	3.66%
	9	十国峠レストハウス（函南町）	3.52%
	10	東海館（伊東市）	2.82%
	11	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.54%
		道の駅開国下田みなと（下田市）	2.54%
	13	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	2.39%
	14	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.11%
	15	七滝観光センター（河津町）	1.55%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.55%
	17	堂ヶ島公園（西伊豆町）	1.41%
	18	ジオリア（伊豆市）	1.27%
	19	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.13%
	20	ペリーロード（下田市）	0.99%
		浄蓮の滝（伊豆市）	0.99%
	22	修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.85%
	23	伊豆フルーツパーク（三島市）	0.70%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.42%
		恋人岬（伊豆市）	0.42%
		龍宮窟（下田市）	0.42%
	27	道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.28%
		稲取絶野高原（東伊豆町）	0.28%
		かなみ仏の里美術館（函南町）	0.28%
	30	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.14%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.14%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.14%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.14%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.14%

観光地の相関関係に関する分析 起点：起雲閣

起雲閣は熱海サンビーチと最も相関関係が強く、周遊割合は約52%。
次いで来宮神社が約27%、道の駅伊東マリンタウンが約10%となっている。

周遊地域（地図）

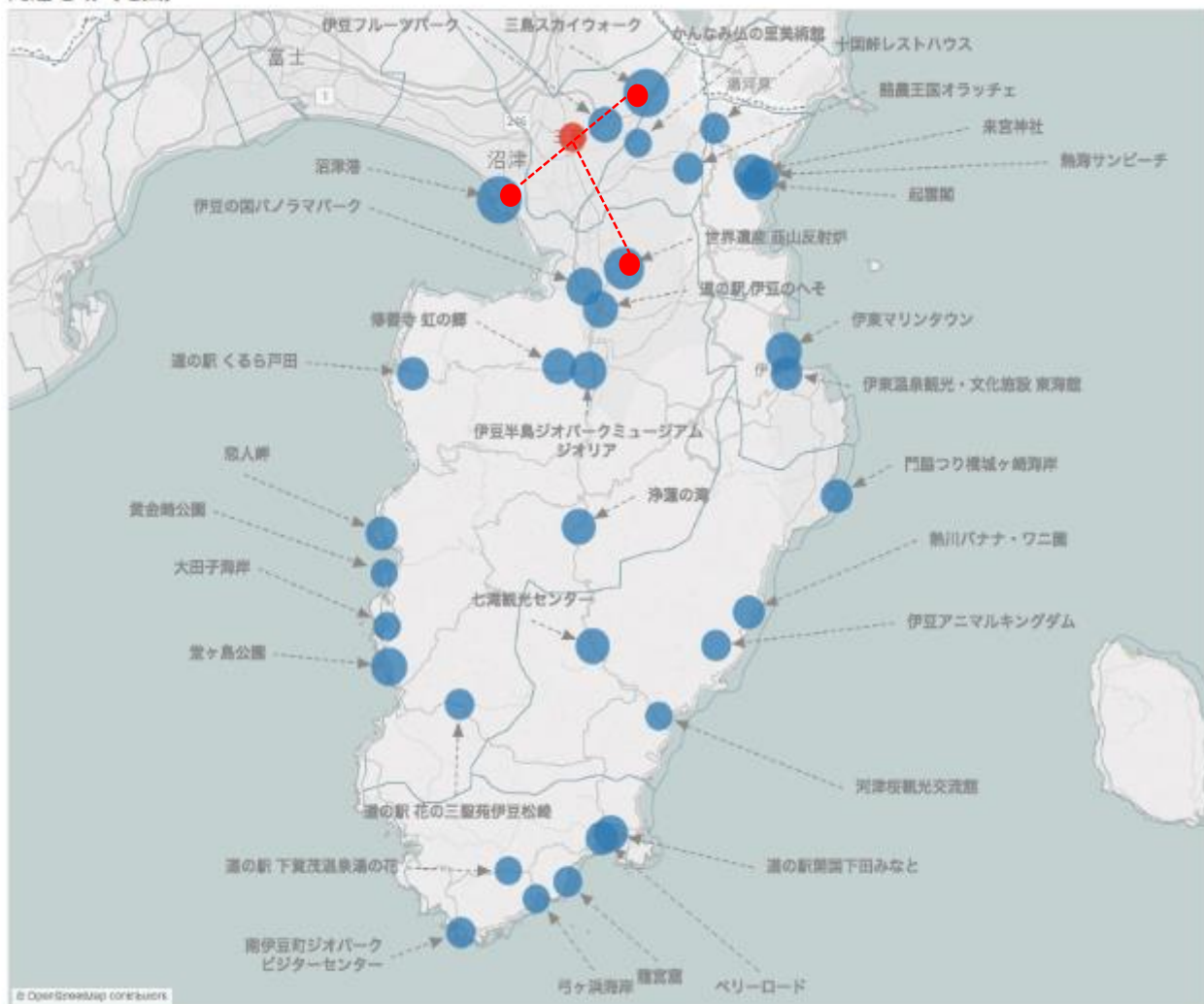


起点	ニ	順位	周遊先	
27_起雲閣	1		熱海サンビーチ（熱海市）	52.12%
	2		来宮神社（熱海市）	26.66%
	3		伊東マリンタウン（伊東市）	10.19%
	4		三島スカイウォーク（三島市）	5.09%
	5		沼津港（沼津市）	4.75%
	6		十国峠レストハウス（函南町）	4.24%
	7		酪農王国オラッチェ（函南町）	2.72%
	8		東海館（伊東市）	2.55%
	9		葦山反射炉（伊豆の国市）	2.38%
	10		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.04%
	11		城ヶ崎海岸（伊東市）	1.87%
	12		道の駅開国下田みなと（下田市）	1.70%
	13		堂ヶ島公園（西伊豆町）	1.53%
			道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.53%
	15		三嶋大社（三島市）	1.36%
			浄蓮の滝（伊豆市）	1.36%
			伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.36%
	18		ジオリア（伊豆市）	1.02%
			ベリーロード（下田市）	1.02%
			七滝観光センター（河津町）	1.02%
	21		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	0.85%
	22		伊豆フルーツパーク（三島市）	0.68%
	23		修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.51%
	24		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.34%
			恋人岬（伊豆市）	0.34%
			稲取細野高原（東伊豆町）	0.34%
	27		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.17%
			黄金崎公園（西伊豆町）	0.17%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.17%
			大田子海岸（西伊豆町）	0.17%
			龍宮窟（下田市）	0.17%

観光地の相関関係に関する分析 起点：三嶋大社

三嶋大社は三島スカイウォークと最も相関関係が強く、周遊割合は約32%。次いで沼津港は約28%、韮山反射炉が約16%となっている。

周遊地域（地図）

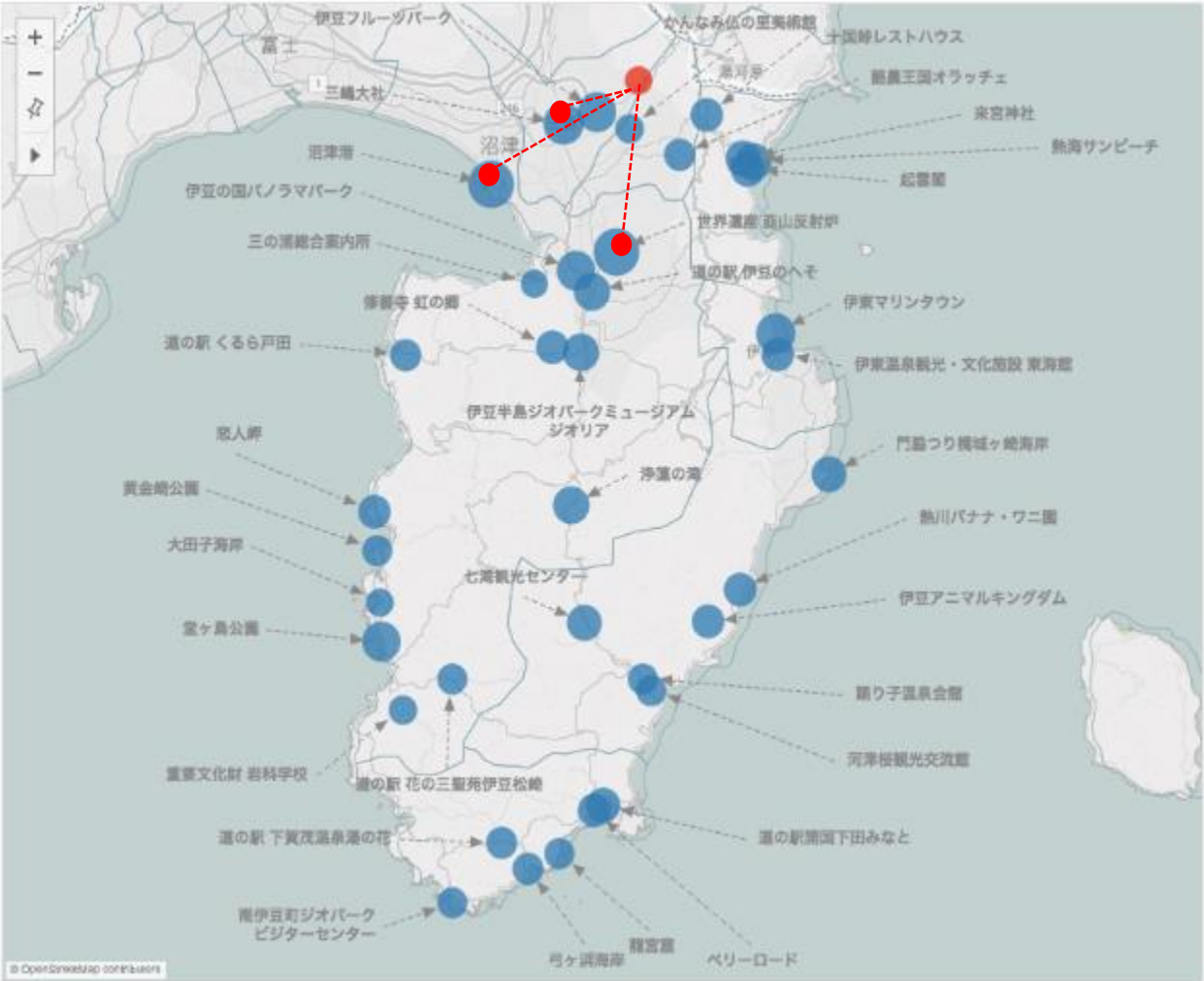


起点	二	順位	周遊先	
3_三嶋大社	1		三島スカイウォーク（三島市）	31.76%
	2		沼津港（沼津市）	28.29%
	3		蜷山反射炉（伊豆の国市）	15.88%
	4		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	8.44%
	5		ジオリア（伊豆市）	7.94%
	6		堂ヶ島公園（西伊豆町）	7.44%
			来宮神社（熱海市）	7.44%
			伊東マリンタウン（伊東市）	7.44%
	9		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	5.71%
	10		浄蓮の滝（伊豆市）	4.96%
	11		伊豆フルーツパーク（三島市）	4.47%
			熱海サンビーチ（熱海市）	4.47%
			七滝観光センター（河津町）	4.47%
	14		修善寺 虹の郷（伊豆市）	4.22%
			道の駅開国下田みなと（下田市）	3.72%
	16		ペリーロード（下田市）	2.48%
	17		恋人岬（伊豆市）	2.23%
	18		東海館（伊東市）	1.99%
			道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.99%
			起雲閣（熱海市）	1.99%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	1.99%
	22		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.49%
	23		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	0.99%
	24		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.74%
			十国峠レストハウス（函南町）	0.74%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.74%
			酪農王国オラッチェ（函南町）	0.74%
	28		龍宮窟（下田市）	0.50%
	29		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.25%
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.25%	
		黄金崎公園（西伊豆町）	0.25%	
		大田子海岸（西伊豆町）	0.25%	
		かなみ仏の里美術館（函南町）	0.25%	
		河津桜観光交流館（河津町）	0.25%	

観光地の相関関係に関する分析 起点：三島スカイウォーク

三島スカイウォークは沼津港、韮山反射炉と最も相関関係が強く、周遊割合は約24%。次いで三嶋大社が約12%になっている。

周遊地域（地図）

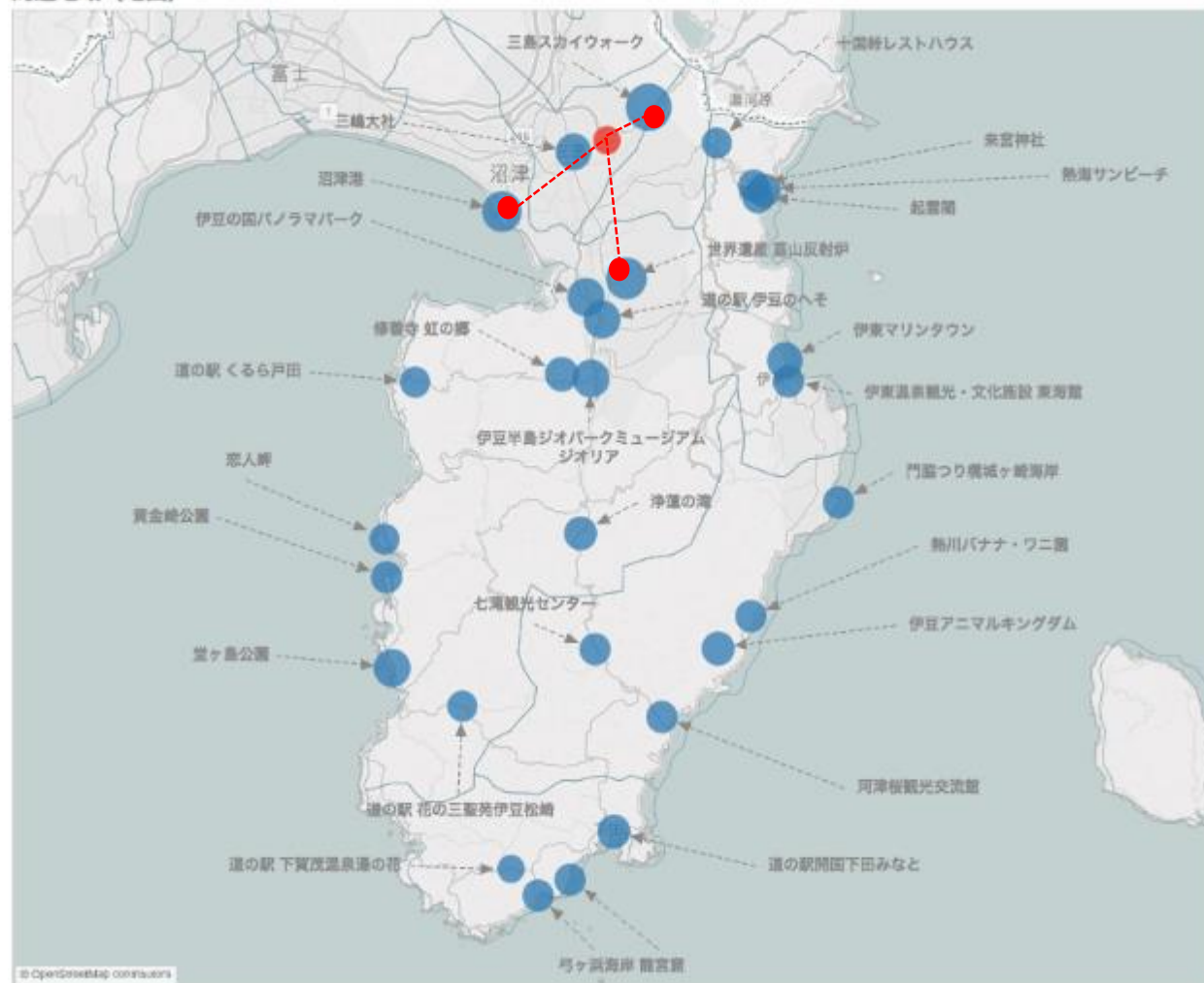


起点	順位	周遊先	割合
16_三島スカイウォーク	1	沼津港（沼津市）	24.12%
	2	韮山反射炉（伊豆の国市）	24.03%
	3	三嶋大社（三島市）	12.16%
	4	伊東マリンタウン（伊東市）	10.07%
	5	堂ヶ島公園（西伊豆町）	9.02%
	6	伊豆フルーツパーク（三島市）	8.26%
	7	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	7.69%
	8	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	5.98%
	9	浄蓮の滝（伊豆市）	5.98%
	10	熱海サンビーチ（熱海市）	5.89%
	11	ジオリア（伊豆市）	5.60%
	12	七滝観光センター（河津町）	4.75%
	13	城ヶ崎海岸（伊東市）	4.46%
	14	来宮神社（熱海市）	4.08%
	15	道の駅開国下田みなと（下田市）	3.42%
	16	起雲閣（熱海市）	2.85%
	17	修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.56%
	18	東海館（伊東市）	2.47%
	19	十国峠レストハウス（函南町）	2.37%
	20	ペリーロード（下田市）	2.28%
	21	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.28%
	22	恋人岬（伊豆市）	2.09%
	23	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.71%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.23%
	25	酪農王国オラッチェ（函南町）	1.14%
	26	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.85%
	27	道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.85%
	28	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.76%
	29	龍宮窟（下田市）	0.66%
	30	河津桜観光交流館（河津町）	0.66%
	31	黄金崎公園（西伊豆町）	0.47%
	32	踊り子温泉会館（河津町）	0.38%
	33	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.38%
	34	岩科学校（松崎町）	0.19%
	35	かなみみの里美術館（函南町）	0.19%
	36	三の浦総合案内所（沼津市）	0.09%
	37	大田子海岸（西伊豆町）	0.09%

観光地の相関関係に関する分析 起点：伊豆フルーツパーク

伊豆フルーツパークは三島スカイウォークと最も相関関係が強く、周遊割合は約35%。次いで萑山反射炉が約18%、沼津港が約15%となっている。

周遊地域 (地図)

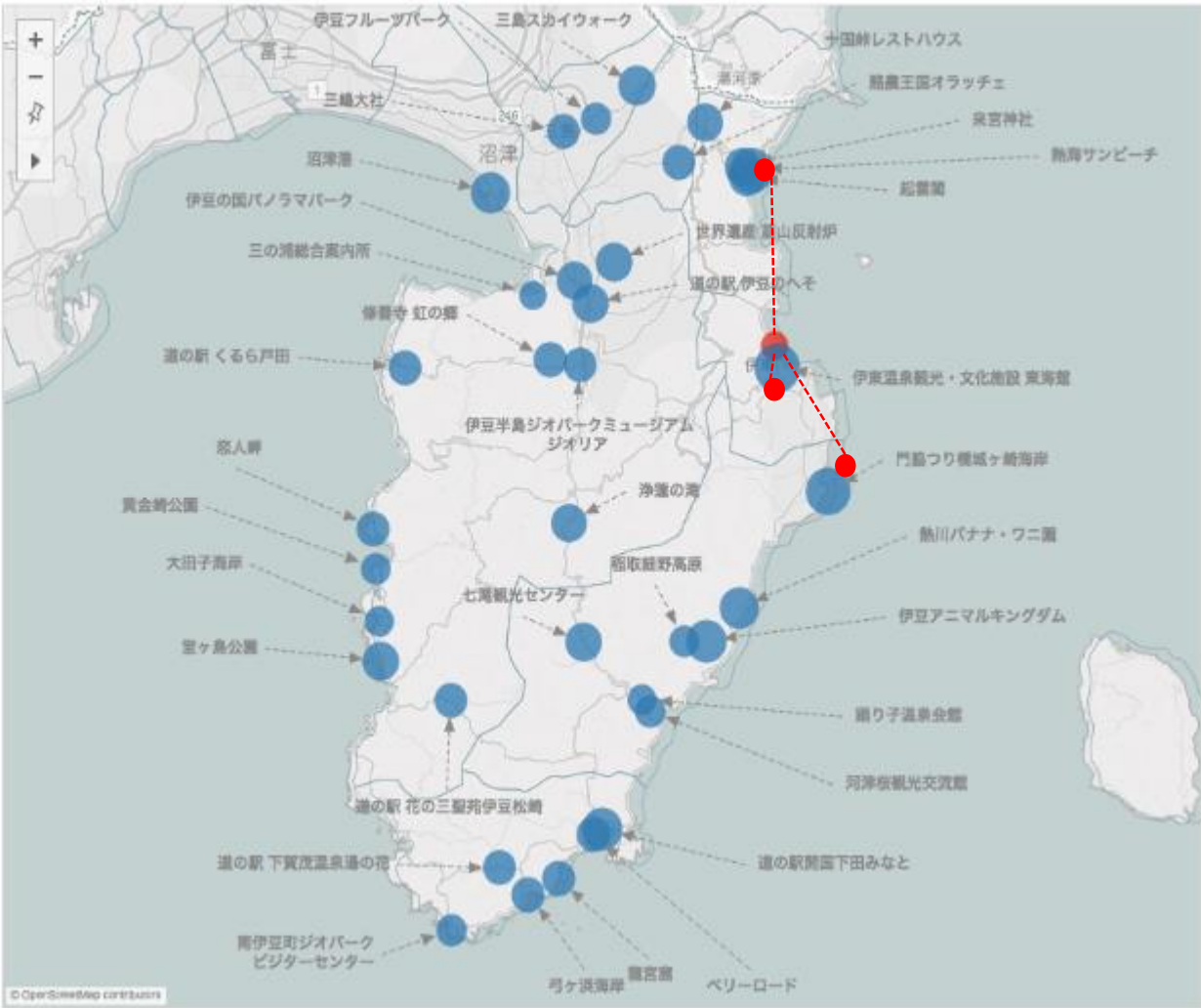


起点	二	順位	周遊先		
28_伊豆フルーツパーク	1	1	三島スカイウォーク（三島市）	34.66%	
		2	韭山反射炉（伊豆の国市）	18.33%	
		3	沼津港（沼津市）	15.14%	
		4	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	10.76%	
		5	ジオリア（伊豆市）	9.96%	
		6	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	9.56%	
		7	堂ヶ島公園（西伊豆町）	8.76%	
		8	三嶋大社（三島市）	7.17%	
		9	伊東マリンタウン（伊東市）	6.37%	
		10	修善寺 虹の郷（伊豆市）	4.38%	
		11	熱海サンビーチ（熱海市）	3.59%	
			浄蓮の滝（伊豆市）	3.59%	
			伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	3.59%	
		14	道の駅開国下田みなと（下田市）	2.79%	
		15	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.39%	
			黄金崎公園（西伊豆町）	2.39%	
			城ヶ崎海岸（伊東市）	2.39%	
			七滝観光センター（河津町）	2.39%	
			弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.99%	
		19	来宮神社（熱海市）	1.99%	
			東海館（伊東市）	1.99%	
			龍宮窟（下田市）	1.99%	
			23	起雲閣（熱海市）	1.59%
				河津桜観光交流館（河津町）	1.59%
				25	恋人岬（伊豆市）
				十国峠レストハウス（函南町）	1.20%
				道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.20%
		28	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.80%	
		29	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.40%	

観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅伊東マリンタウン

道の駅伊東マリンタウンは東海館と最も相関関係が強く、周遊割合は約17%。
次いで城ヶ崎海岸が約15%、熱海サンビーチが約12%となっている。

周遊地域（地図）

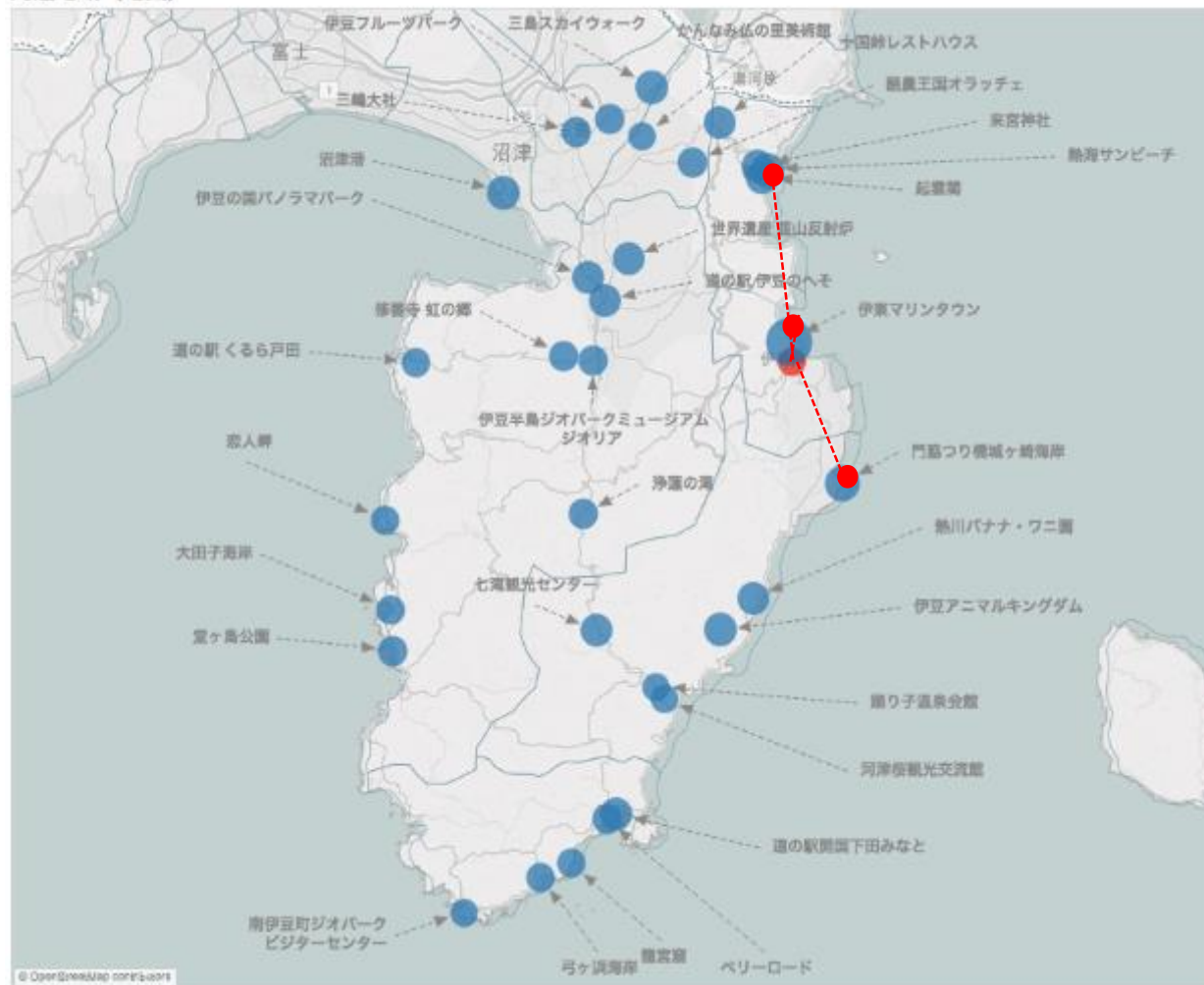


起点	順位	周遊先	割合
4_伊東マリンタウン	1	東海館（伊東市）	17.43%
	2	城ヶ崎海岸（伊東市）	15.37%
	3	熱海サンビーチ（熱海市）	12.22%
	4	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	9.70%
	5	道の駅開国下田みなと（下田市）	8.72%
	6	沼津港（沼津市）	7.74%
	7	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	7.07%
	8	三島スカイウォーク（三島市）	5.47%
	9	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	4.49%
	10	韭山反射炉（伊豆の国市）	4.38%
	11	堂ヶ島公園（西伊豆町）	4.13%
	12	七滝観光センター（河津町）	4.13%
	13	来宮神社（熱海市）	3.76%
	14	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	3.35%
	15	浄蓮の滝（伊豆市）	3.25%
	16	十国峠レストハウス（函南町）	3.09%
	17	起雲閣（熱海市）	3.09%
	18	ペリーロード（下田市）	2.58%
	19	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.32%
	20	修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.22%
	21	龍宮窟（下田市）	1.91%
	22	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.70%
	23	恋人岬（伊豆市）	1.65%
	24	三嶋大社（三島市）	1.55%
	25	ジオリア（伊豆市）	1.39%
	26	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	1.34%
	27	道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.29%
	28	酪農王国オラッチェ（函南町）	1.29%
	29	伊豆フルーツパーク（三島市）	0.83%
	30	河津桜観光交流館（河津町）	0.72%
	31	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.57%
	32	黄金崎公園（西伊豆町）	0.41%
	33	稲取細野高原（東伊豆町）	0.31%
	34	踊り子温泉会館（河津町）	0.21%
	35	大田子海岸（西伊豆町）	0.10%
	36	三の浦総合案内所（沼津市）	0.05%

観光地の相関関係に関する分析 起点：東海館

東海館は道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約61%。次いで城ヶ崎海岸が約10%、熱海サンビーチが約7%となっている。

周遊地域（地図）



起点	ニ	順位	周遊先	
17_東海館		1	伊東マリンタウン（伊東市）	60.79%
		2	城ヶ崎海岸（伊東市）	9.71%
		3	熱海サンビーチ（熱海市）	6.65%
		4	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	5.58%
		5	沼津港（沼津市）	5.22%
		6	三島スカイウォーク（三島市）	4.68%
		7	韭山反射炉（伊豆の国市）	3.78%
		8	来宮神社（熱海市）	3.60%
		9	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.42%
		10	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	2.88%
			道の駅開国下田みなと（下田市）	2.88%
		12	十国峠レストハウス（函南町）	2.70%
			起雲閣（熱海市）	2.70%
			伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	2.70%
		15	七滝観光センター（河津町）	1.98%
		16	浄蓮の滝（伊豆市）	1.80%
		17	堂ヶ島公園（西伊豆町）	1.62%
			ジオリア（伊豆市）	1.62%
		19	三嶋大社（三島市）	1.44%
		20	ペリーロード（下田市）	1.26%
		21	伊豆フルーツパーク（三島市）	0.90%
			修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.90%
			酪農王国オラッチェ（函南町）	0.90%
		24	道の駅 くら戸田（沼津市）	0.72%
		25	龍宮窟（下田市）	0.54%
		26	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.36%
			恋人岬（伊豆市）	0.36%
			大田子海岸（西伊豆町）	0.36%
		29	踊り子温泉会館（河津町）	0.18%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.18%
		かなみ仏の里美術館（函南町）	0.18%	
		河津桜観光交流館（河津町）	0.18%	

観光地の相関関係に関する分析 起点：城ヶ崎海岸

城ヶ崎海岸は道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約46%。
次いで堂ヶ島公園が約9%、東海館が約8%となっている。

周遊地域（地図）

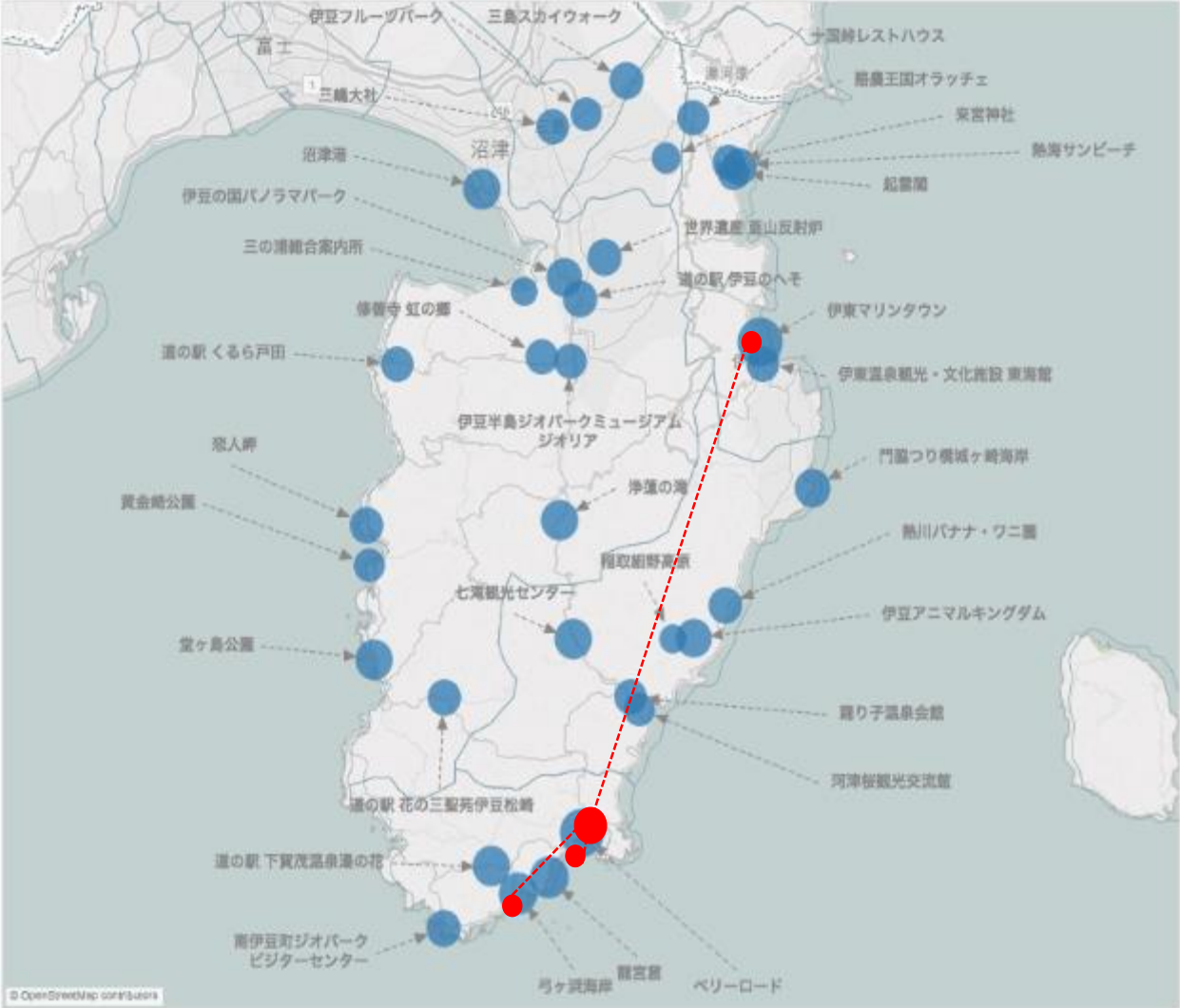


起点	順位	周遊先	割合
29_城ヶ崎海岸	1	伊東マリンタウン（伊東市）	45.57%
	2	堂ヶ島公園（西伊豆町）	9.17%
	3	東海館（伊東市）	8.26%
	4	沼津港（沼津市）	7.65%
	5	熱海サンビーチ（熱海市）	7.34%
	6	三島スカイウォーク（三島市）	7.19%
	7	道の駅開国下田みなと（下田市）	6.27%
	8	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	5.66%
	9	来宮神社（熱海市）	5.20%
	10	七滝観光センター（河津町）	5.20%
	11	浄蓮の滝（伊豆市）	5.05%
	12	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	4.89%
	13	ペリーロード（下田市）	4.13%
	14	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.13%
	15	韭山反射炉（伊豆の国市）	3.36%
	16	十国峠レストハウス（函南町）	3.21%
	17	恋人岬（伊豆市）	2.29%
	18	龍宮窟（下田市）	2.14%
	19	ジオリア（伊豆市）	1.68%
	20	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.68%
	21	起雲閣（熱海市）	1.68%
	22	修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.22%
	23	三嶋大社（三島市）	1.22%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.92%
	25	伊豆フルーツパーク（三島市）	0.92%
	26	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.76%
	27	酪農王国オラッチェ（函南町）	0.76%
	28	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.61%
	29	黄金崎公園（西伊豆町）	0.61%
	30	道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.61%
	31	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.61%
	32	大田子海岸（西伊豆町）	0.46%
	33	踊り子温泉会館（河津町）	0.31%
	34	三の浦総合案内所（沼津市）	0.15%
	35	河津桜観光交流館（河津町）	0.15%

観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅 開国下田みなと

道の駅開国下田みなとは道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約21%。次いでペリーロードが約19%、弓ヶ浜海岸が約10%となっている。

周遊地域（地図）



起点	順位	周遊先	割合
5 道の駅開国下田みなと	1	伊東マリンタウン（伊東市）	20.53%
	2	ペリーロード（下田市）	19.08%
	3	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	9.84%
	4	龍宮窟（下田市）	8.63%
	5	沼津港（沼津市）	7.78%
	6	堂ヶ島公園（西伊豆町）	7.65%
	7	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	7.05%
	8	七滝観光センター（河津町）	6.80%
	9	浄蓮の滝（伊豆市）	6.32%
	10	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	5.95%
	11	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	5.35%
	12	城ヶ崎海岸（伊東市）	4.98%
	13	三島スカイウォーク（三島市）	4.37%
	14	韭山反射炉（伊豆の国市）	4.01%
	15	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	3.52%
		熱海サンビーチ（熱海市）	3.52%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	3.52%
	18	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.28%
	19	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	3.04%
	20	恋人岬（伊豆市）	2.92%
	21	来宮神社（熱海市）	2.19%
	22	ジオリア（伊豆市）	2.07%
		踊り子温泉会館（河津町）	2.07%
		道の駅 くるら戸田（沼津市）	2.07%
	25	東海館（伊東市）	1.94%
	26	三嶋大社（三島市）	1.82%
	27	十国峠レストハウス（函南町）	1.70%
	28	修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.46%
	29	起雲閣（熱海市）	1.22%
	30	河津桜観光交流館（河津町）	1.09%
	31	黄金崎公園（西伊豆町）	0.85%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	0.85%
	33	酪農王国オラッチェ（函南町）	0.36%
	34	三の浦総合案内所（沼津市）	0.12%
		稲取細野高原（東伊豆町）	0.12%

観光地の相関関係に関する分析 起点：龍宮窟

龍宮窟は道の駅開国下田みなとと最も相関関係が強く、周遊割合は約31%。
次いでペリーロードが約19%、道の駅伊東マリンタウンが約16%となっている。

周遊地域（地図）



起点	順位	周遊先	
39_龍宮窟	1	道の駅開国下田みなと（下田市）	31.42%
	2	ペリーロード（下田市）	18.58%
	3	伊東マリンタウン（伊東市）	16.37%
	4	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	13.27%
	5	堂ヶ島公園（西伊豆町）	11.95%
	6	七滝観光センター（河津町）	7.08%
	7	沼津港（沼津市）	6.19%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	6.19%
	9	浄蓮の滝（伊豆市）	5.31%
		韭山反射炉（伊豆の国市）	5.31%
	11	熱海サンビーチ（熱海市）	4.42%
	12	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	3.98%
	13	恋人岬（伊豆市）	3.54%
		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	3.54%
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	3.54%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	3.54%
	17	三島スカイウォーク（三島市）	3.10%
	18	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.65%
	19	黄金崎公園（西伊豆町）	2.21%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	2.21%
	21	ジオリア（伊豆市）	1.77%
		踊り子温泉会館（河津町）	1.77%
		河津桜観光交流館（河津町）	1.77%
	24	来宮神社（熱海市）	1.33%
		東海館（伊東市）	1.33%
		十国峠レストハウス（函南町）	1.33%
	27	修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.88%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.88%
		三嶋大社（三島市）	0.88%
	30	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.44%
		起雲閣（熱海市）	0.44%
		かなみ仏の里美術館（函南町）	0.44%

観光地の相関関係に関する分析 起点：ペリーロード

ペリーロードは道の駅開国下田みなとと最も相関関係が強く、周遊割合は約38%。
次いで道の駅伊東マリンタウン、堂ヶ島公園が約12%となっている。

周遊地域（地図）

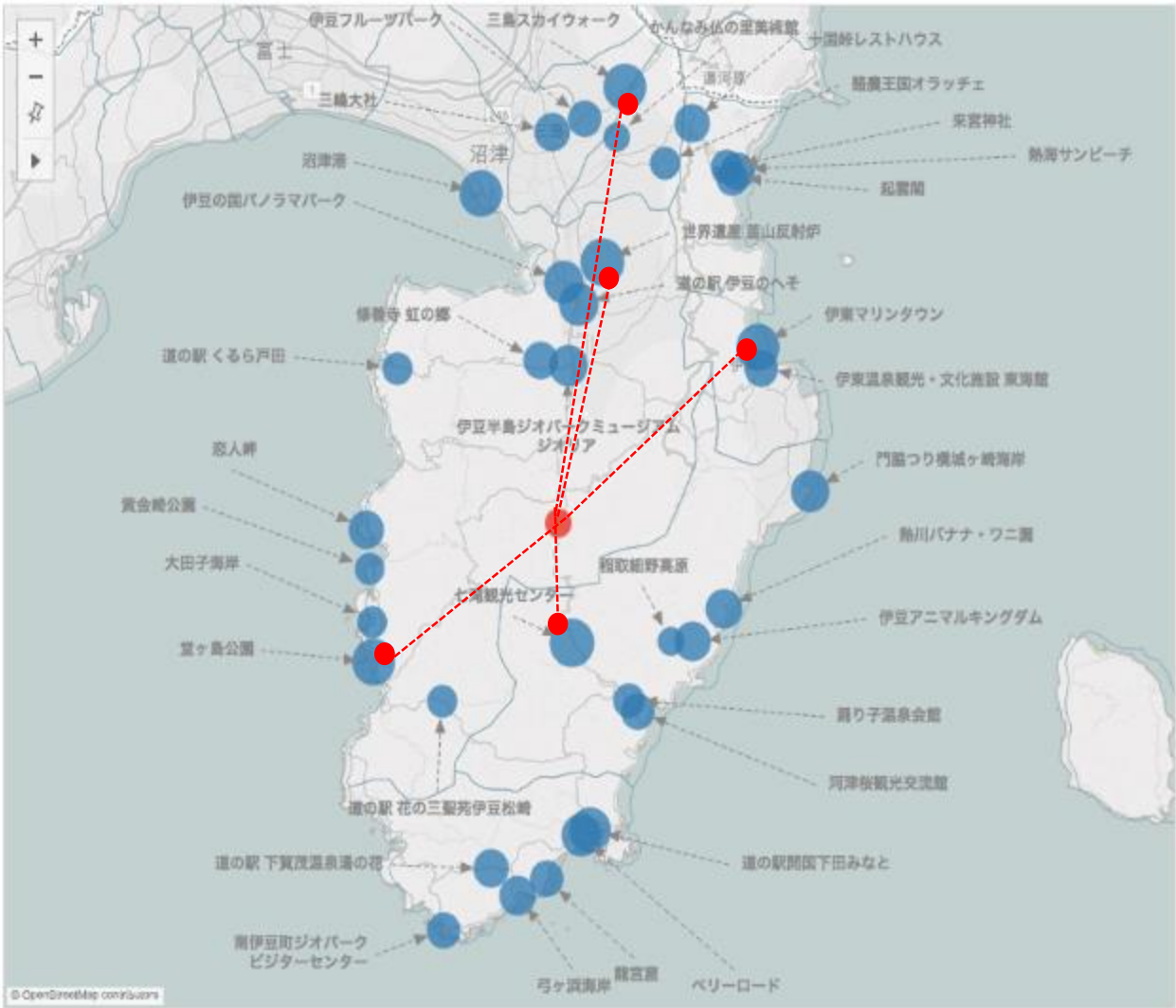


起点	順位	周遊先	割合
30_ペリーロード	1	道の駅開国下田みなと（下田市）	37.65%
	2	伊東マリンタウン（伊東市）	11.99%
	3	堂ヶ島公園（西伊豆町）	11.51%
	4	龍宮窟（下田市）	10.07%
	5	浄蓮の滝（伊豆市）	9.35%
	6	七滝観光センター（河津町）	8.63%
	7	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	7.91%
	8	韭山反射炉（伊豆の国市）	6.95%
	9	城ヶ崎海岸（伊東市）	6.47%
	10	三島スカイウォーク（三島市）	5.76%
	11	沼津港（沼津市）	5.52%
	12	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.80%
	13	熱海サンビーチ（熱海市）	4.56%
	14	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	4.32%
	15	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	3.84%
	16	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.60%
	17	三嶋大社（三島市）	2.40%
	18	恋人岬（伊豆市）	2.16%
	19	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.92%
	20	来宮神社（熱海市）	1.68%
	21	東海館（伊東市）	1.68%
	22	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.68%
	23	起雲閣（熱海市）	1.44%
	24	ジオリア（伊豆市）	1.20%
	25	黄金崎公園（西伊豆町）	1.20%
	26	道の駅 くら戸田（沼津市）	1.20%
	27	踊り子温泉会館（河津町）	0.96%
	28	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.96%
	29	十国峠レストハウス（函南町）	0.96%
	30	修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.96%
	31	河津桜観光交流館（河津町）	0.72%
	32	稲取裾野高原（東伊豆町）	0.48%
	33	三の浦総合案内所（沼津市）	0.24%

観光地の相関関係に関する分析 起点：浄蓮の滝

浄蓮の滝は七滝観光センターと最も相関関係が強く、周遊割合は約15%。
次いで菰山反射炉が約13%、堂ヶ島公園、三島スカイウォーク、道の駅伊東マリンタウン、沼津港が約12%となっている。

周遊地域（地図）

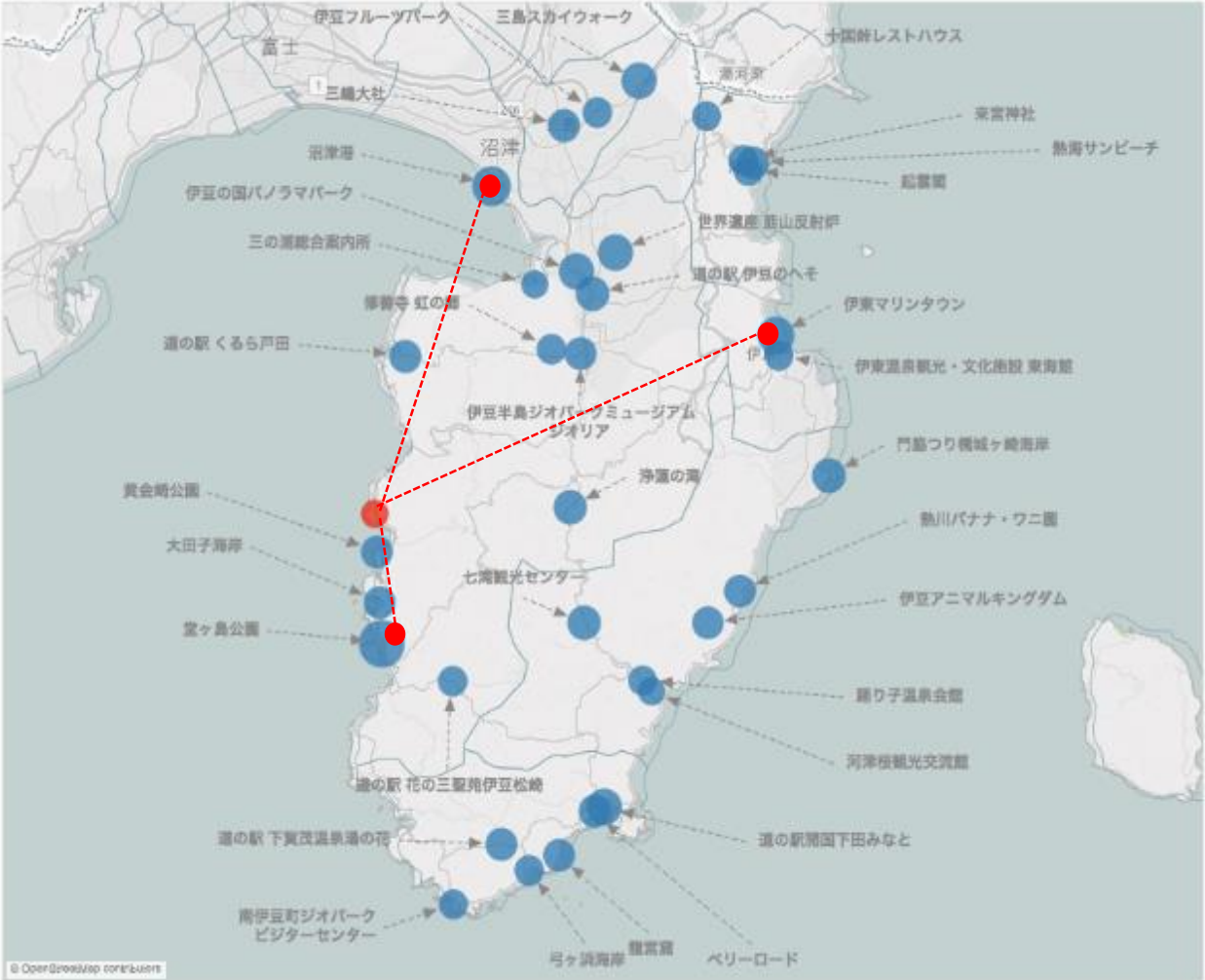


起点	二	順位	周遊先	
6_浄蓮の滝	1		七滝観光センター（河津町）	14.84%
	2		菰山反射炉（伊豆の国市）	13.29%
	3		堂ヶ島公園（西伊豆町）	12.14%
			三島スカイウォーク（三島市）	12.14%
			伊東マリンタウン（伊東市）	12.14%
	6		沼津港（沼津市）	11.56%
	7		道の駅開国下田みなと（下田市）	10.02%
	8		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	8.67%
	9		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	7.71%
	10		ペリーロード（下田市）	7.51%
	11		ジオリア（伊豆市）	6.36%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	6.36%
	13		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	5.59%
	14		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	5.01%
	15		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	4.62%
	16		三嶋大社（三島市）	3.85%
	17		恋人岬（伊豆市）	3.66%
	18		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	3.47%
			十国峠レストハウス（函南町）	3.47%
	20		熱海サンビーチ（熱海市）	3.08%
	21		修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.70%
	22		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	2.31%
			龍宮窟（下田市）	2.31%
	24		東海館（伊東市）	1.93%
			河津桜観光交流館（河津町）	1.93%
	26		伊豆フルーツパーク（三島市）	1.73%
	27		起雲閣（熱海市）	1.54%
	28		来宮神社（熱海市）	1.35%
	29		踊り子温泉会館（河津町）	1.16%
	30		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.96%
			道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.96%
	32		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.77%
	33		大田子海岸（西伊豆町）	0.58%
	34		黄金崎公園（西伊豆町）	0.39%
			稲取細野高原（東伊豆町）	0.19%
	35		かんなみ仏の里美術館（函南町）	0.19%

観光地の相関関係に関する分析 起点：恋人岬

恋人岬は堂ヶ島公園と最も相関関係が強く、周遊割合は約46%。
次いで沼津港が約17%、道の駅伊東マリンタウンが約12%となっている。

周遊地域（地図）

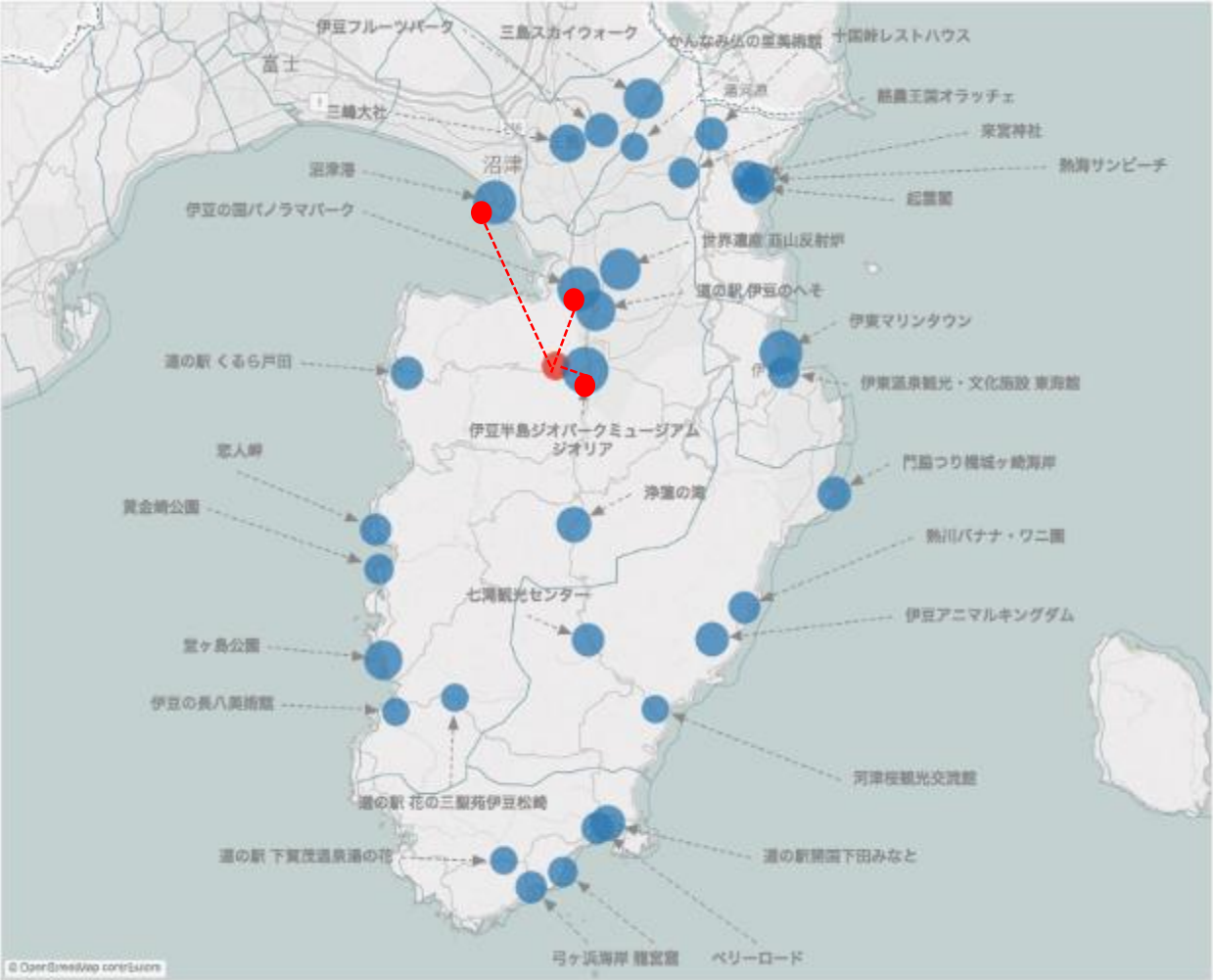


起点	ニ 順位	周遊先	
18_恋人岬	1	堂ヶ島公園（西伊豆町）	45.90%
	2	沼津港（沼津市）	16.79%
	3	伊東マリンタウン（伊東市）	11.94%
	4	道の駅開国下田みなと（下田市）	8.96%
	5	三島スカイウォーク（三島市）	8.21%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	8.21%
	7	韭山反射炉（伊豆の国市）	7.84%
	8	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	7.09%
		浄蓮の滝（伊豆市）	7.09%
	10	城ヶ崎海岸（伊東市）	5.60%
		七滝観光センター（河津町）	5.60%
	12	道の駅 くるら戸田（沼津市）	4.85%
	13	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	4.48%
	14	ジオリア（伊豆市）	3.36%
		熱海サンビーチ（熱海市）	3.36%
		ペリーロード（下田市）	3.36%
		三嶋大社（三島市）	3.36%
	18	龍宮窟（下田市）	2.99%
	19	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.61%
	20	黄金崎公園（西伊豆町）	2.24%
	21	大田子海岸（西伊豆町）	1.87%
		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.87%
	23	修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.49%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.12%
		来宮神社（熱海市）	1.12%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	1.12%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	1.12%
	28	東海館（伊東市）	0.75%
		踊り子温泉会館（河津町）	0.75%
		十国峠レストハウス（函南町）	0.75%
		起雲閣（熱海市）	0.75%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.75%
	33	三の浦総合案内所（沼津市）	0.37%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.37%

観光地の相関関係に関する分析 起点：修善寺 虹の郷

修善寺虹の郷はジオリアと最も相関関係が強く、周遊割合は約22%。
次いで伊豆の国パノラマパークが約16%、沼津港が約15%となっている。

周遊地域（地図）

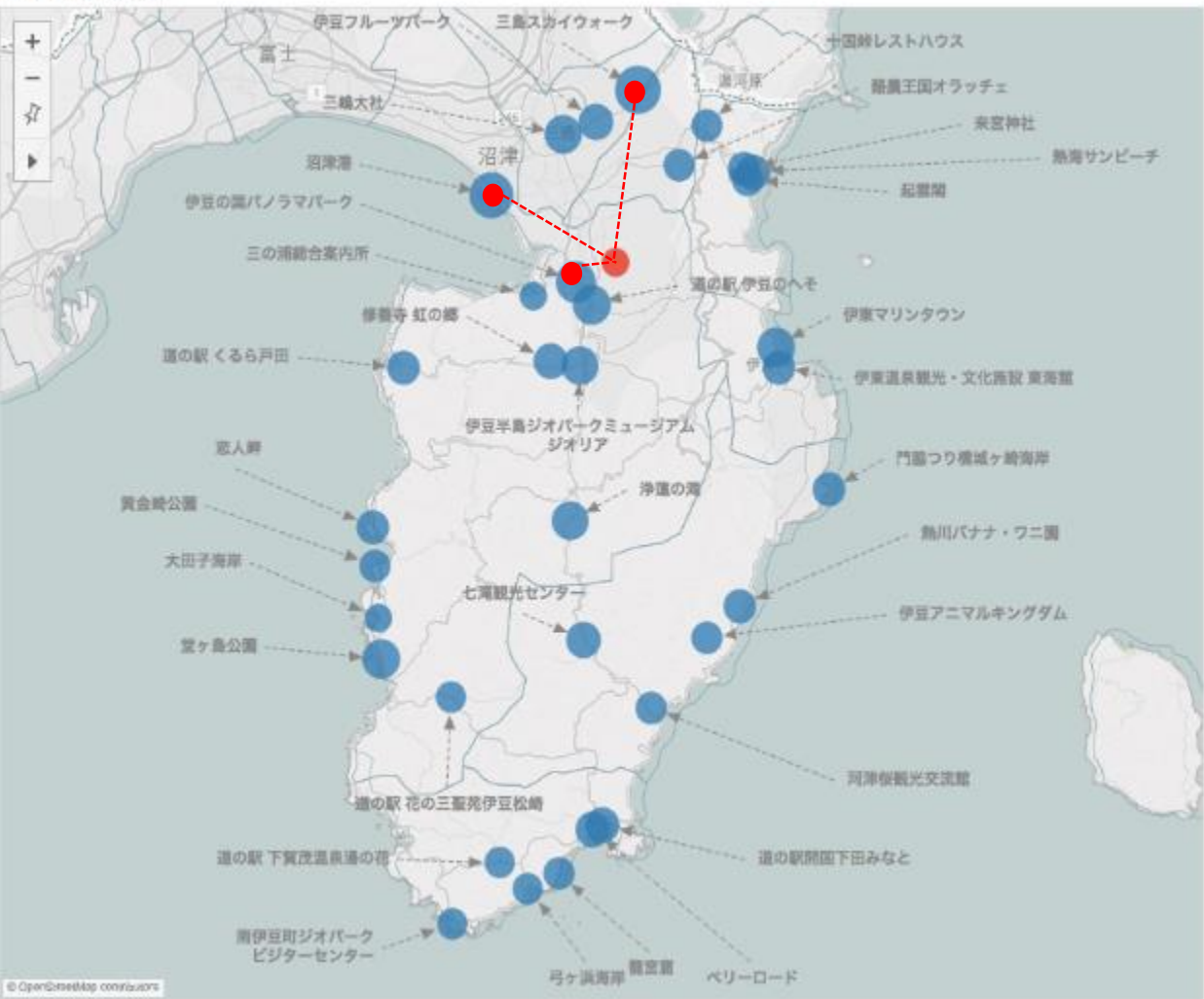


起点	順位	周遊先	
31_修善寺 虹の郷	1	ジオリア（伊豆市）	22.44%
	2	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	15.51%
	3	沼津港（沼津市）	15.18%
	4	伊東マリンタウン（伊東市）	14.19%
	5	韭山反射炉（伊豆の国市）	11.55%
	6	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	9.90%
	7	三島スカイウォーク（三島市）	8.91%
	8	堂ヶ島公園（西伊豆町）	7.92%
	9	三嶋大社（三島市）	5.61%
	10	浄蓮の滝（伊豆市）	4.62%
	11	道の駅開国下田みなと（下田市）	3.96%
	12	伊豆フルーツパーク（三島市）	3.63%
		熱海サンビーチ（熱海市）	3.63%
	14	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.97%
	15	城ヶ崎海岸（伊東市）	2.64%
	16	道の駅 くるる戸田（沼津市）	2.31%
		七滝観光センター（河津町）	2.31%
	18	来宮神社（熱海市）	1.98%
		十国峠レストハウス（函南町）	1.98%
	20	東海館（伊東市）	1.65%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.65%
	22	恋人岬（伊豆市）	1.32%
		ペリーロード（下田市）	1.32%
	24	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.99%
		起雲閣（熱海市）	0.99%
	26	黄金崎公園（西伊豆町）	0.66%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.66%
		龍宮窟（下田市）	0.66%
	29	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.33%
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.33%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.33%
		かななみ仏の里美術館（函南町）	0.33%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.33%

観光地の相関関係に関する分析 起点：萆山反射炉

萆山反射炉は三島スカイウォークと最も相関関係が強く、周遊割合は約28%。
次いで沼津港が約23%、伊豆の国パノラマパークが約13%となっている。

周遊地域（地図）

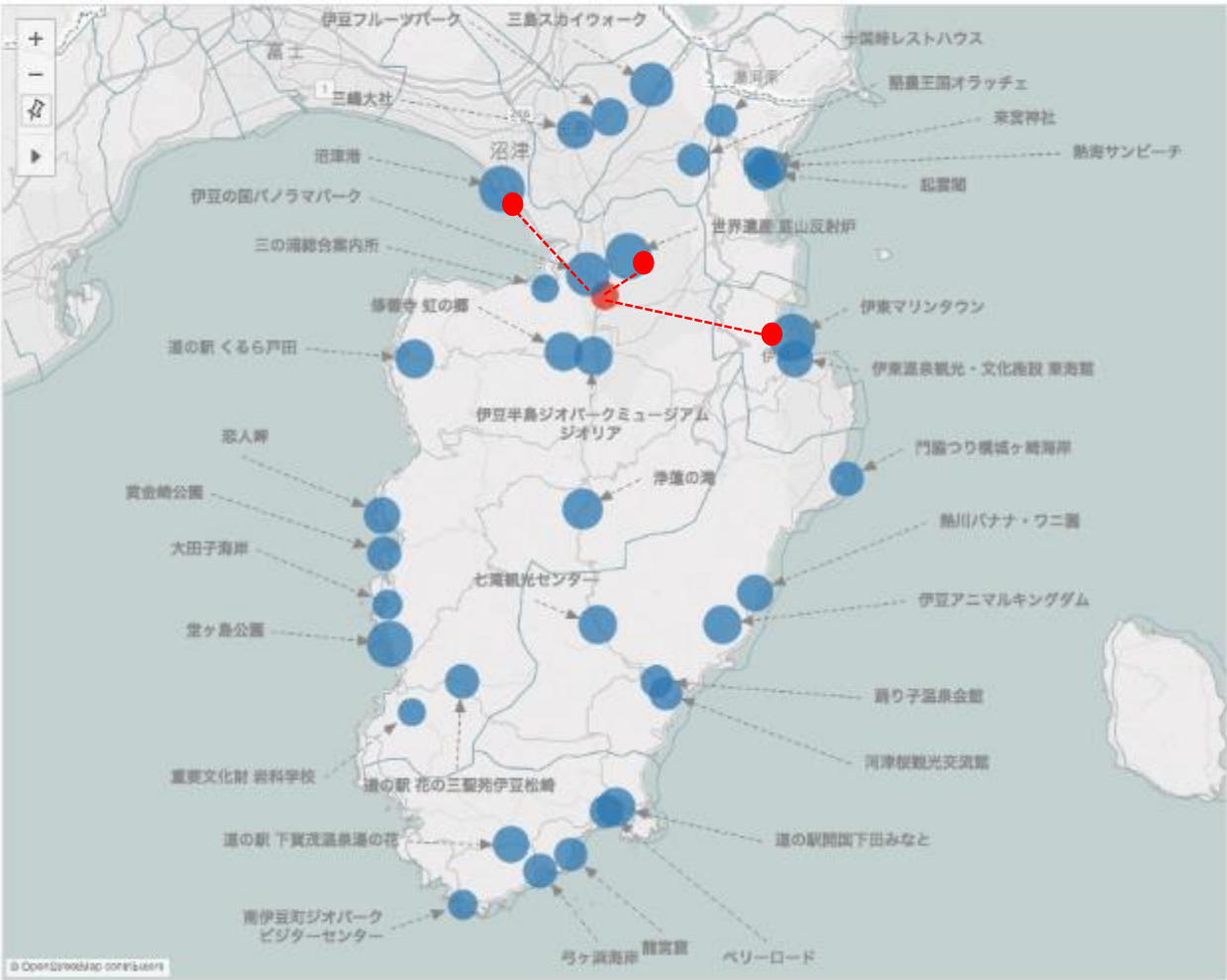


起点	順位	周遊先	
7_萆山反射炉	1	三島スカイウォーク（三島市）	28.46%
	2	沼津港（沼津市）	22.61%
	3	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	12.94%
	4	堂ヶ島公園（西伊豆町）	9.56%
		伊東マリンタウン（伊東市）	9.56%
	6	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	9.34%
	7	浄蓮の滝（伊豆市）	7.76%
	8	ジオリア（伊豆市）	7.54%
	9	三嶋大社（三島市）	7.20%
	10	伊豆フルーツパーク（三島市）	5.17%
	11	七滝観光センター（河津町）	4.61%
	12	熱海サンビーチ（熱海市）	3.94%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	3.94%
	14	道の駅開国下田みなと（下田市）	3.71%
	15	ペリーロード（下田市）	3.26%
	16	来宮神社（熱海市）	2.92%
	17	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.59%
	18	城ヶ崎海岸（伊東市）	2.47%
	19	東海館（伊東市）	2.36%
		恋人岬（伊豆市）	2.36%
	21	道の駅 くるら戸田（沼津市）	2.14%
	22	起雲閣（熱海市）	1.57%
	23	十国峠レストハウス（函南町）	1.46%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.46%
	25	龍宮窟（下田市）	1.35%
	26	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.12%
	27	黄金崎公園（西伊豆町）	1.01%
		河津桜観光交流館（河津町）	1.01%
	29	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.79%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.79%
	31	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.67%
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.67%
	33	三の浦総合案内所（沼津市）	0.11%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.11%

観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅 伊豆のへそ

道の駅伊豆のへそは道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約15%。
次いで韮山反射炉、沼津港が約14%となっている。

周遊地域（地図）

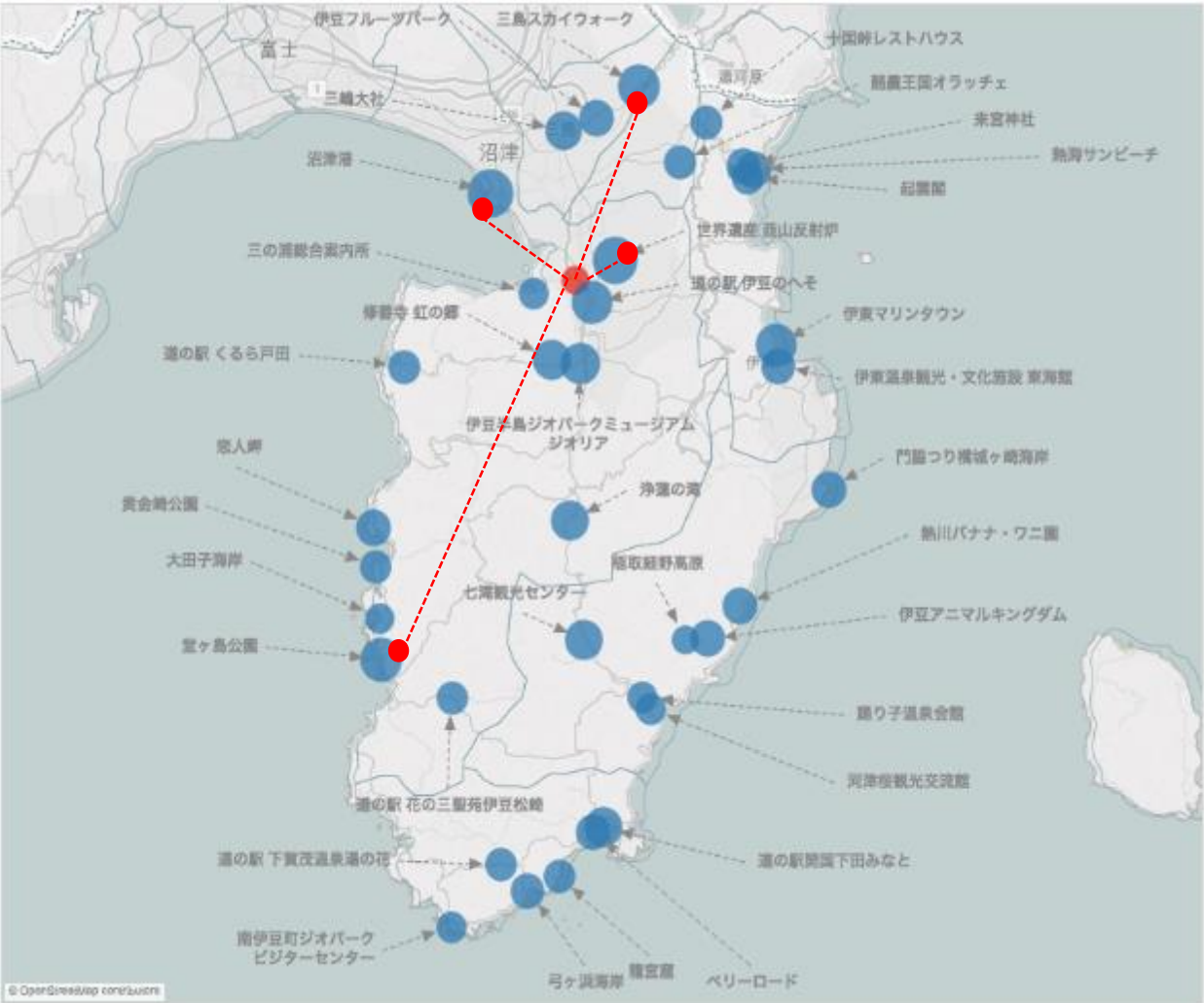


起点	ニ. 順位	周遊先	
19 道の駅 伊豆のへそ	1	伊東マリンタウン（伊東市）	15.05%
	2	韮山反射炉（伊豆の国市）	14.36%
	3	沼津港（沼津市）	13.84%
	4	堂ヶ島公園（西伊豆町）	13.67%
	5	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	11.94%
	6	三島スカイウォーク（三島市）	10.90%
	7	浄蓮の滝（伊豆市）	6.92%
	8	七滝観光センター（河津町）	5.54%
	9	ジオリア（伊豆市）	5.19%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	5.19%
	11	道の駅 くるら戸田（沼津市）	5.02%
		道の駅開国下田みなと（下田市）	5.02%
	13	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	4.67%
	14	伊豆フルーツパーク（三島市）	4.15%
	15	三嶋大社（三島市）	3.98%
	16	恋人岬（伊豆市）	3.29%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.29%
	18	熱海サンビーチ（熱海市）	3.11%
	19	東海館（伊東市）	2.77%
	20	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	2.60%
	21	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.42%
	22	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	2.25%
	23	城ヶ崎海岸（伊東市）	1.90%
	24	黄金崎公園（西伊豆町）	1.73%
	25	起雲閣（熱海市）	1.56%
	26	来宮神社（熱海市）	1.38%
		龍宮窟（下田市）	1.38%
	28	十国峠レストハウス（函南町）	1.21%
		ペリーロード（下田市）	1.21%
		河津桜観光交流館（河津町）	1.21%
	31	踊り子温泉会館（河津町）	1.04%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.04%
	33	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.35%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.35%
	35	三の浦総合案内所（沼津市）	0.17%
		岩科学校（松崎町）	0.17%

観光地の相関関係に関する分析 起点：伊豆の国パノラマパーク

伊豆の国パノラマパークは沼津港と最も相関関係が強く、周遊割合は約17%。
次いで韮山反射炉が約15%、堂ヶ島公園、三島スカイウォークが約11%となっている。

周遊地域（地図）

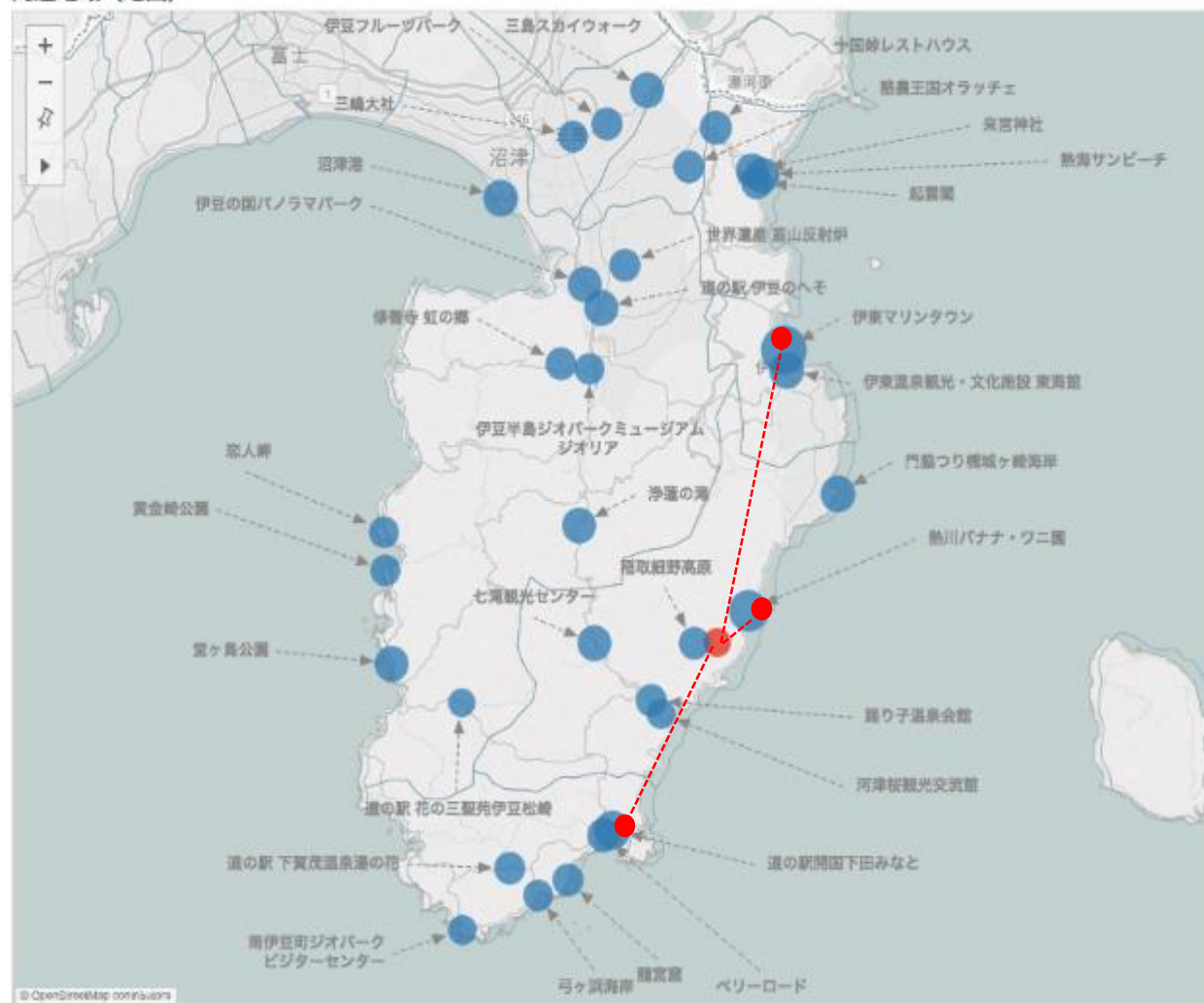


起点	順位	周遊先	
32_伊豆の国パノラマパーク	1	沼津港（沼津市）	17.04%
	2	韮山反射炉（伊豆の国市）	15.07%
	3	堂ヶ島公園（西伊豆町）	10.62%
		三島スカイウォーク（三島市）	10.62%
	5	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	9.04%
	6	伊東マリンタウン（伊東市）	8.52%
	7	ジオリア（伊豆市）	7.21%
	8	修善寺 虹の郷（伊豆市）	6.16%
	9	浄蓮の滝（伊豆市）	5.90%
	10	道の駅開国下田みなと（下田市）	5.77%
	11	七滝観光センター（河津町）	5.50%
	12	三嶋大社（三島市）	4.46%
	13	熱海サンビーチ（熱海市）	3.67%
	14	伊豆フルーツパーク（三島市）	3.54%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	3.54%
	16	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	3.28%
	17	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.01%
	18	恋人岬（伊豆市）	2.88%
	19	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.75%
	20	ペリーロード（下田市）	2.62%
	21	来宮神社（熱海市）	2.23%
	22	東海館（伊東市）	1.97%
	23	道の駅 くら戸田（沼津市）	1.57%
	24	酪農王国オラッチェ（函南町）	1.31%
	25	十国峠レストハウス（函南町）	1.18%
	26	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.05%
		龍宮窟（下田市）	1.05%
	28	黄金崎公園（西伊豆町）	0.92%
	29	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.79%
	30	起雲閣（熱海市）	0.66%
	31	踊り子温泉会館（河津町）	0.52%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.52%
	33	三の浦総合案内所（沼津市）	0.39%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.39%
	35	大田子海岸（西伊豆町）	0.26%
	36	稲取細野高原（東伊豆町）	0.13%

観光地の相関関係に関する分析 起点：伊豆アニマルキングダム

伊豆アニマルキングダムは道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約35%。次いで熱川バナナ・ワニ園が15%、道の駅開国下田みなとが約9%となっている。

周遊地域 (地図)

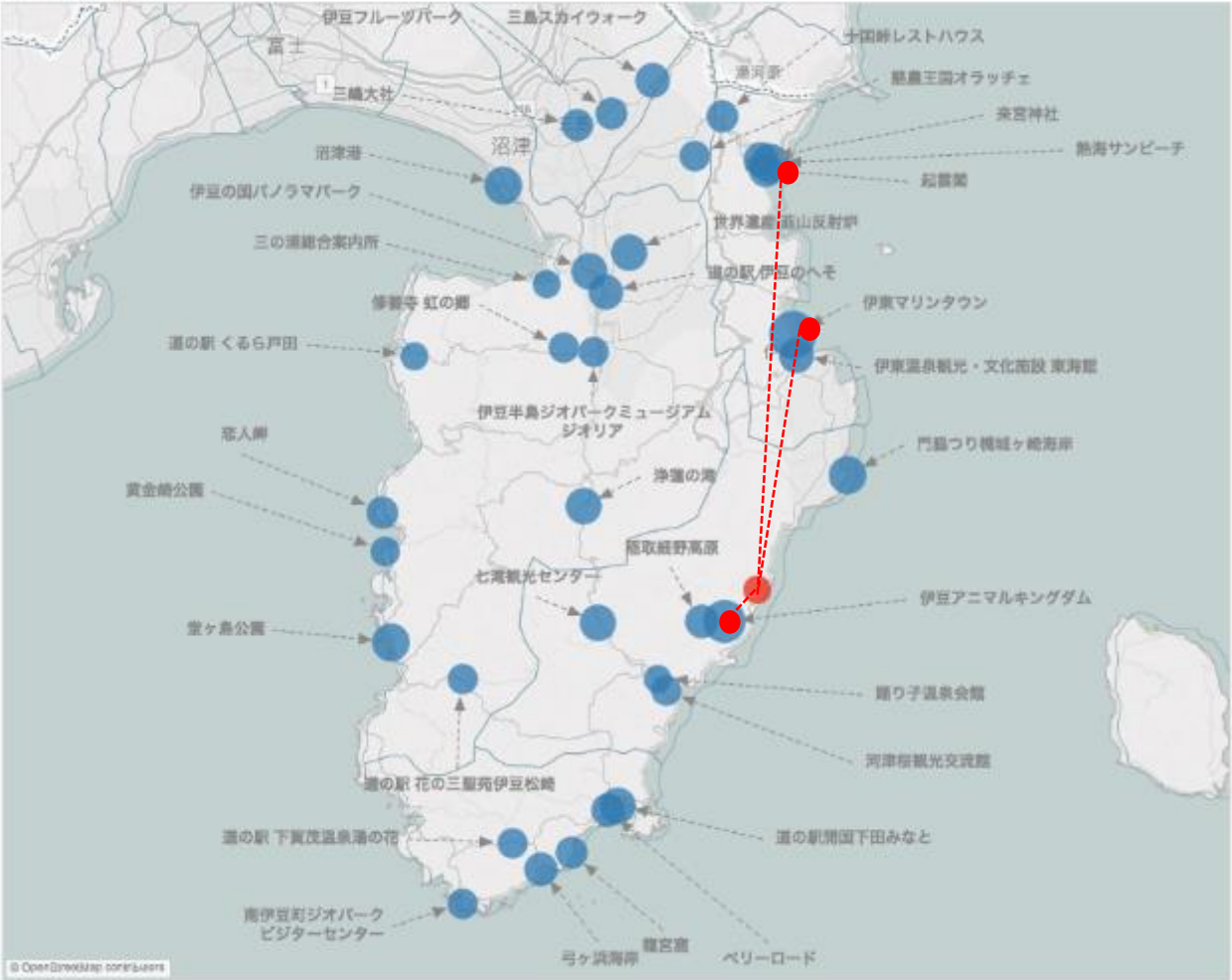


起点	順位	周遊先	
8_伊豆アニマルキングダム	1	伊東マリンタウン（伊東市）	34.81%
	2	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	15.00%
	3	道の駅開国下田みなと（下田市）	9.07%
	4	沼津港（沼津市）	6.85%
	5	城ヶ崎海岸（伊東市）	5.93%
	6	東海館（伊東市）	5.74%
	7	浄蓮の滝（伊豆市）	5.37%
	8	七滝観光センター（河津町）	5.19%
	9	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	5.00%
	10	熱海サンビーチ（熱海市）	4.81%
	11	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.63%
	12	三島スカイウォーク（三島市）	4.44%
	13	堂ヶ島公園（西伊豆町）	4.26%
	14	ペリーロード（下田市）	3.33%
	15	十国峠レストハウス（函南町）	3.15%
	16	来宮神社（熱海市）	2.78%
	17	稲取細野高原（東伊豆町）	1.85%
		韭山反射炉（伊豆の国市）	1.85%
	19	伊豆フルーツパーク（三島市）	1.67%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.67%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.67%
		龍宮窟（下田市）	1.67%
	23	踊り子温泉会館（河津町）	1.48%
		起雲閣（熱海市）	1.48%
	25	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.30%
	26	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.93%
		ジオリア（伊豆市）	0.93%
		恋人岬（伊豆市）	0.93%
	29	黄金崎公園（西伊豆町）	0.74%
		三嶋大社（三島市）	0.74%
	31	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.37%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.37%
	33	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.19%

観光地の相関関係に関する分析 起点：熱川バナナ・ワニ園

熱川バナナ・ワニ園は道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約30%。
次いで伊豆アニマルキングダムが約18%、熱海サンビーチが約10%となっている。

周遊地域（地図）

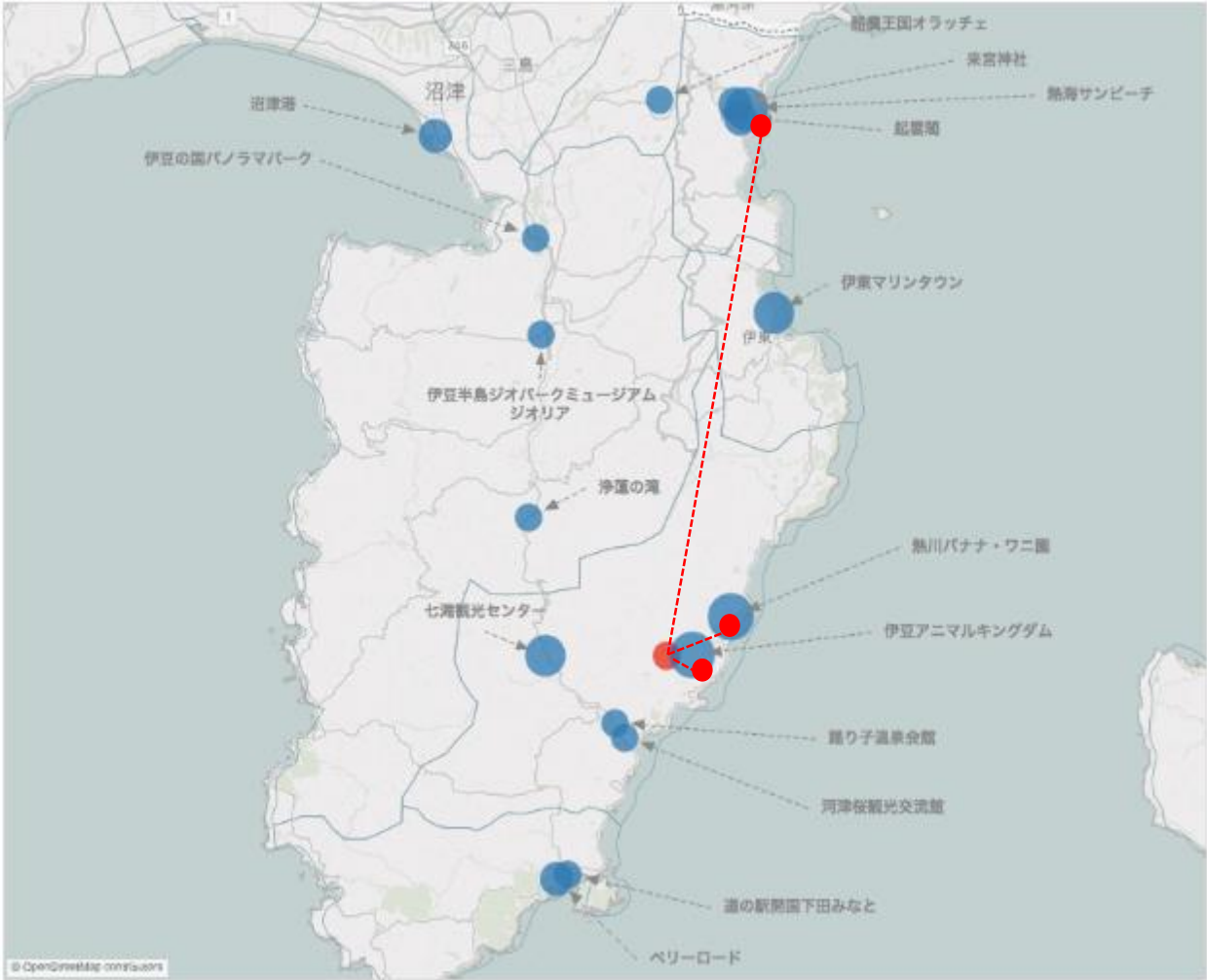


起点	順位	周遊先	
20 熱川バナナ・ワニ園	1	伊東マリンタウン（伊東市）	29.85%
	2	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	17.65%
	3	熱海サンビーチ（熱海市）	9.80%
	4	城ヶ崎海岸（伊東市）	8.06%
	5	堂ヶ島公園（西伊豆町）	7.41%
	6	沼津港（沼津市）	7.19%
	7	七滝観光センター（河津町）	6.10%
	8	道の駅開国下田みなと（下田市）	5.88%
	9	浄蓮の滝（伊豆市）	5.23%
	10	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	5.01%
		蜷山反射炉（伊豆の国市）	5.01%
	12	東海館（伊東市）	4.14%
		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	4.14%
	14	来宮神社（熱海市）	3.92%
		三島スカイウォーク（三島市）	3.92%
	16	ペリーロード（下田市）	3.27%
	17	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.61%
		起雲閣（熱海市）	2.61%
	19	稲取絶景高原（東伊豆町）	2.40%
	20	十国峠レストハウス（函南町）	1.96%
	21	恋人岬（伊豆市）	1.53%
	22	伊豆フルーツパーク（三島市）	1.31%
		龍宮窟（下田市）	1.31%
		三嶋大社（三島市）	1.31%
	25	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.09%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.09%
		河津桜観光交流館（河津町）	1.09%
	28	ジオリア（伊豆市）	0.87%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.87%
	30	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	0.65%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.65%
	32	黄金崎公園（西伊豆町）	0.44%
	33	三の浦総合案内所（沼津市）	0.22%
		踊り子温泉会館（河津町）	0.22%
		道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.22%

観光地の相関関係に関する分析 起点：稲取細野高原

稲取細野高原は熱川バナナ・ワニ園と最も相関関係が強く、周遊割合は約23%。
次いで伊豆アニマルキングダムが約21%、熱海サンビーチが約17%となっている。

周遊地域（地図）

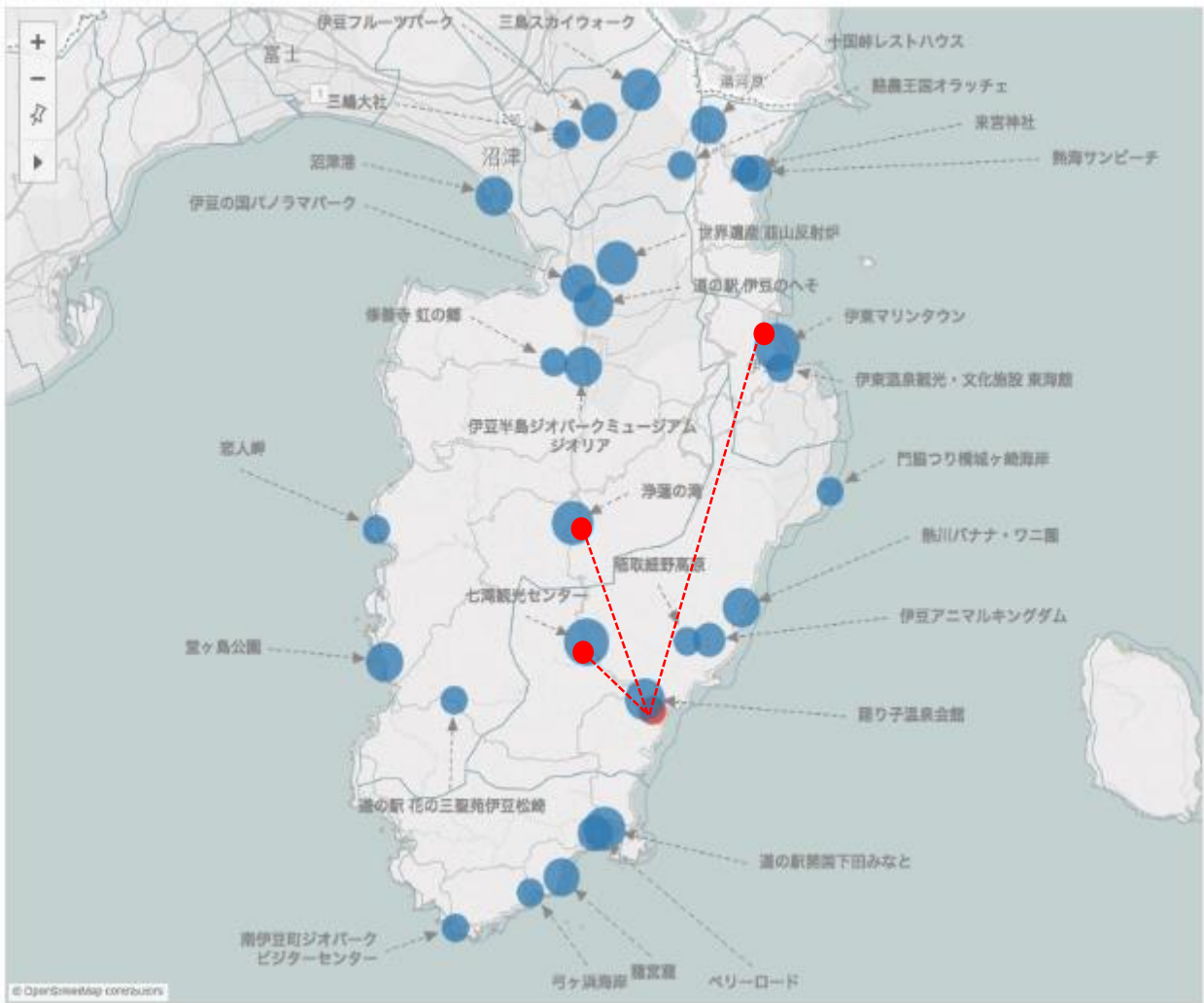


起点	順位	周遊先	
33_稲取細野高原	1	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	23.40%
	2	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	21.28%
	3	熱海サンビーチ（熱海市）	17.02%
	4	七滝観光センター（河津町）	12.77%
		伊東マリンタウン（伊東市）	12.77%
	6	来宮神社（熱海市）	4.26%
		沼津港（沼津市）	4.26%
		起雲閣（熱海市）	4.26%
		ベリーロード（下田市）	4.26%
	10	ジオリア（伊豆市）	2.13%
		踊り子温泉会館（河津町）	2.13%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	2.13%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	2.13%
		道の駅開国下田みなと（下田市）	2.13%
		浄蓮の滝（伊豆市）	2.13%
		河津桜観光交流館（河津町）	2.13%

観光地の相関関係に関する分析 起点：河津桜観光交流館

河津桜観光交流館は道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約16%。次いで七滝観光センターが約15%、浄蓮の滝が約11%となっている。

周遊地域（地図）

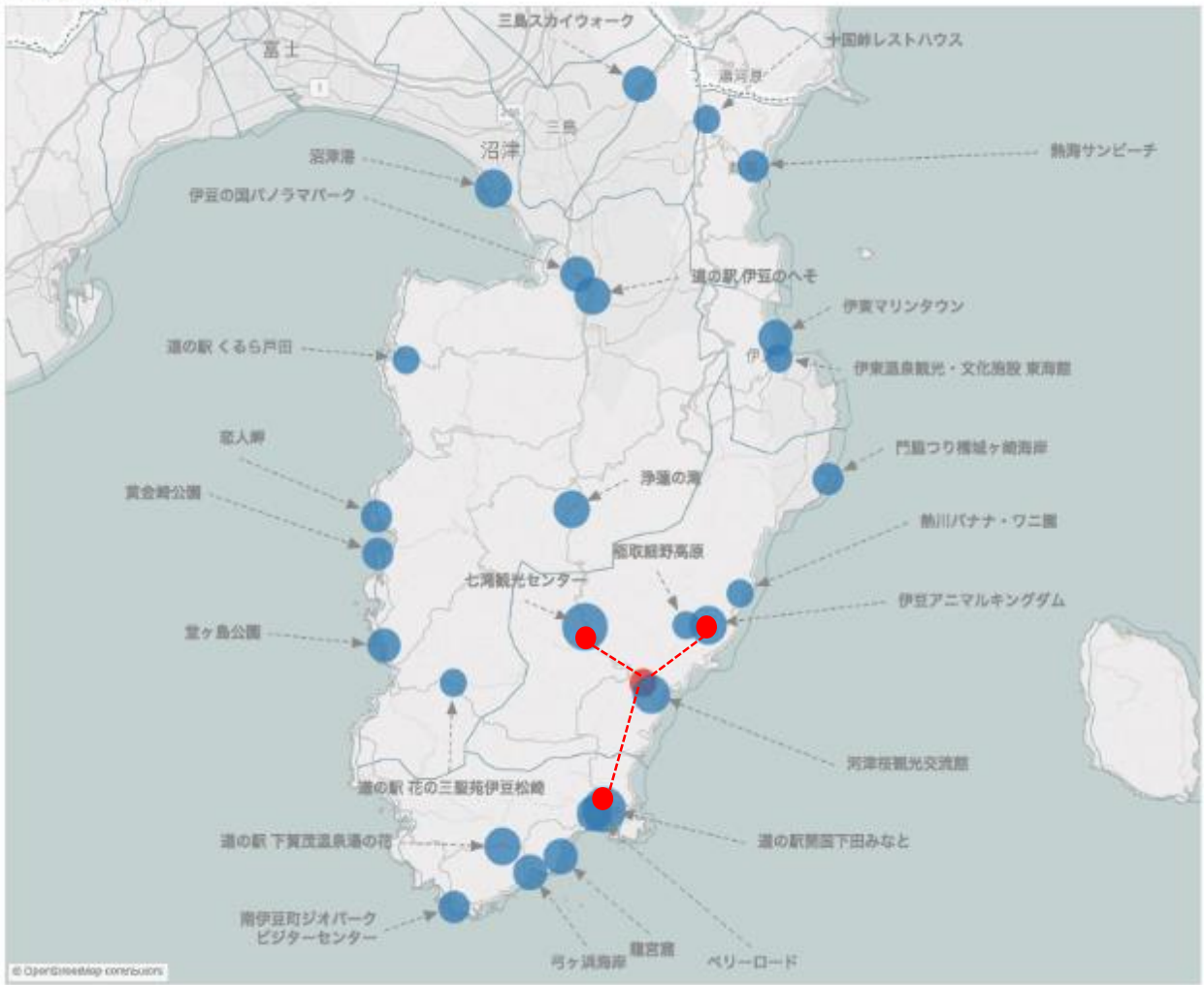


起点	順位	周遊先	割合
9_河津桜観光交流館	1	伊東マリンタウン（伊東市）	16.09%
	2	七滝観光センター（河津町）	14.94%
	3	浄蓮の滝（伊豆市）	11.49%
	4	道の駅開国下田みなと（下田市）	10.34%
		菰山反射炉（伊豆の国市）	10.34%
	6	三島スカイウォーク（三島市）	8.05%
		道の駅伊豆のへそ（伊豆の国市）	8.05%
		踊り子温泉会館（河津町）	8.05%
	9	堂ヶ島公園（西伊豆町）	6.90%
		沼津港（沼津市）	6.90%
	11	ジオリア（伊豆市）	5.75%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	5.75%
	13	十国峠レストハウス（函南町）	4.60%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	4.60%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.60%
		龍宮窟（下田市）	4.60%
	17	熱海サンビーチ（熱海市）	3.45%
		ペリーロード（下田市）	3.45%
	19	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.30%
	20	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.15%
		来宮神社（熱海市）	1.15%
		東海館（伊東市）	1.15%
		恋人岬（伊豆市）	1.15%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	1.15%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	1.15%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.15%
		稲取細野高原（東伊豆町）	1.15%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.15%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.15%
		三嶋大社（三島市）	1.15%

観光地の相関関係に関する分析 起点：踊り子温泉会館

踊り子温泉会館は七滝観光センターと最も相関関係が強く、周遊割合は25%。
次いで道の駅開国下田みなとが約20%、伊豆アニマルキングダムが約10%となっている。

周遊地域（地図）

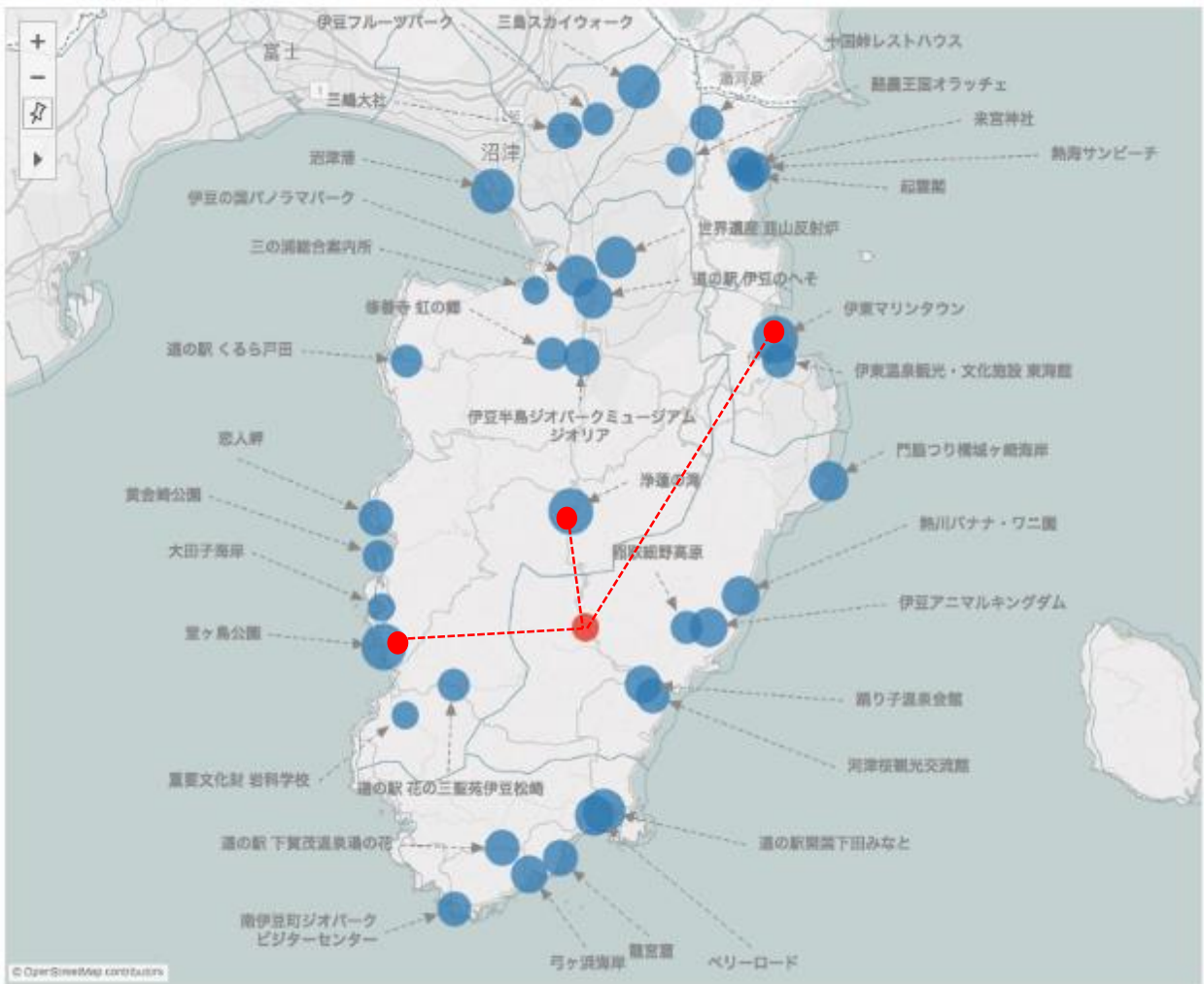


起点	順位	周遊先	割合
21 踊り子温泉会館	1	七滝観光センター（河津町）	25.00%
	2	道の駅開国下田みなと（下田市）	20.24%
	3	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	9.52%
	4	沼津港（沼津市）	8.33%
		河津桜観光交流館（河津町）	8.33%
	6	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	7.14%
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	7.14%
		浄蓮の滝（伊豆市）	7.14%
	9	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	4.76%
		三島スカイウォーク（三島市）	4.76%
		ペリーロード（下田市）	4.76%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.76%
		龍宮窟（下田市）	4.76%
		伊東マリンタウン（伊東市）	4.76%
	15	堂ヶ島公園（西伊豆町）	3.57%
	16	恋人岬（伊豆市）	2.38%
		黄金崎公園（西伊豆町）	2.38%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	2.38%
		熱海サンビーチ（熱海市）	2.38%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	2.38%
	21	東海館（伊東市）	1.19%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.19%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	1.19%
		十国峠レストハウス（函南町）	1.19%
		道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.19%
		稲取裾野高原（東伊豆町）	1.19%

観光地の相関関係に関する分析 起点：七滝観光センター

七滝観光センターは道の駅伊東マリンタウン、浄蓮の滝と最も相関関係が強く、周遊割合は約14%。次いで堂ヶ島公園が約13%となっている。

周遊地域（地図）



起点	順位	周遊先	割合
34_七滝観光センター	1	伊東マリンタウン（伊東市）	14.41%
	2	浄蓮の滝（伊豆市）	13.87%
	3	堂ヶ島公園（西伊豆町）	13.33%
	4	沼津港（沼津市）	10.81%
	5	道の駅開国下田みなと（下田市）	10.09%
	6	三島スカイウォーク（三島市）	9.01%
	7	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	7.57%
	8	韭山反射炉（伊豆の国市）	7.39%
	9	ペリーロード（下田市）	6.49%
	10	城ヶ崎海岸（伊東市）	6.13%
	11	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	5.77%
	12	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	5.05%
		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	5.05%
	14	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	4.14%
	15	ジオリア（伊豆市）	3.96%
	16	踊り子温泉会館（河津町）	3.78%
	17	三嶋大社（三島市）	3.24%
	18	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	2.88%
		龍宮窟（下田市）	2.88%
	20	恋人岬（伊豆市）	2.70%
		熱海サンビーチ（熱海市）	2.70%
	22	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	2.34%
		河津桜観光交流館（河津町）	2.34%
	24	来宮神社（熱海市）	1.98%
		東海館（伊東市）	1.98%
	26	十国峠レストハウス（函南町）	1.80%
	27	修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.26%
	28	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	1.08%
		道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.08%
		起雲閣（熱海市）	1.08%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	1.08%
		稲取細野高原（東伊豆町）	1.08%
	33	黄金崎公園（西伊豆町）	0.72%
	34	三の浦総合案内所（沼津市）	0.18%
		岩科学校（松崎町）	0.18%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.18%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.18%

観光地の相関関係に関する分析 起点：弓ヶ浜海岸

弓ヶ浜海岸は道の駅開国下田みなとと最も相関関係が強く、周遊割合は約26%。
次いで道の駅伊東マリンタウンが約14%、堂ヶ島公園が約11%となっている。

周遊地域（地図）

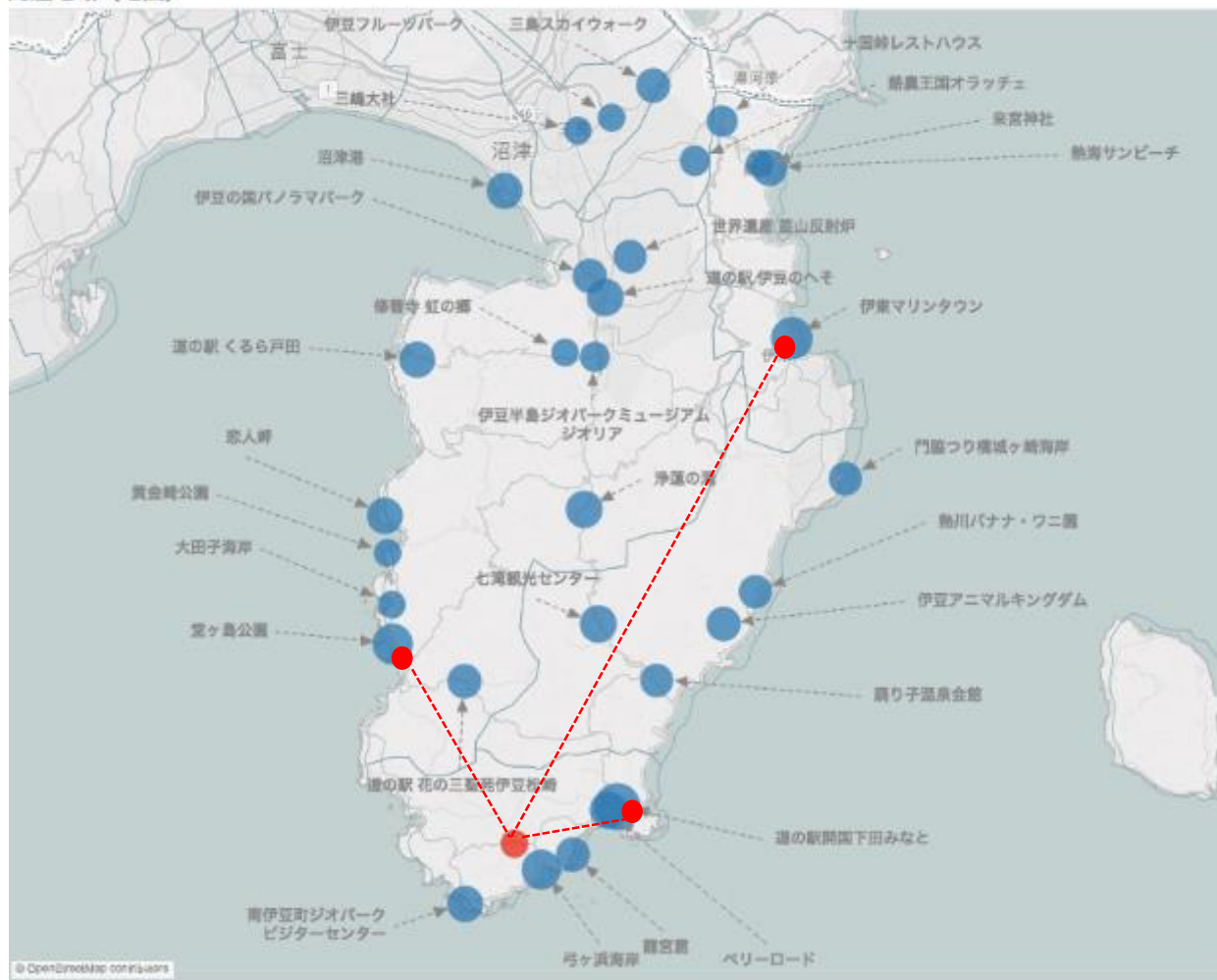


起点	順位	周遊先	割合
10_弓ヶ浜海岸	1	道の駅開国下田みなと（下田市）	26.05%
	2	伊東マリンタウン（伊東市）	14.47%
	3	堂ヶ島公園（西伊豆町）	10.93%
	4	ペリーロード（下田市）	10.61%
	5	龍宮窟（下田市）	9.65%
	6	浄蓮の滝（伊豆市）	8.36%
	7	沼津港（沼津市）	7.72%
	8	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	7.40%
		七滝観光センター（河津町）	7.40%
	10	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	6.75%
	11	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	5.47%
	12	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	4.50%
	13	三島スカイウォーク（三島市）	4.18%
	14	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.86%
		熱海サンビーチ（熱海市）	3.86%
	16	城ヶ崎海岸（伊東市）	1.93%
		韭山反射炉（伊豆の国市）	1.93%
	18	道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.61%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	1.61%
		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.61%
	21	踊り子温泉会館（河津町）	1.29%
	22	ジオリア（伊豆市）	0.96%
		来宮神社（熱海市）	0.96%
		恋人岬（伊豆市）	0.96%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.96%
		十国峠レストハウス（函南町）	0.96%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.96%
	28	東海館（伊東市）	0.64%
		黄金崎公園（西伊豆町）	0.64%
		起雲閣（熱海市）	0.64%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.64%
	32	三嶋大社（三島市）	0.32%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.32%

観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅 下賀茂温泉湯の花

道の駅下賀茂温泉湯の花は、道の駅開国下田みなとと最も相関関係が強く、周遊割合は約30%。次いで道の駅伊東マリタウンが約17%、堂ヶ島公園が約14%となっている。

周遊地域 (地図)

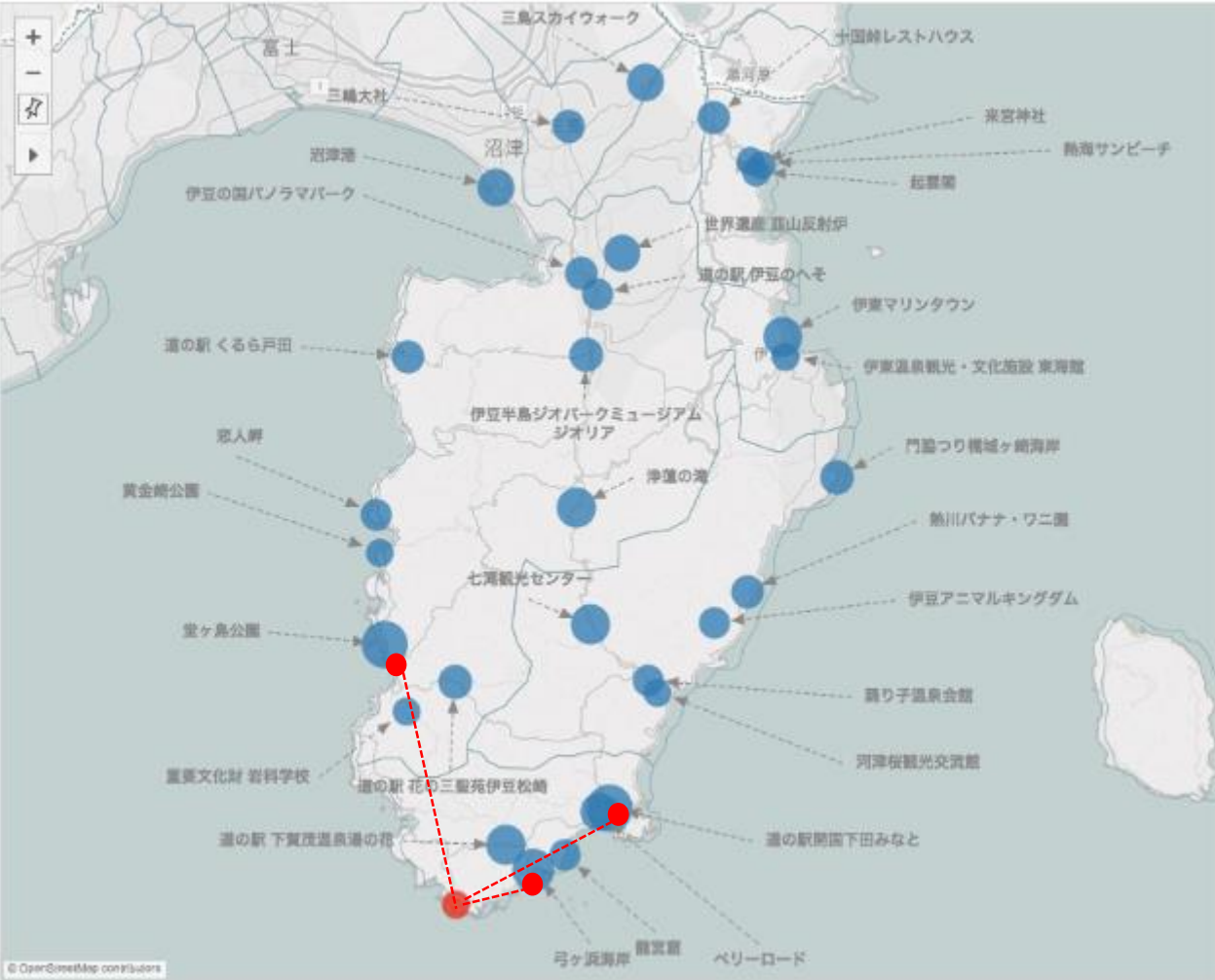


起点	二	順位	周遊先	
22 道の駅 下賀茂温泉湯の花	1		道の駅関国下田みなと（下田市）	29.59%
	2		伊東マリントウン（伊東市）	16.84%
	3		堂ヶ島公園（西伊豆町）	13.78%
	4		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	11.73%
	5		浄蓮の滝（伊豆市）	9.18%
	6		ペリーロード（下田市）	8.16%
			七滝観光センター（河津町）	8.16%
	8		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	7.65%
	9		恋人岬（伊豆市）	6.12%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	6.12%
	11		沼津港（沼津市）	5.61%
			道の駅 くるら戸田（沼津市）	5.61%
			熱海サンビーチ（熱海市）	5.61%
	14		三島スカイウォーク（三島市）	4.59%
	15		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	4.08%
			伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	4.08%
			龍宮窟（下田市）	4.08%
	18		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	3.57%
	19		踊り子温泉会館（河津町）	3.06%
			韭山反射炉（伊豆の国市）	3.06%
21		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.55%	
		城ヶ崎海岸（伊東市）	2.55%	
23		十国峠レストハウス（函南町）	1.53%	
24		ジオリア（伊豆市）	1.02%	
		酪農王国オラッチェ（函南町）	1.02%	
26		来宮神社（熱海市）	0.51%	
		黄金崎公園（西伊豆町）	0.51%	
		伊豆フルーツパーク（三島市）	0.51%	
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.51%	
		大田子海岸（西伊豆町）	0.51%	
		三嶋大社（三島市）	0.51%	

観光地の相関関係に関する分析 起点：南伊豆町ジオパークビジターセンター

南伊豆町ジオパークビジターセンターは道の駅開国下田みなと、堂ヶ島公園と最も相関関係が強く、周遊割合は約25%。
次いで弓ヶ浜海岸が約15%となっている。

周遊地域（地図）

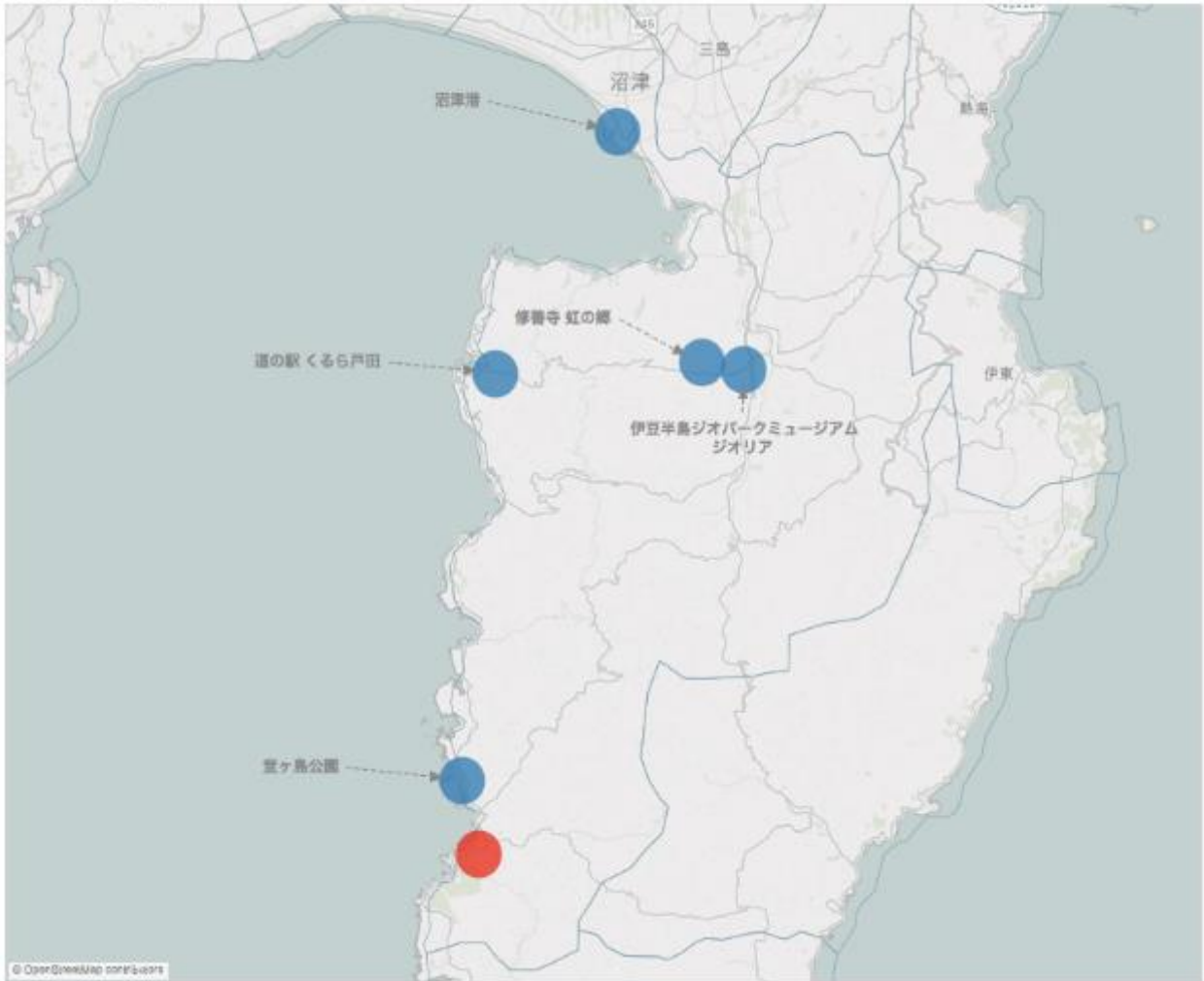


起点	ニ	順位	周遊先	
35_南伊豆町ジオパークビジターセンター	1		道の駅開国下田みなと（下田市）	25.44%
	2		堂ヶ島公園（西伊豆町）	24.56%
	3		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	14.91%
	4		七滝観光センター（河津町）	11.40%
	5		道の駅 下賀茂温泉の花（南伊豆町）	10.53%
			浄蓮の滝（伊豆市）	10.53%
	7		伊東マリンタウン（伊東市）	9.65%
	8		三島スカイウォーク（三島市）	7.02%
			沼津港（沼津市）	7.02%
			ペリーロード（下田市）	7.02%
	11		韭山反射炉（伊豆の国市）	6.14%
	12		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	4.39%
	13		ジオリア（伊豆市）	3.51%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	3.51%
	15		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.63%
			十国峠レストハウス（函南町）	2.63%
			道の駅 くるる戸田（沼津市）	2.63%
			伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	2.63%
			三嶋大社（三島市）	2.63%
	20		恋人岬（伊豆市）	1.75%
			道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	1.75%
			踊り子温泉会館（河津町）	1.75%
			龍宮窟（下田市）	1.75%
			伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.75%
	25		来宮神社（熱海市）	0.88%
			東海館（伊東市）	0.88%
			黄金崎公園（西伊豆町）	0.88%
			起雲閣（熱海市）	0.88%
			熱海サンビーチ（熱海市）	0.88%
			岩科学校（松崎町）	0.88%
			河津桜観光交流館（河津町）	0.88%

観光地の相関関係に関する分析 起点：伊豆の長八美術館

伊豆の長八美術館は堂ヶ島公園、ジオリア、沼津港、道の駅くるら戸田、修善寺虹の郷と最も相関関係が強く、周遊割合は約33%となっている。

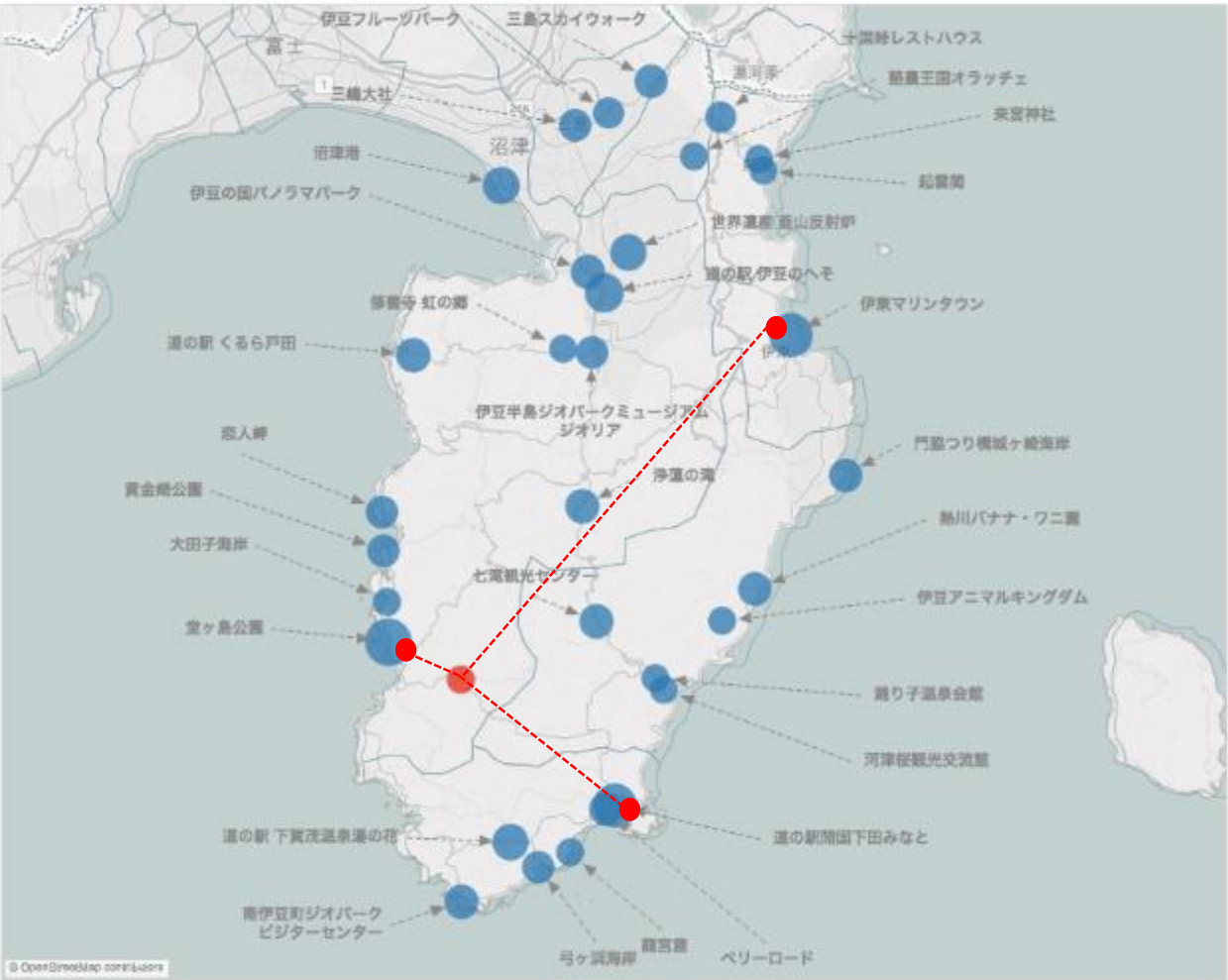
周遊地域（地図）



観光地の相関関係に関する分析 起点：道の駅 花の三聖苑伊豆松崎

道の駅花の三聖苑伊豆松崎は堂ヶ島公園と最も相関関係が強く、周遊割合は約34%。
次いで道の駅伊東マリンタウンが約24%、道の駅開国下田みなとが約23%となっている。

周遊地域（地図）

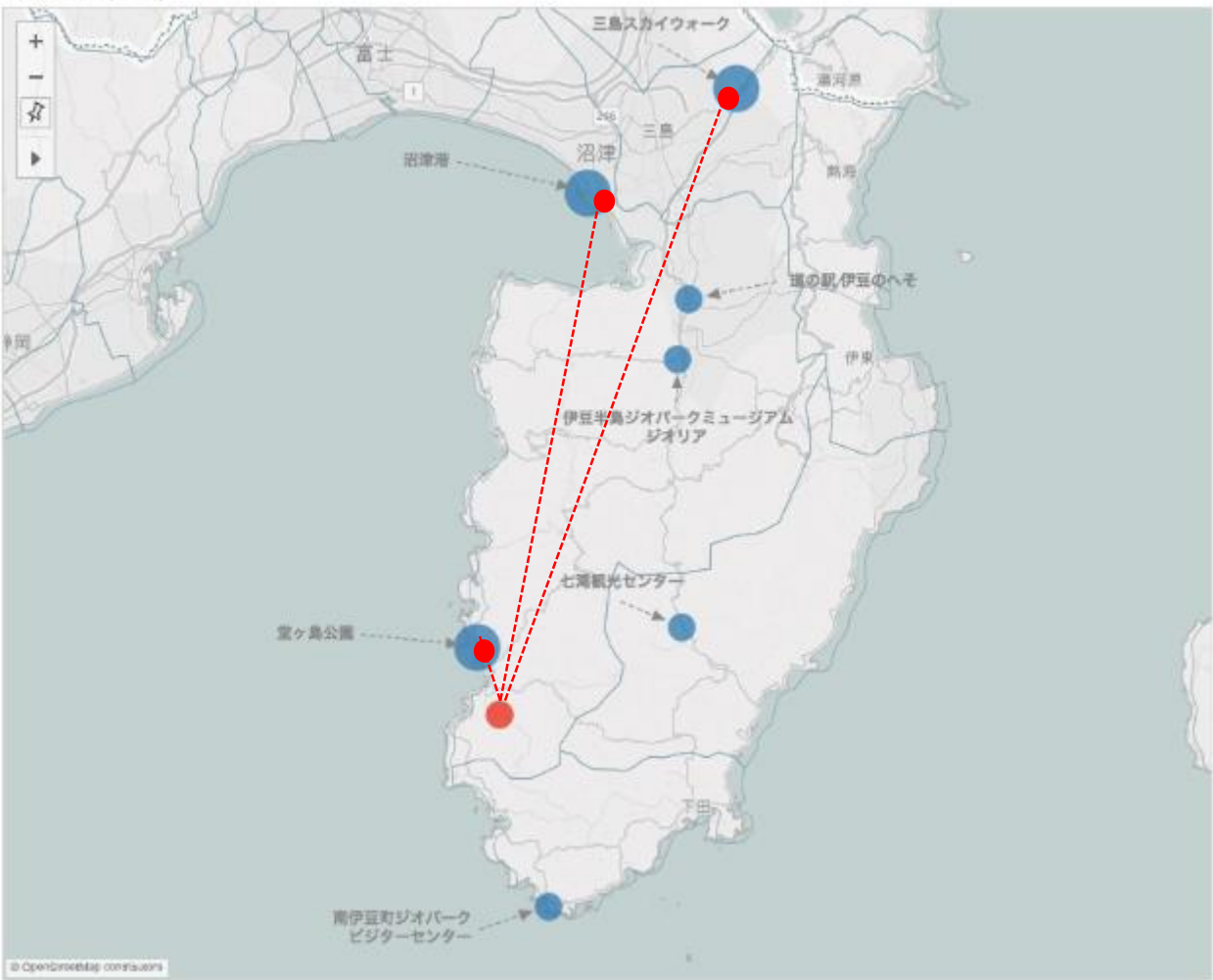


起点	ニ. 順位	周遊先	
23 道の駅 花の三聖苑伊豆松崎	1	堂ヶ島公園（西伊豆町）	33.64%
	2	伊東マリンタウン（伊東市）	24.30%
	3	道の駅開国下田みなと（下田市）	23.36%
	4	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	12.15%
	5	沼津港（沼津市）	8.41%
	6	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	7.48%
	7	韭山反射炉（伊豆の国市）	6.54%
	8	道の駅 くるら戸田（沼津市）	5.61%
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	5.61%
		七滝観光センター（河津町）	5.61%
	11	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	4.67%
		浄蓮の滝（伊豆市）	4.67%
	13	三島スカイウォーク（三島市）	3.74%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.74%
		城ヶ崎海岸（伊東市）	3.74%
		ペリーロード（下田市）	3.74%
	17	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.80%
		ジオリア（伊豆市）	2.80%
		恋人岬（伊豆市）	2.80%
		黄金崎公園（西伊豆町）	2.80%
		三嶋大社（三島市）	2.80%
	22	十国峠レストハウス（函南町）	1.87%
		伊豆フルーツパーク（三島市）	1.87%
	24	来宮神社（熱海市）	0.93%
		踊り子温泉会館（河津町）	0.93%
		起雲閣（熱海市）	0.93%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	0.93%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.93%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.93%
		龍宮窟（下田市）	0.93%
		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	0.93%
		河津桜観光交流館（河津町）	0.93%

観光地の相関関係に関する分析 起点：岩科学校

岩科学校は堂ヶ島公園、三島スカイウォーク、沼津港と最も相関関係が強く、周遊割合は約33%。次いでジオリア、道の駅 伊豆のへそ、七滝観光センター、南伊豆町ジオパークビジターセンターが約17%となっている。

周遊地域（地図）

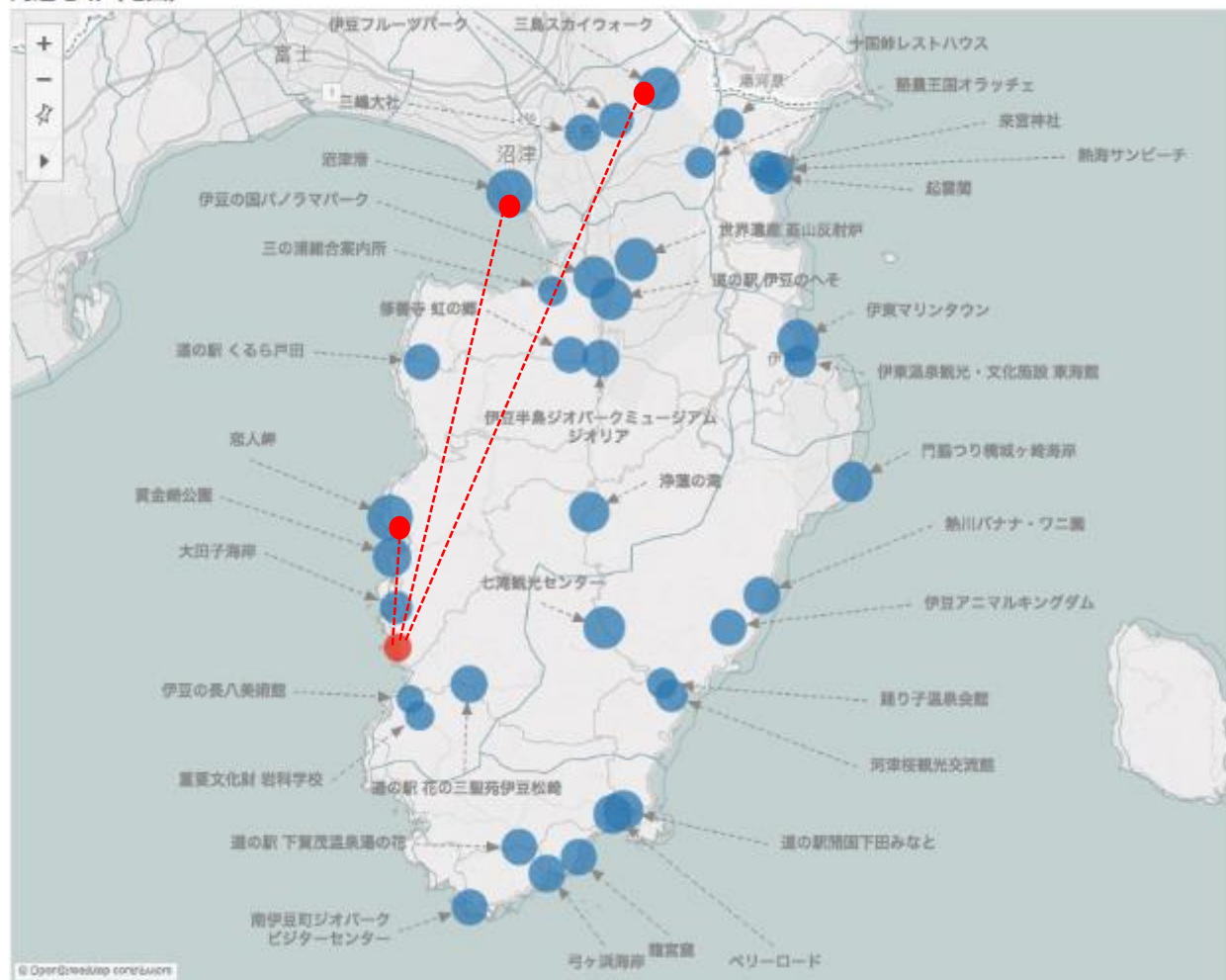


起点	ニ 順位	周遊先	
36_岩科学校	1	堂ヶ島公園（西伊豆町）	33.33%
		三島スカイウォーク（三島市）	33.33%
		沼津港（沼津市）	33.33%
4	4	ジオリア（伊豆市）	16.67%
		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	16.67%
		七滝観光センター（河津町）	16.67%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	16.67%

観光地の相関関係に関する分析 起点：堂ヶ島公園

堂ヶ島公園は沼津港と最も相関関係が強く、周遊割合は約15%。次いで恋人岬が約14%、三島スカイウォークが約11%となっている。

周遊地域（地図）

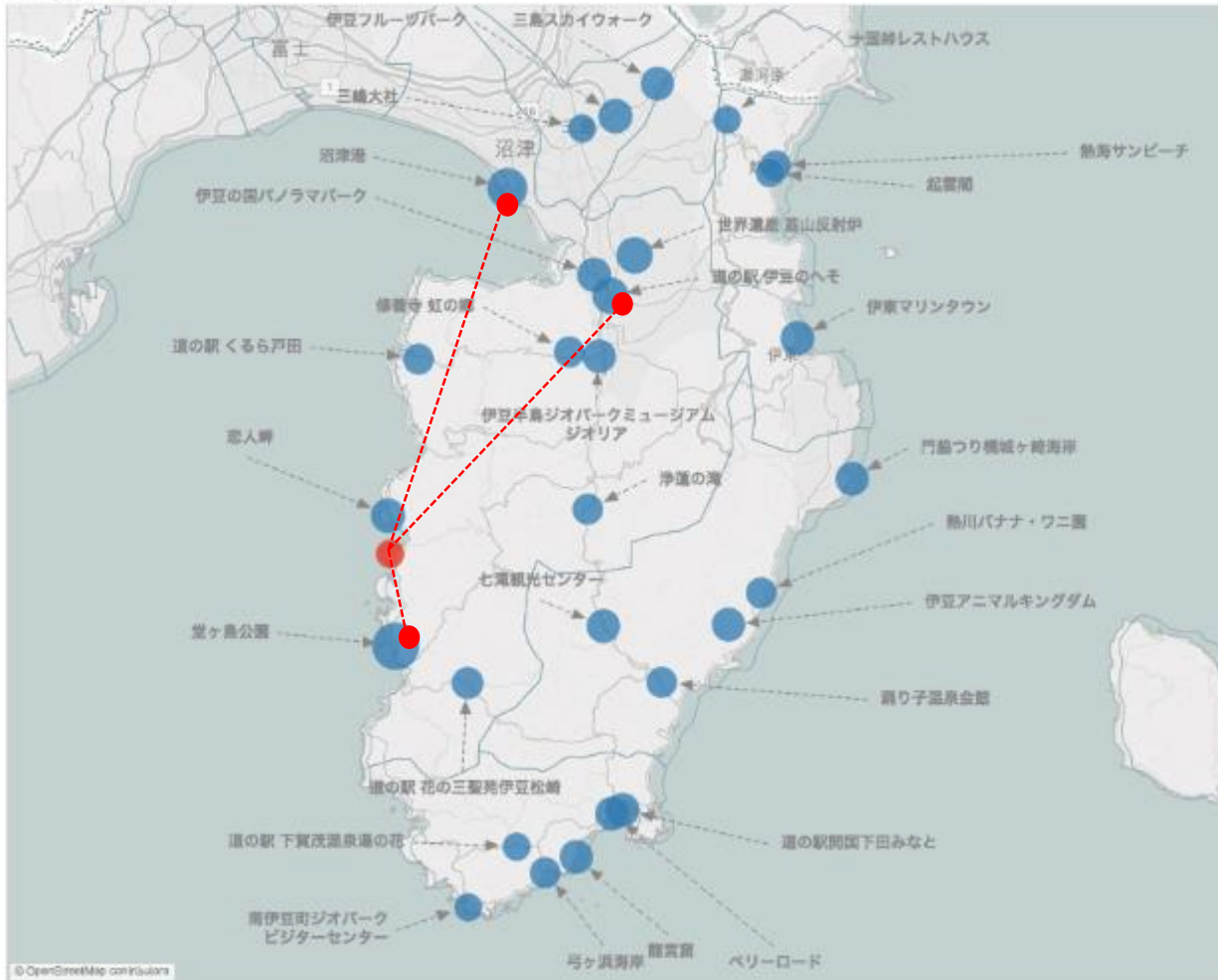


起点	順位	周遊先	
12_堂ヶ島公園	1	沼津港（沼津市）	15.36%
	2	恋人岬（伊豆市）	13.79%
	3	三島スカイウォーク（三島市）	10.65%
	4	韭山反射炉（伊豆の国市）	9.53%
	5	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	9.08%
	6	伊東マリントウン（伊東市）	8.97%
	7	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	8.86%
	8	七滝観光センター（河津町）	8.30%
	9	道の駅関国下田みなと（下田市）	7.06%
		浄蓮の滝（伊豆市）	7.06%
	11	城ヶ崎海岸（伊東市）	6.73%
	12	黄金崎公園（西伊豆町）	5.38%
		ペリーロード（下田市）	5.38%
	14	ジオリア（伊豆市）	4.60%
	15	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	4.04%
	16	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	3.81%
		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.81%
	18	三嶋大社（三島市）	3.36%
	19	南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	3.14%
	20	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	3.03%
		龍宮窟（下田市）	3.03%
	22	道の駅 くるら戸田（沼津市）	2.69%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.69%
	24	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.58%
	25	伊豆フルーツパーク（三島市）	2.47%
	26	熱海サンビーチ（熱海市）	2.24%
	27	大田子海岸（西伊豆町）	1.68%
	28	来宮神社（熱海市）	1.12%
	29	東海館（伊東市）	1.01%
		起雲閣（熱海市）	1.01%
	31	河津桜観光交流館（河津町）	0.67%
	32	十国峠レストハウス（函南町）	0.56%
	33	酪農王国オラッチェ（函南町）	0.45%
	34	踊り子温泉会館（河津町）	0.34%
	35	三の浦総合案内所（沼津市）	0.22%
		岩科学校（松崎町）	0.22%
	37	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.11%

観光地の相関関係に関する分析 起点：黄金崎公園

黄金崎公園は堂ヶ島公園と最も相関関係が強く、周遊割合は約51%。次いで沼津港が約21%、道の駅 伊豆のへそが約11%となっている。

周遊地域（地図）

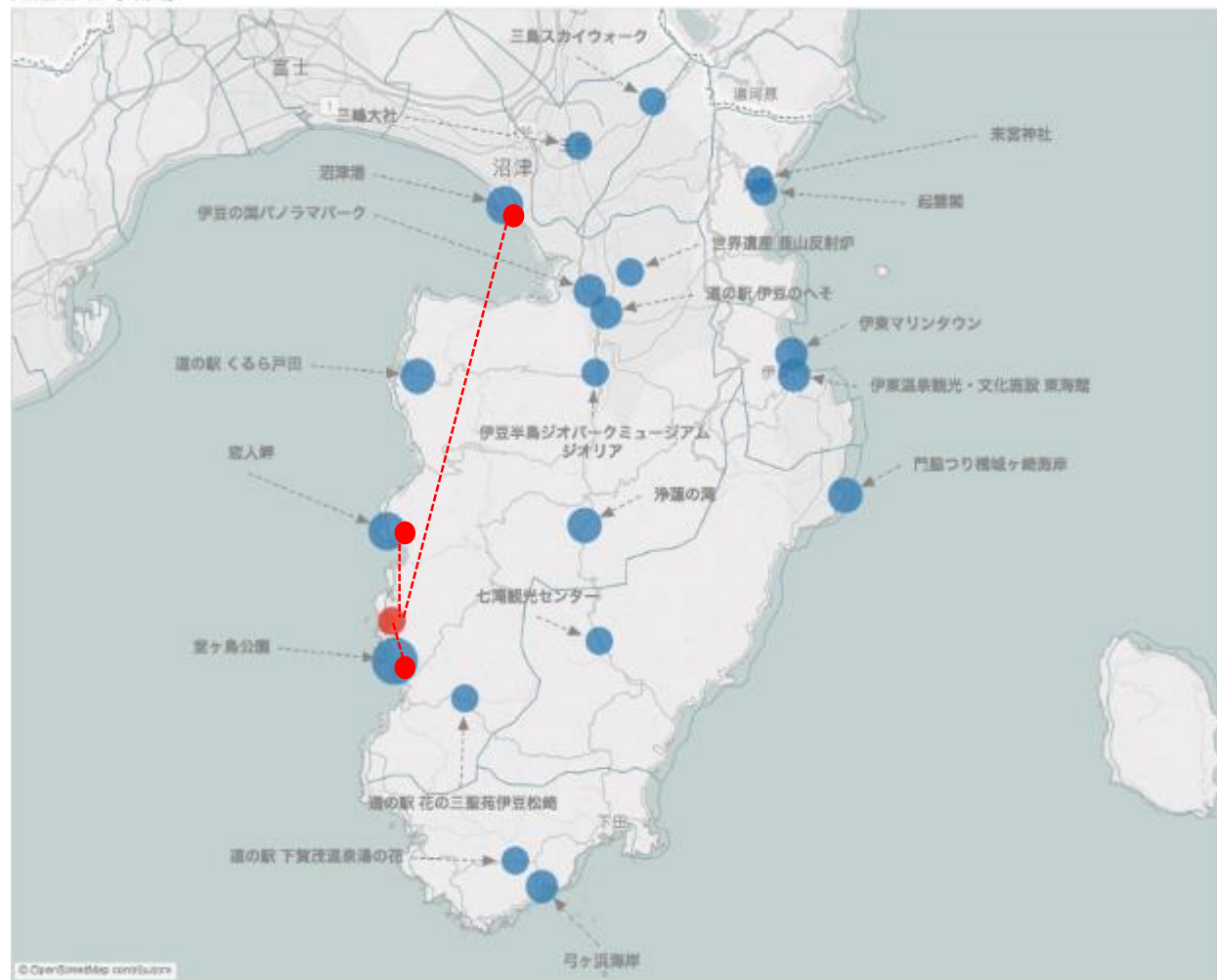


起点	二	順位	周遊先	
24_黄金崎公園	1		堂ヶ島公園（西伊豆町）	50.53%
	2		沼津港（沼津市）	21.05%
	3		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	10.53%
	4		韭山反射炉（伊豆の国市）	9.47%
	5		伊東マリンタウン（伊東市）	8.42%
	6		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	7.37%
			道の駅開国下田みなと（下田市）	7.37%
	8		恋人岬（伊豆市）	6.32%
			伊豆フルーツパーク（三島市）	6.32%
	10		三島スカイウォーク（三島市）	5.26%
			ペリーロード（下田市）	5.26%
			龍宮窟（下田市）	5.26%
	13		ジオリア（伊豆市）	4.21%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	4.21%
			七滝観光センター（河津町）	4.21%
			伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	4.21%
	17		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	3.16%
	18		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	2.11%
			熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.11%
			踊り子温泉会館（河津町）	2.11%
		道の駅 くるる戸田（沼津市）	2.11%	
		熱海サンビーチ（熱海市）	2.11%	
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.11%	
		浄蓮の滝（伊豆市）	2.11%	
25		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.05%	
		十国峠レストハウス（函南町）	1.05%	
		起雲閣（熱海市）	1.05%	
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.05%	
		三嶋大社（三島市）	1.05%	

観光地の相関関係に関する分析 起点：大田子海岸

大田子海岸は堂ヶ島公園と最も相関関係が強く、周遊割合は50%。
次いで恋人岬、沼津港が約17%となっている。

周遊地域（地図）

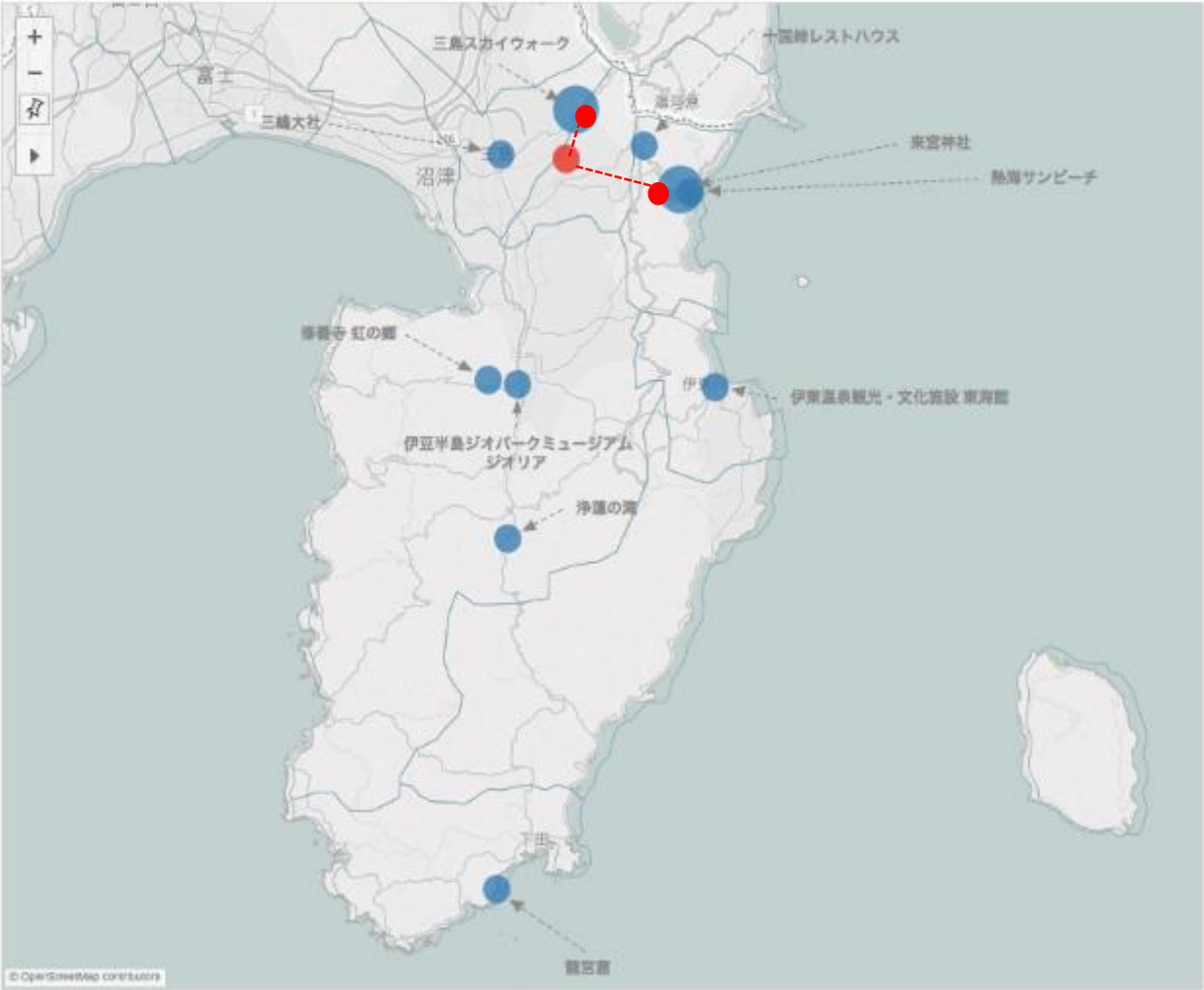


起点	二	順位	周遊先	
37_大田子海岸	1	堂ヶ島公園（西伊豆町）	50.00%	
		恋人岬（伊豆市）	16.67%	
		沼津港（沼津市）	16.67%	
	4	道の駅 くるら戸田（沼津市）	10.00%	
		城ヶ崎海岸（伊東市）	10.00%	
		浄蓮の滝（伊豆市）	10.00%	
	7	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	6.67%	
		東海館（伊東市）	6.67%	
		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	6.67%	
		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	6.67%	
		伊東マリンタウン（伊東市）	6.67%	
	12	ジオリア（伊豆市）	3.33%	
		来宮神社（熱海市）	3.33%	
		三島スカイウォーク（三島市）	3.33%	
		道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	3.33%	
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	3.33%	
		起雲閣（熱海市）	3.33%	
		七滝観光センター（河津町）	3.33%	
		三嶋大社（三島市）	3.33%	
	韭山反射炉（伊豆の国市）	3.33%		

観光地の相関関係に関する分析 起点：かなみ仏の里美術館

かなみ仏の里美術館は来宮神社、三島スカイウォークと最も相関関係が強く、周遊割合は約29%。次いでジオリア、東海館、十国峠レストハウス、熱海サンビーチ、修善寺 虹の郷、龍宮窟、三嶋大社、浄蓮の滝が約14%となっている。

周遊地域（地図）

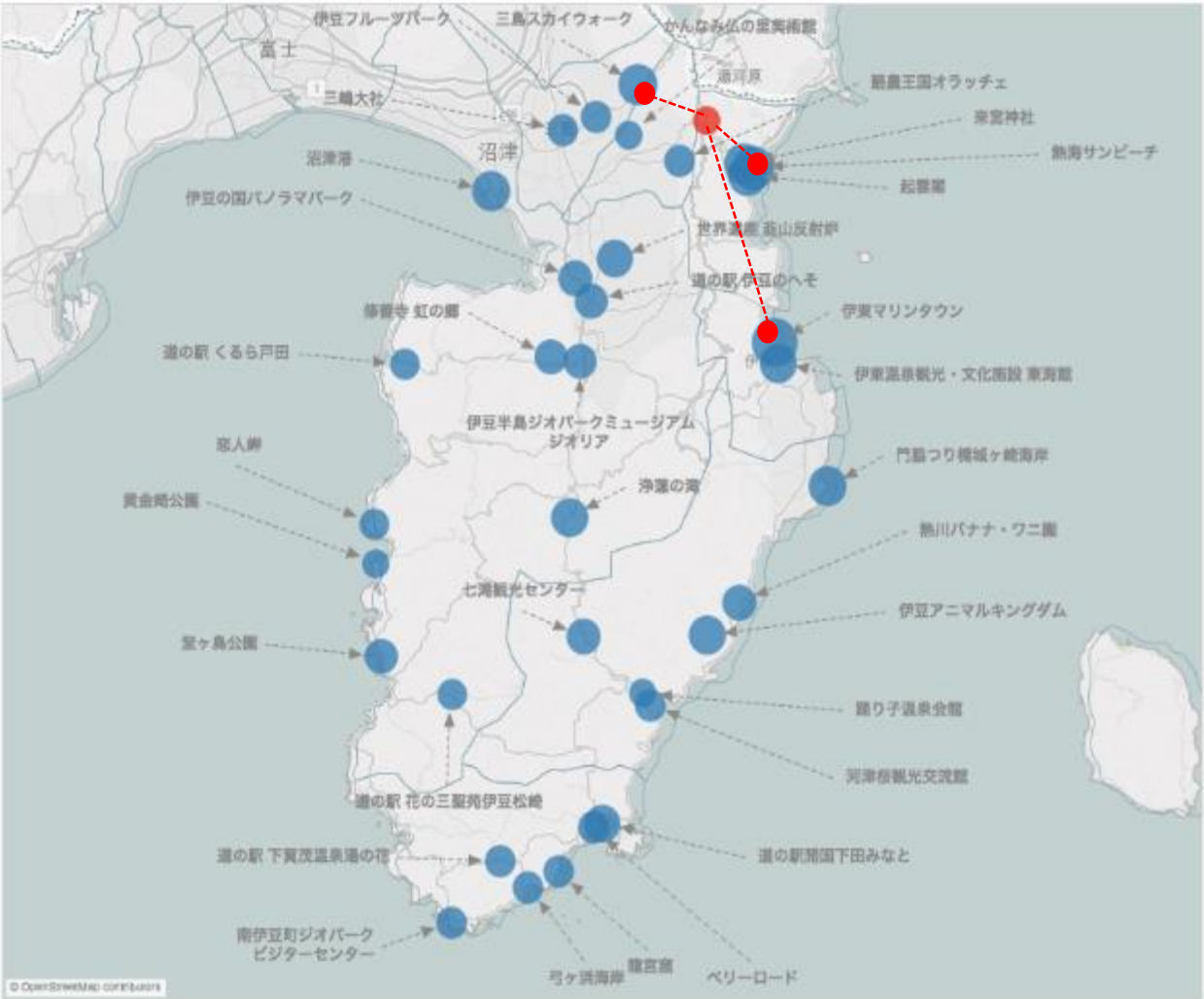


起点	順位	周遊先	割合
40. かなみ仏の里美術館	1	来宮神社（熱海市）	28.57%
		三島スカイウォーク（三島市）	28.57%
3		ジオリア（伊豆市）	14.29%
		東海館（伊東市）	14.29%
		十国峠レストハウス（函南町）	14.29%
		熱海サンビーチ（熱海市）	14.29%
		修善寺 虹の郷（伊豆市）	14.29%
		龍宮窟（下田市）	14.29%
		三嶋大社（三島市）	14.29%
		浄蓮の滝（伊豆市）	14.29%

観光地の相関関係に関する分析 起点：十国峠レストハウス

十国峠レストハウスは道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約23%。
次いで熱海サンビーチが約15%、来宮神社、三島スカイウォーク、起雲閣が約10%となっている。

周遊地域（地図）

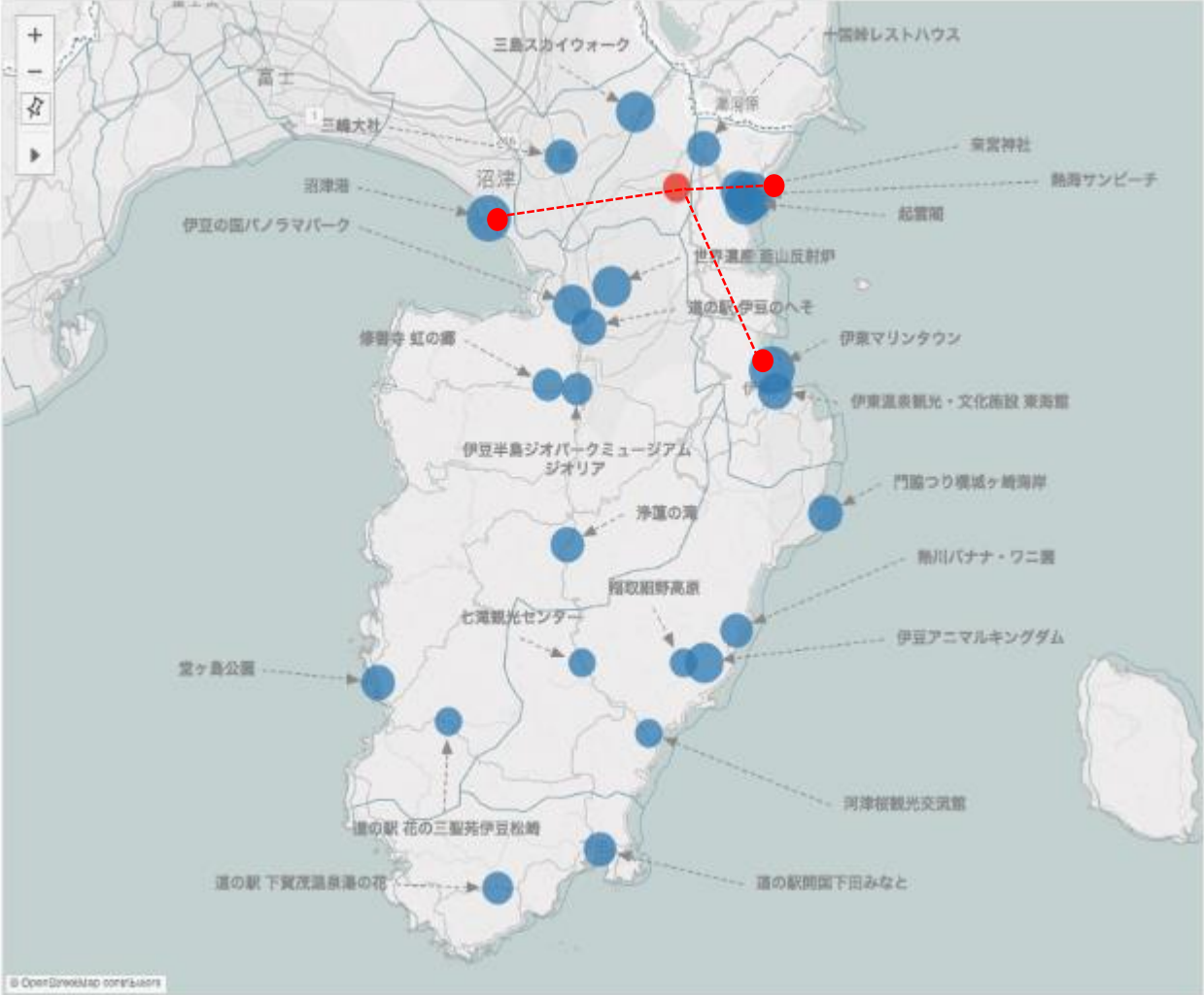


起点	ニ	順位	周遊先	
25_十国峠レスト ハウス	1		伊東マリンタウン（伊東市）	23.17%
	2		熱海サンビーチ（熱海市）	14.67%
	3		来宮神社（熱海市）	9.65%
			三島スカイウォーク（三島市）	9.65%
			起雲閣（熱海市）	9.65%
	6		城ヶ崎海岸（伊東市）	8.11%
	7		沼津港（沼津市）	7.34%
	8		浄蓮の滝（伊豆市）	6.95%
	9		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	6.56%
	10		東海館（伊東市）	5.79%
	11		道の駅開国下田みなと（下田市）	5.41%
	12		韭山反射炉（伊豆の国市）	5.02%
	13		七海観光センター（河津町）	3.86%
	14		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	3.47%
			伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	3.47%
	16		道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	2.70%
	17		修善寺 虹の郷（伊豆市）	2.32%
	18		堂ヶ島公園（西伊豆町）	1.93%
			ジオリア（伊豆市）	1.93%
	20		ペリーロード（下田市）	1.54%
			酪農王国オラッチェ（函南町）	1.54%
			河津桜観光交流館（河津町）	1.54%
	23		弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.16%
			道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.16%
			伊豆フルーツパーク（三島市）	1.16%
			南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.16%
			龍宮窟（下田市）	1.16%
			三嶋大社（三島市）	1.16%
	29		恋人岬（伊豆市）	0.77%
			道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.77%
			道の駅 くるら戸田（沼津市）	0.77%
	32		踊り子温泉会館（河津町）	0.39%
			黄金崎公園（西伊豆町）	0.39%
			かなみみの里美術館（函南町）	0.39%

観光地の相関関係に関する分析 起点：酪農王国オラッチェ

酪農王国オラッチェは熱海サンビーチ、道の駅伊東マリンタウンと最も相関関係が強く、周遊割合は約19%。
次いで沼津港が約16%となっている。

周遊地域（地図）

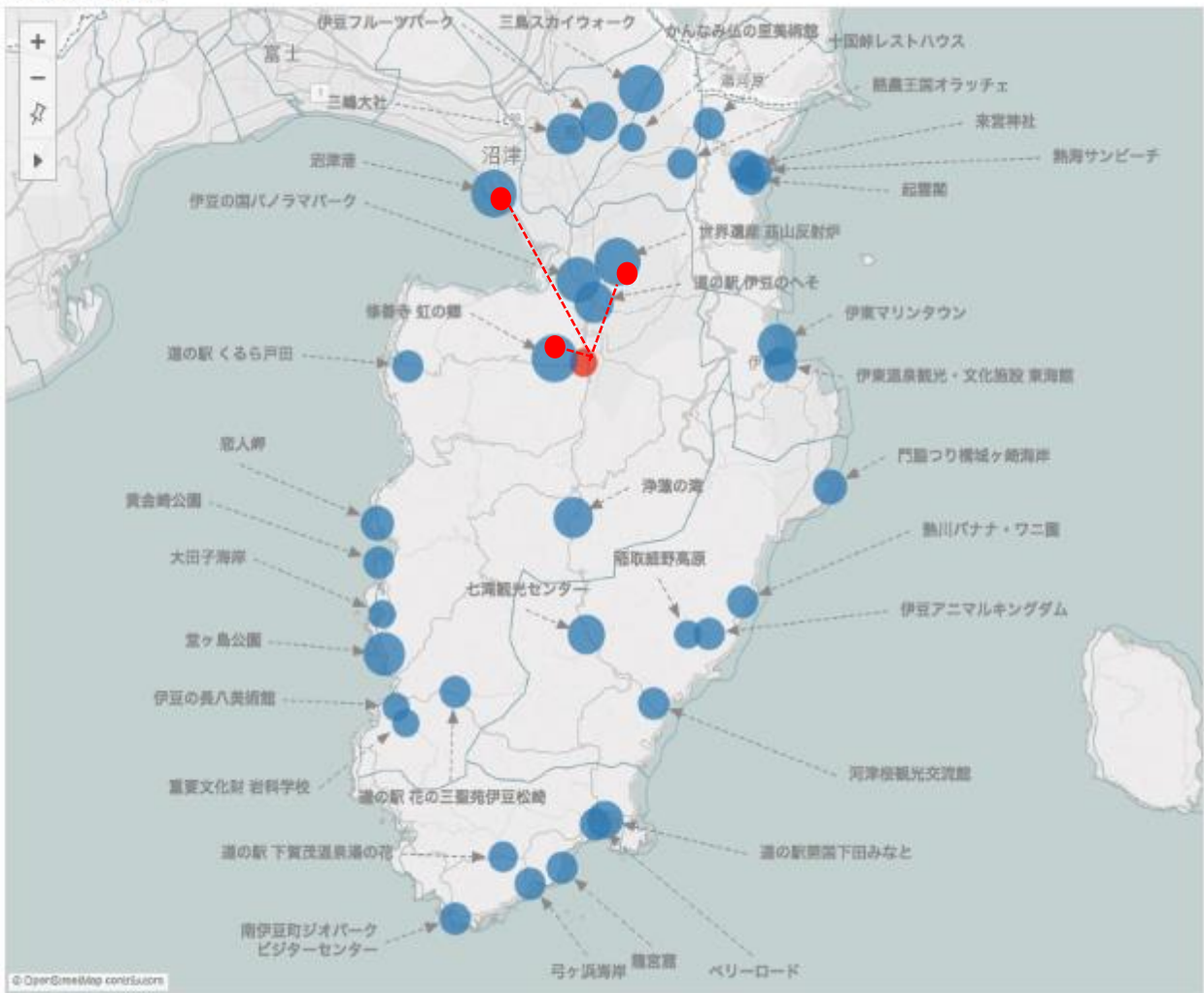


起点	ニ	順位	周遊先	
38_酪農王国オラッチェ	1		熱海サンビーチ（熱海市）	19.40%
	2		伊東マリンタウン（伊東市）	18.66%
	3		沼津港（沼津市）	16.42%
	4		起雲閣（熱海市）	11.94%
	5		韭山反射炉（伊豆の国市）	9.70%
	6		三島スカイウォーク（三島市）	8.96%
	7		来宮神社（熱海市）	8.21%
	8		伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	7.46%
	9		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	6.72%
	10		道の駅伊豆のへそ（伊豆の国市）	4.48%
	11		東海館（伊東市）	3.73%
			城ヶ崎海岸（伊東市）	3.73%
	13		堂ヶ島公園（西伊豆町）	2.99%
			十国峠レストハウス（函南町）	2.99%
			浄蓮の滝（伊豆市）	2.99%
	16		熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.24%
			三嶋大社（三島市）	2.24%
			道の駅開国下田みなと（下田市）	2.24%
	19		ジオリア（伊豆市）	1.49%
			道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	1.49%
			修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.49%
	22		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.75%
			稲取細野高原（東伊豆町）	0.75%
			七滝観光センター（河津町）	0.75%
			河津桜観光交流館（河津町）	0.75%

観光地の相関関係に関する分析 起点：ジオリア

ジオリアは修善寺虹の郷、沼津港、葦山反射炉と最も相関関係が強く、周遊割合は約18%。次いで三島スカイウォークが約15%となっている。

周遊地域（地図）

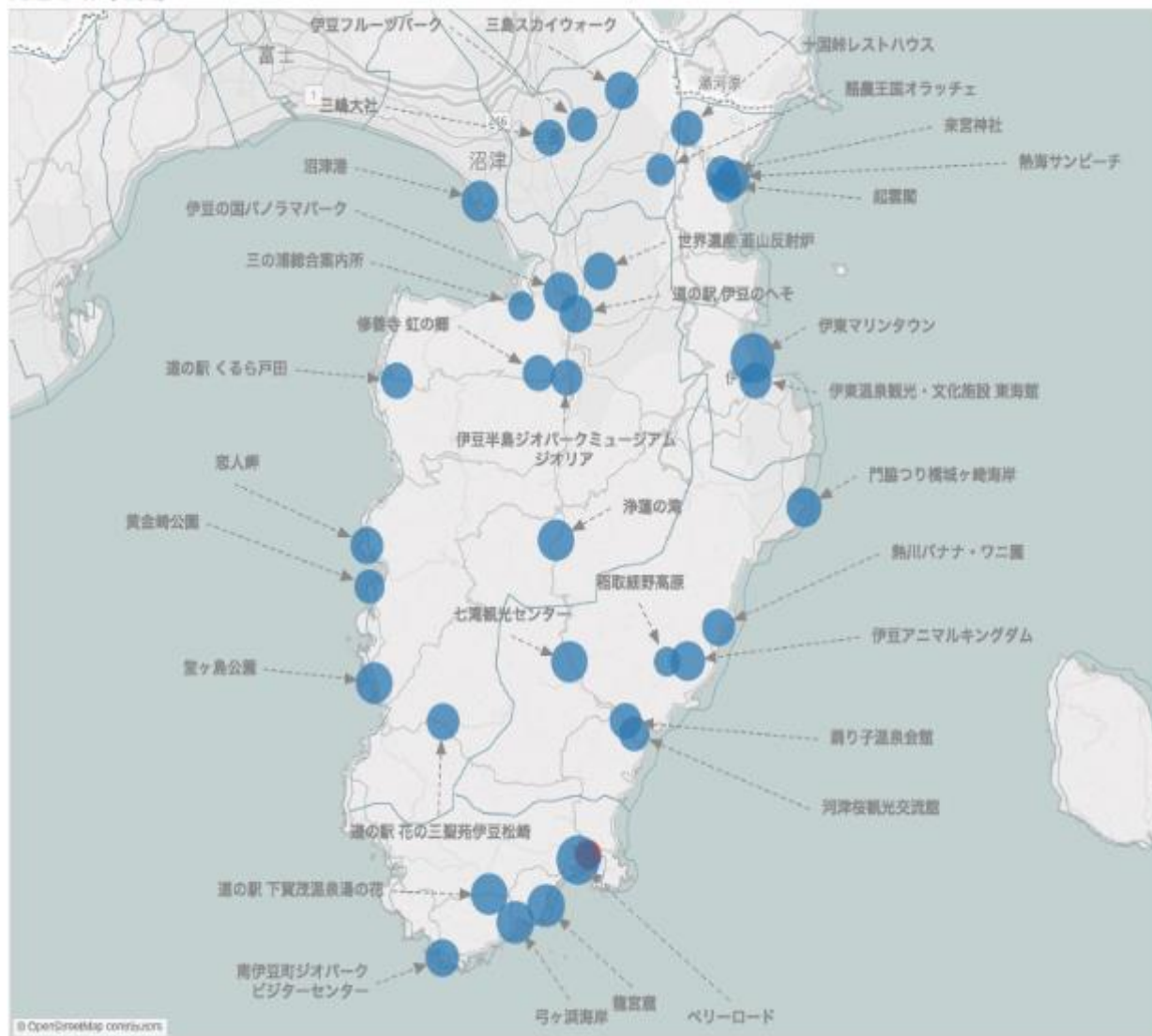


起点	ニ. 順位	周遊先	
13_ジオリア	1	修善寺 虹の郷（伊豆市）	17.80%
	2	沼津港（沼津市）	17.54%
		葦山反射炉（伊豆の国市）	17.54%
	4	三島スカイウォーク（三島市）	15.45%
	5	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	14.40%
	6	堂ヶ島公園（西伊豆町）	10.73%
	7	浄蓮の滝（伊豆市）	8.64%
	8	三嶋大社（三島市）	8.38%
	9	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	7.85%
	10	伊東マリンタウン（伊東市）	7.07%
	11	伊豆フルーツパーク（三島市）	6.54%
	12	七滝観光センター（河津町）	5.76%
	13	道の駅開国下田みなと（下田市）	4.45%
	14	城ヶ崎海岸（伊東市）	2.88%
	15	熱海サンビーチ（熱海市）	2.62%
	16	来宮神社（熱海市）	2.36%
		東海館（伊東市）	2.36%
		恋人岬（伊豆市）	2.36%
	19	起雲閣（熱海市）	1.57%
	20	十国峠レストハウス（函南町）	1.31%
		道の駅 くるら戸田（沼津市）	1.31%
		ベリーロード（下田市）	1.31%
		伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	1.31%
		河津桜観光交流館（河津町）	1.31%
	25	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	1.05%
		黄金崎公園（西伊豆町）	1.05%
		南伊豆町ジオパークビジターセンター（南伊豆町）	1.05%
		龍宮窟（下田市）	1.05%
	29	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	0.79%
		道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.79%
	31	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.52%
		酪農王国オラッチェ（函南町）	0.52%
	33	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.26%
		稲取裾野高原（東伊豆町）	0.26%
		岩科学校（松崎町）	0.26%
		大田子海岸（西伊豆町）	0.26%
		かななみ仏の里美術館（函南町）	0.26%

観光地の来訪状況 伊豆半島7市6町 合計

道の駅伊東マリンタウンの来訪が最も多く約11%、次いで熱海サンビーチ、沼津港が約10%、来宮神社、三島スカイウォークが約6%となっている。

周遊地域（地図）



	順位	観光スポット	来訪率	来訪者数(人)
7市6町村	1	伊東マリンタウン（伊東市）	11.23%	4494
	2	熱海サンビーチ（熱海市）	10.25%	4102
	3	沼津港（沼津市）	9.99%	3999
	4	来宮神社（熱海市）	5.97%	2389
	5	三島スカイウォーク（三島市）	5.54%	2219
	6	伊豆の国パノラマパーク（伊豆の国市）	3.91%	1566
	7	起雲閣（熱海市）	3.88%	1552
	8	堂ヶ島公園（西伊豆町）	3.83%	1533
	9	東海館（伊東市）	3.52%	1407
	10	道の駅開国下田みなと（下田市）	3.50%	1401
	11	韭山反射炉（伊豆の国市）	3.45%	1379
	12	伊豆アニマルキングダム（東伊豆町）	2.77%	1108
	13	城ヶ崎海岸（伊東市）	2.75%	1102
	14	道の駅 伊豆のへそ（伊豆の国市）	2.74%	1095
	15	三嶋大社（三島市）	2.55%	1019
	16	熱川バナナ・ワニ園（東伊豆町）	2.47%	989
	17	七滝観光センター（河津町）	2.28%	911
	18	浄蓮の滝（伊豆市）	2.00%	772
	19	ジオリア（美伊豆）	1.94%	806
	20	ベリーロード（下田市）	1.89%	756
	21	弓ヶ浜海岸（南伊豆町）	1.65%	662
	22	修善寺 虹の郷（伊豆市）	1.52%	609
	23	伊豆フルーツパーク（三島市）	1.48%	593
	24	十国峠レストハウス（函南町）	1.38%	554
	25	恋人岬（伊豆市）	1.05%	420
	26	龍宮窟（下田市）	0.93%	374
	27	道の駅 くら戸田（沼津市）	0.87%	347
	28	道の駅 下賀茂温泉湯の花（南伊豆町）	0.78%	314
	29	酪農王国オラッチェ（函南町）	0.72%	289
	30	河津桜観光交流館（河津町）	0.46%	184
	31	黄金崎公園（西伊豆町）	0.43%	174
		南伊豆町ジオパークビジターセンター	0.43%	172
	33	道の駅 花の三聖苑伊豆松崎（松崎町）	0.42%	170
	34	踊り子温泉会館（河津町）	0.40%	161
	35	稲取細野高原（東伊豆町）	0.36%	144
	36	三の浦総合案内所（沼津市）	0.35%	141
	37	大田子海岸（西伊豆町）	0.13%	51
	38	かなんみ仏の里美術館（函南町）	0.10%	39
	39	伊豆の長八美術館（松崎町）	0.03%	12
	岩科学校（松崎町）	0.03%	12	

＜道の駅伊東マリンタウンを中心とした東部と西部の連動＞

現状、道の駅伊東マリンタウンとの相関関係が強い観光地は伊豆東海岸に集中している。観光客数が最も多かった道の駅伊東マリンタウン（11.23%）をハブとし、伊豆の国パノラマパーク（3.91%）、堂ヶ島公園（3.83%）、韮山反射炉（3.45%）、道の駅伊豆のへそ（2.74%）などの中伊豆・西伊豆地区の観光スポットとの連携によって、伊豆半島の滞在時間を延ばすことができる。他にも2地点間、3地点間の相関性の高い地域については、今後のゴールデンルートとして磨き上げていくことが重要である。

＜三島スカイウォークが生まれたことでの新たな北部連携＞

北部では沼津港（9.99%）、来宮神社（5.97%）に加え、三島スカイウォーク（5.54%）が高い集客効果を示した。今後は2017年5月に道の駅伊豆ゲートウェイ函南がオープンすることで、同駅が道の駅伊東マリンタウンのように伊豆北部での高いハブ機能を持ち、観光客の流動が更に高まることが期待できる。沼津港については韮山反射炉、道の駅伊東マリンタウンへの強い相関関係を示しており、こちらも北部流入者の中伊豆、東海岸地区へのハブ機能を果たしていることが見られた。

旅程に関する分析

観光客が日帰り・宿泊（域内・域外）など
どのような旅行日程で来訪したか

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島を訪れた国内に居住する観光客の旅程を分析します。伊豆半島全域、および各13市町単位、属性別（性別・年代）で分析します。
※宿泊時間内にデータ取得がなかった場合は“宿泊地不明”とし、その宿泊回数は“域外宿泊”としてカウントします

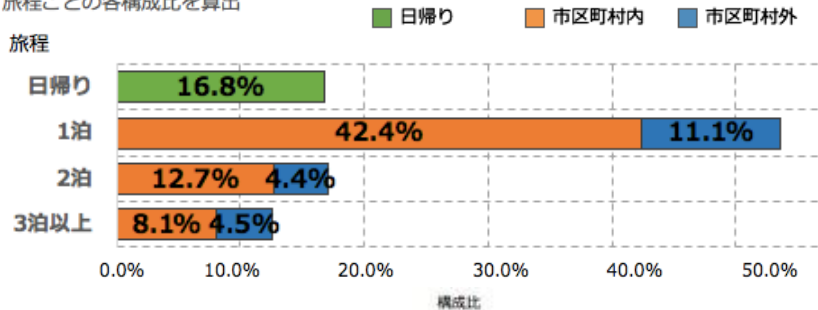
旅程分析 伊豆半島7市6町

伊豆半島を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約63%。約37%は日帰り、もしくは域外宿泊となっている。

なお、性年代別ではいずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



旅程	伊豆半島外	伊豆半島内	日帰り
日帰り			17,180回
1泊	11,377回	43,381回	
2泊	4,470回	12,966回	
3泊以上	4,574回	8,277回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

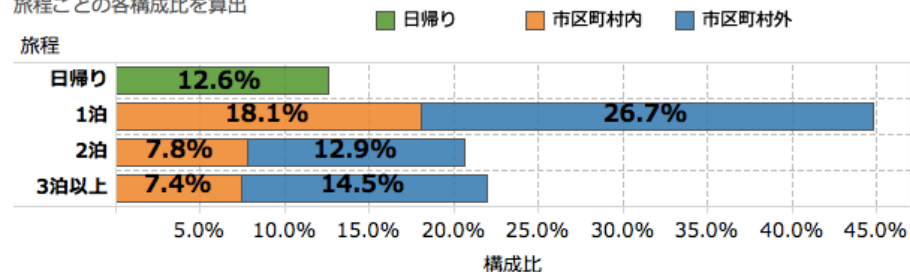
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	10.8%	7.5%	24.5%	16.2%	11.1%	29.8%
1泊	伊豆半島外	16.8%	15.8%	26.5%	12.8%	11.7%	16.3%
	伊豆半島内	13.6%	10.5%	30.1%	12.9%	9.8%	23.2%
2泊	伊豆半島外	11.0%	12.6%	24.4%	13.3%	14.8%	23.8%
	伊豆半島内	14.9%	12.1%	29.3%	12.9%	10.3%	20.6%
3泊以上	伊豆半島外	9.0%	9.5%	24.4%	13.5%	14.0%	29.6%
	伊豆半島内	10.6%	11.8%	24.2%	13.5%	14.8%	25.0%

旅程分析 沼津市

沼津市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約33%。約67%は日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では日帰り、宿泊とも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			3,247回
1泊	6,876回	4,650回	
2泊	3,308回	2,009回	
3泊以上	3,745回	1,905回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

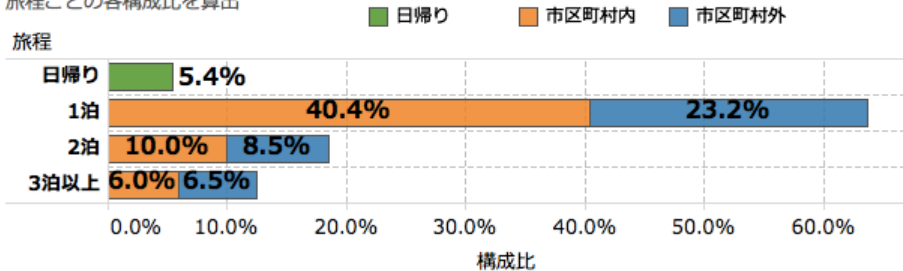
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	13.6%	14.2%	29.7%	11.2%	11.5%	19.8%
	市区町村内	6.6%	5.3%	21.6%	15.0%	11.8%	39.8%
2泊	市区町村外	13.3%	12.7%	22.7%	15.4%	14.5%	21.4%
	市区町村内	7.4%	12.9%	30.8%	8.0%	13.8%	27.2%
3泊以上	市区町村外	12.1%	11.0%	27.8%	13.1%	11.7%	24.4%
	市区町村内	15.2%	17.0%	26.1%	11.9%	13.1%	16.7%

旅程分析 熱海市

熱海市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約56%。約44%が日帰り、域外宿泊となっている。
 なお、性年代別では日帰り、宿泊とも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として
 旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			1,328回
1泊	5,740回	9,975回	
2泊	2,111回	2,470回	
3泊以上	1,603回	1,476回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
 ※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
 ※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
 ※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

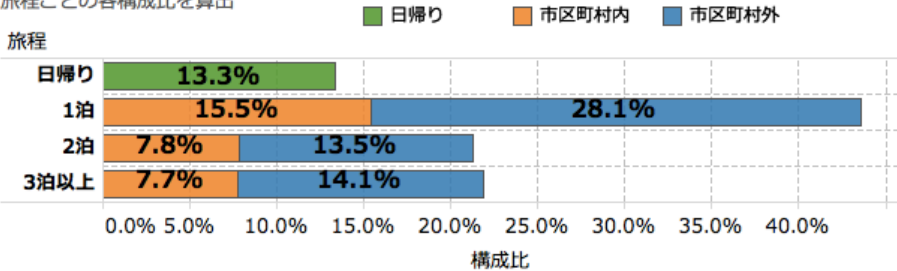
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.1%	11.1%	26.6%	13.6%	12.2%	24.4%
	市区町村内	9.3%	9.1%	29.1%	11.7%	11.2%	29.7%
2泊	市区町村外	12.0%	11.0%	24.6%	14.7%	13.2%	24.5%
	市区町村内	20.1%	13.1%	35.6%	10.1%	6.5%	14.6%
3泊以上	市区町村外	14.2%	10.1%	24.7%	16.4%	11.4%	23.2%
	市区町村内	12.2%	14.7%	31.1%	9.9%	11.7%	20.5%

旅程分析 三島市

三島市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が31%。69%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。
 なお、性年代別では日帰りは男女とも50歳以上が最も多く、2泊の域内宿泊は男女とも35～49歳、
 3泊以上の域外は男性10～34歳が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として
 旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			1,913回
1泊	4,031回	2,218回	
2泊	1,931回	1,121回	
3泊以上	2,027回	1,108回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
 ※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
 ※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
 ※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

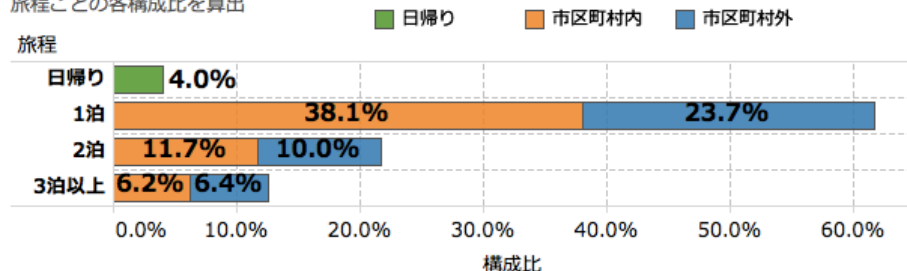
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.1%	11.9%	25.7%	13.6%	13.2%	23.5%
	市区町村内	13.8%	7.0%	35.7%	12.1%	6.0%	25.4%
2泊	市区町村外	12.9%	11.8%	31.2%	11.4%	10.2%	22.4%
	市区町村内	14.6%	15.4%	0.0%	34.4%	35.5%	0.0%
3泊以上	市区町村外	12.9%	10.9%	28.5%	13.1%	11.0%	23.6%
	市区町村内	21.5%	12.6%	22.5%	17.9%	10.3%	15.2%

旅程分析 伊東市

伊東市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が56%、44%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では日帰り、1泊の域内、域外、2泊の域外とも男女50歳以上が最も多く、2泊の域内は男女とも10～34歳、3泊以上は域外が男女50歳以上、域内は男女35～49歳が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			1,106回
1泊	6,526回	10,506回	
2泊	2,746回	3,241回	
3泊以上	1,764回	1,704回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

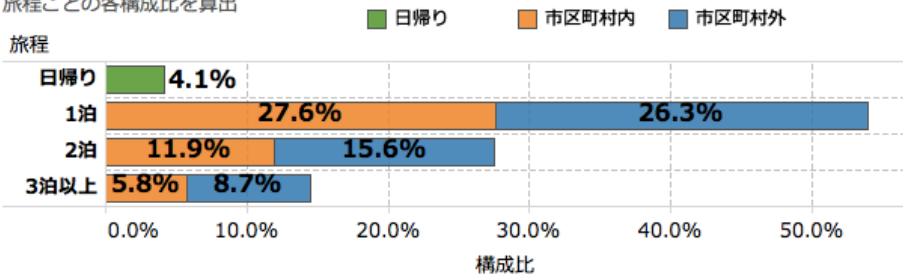
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.8%	12.3%	24.4%	14.5%	13.7%	22.4%
	市区町村内	13.3%	7.6%	27.5%	16.0%	9.0%	26.7%
2泊	市区町村外	10.9%	10.9%	29.0%	11.9%	11.7%	25.7%
	市区町村内	26.1%	10.2%	23.2%	19.2%	7.4%	13.9%
3泊以上	市区町村外	16.1%	12.4%	28.9%	13.3%	10.0%	19.3%
	市区町村内	13.9%	21.3%	14.5%	15.0%	22.6%	12.7%

旅程分析 下田市

下田市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約45%。約55%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では1泊の域内を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			377回
1泊	2,413回	2,530回	
2泊	1,433回	1,091回	
3泊以上	797回	529回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

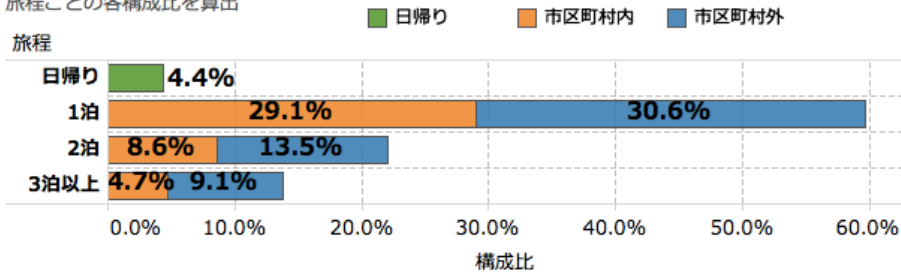
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り						
1泊	市区町村外	13.2%	10.8%	35.1%	10.3%	8.3%	22.3%
	市区町村内	21.5%	21.9%	17.8%	14.5%	14.5%	9.8%
2泊	市区町村外	16.5%	24.2%	28.8%	7.9%	11.3%	11.2%
	市区町村内	18.2%	5.0%	23.7%	22.8%	6.1%	24.2%
3泊以上	市区町村外						
	市区町村内						

旅程分析 伊豆市

伊豆市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約42%。約58%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では3泊以上の域内を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			591回
1泊	4,119回	3,913回	
2泊	1,815回	1,162回	
3泊以上	1,227回	639回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

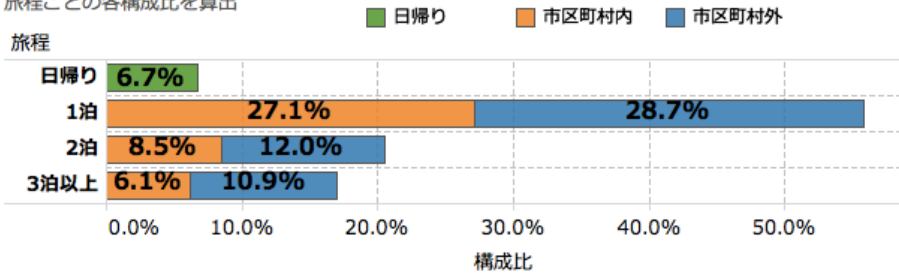
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	14.1%	11.3%	27.3%	14.1%	11.1%	22.1%
	市区町村内	10.3%	15.9%	26.9%	10.1%	15.4%	21.5%
2泊	市区町村外	14.5%	11.4%	25.5%	15.1%	11.7%	21.7%
	市区町村内	17.7%	16.8%	33.4%	9.3%	8.6%	14.2%
3泊以上	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内	12.5%	59.3%	0.0%	5.0%	23.2%	0.0%

旅程分析 伊豆の国市

伊豆の国市を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約42%。約58%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では2泊の域外男性を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			659回
1泊	2,816回	2,666回	
2泊	1,176回	840回	
3泊以上	1,069回	602回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

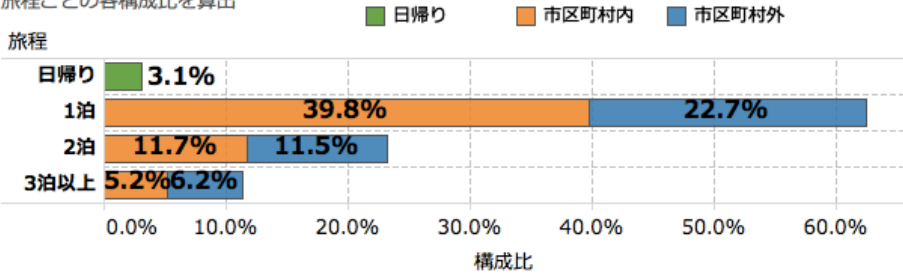
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.2%	11.9%	30.6%	11.3%	10.9%	23.1%
	市区町村内	12.3%	11.1%	26.4%	13.8%	12.2%	24.2%
2泊	市区町村外	20.2%	17.7%	21.1%	15.1%	13.0%	12.8%
	市区町村内	6.8%	4.0%	19.0%	18.3%	10.5%	41.4%
3泊以上	市区町村外	18.6%	10.9%	29.1%	14.6%	8.4%	18.6%
	市区町村内	10.7%	9.4%	33.6%	10.5%	9.0%	26.8%

旅程分析 東伊豆町

東伊豆町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約57%。約43%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では3泊以上の域内を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			240回
1泊	1,783回	3,127回	
2泊	906回	918回	
3泊以上	485回	405回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
 ※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
 ※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
 ※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

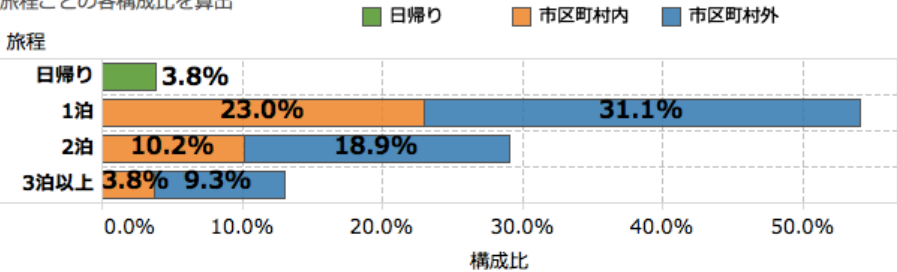
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	14.1%	12.4%	26.6%	13.8%	11.9%	21.1%
	市区町村内	7.5%	9.1%	29.3%	10.1%	12.0%	32.0%
2泊	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内	6.6%	8.8%	25.1%	11.0%	14.4%	34.2%
3泊以上	市区町村外	15.0%	10.9%	31.3%	12.5%	9.0%	21.3%
	市区町村内	28.3%	4.1%	0.0%	59.1%	8.5%	0.0%

旅程分析 河津町

河津町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が37%、63%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。
 なお、性年代別では3泊以上の域内を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として
 旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			144回
1泊	1,173回	867回	
2泊	714回	383回	
3泊以上	350回	142回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
 ※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
 ※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
 ※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

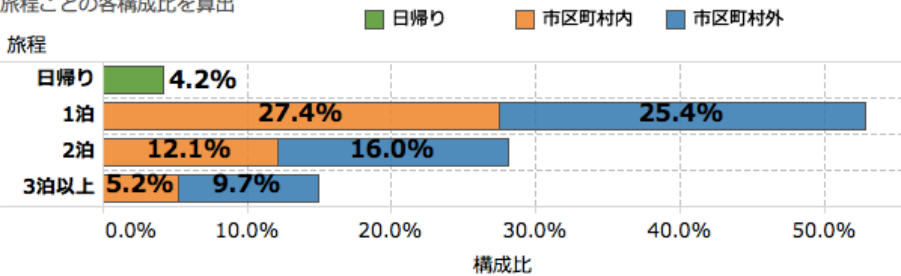
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.4%	11.4%	27.1%	13.4%	12.0%	23.7%
	市区町村内	18.5%	7.9%	34.6%	13.3%	5.6%	20.1%
2泊	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内	12.7%	7.4%	26.6%	16.3%	9.3%	27.6%
3泊以上	市区町村外	6.0%	10.6%	25.3%	9.5%	16.3%	32.2%
	市区町村内	36.8%	0.0%	30.8%	19.3%	0.0%	13.1%

旅程分析 南伊豆町

南伊豆町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約45%。約55%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			169回
1泊	1,027回	1,109回	
2泊	646回	490回	
3泊以上	392回	210回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

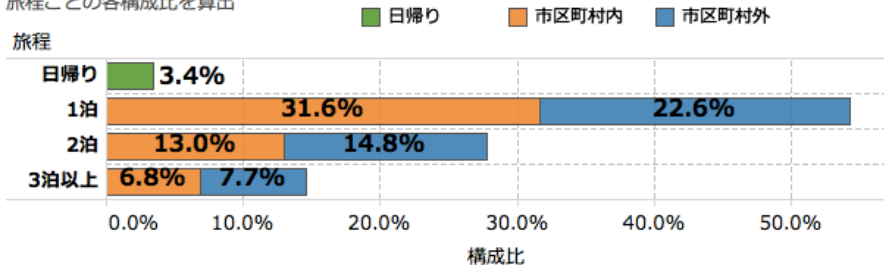
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り						
1泊	市区町村外	11.7%	11.2%	26.8%	13.2%	12.4%	24.5%
	市区町村内	21.8%	30.6%	0.0%	20.0%	27.5%	0.0%
2泊	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内						
3泊以上	市区町村外						
	市区町村内						

旅程分析 松崎町

松崎町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約51%。約49%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			77回
1泊	511回	715回	
2泊	334回	294回	
3泊以上	175回	154回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

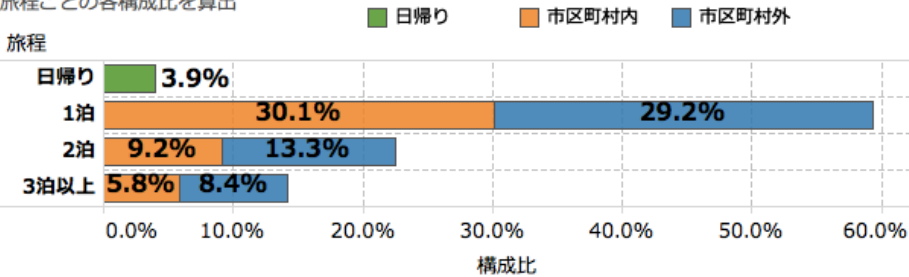
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り						
1泊	市区町村外						
	市区町村内						
2泊	市区町村外						
	市区町村内						
3泊以上	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

旅程分析 西伊豆町

西伊豆町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約45%。約55%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			126回
1泊	933回	964回	
2泊	427回	294回	
3泊以上	269回	186回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

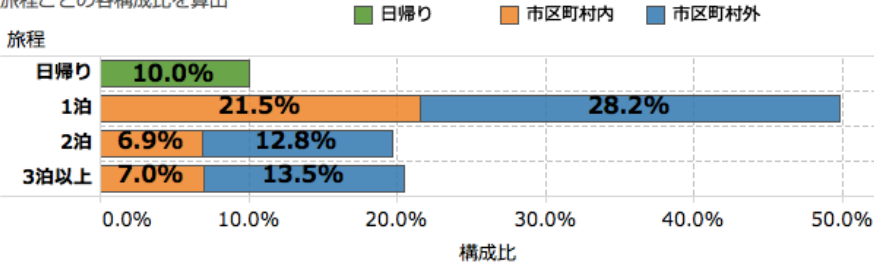
		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り						
	市区町村外	23.7%	20.8%	0.0%	29.8%	25.6%	0.0%
1泊	市区町村内	5.6%	1.4%	29.1%	11.7%	2.8%	49.5%
	市区町村外						
2泊	市区町村内						
	市区町村外						
3泊以上	市区町村外						
	市区町村内						

旅程分析 函南町

函南町を訪れた観光客の旅程は域内宿泊が約35%。約65%が日帰り、もしくは域外宿泊となっている。なお、性年代別では1泊の域内を除き、いずれも男女50歳以上が最も多い。

旅程分析（市区町村）

同じ市区町村内に泊まった宿泊を「市区町村内」、市区町村外に泊まった宿泊を「市区町村外」として旅程ごとの各構成比を算出



	市区町村外	市区町村内	日帰り
日帰り			364回
1泊	1,024回	781回	
2泊	463回	250回	
3泊以上	489回	254回	

(単位：旅行回数)

性年代構成比(旅程・市区町村域内泊別：ウェイトバック)

来訪者の旅程別に性年代割合を算出
 ※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
 ※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
 ※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
日帰り	日帰り	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
1泊	市区町村外	12.8%	11.5%	27.4%	13.3%	11.8%	23.2%
	市区町村内	14.5%	18.1%	0.0%	30.3%	37.1%	0.0%
2泊	市区町村外	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%
	市区町村内	0.0%	13.8%	86.2%	0.0%	0.0%	0.0%
3泊以上	市区町村外	13.2%	11.3%	27.6%	13.6%	11.4%	23.0%
	市区町村内	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.8%	80.2%

＜域内宿泊地域、日帰り・域外宿泊地域＞

域内宿泊が50%を超えたのは東伊豆町（56.7%）、熱海市（56.4%）、伊東市（56%）、松崎町（51.4%）であった。伊豆半島全域では、これらの市町を含む周遊ルートの効果的な設定により、エリア内の滞在時間をさらに延ばすことに繋げられる。

一案として東伊豆町から南下するルート、熱海市・伊東市から中伊豆へ向かうルート、松崎町を中心とした南西部のルート等が考えられる。

一方、日帰り・域外宿泊が最も多いのは沼津市（66.7%）。次いで三島市（69%）、函南町（64.6%）となった。

伊豆半島北部は東海道新幹線や東名高速道路、新東名高速道路が通り、アクセスが良いため沼津港、三島スカイウォークなど人気の観光スポットに立ち寄ったあと、観光客が域外に流出しているとみられる。

宿泊地に関する分析

観光客がその旅程中どこに宿泊したか（地域・都道府県・市町別）

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島を訪れた国内に居住する観光客がどこに宿泊したのか地域別、県別、市町別、属性別（性別・年代）に分析します。伊豆半島全域、および各13市町単位で分析します。

※時間内にデータ取得がなかった場合は“宿泊地不明”とします

※2泊以上の宿泊旅程者において1泊でも“宿泊地不明”があれば、全て“宿泊地不明”とカウントします

※伊豆半島エリアに一定時間滞在し宿泊した観光客を対象として分析します

※都道府県・市区町村別データは上位のみ表示となります

宿泊地分析（地域別）伊豆半島7市6町（合計）

伊豆半島7市6町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約69%。
次いで首都圏が約22%、近畿が約11%。性年代別ではいずれの地域とも男女50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	66,964人
2	首都圏	24,734人
3	近畿	12,574人
4	甲信越・北陸	2,681人
5	中国	2,206人
6	北関東	1,824人
7	北海道・東北	1,336人
8	九州・沖縄	821人
9	四国	539人
のべ人数		113,679人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	13.7%	11.8%	31.8%	11.5%	9.7%	21.6%
2	首都圏	11.7%	10.4%	22.5%	16.1%	14.1%	25.3%
3	近畿	12.0%	11.3%	22.1%	15.9%	14.8%	23.9%
4	甲信越・北陸	39.6%	21.1%	-----	25.8%	13.5%	-----
5	中国	20.1%	10.7%	38.2%	10.1%	5.3%	15.6%
6	北関東	5.1%	3.9%	27.4%	10.4%	7.7%	45.6%
7	北海道・東北	4.3%	27.3%	27.0%	3.3%	21.0%	17.1%
8	九州・沖縄	4.0%	8.6%	12.8%	13.2%	27.6%	33.8%
9	四国	18.2%	9.7%	-----	47.4%	24.8%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析(都道府県)伊豆半島7市6町(合計)

都道府県別では静岡県が最も多く約50%。次いで東京都が約12%、神奈川県が約7%。
性年代別では静岡県、東京都、神奈川県いずれも男女50歳以上が最も多い。

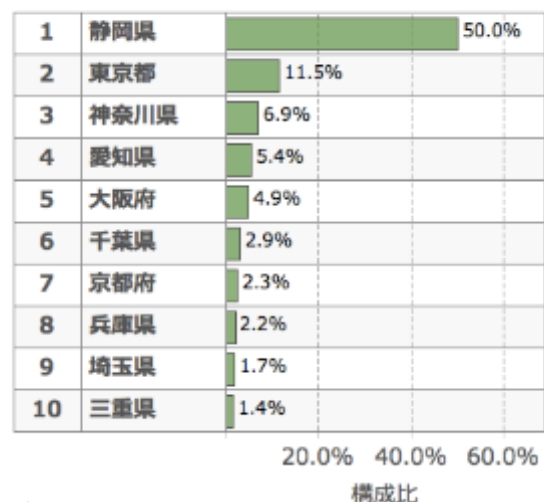
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	60,906人
2	東京都	14,013人
3	神奈川県	8,461人
4	愛知県	6,619人
5	大阪府	5,968人
6	千葉県	3,504人
7	京都府	2,814人
8	兵庫県	2,639人
9	埼玉県	2,114人
10	三重県	1,690人
のべ人数		121,821人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	13.7%	11.8%	33.6%	10.6%	9.0%	21.2%
2	東京都	11.9%	10.6%	22.6%	16.1%	14.0%	24.8%
3	神奈川県	11.6%	9.3%	24.1%	15.8%	12.5%	26.7%
4	愛知県	13.5%	10.3%	20.5%	18.6%	14.0%	23.0%
5	大阪府	9.3%	8.0%	20.6%	17.1%	14.4%	30.7%
6	千葉県	13.0%	11.3%	20.0%	17.9%	15.3%	22.4%
7	京都府	20.2%	11.6%	27.5%	15.3%	8.6%	16.9%
8	兵庫県	8.1%	14.5%	11.5%	16.9%	29.5%	19.4%
9	埼玉県	6.1%	7.0%	19.3%	14.3%	16.3%	37.0%
10	三重県	19.4%	41.5%	-----	12.6%	26.4%	-----

※TOP11以下：13,093人 / 10.7%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（市区町村）伊豆半島7市6町（合計）

市区町村別では伊東市、熱海市が最も多く約10%。次いで沼津市が約5%、伊豆市が約4%、東伊豆町が約3%となっている。なお、伊豆半島エリア全体では約45%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 伊東市	13,536人
2	静岡県 熱海市	12,535人
3	静岡県 沼津市	6,164人
4	静岡県 伊豆市	5,254人
5	静岡県 賀茂郡東伊豆町	4,260人
6	静岡県 下田市	3,806人
7	静岡県 伊豆の国市	3,669人
8	静岡県 三島市	3,125人
9	静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,699人
10	東京都 港区	1,673人
11	愛知県 名古屋市中区	1,633人
12	静岡県 賀茂郡河津町	1,366人
13	静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,337人
14	東京都 千代田区	1,304人
15	神奈川県 足柄下郡箱根町	1,279人
16	東京都 中央区	1,278人
17	千葉県 浦安市	1,219人
18	静岡県 賀茂郡松崎町	1,080人
19	大阪府 大阪市中央区	1,045人
20	静岡県 田方郡函南町	1,022人
のべ人数		130,330人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下：62,046人 / 47.6%

宿泊地分析（地域別） 沼津市

沼津市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約49%。次いで首都圏が約26%、近畿が14%。性年代別ではいずれの地域とも男女50歳以上が最も多い。

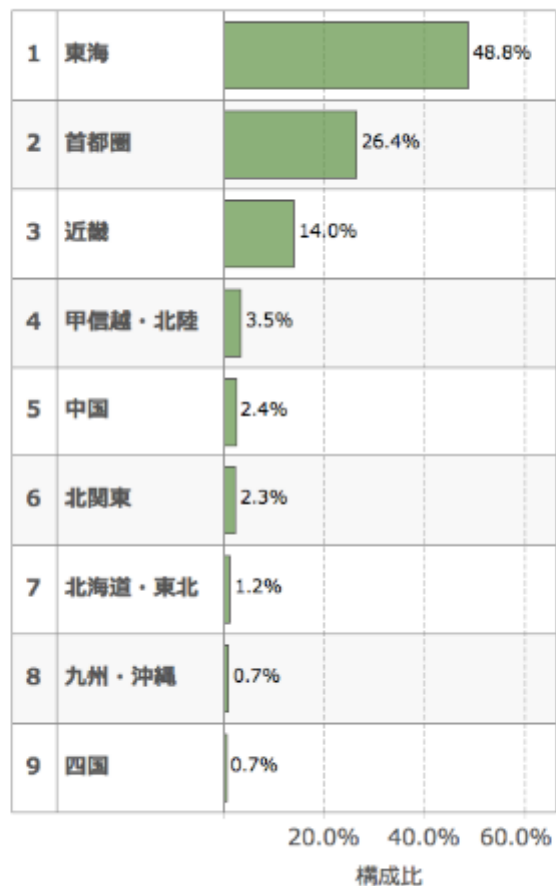
宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	21,051人
2	首都圏	11,392人
3	近畿	6,055人
4	甲信越・北陸	1,498人
5	中国	1,044人
6	北関東	987人
7	北海道・東北	530人
8	九州・沖縄	316人
9	四国	287人
のべ人数		43,160人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	12.0%	11.0%	32.6%	10.8%	9.7%	23.8%
2	首都圏	13.2%	10.1%	23.8%	16.4%	12.4%	24.1%
3	近畿	14.5%	14.0%	22.7%	15.1%	14.4%	19.3%
4	甲信越・北陸	21.7%	22.2%	-----	27.9%	28.1%	-----
5	中国	49.4%	50.6%	-----	-----	-----	-----
6	北関東	16.0%	11.0%	36.6%	10.3%	6.9%	19.2%
7	北海道・東北	-----	23.0%	77.0%	-----	-----	-----
8	九州・沖縄	9.6%	4.9%	32.8%	12.3%	6.2%	34.3%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）沼津市

都道府県別では静岡県が最も多く約37%。次いで東京都が約13%、神奈川県が約8%。
性年代別では静岡県、東京都、神奈川県いずれも男女50歳以上が最も多い。

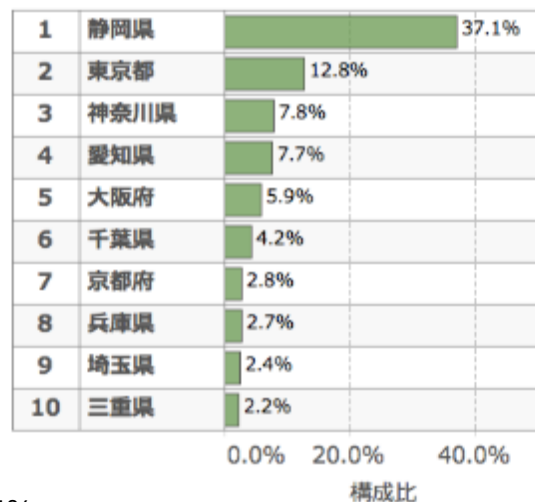
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	17,221人
2	東京都	5,939人
3	神奈川県	3,629人
4	愛知県	3,566人
5	大阪府	2,723人
6	千葉県	1,960人
7	京都府	1,281人
8	兵庫県	1,274人
9	埼玉県	1,117人
10	三重県	1,045人
のべ人数		46,455人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	11.7%	9.6%	36.9%	9.6%	7.7%	24.6%
2	東京都	14.9%	9.8%	26.1%	16.0%	10.4%	22.8%
3	神奈川県	9.7%	8.4%	26.5%	13.6%	11.6%	30.1%
4	愛知県	14.2%	15.6%	17.5%	17.1%	18.5%	17.1%
5	大阪府	16.0%	9.1%	25.4%	17.4%	9.7%	22.4%
6	千葉県	23.8%	18.5%	8.3%	24.1%	18.4%	6.8%
7	京都府	25.9%	20.9%	20.1%	13.7%	10.8%	8.6%
8	兵庫県	3.9%	28.6%	-----	8.3%	59.2%	-----
9	埼玉県	1.8%	2.8%	9.5%	12.6%	19.3%	53.9%
10	三重県	-----	44.6%	-----	-----	55.4%	-----

※TOP11以下：6,700人 / 14.4%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

(4) 宿泊地分析 (市区町村別) 沼津市

市区町村別では沼津市が最も多く約13%。次いで伊豆市、伊東市、伊豆の国市が約2%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 沼津市	6,128人
2	静岡県 伊豆市	1,063人
3	静岡県 伊東市	987人
4	静岡県 伊豆の国市	904人
5	千葉県 浦安市	778人
6	愛知県 名古屋市中区	755人
7	静岡県 三島市	714人
8	静岡県 熱海市	707人
9	静岡県 富士市	678人
10	静岡県 御殿場市	644人
11	東京都 港区	625人
12	静岡県 静岡市葵区	561人
13	東京都 中央区	530人
14	東京都 千代田区	519人
15	静岡県 静岡市清水区	502人
16	静岡県 浜松市中区	462人
17	大阪府 大阪市中央区	451人
18	神奈川県 足柄下郡箱根町	442人
19	静岡県 富士宮市	424人
20	静岡県 静岡市駿河区	422人
のべ人数		47,882人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下 : 29,586人 / 61.8%

(4) 宿泊地分析 (地域別) 熱海市

熱海市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約67%。次いで首都圏が約17%、近畿が約10%。性年代別ではいずれの地域とも男女50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	24,475人
2	首都圏	6,328人
3	近畿	3,969人
4	中国	670人
5	甲信越・北陸	357人
6	北関東	339人
7	北海道・東北	264人
8	九州・沖縄	206人
9	四国	113人
のべ人数		36,721人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	15.9%	12.5%	33.1%	11.1%	8.6%	18.9%
2	首都圏	9.7%	10.0%	22.6%	14.7%	15.0%	28.0%
3	近畿	7.7%	11.6%	16.2%	15.5%	22.7%	26.3%
4	中国	37.2%	11.4%	-----	39.6%	11.9%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

(4) 宿泊地分析 (都道府県) 熱海市

都道府県別では静岡県が最も多く約59%。次いで東京都が約9%、神奈川県が約6%。
性年代別では静岡県、東京都、神奈川県いずれも男女50歳以上が最も多い。

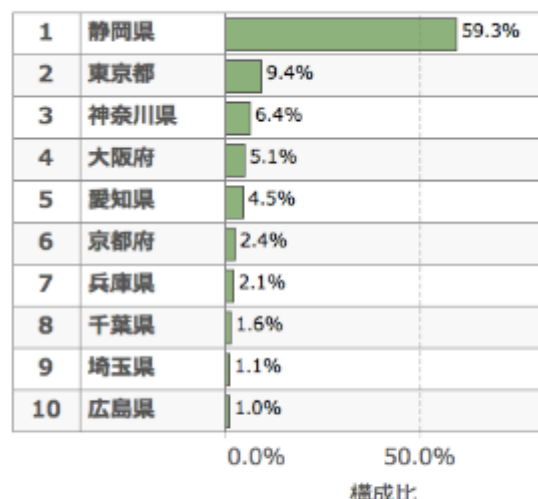
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	22,808人
2	東京都	3,628人
3	神奈川県	2,465人
4	大阪府	1,964人
5	愛知県	1,737人
6	京都府	914人
7	兵庫県	790人
8	千葉県	605人
9	埼玉県	419人
10	広島県	374人
のべ人数		38,463人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



構成比

宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	15.6%	12.8%	34.7%	10.2%	8.2%	18.5%
2	東京都	10.7%	11.4%	20.3%	16.1%	16.8%	24.8%
3	神奈川県	12.3%	9.7%	28.9%	13.4%	10.3%	25.4%
4	大阪府	4.1%	9.8%	12.3%	12.8%	30.0%	31.0%
5	愛知県	22.7%	11.4%	16.0%	24.2%	11.9%	13.8%
6	京都府	14.6%	10.3%	29.1%	13.9%	9.6%	22.5%
7	兵庫県	3.3%	8.6%	9.7%	13.0%	33.9%	31.5%
8	千葉県	2.0%	5.7%	16.2%	7.4%	20.6%	48.0%
9	埼玉県	15.1%	16.1%	18.1%	16.8%	17.5%	16.3%
10	広島県	35.4%	7.5%	-----	47.2%	9.8%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：2,759人 / 7.2%

(4) 宿泊地分析 (市区町村別) 熱海市

市区町村別では熱海市が最も多く約32%。次いで伊東市が約13%、東伊豆町が約4%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 熱海市	12,501人
2	静岡県 伊東市	5,131人
3	静岡県 賀茂郡東伊豆町	1,358人
4	静岡県 下田市	729人
5	神奈川県 足柄下郡湯河原..	643人
6	静岡県 伊豆市	533人
7	愛知県 名古屋市中区	515人
8	東京都 港区	443人
9	東京都 千代田区	381人
10	大阪府 大阪市北区	367人
11	静岡県 三島市	362人
12	大阪府 大阪市中央区	345人
13	静岡県 沼津市	341人
14	静岡県 伊豆の国市	336人
15	京都府 京都市下京区	309人
	東京都 中央区	309人
17	愛知県 名古屋市中村区	307人
18	静岡県 賀茂郡南伊豆町	266人
19	東京都 新宿区	258人
20	静岡県 賀茂郡河津町	247人
	東京都 台東区	247人
のべ人数		38,683人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下 : 12,755人 / 33.0%

宿泊地分析（地域別）三島市

三島市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約58%。次いで首都圏が約24%、近畿が約9%。性年代別ではいずれの地域とも男女50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	14,106人
2	首都圏	5,967人
3	近畿	2,267人
4	甲信越・北陸	732人
5	北海道・東北	394人
6	北関東	390人
7	中国	368人
8	九州・沖縄	214人
9	四国	93人
のべ人数		24,531人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	14.9%	11.0%	31.3%	12.5%	9.1%	21.2%
2	首都圏	11.4%	12.1%	21.3%	15.5%	16.2%	23.5%
3	近畿	9.7%	10.3%	28.3%	11.7%	12.2%	27.8%
4	甲信越・北陸	52.7%	18.7%	-----	21.2%	7.4%	-----
5	北海道・東北	9.5%	20.1%	-----	22.8%	47.6%	-----
6	北関東	4.8%	2.6%	16.7%	17.5%	9.1%	49.2%
7	中国	13.9%	4.9%	64.1%	3.4%	1.2%	12.6%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）三島市

都道府県別では静岡県が最も多く約50%。次いで東京都が約13%、神奈川県が約8%。
 性年代別では静岡県、東京都、神奈川県いずれも男女50歳以上が最も多い。

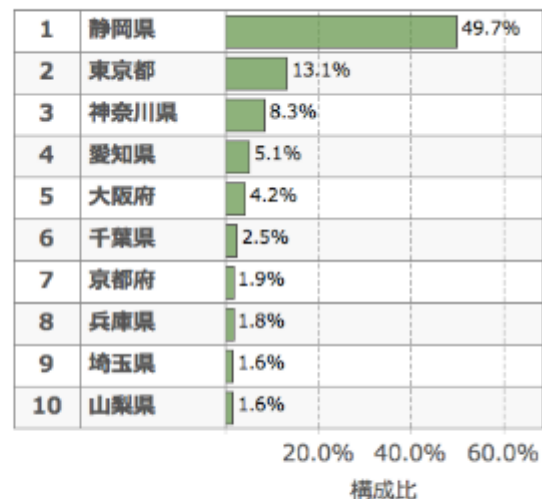
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	13,087人
2	東京都	3,452人
3	神奈川県	2,186人
4	愛知県	1,344人
5	大阪府	1,095人
6	千葉県	660人
7	京都府	506人
8	兵庫県	478人
9	埼玉県	428人
10	山梨県	420人
のべ人数		26,310人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



構成比

宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	16.0%	12.0%	32.2%	11.8%	8.7%	19.3%
2	東京都	14.5%	14.1%	18.6%	17.7%	16.8%	18.3%
3	神奈川県	11.8%	9.1%	18.4%	20.1%	15.2%	25.4%
4	愛知県	9.6%	7.1%	26.0%	14.6%	10.6%	32.0%
5	大阪府	3.7%	6.2%	22.3%	9.0%	14.8%	44.0%
6	千葉県	4.6%	9.8%	24.1%	8.3%	17.5%	35.7%
7	京都府	21.5%	6.6%	43.2%	9.8%	2.9%	16.0%
8	兵庫県	9.4%	20.0%	-----	22.8%	47.8%	-----
9	埼玉県	5.2%	8.3%	18.2%	12.6%	19.8%	35.9%
10	山梨県	22.0%	23.4%	-----	26.7%	27.9%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：2,654人 / 10.1%

宿泊地分析（市区町村別）三島市

市区町村別では三島市が最も多く約12%。次いで伊豆市、沼津市が約5%となっている。

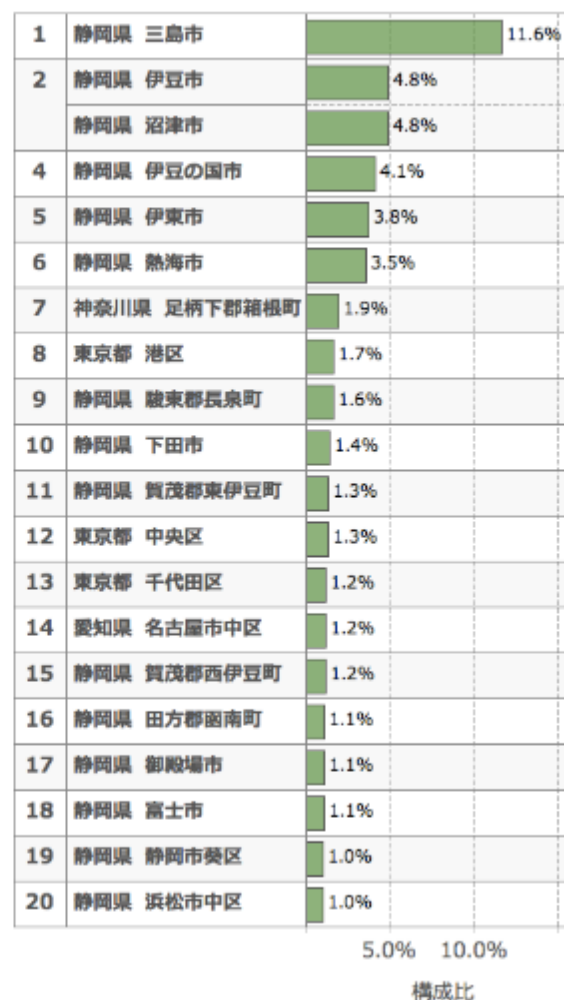
宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 三島市	3,081人
2	静岡県 伊豆市	1,288人
	静岡県 沼津市	1,288人
4	静岡県 伊豆の国市	1,092人
5	静岡県 伊東市	997人
6	静岡県 熱海市	942人
7	神奈川県 足柄下郡箱根町	505人
8	東京都 港区	441人
9	静岡県 駿東郡長泉町	423人
10	静岡県 下田市	379人
11	静岡県 賀茂郡東伊豆町	347人
12	東京都 中央区	342人
13	東京都 千代田区	318人
14	愛知県 名古屋市中区	317人
15	静岡県 賀茂郡西伊豆町	310人
16	静岡県 田方郡函南町	298人
17	静岡県 御殿場市	284人
18	静岡県 富士市	280人
19	静岡県 静岡市葵区	272人
20	静岡県 浜松市中区	266人
のべ人数		26,570人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下：13,100人 / 4.9%

宿泊地分析（地域別）伊東市

伊東市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く92%。次いで首都圏が約6%、甲信越・北陸が約1%。性年代別では東海エリアが男女とも50歳以上、首都圏は男女とも35～49歳が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	20,117人
2	首都圏	1,332人
3	甲信越・北陸	157人
4	近畿	85人
5	北関東	76人
6	北海道・東北	48人
7	九州・沖縄	27人
8	中国	14人
9	四国	7人
のべ人数		21,863人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	東海	14.0%	11.0%	29.0%	13.3%	10.3%	22.4%
2	首都圏	8.6%	16.9%	7.6%	18.4%	35.4%	13.1%
3	近畿	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
4	北関東	-----	-----	32.1%	-----	-----	67.9%
5	北海道・東北	-----	100.0%	-----	-----	-----	-----
6	九州・沖縄	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）伊東市

都道府県別では静岡県が最も多く約90%。次いで東京都、神奈川県が約3%。
性年代別では静岡県、神奈川県は男女とも50歳以上が最も多い。

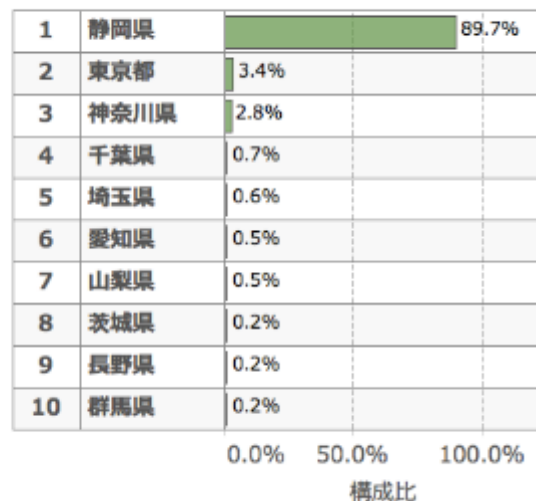
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	20,094人
2	東京都	768人
3	神奈川県	629人
4	千葉県	154人
5	埼玉県	125人
6	愛知県	117人
7	山梨県	107人
8	茨城県	37人
9	長野県	35人
10	群馬県	34人
のべ人数		22,396人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	14.0%	11.0%	29.0%	13.3%	10.3%	22.4%
2	東京都	9.9%	33.9%	-----	12.8%	43.4%	-----
3	神奈川県	10.6%	3.0%	16.3%	27.7%	7.8%	34.5%
4	千葉県	-----	-----	-----	100.0%	-----	-----
5	埼玉県	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※来訪者を発地ごとにユニークカウントで算出しております。

そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引越した方や単身赴任などの方の分、構成比が100%からズレる可能性があります。

※TOP11以下：296人 / 1.3%

宿泊地分析（市区町村別）伊東市

市区町村別では伊東市が最も多く約58%。次いで東伊豆町が約11%、熱海市、下田市が約5%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 伊東市	13,498人
2	静岡県 賀茂郡東伊豆町	2,445人
3	静岡県 熱海市	1,188人
4	静岡県 下田市	1,166人
5	静岡県 伊豆市	672人
6	静岡県 伊豆の国市	468人
7	静岡県 賀茂郡河津町	442人
8	静岡県 賀茂郡南伊豆町	436人
9	静岡県 沼津市	183人
10	静岡県 賀茂郡松崎町	158人
11	神奈川県 足柄下郡箱根町	134人
12	静岡県 賀茂郡西伊豆町	126人
13	東京都 大島町	121人
14	静岡県 三島市	94人
15	神奈川県 足柄下郡湯河原町	52人
16	東京都 港区	49人
17	神奈川県 小田原市	48人
	静岡県 御殿場市	48人
19	静岡県 田方郡函南町	47人
20	静岡県 富士市	44人
のべ人数		23,334人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県 伊東市	57.8%
2	静岡県 賀茂郡東伊豆町	10.5%
3	静岡県 熱海市	5.1%
4	静岡県 下田市	5.0%
5	静岡県 伊豆市	2.9%
6	静岡県 伊豆の国市	2.0%
7	静岡県 賀茂郡河津町	1.9%
8	静岡県 賀茂郡南伊豆町	1.9%
9	静岡県 沼津市	0.8%
10	静岡県 賀茂郡松崎町	0.7%
11	神奈川県 足柄下郡箱根町	0.6%
12	静岡県 賀茂郡西伊豆町	0.5%
13	東京都 大島町	0.5%
14	静岡県 三島市	0.4%
15	神奈川県 足柄下郡湯河原町	0.2%
16	東京都 港区	0.2%
17	神奈川県 小田原市	0.2%
	静岡県 御殿場市	0.2%
19	静岡県 田方郡函南町	0.2%
20	静岡県 富士市	0.2%

0.0% 50.0%

構成比

※TOP21以下：1,915人 / 8.2%

宿泊地分析（地域別） 下田市

下田市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約93%。次いで首都圏が約6%、甲信越・北陸が約1%。性年代別では東海エリア、首都圏ともに、男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	7,048人
2	首都圏	439人
3	甲信越・北陸	46人
4	北関東	25人
5	近畿	22人
6	北海道・東北	20人
7	中国	4人
	九州・沖縄	4人
9	四国	1人
のべ人数		7,609人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
1	東海	11.8%	10.1%	26.7%	13.9%	11.7%	25.7%
2	首都圏	20.2%	11.1%	44.0%	7.5%	4.0%	13.2%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県） 下田市

都道府県別では静岡県が最も多く約90%。次いで東京都が約3%、神奈川県が約2%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

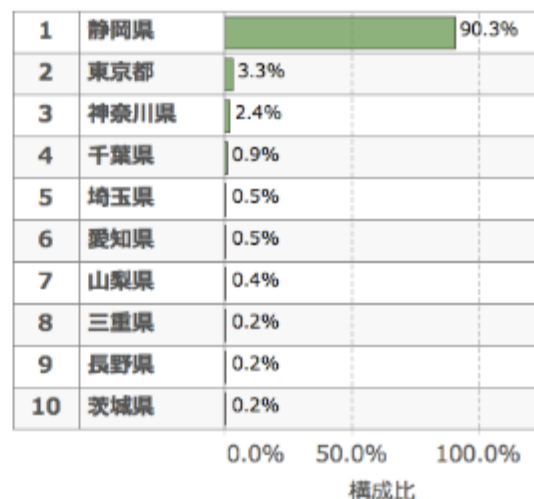
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	7,037人
2	東京都	256人
3	神奈川県	185人
4	千葉県	68人
5	埼玉県	42人
6	愛知県	36人
7	山梨県	31人
8	三重県	18人
9	長野県	16人
10	茨城県	13人
のべ人数		7,791人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	13.3%	11.4%	25.2%	14.8%	12.5%	22.8%
2	東京都	-----	-----	-----	-----	-----	100.0%
3	神奈川県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
4	千葉県	64.6%	35.4%	-----	-----	-----	-----
5	埼玉県	47.7%	52.3%	-----	-----	-----	-----
6	愛知県	-----	-----	-----	-----	-----	100.0%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：89人 / 1.1%

宿泊地分析（市区町村別） 下田市

市区町村別では下田市が最も多く約46%。次いで南伊豆町が約12%、伊東市が約9%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 下田市	3,781人
2	静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,012人
3	静岡県 伊東市	694人
4	静岡県 賀茂郡東伊豆町	475人
5	静岡県 賀茂郡河津町	302人
6	静岡県 伊豆市	240人
7	静岡県 賀茂郡松崎町	221人
8	静岡県 賀茂郡西伊豆町	169人
9	静岡県 熱海市	162人
10	静岡県 伊豆の国市	134人
11	静岡県 沼津市	115人
12	神奈川県 足柄下郡箱根町	43人
13	静岡県 三島市	40人
14	東京都 大島町	38人
15	静岡県 御殿場市	29人
16	静岡県 静岡市葵区	21人
	静岡県 富士市	21人
18	千葉県 浦安市	18人
	東京都 新島村	18人
20	静岡県 駿東郡長泉町	15人
	東京都 神津島村	15人
のべ人数		8,205人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県 下田市	46.1%
2	静岡県 賀茂郡南伊豆町	12.3%
3	静岡県 伊東市	8.5%
4	静岡県 賀茂郡東伊豆町	5.8%
5	静岡県 賀茂郡河津町	3.7%
6	静岡県 伊豆市	2.9%
7	静岡県 賀茂郡松崎町	2.7%
8	静岡県 賀茂郡西伊豆町	2.1%
9	静岡県 熱海市	2.0%
10	静岡県 伊豆の国市	1.6%
11	静岡県 沼津市	1.4%
12	神奈川県 足柄下郡箱根町	0.5%
13	静岡県 三島市	0.5%
14	東京都 大島町	0.5%
15	静岡県 御殿場市	0.4%
16	静岡県 富士市	0.3%
	静岡県 静岡市葵区	0.3%
18	千葉県 浦安市	0.2%
	東京都 新島村	0.2%
20	東京都 神津島村	0.2%
	静岡県 駿東郡長泉町	0.2%

20.0% 40.0%

構成比

※TOP21以下：642人 / 7.8%

宿泊地分析（地域別）伊豆市

伊豆市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約92%。次いで首都圏が約6%、甲信越・北陸が約1%。性年代別では東海エリア、首都圏ともに、男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	13,816人
2	首都圏	834人
3	甲信越・北陸	204人
4	近畿	113人
5	北関東	52人
6	北海道・東北	29人
7	九州・沖縄	19人
8	中国	7人
9	四国	5人
のべ人数		15,079人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	13.9%	12.5%	28.9%	12.5%	11.0%	21.2%
2	首都圏	11.8%	13.2%	16.8%	17.9%	19.6%	20.7%
3	近畿	8.8%	-----	31.1%	15.5%	-----	44.6%
4	北関東	8.8%	-----	31.1%	15.5%	-----	44.6%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）伊豆市

都道府県別では静岡県が最も多く約89%。次いで東京都、神奈川県が約3%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

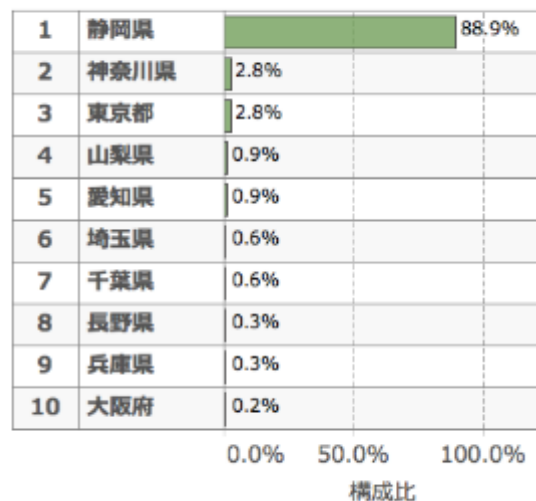
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	13,763人
2	神奈川県	440人
3	東京都	426人
4	山梨県	145人
5	愛知県	139人
6	埼玉県	96人
7	千葉県	95人
8	長野県	54人
9	兵庫県	40人
10	大阪府	36人
のべ人数		15,474人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	13.4%	12.5%	28.9%	12.3%	11.3%	21.6%
2	神奈川県	2.7%	9.9%	-----	18.8%	68.7%	-----
3	東京都	3.1%	-----	22.2%	11.0%	-----	63.7%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※来訪者を発地ごとにユニークカウントで算出しております。

そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、

引っ越しや単身赴任などの方の分、構成比が100%からズレる可能性があります。

※TOP11以下：240人 / 1.6%

宿泊地分析（市区町村別）伊豆市

市区町村別では伊豆市が最も多く約32%。次いで伊東市が約12%、下田市が約8%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 伊豆市	5,225人
2	静岡県 伊東市	1,982人
3	静岡県 下田市	1,267人
4	静岡県 賀茂郡西伊豆町	936人
5	静岡県 賀茂郡東伊豆町	889人
6	静岡県 伊豆の国市	839人
7	静岡県 賀茂郡松崎町	661人
	静岡県 賀茂郡南伊豆町	661人
9	静岡県 賀茂郡河津町	546人
10	静岡県 沼津市	514人
11	静岡県 熱海市	450人
12	静岡県 三島市	162人
13	神奈川県 足柄下郡箱根町	123人
14	静岡県 御殿場市	75人
15	静岡県 富士市	69人
16	静岡県 静岡市清水区	66人
17	静岡県 静岡市葵区	55人
18	静岡県 田方郡函南町	49人
19	静岡県 静岡市駿河区	44人
20	静岡県 駿東郡長泉町	39人
のべ人数		16,300人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下：1,648人 / 10.1%

宿泊地分析（地域別）伊豆の国市

伊豆の国市を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く90%。次いで首都圏が約6%、甲信越・北陸が約2%。性年代別では東海エリア、首都圏ともに、男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	10,732人
2	首都圏	762人
3	甲信越・北陸	196人
4	近畿	108人
5	北関東	58人
6	北海道・東北	36人
7	九州・沖縄	18人
8	中国	13人
9	四国	8人
のべ人数		11,931人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	15.3%	11.9%	29.0%	13.3%	10.1%	20.4%
2	首都圏	1.5%	4.7%	6.6%	11.4%	34.9%	40.9%
3	甲信越・北陸	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）伊豆の国市

都道府県別では静岡県が最も多く約86%。次いで神奈川県が約4%、東京都が約3%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多く、神奈川県は男性35～49歳、女性50歳以上が最も多い。

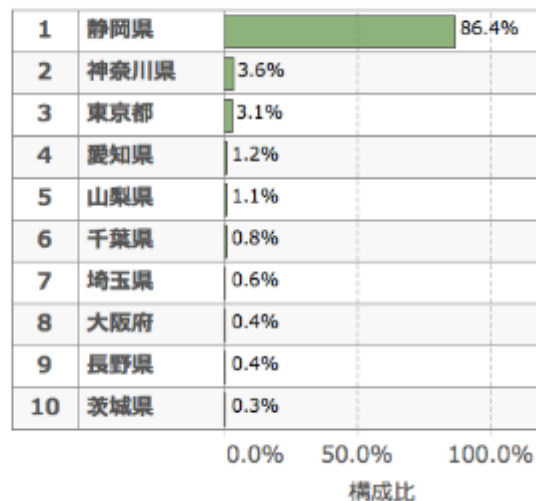
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	10,680人
2	神奈川県	441人
3	東京都	382人
4	愛知県	146人
5	山梨県	140人
6	千葉県	101人
7	埼玉県	71人
8	大阪府	48人
9	長野県	45人
10	茨城県	32人
のべ人数		12,360人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	静岡県	14.4%	11.8%	28.8%	13.1%	10.5%	21.3%
2	神奈川県	3.2%	6.9%	7.3%	16.7%	35.1%	30.8%
3	東京都	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----
4	愛知県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----
5	山梨県	100.0%	-----	-----	-----	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※来訪者を発地ごとにユニークカウントで算出しております。

そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、

引越したり単身赴任などの方の分、構成比が100%からズレる可能性があります。

※TOP11以下：274人 / 2.2%

宿泊地分析（市区町村別）伊豆の国市

市区町村別では伊豆の国市が最も多く約29%。次いで伊豆市が約14%、伊東市が約13%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 伊豆の国市	3,636人
2	静岡県 伊豆市	1,762人
3	静岡県 伊東市	1,636人
4	静岡県 下田市	609人
5	静岡県 沼津市	556人
6	静岡県 賀茂郡東伊豆町	518人
7	静岡県 熱海市	450人
8	静岡県 賀茂郡西伊豆町	349人
9	静岡県 三島市	271人
10	静岡県 賀茂郡松崎町	260人
11	静岡県 賀茂郡南伊豆町	258人
12	静岡県 賀茂郡河津町	236人
13	静岡県 田方郡函南町	158人
14	神奈川県 足柄下郡箱根町	104人
15	静岡県 御殿場市	79人
16	静岡県 富士市	77人
17	静岡県 静岡市清水区	55人
18	静岡県 駿東郡長泉町	53人
19	静岡県 静岡市葵区	47人
	静岡県 静岡市駿河区	47人
のべ人数		12,769人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP20以下：1,608人 / 12.6%

宿泊地分析（地域別）東伊豆町

東伊豆町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約91%。次いで首都圏が約7%。
性年代別では東海エリアは男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	7,045人
2	首都圏	564人
3	甲信越・北陸	32人
4	近畿	27人
5	北海道・東北	19人
	北関東	19人
7	九州・沖縄	4人
	四国	4人
9	中国	2人
のべ人数		7,716人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	東海	14.6%	11.8%	28.4%	13.4%	10.6%	21.2%
2	首都圏	10.4%	12.5%	-----	35.2%	41.8%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）東伊豆町

都道府県別では静岡県が最も多く約89%。次いで東京都が約5%、神奈川県が約2%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	7,029人
2	東京都	399人
3	神奈川県	174人
4	千葉県	57人
5	埼玉県	42人
6	愛知県	38人
7	山梨県	20人
8	三重県	17人
9	長野県	13人
10	福島県	12人
のべ人数		7,884人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	89.2%
2	東京都	5.1%
3	神奈川県	2.2%
4	千葉県	0.7%
5	埼玉県	0.5%
6	愛知県	0.5%
7	山梨県	0.3%
8	三重県	0.2%
9	長野県	0.2%
10	福島県	0.2%

0.0% 50.0% 100.0%
構成比

宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	14.6%	11.8%	28.4%	13.4%	10.6%	21.2%
2	東京都	18.0%	29.1%	-----	20.5%	32.4%	-----
3	神奈川県	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----
4	千葉県	-----	-----	-----	100.0%	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※来訪者を発地ごとにユニークカウントで算出しております。
そのため、分析期間内に発地が変わった方はそれぞれの地域でカウントされるため、引っかけや単身赴任などの方の分、構成比が100%からズレる可能性があります。

※TOP11以下：83人 / 1.1%

宿泊地分析（市区町村別）東伊豆町

市区町村別では東伊豆町が最も多く52%。次いで伊東市が約13%、下田市が約8%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 賀茂郡東伊豆町	4,228人
2	静岡県 伊東市	1,091人
3	静岡県 下田市	655人
4	静岡県 賀茂郡河津町	325人
5	静岡県 賀茂郡南伊豆町	240人
6	静岡県 熱海市	190人
7	静岡県 伊豆市	167人
8	静岡県 伊豆の国市	105人
9	東京都 大島町	95人
10	静岡県 賀茂郡松崎町	75人
11	静岡県 賀茂郡西伊豆町	71人
12	東京都 新島村	64人
13	静岡県 沼津市	55人
14	神奈川県 足柄下郡箱根町	45人
15	静岡県 三島市	26人
16	東京都 神津島村	21人
17	静岡県 御殿場市	15人
	東京都 三宅村	15人
19	静岡県 田方郡函南町	13人
20	静岡県 静岡市清水区	12人
のべ人数		8,127人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP20以下 : 619人 / 7.6%

宿泊地分析（地域別）河津町

河津町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約91%。次いで首都圏が約7%、甲信越・北陸が約1%。性年代別では東海エリアは男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	5,383人
2	首都圏	382人
3	甲信越・北陸	55人
4	近畿	28人
5	北関東	19人
6	北海道・東北	18人
7	九州・沖縄	10人
8	中国	2人
	四国	2人
のべ人数		5,899人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性 10歳～34歳	女性 35歳～49歳	女性 50歳以上	男性 10歳～34歳	男性 35歳～49歳	男性 50歳以上
1	東海	14.9%	12.0%	28.7%	13.2%	10.5%	20.7%
2	首都圏	-----	17.0%	-----	-----	83.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）河津町

都道府県別では静岡県が最も多く約89%。次いで東京都、神奈川県が約3%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

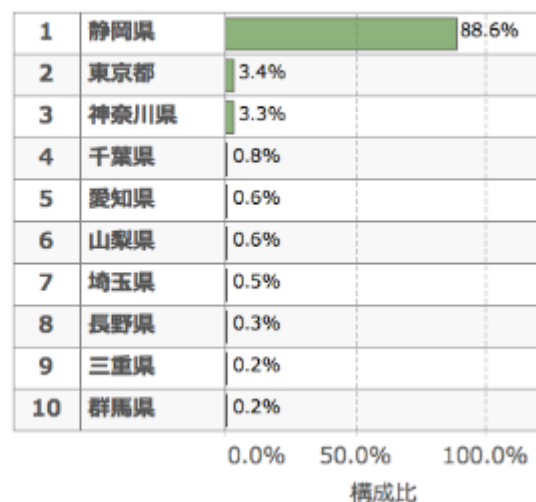
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	5,360人
2	東京都	204人
3	神奈川県	199人
4	千葉県	46人
5	愛知県	37人
6	山梨県	36人
7	埼玉県	31人
8	長野県	21人
9	三重県	15人
10	群馬県	10人
のべ人数		6,050人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP11以下：91人 / 1.5%

宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	14.9%	12.0%	28.7%	13.2%	10.5%	20.7%
2	東京都	-----	29.0%	-----	-----	71.0%	-----
3	神奈川県	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（市区町村別）河津町

市区町村別では河津町が最も多く約22%。次いで下田市が約21%、東伊豆町、伊東市が約12%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 賀茂郡河津町	1,347人
2	静岡県 下田市	1,292人
3	静岡県 賀茂郡東伊豆町	738人
4	静岡県 伊東市	714人
5	静岡県 賀茂郡南伊豆町	460人
6	静岡県 伊豆市	279人
7	静岡県 熱海市	136人
8	静岡県 伊豆の国市	115人
9	静岡県 賀茂郡西伊豆町	108人
10	静岡県 沼津市	106人
11	静岡県 賀茂郡松崎町	104人
12	神奈川県 足柄下郡箱根町	55人
13	静岡県 三島市	39人
14	東京都 大島町	24人
15	静岡県 御殿場市	23人
16	静岡県 富士市	19人
17	静岡県 静岡市葵区	18人
18	静岡県 静岡市駿河区	17人
19	東京都 神津島村	16人
20	神奈川県 横浜市中区	15人
のべ人数		6,231人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP21以下：606人 / 9.7%

宿泊地分析（地域別）南伊豆町

南伊豆町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約88%。次いで首都圏が約8%、甲信越・北陸が約 1 %。性年代別では東海エリアは男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	3,226人
2	首都圏	298人
3	甲信越・北陸	49人
4	近畿	24人
5	北海道・東北	18人
	四国	18人
7	北関東	9人
8	九州・沖縄	4人
9	中国	3人
のべ人数		3,649人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）南伊豆町

都道府県別では静岡県が最も多く約85%。次いで東京都が約6%、神奈川県が約2%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	3,203人
2	東京都	215人
3	神奈川県	79人
4	千葉県	44人
5	愛知県	34人
6	長野県	32人
7	埼玉県	18人
8	山梨県	16人
9	三重県	14人
10	兵庫県	8人
	和歌山県	8人
	大阪府	8人
	宮城県	8人
のべ人数		3,749人

※TOP11以下：62人 / 1.7%

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上	10歳～34歳	35歳～49歳	50歳以上
1	静岡県	13.0%	11.4%	27.2%	13.6%	11.7%	23.1%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（市区町村別）南伊豆町

市区町村別では南伊豆町が最も多く約42%。次いで下田市が約15%、伊東市が約8%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 賀茂郡南伊豆町	1,678人
2	静岡県 下田市	604人
3	静岡県 伊東市	306人
4	静岡県 賀茂郡松崎町	155人
5	静岡県 賀茂郡東伊豆町	133人
6	静岡県 伊豆市	115人
7	静岡県 賀茂郡西伊豆町	92人
8	静岡県 沼津市	70人
9	静岡県 伊豆の国市	59人
10	静岡県 賀茂郡河津町	58人
11	東京都 新島村	57人
12	東京都 神津島村	43人
13	静岡県 熱海市	42人
14	長野県 安曇野市	21人
15	東京都 大島町	19人
16	静岡県 静岡市清水区	15人
	静岡県 富士市	15人
18	神奈川県 足柄下郡箱根町	14人
	静岡県 三島市	14人
20	静岡県 御殿場市	12人
のべ人数		3,972人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



※TOP20以下：450人 / 1.1%

宿泊地分析（地域別） 松崎町

松崎町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約93%。次いで首都圏が約4%、甲信越・北陸が約2%。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	2,080人
2	首都圏	93人
3	甲信越・北陸	36人
4	北関東	7人
5	近畿	5人
6	北海道・東北	3人
7	九州・沖縄	2人
のべ人数		2,226人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性 10歳~34歳	女性 35歳~49歳	女性 50歳以上	男性 10歳~34歳	男性 35歳~49歳	男性 50歳以上
1	東海	28.3%	22.0%	-----	28.2%	21.5%	-----
2	首都圏	-----	2.1%	44.6%	-----	2.8%	50.5%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県） 松崎町

都道府県別では静岡県が最も多く約91%。次いで東京都、神奈川県が約2%となっている。

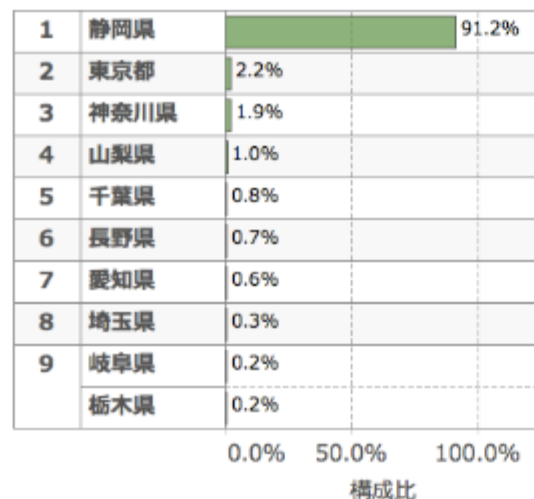
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	2,073人
2	東京都	49人
3	神奈川県	44人
4	山梨県	22人
5	千葉県	18人
6	長野県	16人
7	愛知県	13人
8	埼玉県	7人
9	岐阜県	5人
	栃木県	5人
のべ人数		2,273人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性 10歳~34歳	女性 35歳~49歳	女性 50歳以上	男性 10歳~34歳	男性 35歳~49歳	男性 50歳以上
1	静岡県	28.3%	22.0%	-----	28.2%	21.5%	-----
2	東京都	-----	-----	-----	-----	-----	100.0%

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：21人 / 0.9%

宿泊地分析（市区町村別）松崎町

市区町村別では松崎町が最も多く約45%。次いで西伊豆町が約14%、下田市、南伊豆町、伊豆市が約6%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 賀茂郡松崎町	1,069人
2	静岡県 賀茂郡西伊豆町	338人
3	静岡県 下田市	154人
4	静岡県 賀茂郡南伊豆町	145人
5	静岡県 伊豆市	134人
6	静岡県 伊東市	101人
7	静岡県 伊豆の国市	62人
8	静岡県 沼津市	57人
9	静岡県 賀茂郡東伊豆町	37人
10	静岡県 賀茂郡河津町	36人
11	静岡県 熱海市	26人
12	長野県 安曇野市	14人
13	静岡県 静岡市清水区	11人
14	静岡県 三島市	9人
	静岡県 富士市	9人
16	神奈川県 足柄下郡箱根町	7人
17	静岡県 静岡市駿河区	6人
18	山梨県 南都留郡山中湖村	5人
	静岡県 御殿場市	5人
	静岡県 浜松市中区	5人
	東京都 台東区	5人
	東京都 豊島区	5人
のべ人数		2,403人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県 賀茂郡松崎町	44.5%
2	静岡県 賀茂郡西伊豆町	14.1%
3	静岡県 下田市	6.4%
4	静岡県 賀茂郡南伊豆町	6.0%
5	静岡県 伊豆市	5.6%
6	静岡県 伊東市	4.2%
7	静岡県 伊豆の国市	2.6%
8	静岡県 沼津市	2.4%
9	静岡県 賀茂郡東伊豆町	1.5%
10	静岡県 賀茂郡河津町	1.5%
11	静岡県 熱海市	1.1%
12	長野県 安曇野市	0.6%
13	静岡県 静岡市清水区	0.5%
14	静岡県 三島市	0.4%
	静岡県 富士市	0.4%
16	神奈川県 足柄下郡箱根町	0.3%
17	静岡県 静岡市駿河区	0.2%
18	山梨県 南都留郡山中湖村	0.2%
	東京都 台東区	0.2%
	東京都 豊島区	0.2%
	静岡県 御殿場市	0.2%
	静岡県 浜松市中区	0.2%

20.0% 40.0%

構成比

※TOP21以下：163人 / 6.8%

宿泊地分析（地域別）西伊豆町

西伊豆町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く約94%。次いで首都圏が約5%。
性年代別では東海エリアは男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	2,882人
2	首都圏	138人
3	甲信越・北陸	22人
4	近畿	11人
5	北関東	10人
6	北海道・東北	6人
7	九州・沖縄	2人
8	中国	1人
	四国	1人
のべ人数		3,073人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性		女性		女性		男性		男性		男性	
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	東海	12.4%	9.5%	25.9%	15.1%	11.4%	25.7%						
2	首都圏	34.1%	26.2%	-----	22.7%	17.1%	-----						
3	北関東	-----	-----	-----	-----	-----	100.0%						

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計
※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外
※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県）西伊豆町

都道府県別では静岡県が最も多く約91%。次いで神奈川県が約3%、東京都が約2%となっている。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

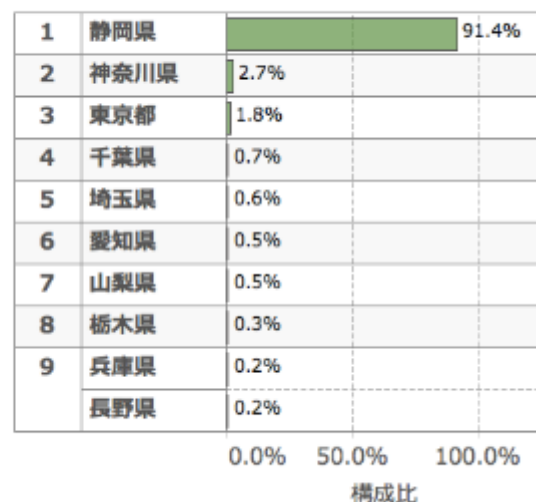
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	2,876人
2	神奈川県	84人
3	東京都	58人
4	千葉県	23人
5	埼玉県	19人
6	愛知県	17人
7	山梨県	16人
8	栃木県	8人
9	兵庫県	6人
	長野県	6人
のべ人数		3,148人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性	女性	女性	男性	男性	男性
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	10.0%	9.0%	24.4%	14.7%	12.9%	29.1%
2	神奈川県	-----	-----	-----	100.0%	-----	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：35人 / 1.1%

宿泊地分析（市区町村別）西伊豆町

市区町村別では西伊豆町が最も多く約41%。次いで松崎町が約14%、伊豆市が約11%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 賀茂郡西伊豆町	1,325人
2	静岡県 賀茂郡松崎町	468人
3	静岡県 伊豆市	352人
4	静岡県 下田市	151人
5	静岡県 伊東市	134人
6	静岡県 賀茂郡南伊豆町	130人
7	静岡県 沼津市	108人
8	静岡県 賀茂郡河津町	77人
9	静岡県 伊豆の国市	73人
10	静岡県 賀茂郡東伊豆町	63人
11	静岡県 熱海市	44人
12	神奈川県 足柄下郡箱根町	20人
13	静岡県 三島市	18人
14	静岡県 富士市	15人
15	静岡県 御殿場市	14人
16	静岡県 静岡市清水区	13人
17	静岡県 静岡市駿河区	11人
18	神奈川県 小田原市	9人
19	静岡県 静岡市葵区	8人
	東京都 港区	8人
のべ人数		3,272人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県 賀茂郡西伊豆町	40.5%
2	静岡県 賀茂郡松崎町	14.3%
3	静岡県 伊豆市	10.8%
4	静岡県 下田市	4.6%
5	静岡県 伊東市	4.1%
6	静岡県 賀茂郡南伊豆町	4.0%
7	静岡県 沼津市	3.3%
8	静岡県 賀茂郡河津町	2.4%
9	静岡県 伊豆の国市	2.2%
10	静岡県 賀茂郡東伊豆町	1.9%
11	静岡県 熱海市	1.3%
12	神奈川県 足柄下郡箱根町	0.6%
13	静岡県 三島市	0.6%
14	静岡県 富士市	0.5%
15	静岡県 御殿場市	0.4%
16	静岡県 静岡市清水区	0.4%
17	静岡県 静岡市駿河区	0.3%
18	神奈川県 小田原市	0.3%
19	東京都 港区	0.2%
	静岡県 静岡市葵区	0.2%

0.0% 20.0% 40.0%

構成比

※TOP20以下：231人 / 7.1%

宿泊地分析（地域別） 函南町

函南町を訪れた観光客は、東海エリアの宿泊が最も多く87%。次いで首都圏が約10%。
性年代別では東海エリアは男女とも50歳以上が最も多い。

宿泊地毎の来訪者数(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出

1	東海	1,796人
2	首都圏	193人
3	近畿	24人
4	北関東	18人
	甲信越・北陸	18人
6	北海道・東北	9人
7	九州・沖縄	5人
8	中国	1人
のべ人数		2,064人

来訪者の宿泊地別構成比(地域別)

来訪者がどの地域に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(地域別：ウェイトバック)

来訪者がどの地域に泊まったのかを性年代割合で算出しております

		女性 10歳~34歳	女性 35歳~49歳	女性 50歳以上	男性 10歳~34歳	男性 35歳~49歳	男性 50歳以上
1	東海	14.5%	10.6%	30.4%	13.0%	9.3%	22.1%
2	首都圏	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘匿処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

宿泊地分析（都道府県） 函南町

都道府県別では静岡県が最も多く約82%。次いで神奈川県が約6%、東京都が約4%。
性年代別では、静岡県は男女とも50歳以上が最も多い。

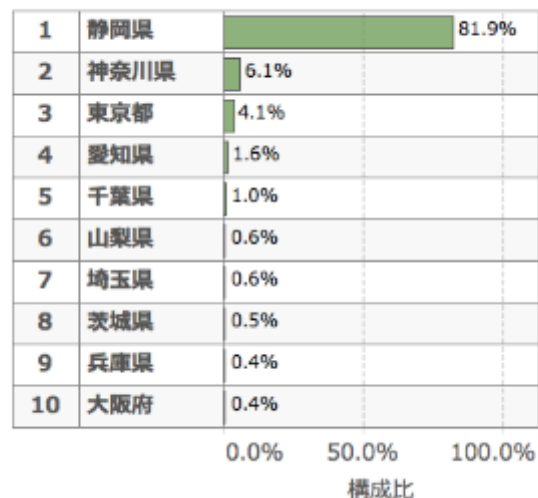
宿泊地毎の来訪者数(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県	1,799人
2	神奈川県	135人
3	東京都	91人
4	愛知県	36人
5	千葉県	21人
6	山梨県	14人
7	埼玉県	13人
8	茨城県	11人
9	兵庫県	9人
10	大阪府	8人
のべ人数		2,197人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出



宿泊地毎の来訪者 性年代構成比(都道府県別：ウェイトバック)

来訪者がどの都道府県に宿泊したのかを性年代割合で算出しております

		女性			男性		
		10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上	10歳~34歳	35歳~49歳	50歳以上
1	静岡県	14.5%	10.6%	30.4%	13.0%	9.3%	22.1%
2	神奈川県	-----	-----	-----	-----	100.0%	-----

※性年代構成比は、属性（性別・年代）取得できたユーザーのみで集計

※データ件数の少ない地域は秘密処理のため除外

※ウェイトバックは日本の人口構成比を参考にして推計

※TOP11以下：60人 / 2.8%

宿泊地分析（市区町村別） 函南町

市区町村別では函南町が最も多く約43%。次いで熱海市が11%、伊豆の国市が約7%となっている。

宿泊地毎の来訪者数(市区町村別)

来訪した人がどの市区町村に宿泊したのかを算出

1	静岡県 田方郡函南町	966人
2	静岡県 熱海市	244人
3	静岡県 伊豆の国市	147人
4	静岡県 三島市	129人
5	静岡県 伊東市	86人
6	静岡県 沼津市	66人
7	静岡県 伊豆市	61人
8	神奈川県 足柄下郡箱根町	39人
9	静岡県 賀茂郡東伊豆町	27人
10	神奈川県 足柄下郡湯河原町	19人
	静岡県 裾野市	19人
12	静岡県 富士市	17人
13	静岡県 下田市	15人
14	静岡県 駿東郡長泉町	13人
	静岡県 静岡市駿河区	13人
16	静岡県 賀茂郡河津町	12人
17	静岡県 駿東郡清水町	11人
	静岡県 静岡市葵区	11人
19	神奈川県 小田原市	10人
	静岡県 御殿場市	10人
のべ人数		2,240人

来訪者の宿泊地別構成比(都道府県別)

選択した市区町村に来訪した人がどの都道府県に宿泊したのかを割合で算出

1	静岡県 田方郡函南町	43.1%
2	静岡県 熱海市	10.9%
3	静岡県 伊豆の国市	6.6%
4	静岡県 三島市	5.8%
5	静岡県 伊東市	3.8%
6	静岡県 沼津市	2.9%
7	静岡県 伊豆市	2.7%
8	神奈川県 足柄下郡箱根町	1.7%
9	静岡県 賀茂郡東伊豆町	1.2%
10	神奈川県 足柄下郡湯河原町	0.8%
	静岡県 裾野市	0.8%
12	静岡県 富士市	0.8%
13	静岡県 下田市	0.7%
14	静岡県 静岡市駿河区	0.6%
	静岡県 駿東郡長泉町	0.6%
16	静岡県 賀茂郡河津町	0.5%
17	静岡県 静岡市葵区	0.5%
	静岡県 駿東郡清水町	0.5%
19	神奈川県 小田原市	0.4%
	静岡県 御殿場市	0.4%

20.0% 40.0%

構成比

※TOP21以下：325人 / 14.5%

＜宿泊が旅の目的になっている伊豆半島＞

今回の調査で、伊豆半島域内に宿泊した観光客は約45%となっている。なお伊東市（10.4%）、熱海市（9.6%）に多く宿泊しており、この2市で全体の2割を占めることがわかった。また、13市町に共通していたことは訪れた市町に宿泊している割合が最も多いが、次いで宿泊が多い市町は隣接する市町であった。近隣に箱根町という日本を代表する温泉地がある中、伊豆半島来訪者は箱根町にほぼ宿泊をしていない。宿泊地としての優位性を示す結果となっている。なお、伊豆半島北部の市町で東京、名古屋、大阪、千葉などが散見されるのは東海道新幹線や東名高速道路、新東名高速道路のインターチェンジ等に近いため旅行中に立ち寄られ、域外の宿泊施設に泊まっていると考えられる。

＜旅行者を呼び込めれば宿泊に結びつける可能性が高い伊東市と東伊豆町＞

来訪者の宿泊地のうち、当該市町が高い割合で選ばれているところは伊東市（57.8%）、東伊豆町（52%）である。次いで、下田市（46.1%）、松崎町（44.5%）、南伊豆町（42.2%）となっている。これらの市町は旅行者を呼び込めば宿泊につながる可能性が高いため、伊豆半島全域においては、これらの市町を含む周遊ルートの効果的な設定により、エリア内の滞在時間をさらに延ばすことに繋げられる。

季節・曜日に関する分析

季節・曜日毎に来客数や滞在時間に変化があるか

2016年1月1日～2016年12月31日まで、伊豆半島（伊豆半島全域、および各13市町単位）を訪れた国内に居住する観光客について、季節および曜日（平日、休日：土日・祝祭日）別に傾向を分析します。伊豆半島全域、および各13市町単位で分析します。

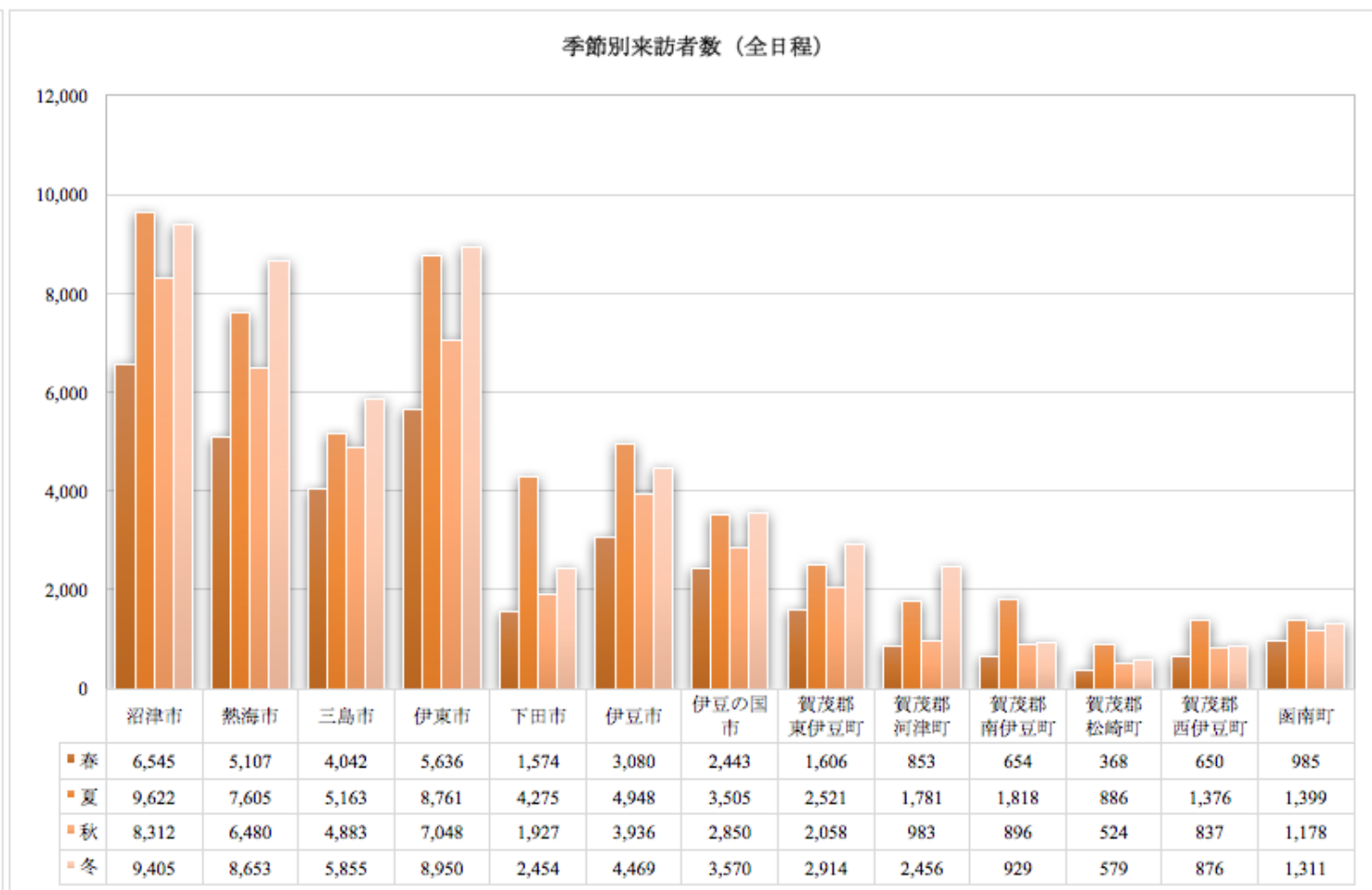
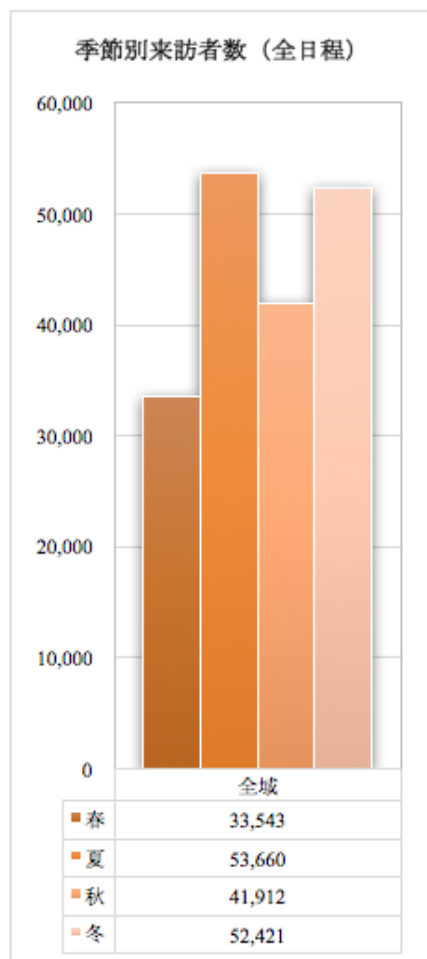
※季節定義（気象庁の定義より）

＜春＞ 3月～5月 ＜夏＞ 6月～8月 ＜秋＞ 9月～11月 ＜冬＞ 12月～2月

※単位は人（のべ人数）

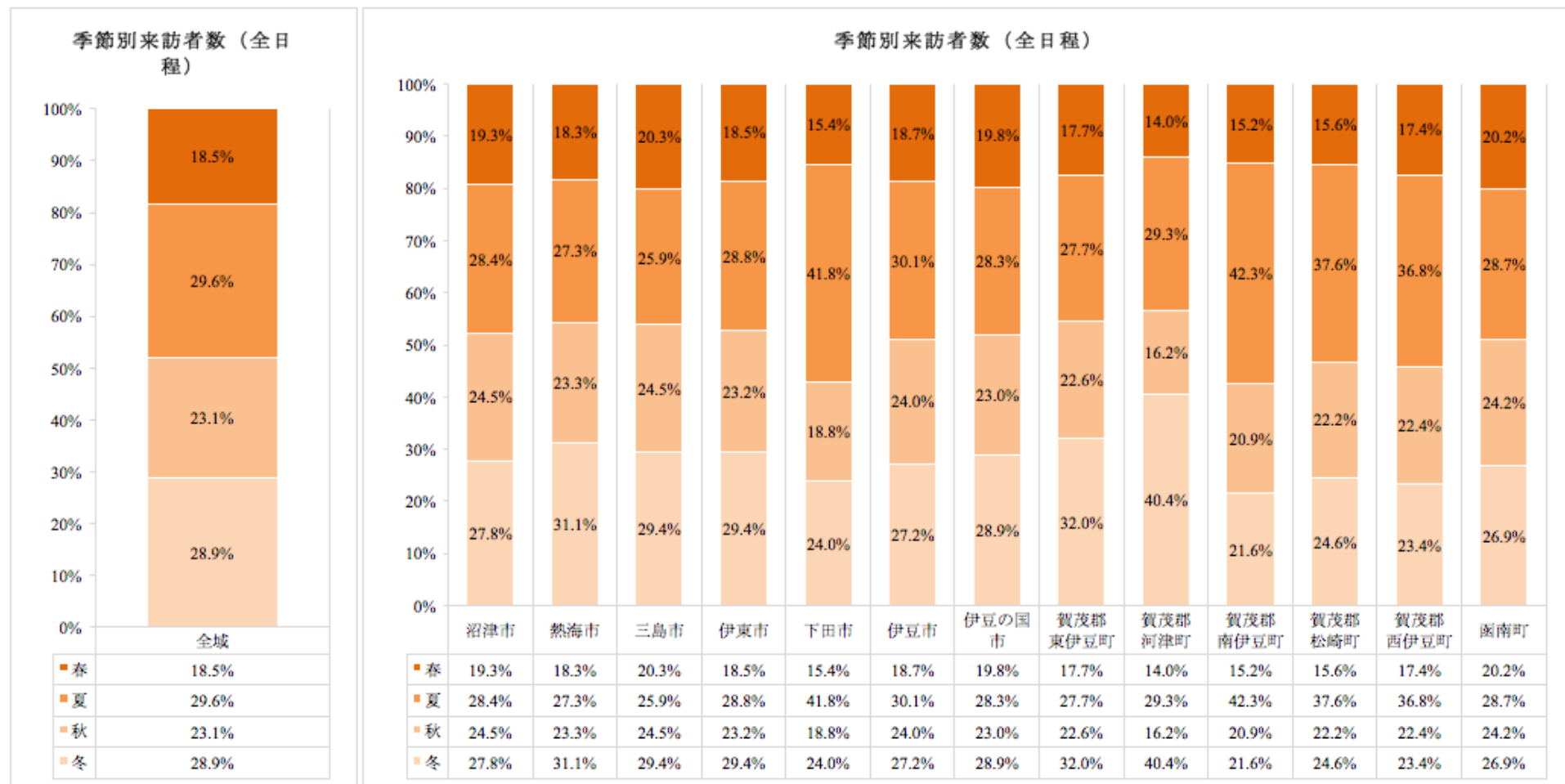
季節曜日に関する分析（全日程）

伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客は、全日程で夏期が最も多く約30%。次いで冬期が約29%、秋期が約23%、春期が約19%となった。



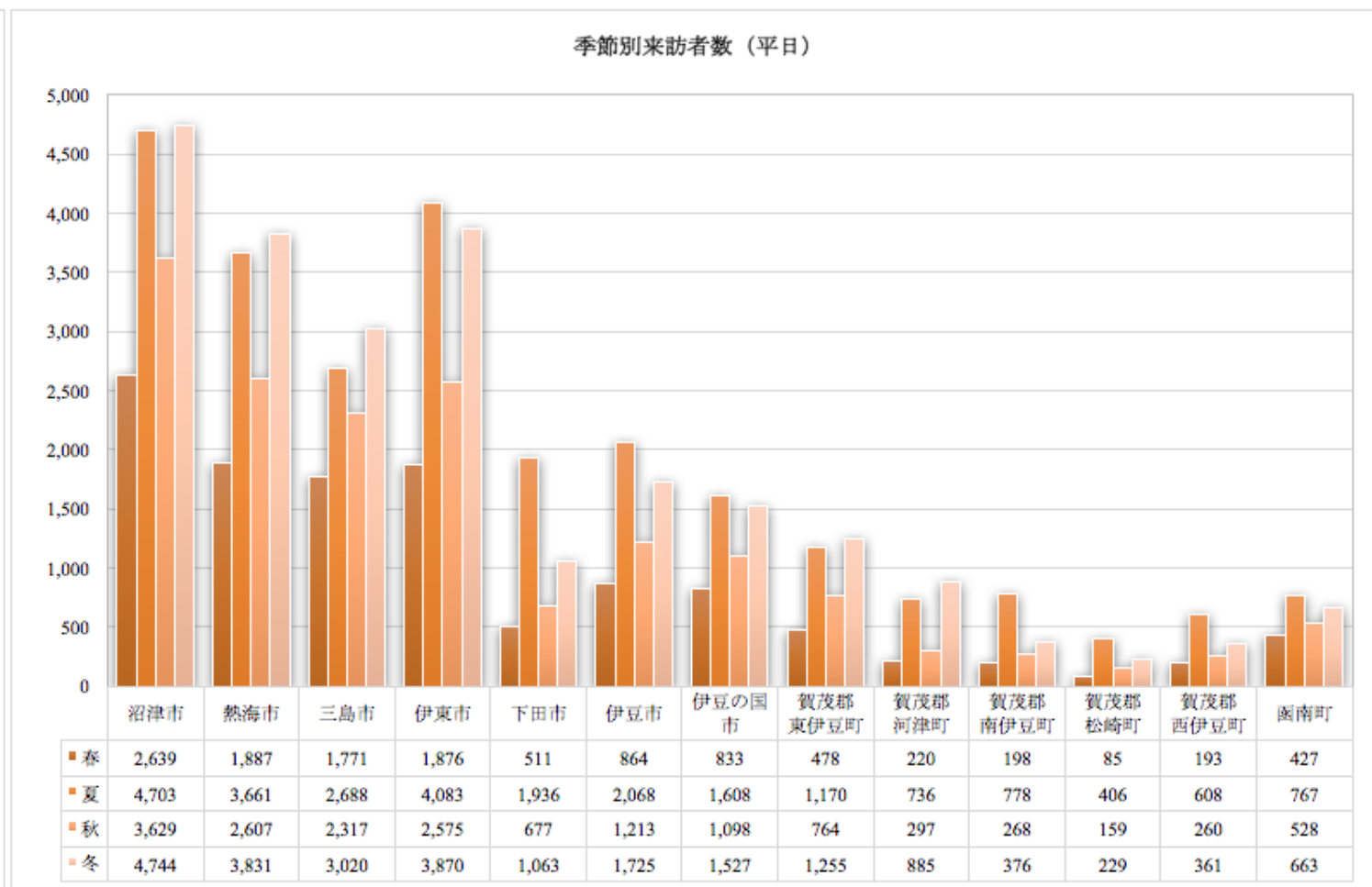
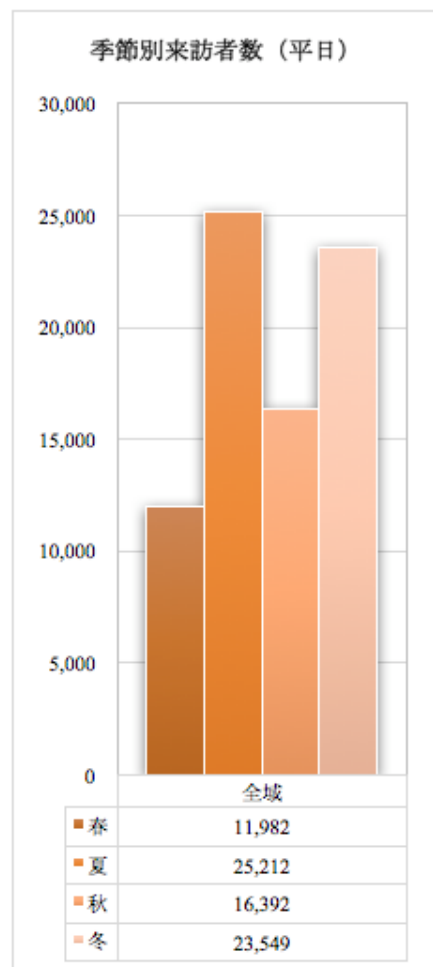
季節曜日に関する分析（全日程） 構成比

夏期の割合が最も高いのは南伊豆町、下田市で約42%。次いで松崎町の約38%、西伊豆町の約37%。一方、冬期は河津町が約40%で最も高い。なお、夏期より冬期の割合が高いのは河津町、東伊豆町、熱海市、三島市、伊豆の国市、伊東市の4市2町。



季節曜日に関する分析（平日）

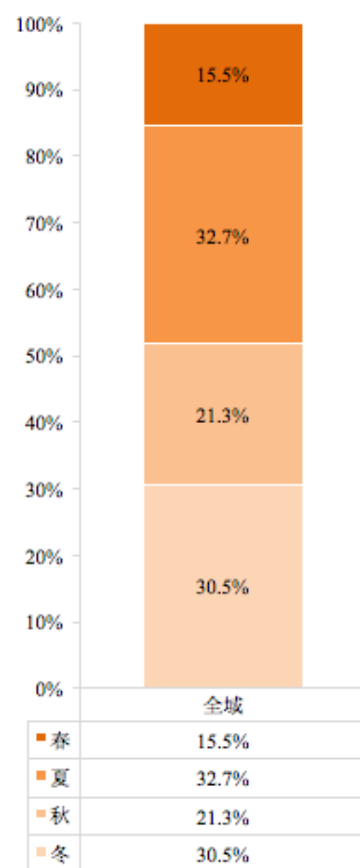
平日に伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客は夏期が最も多く約33%。次いで冬期が約31%、秋期が約21%、春期が約16%となった。



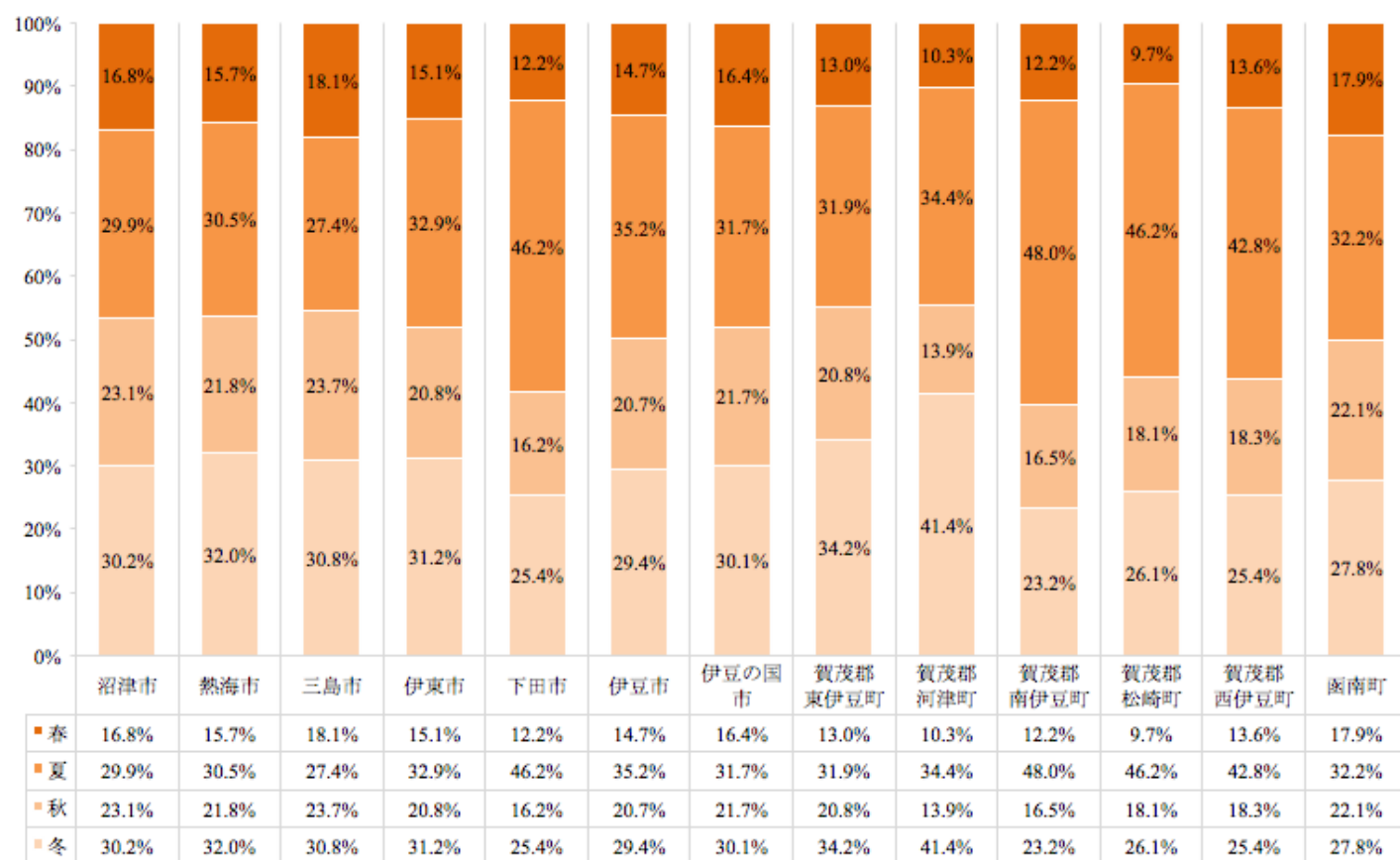
季節曜日に関する分析（平日） 構成比

夏期の割合が最も高いのは南伊豆町で48%。次いで下田市、松崎町の約46%。一方、冬期は河津町が約41%で最も高く、次いで東伊豆町が約34%、熱海市が32%とつづく。
 なお、夏期より冬期の割合が高いのは河津町、東伊豆町、三島市、熱海市、沼津市の3市2町。

季節別来訪者数（平日）



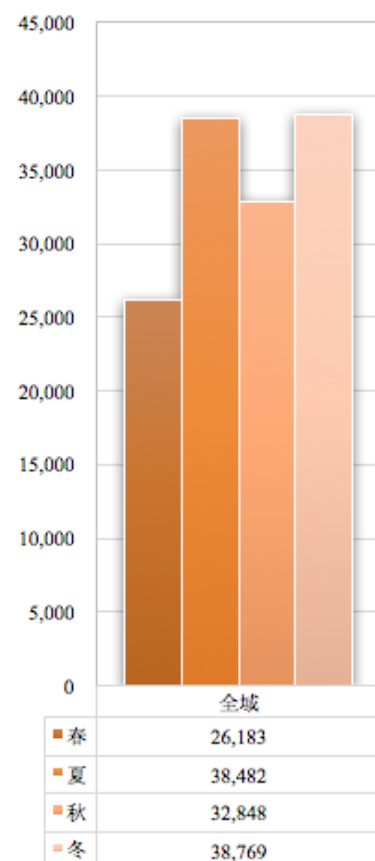
季節別来訪者数（平日）



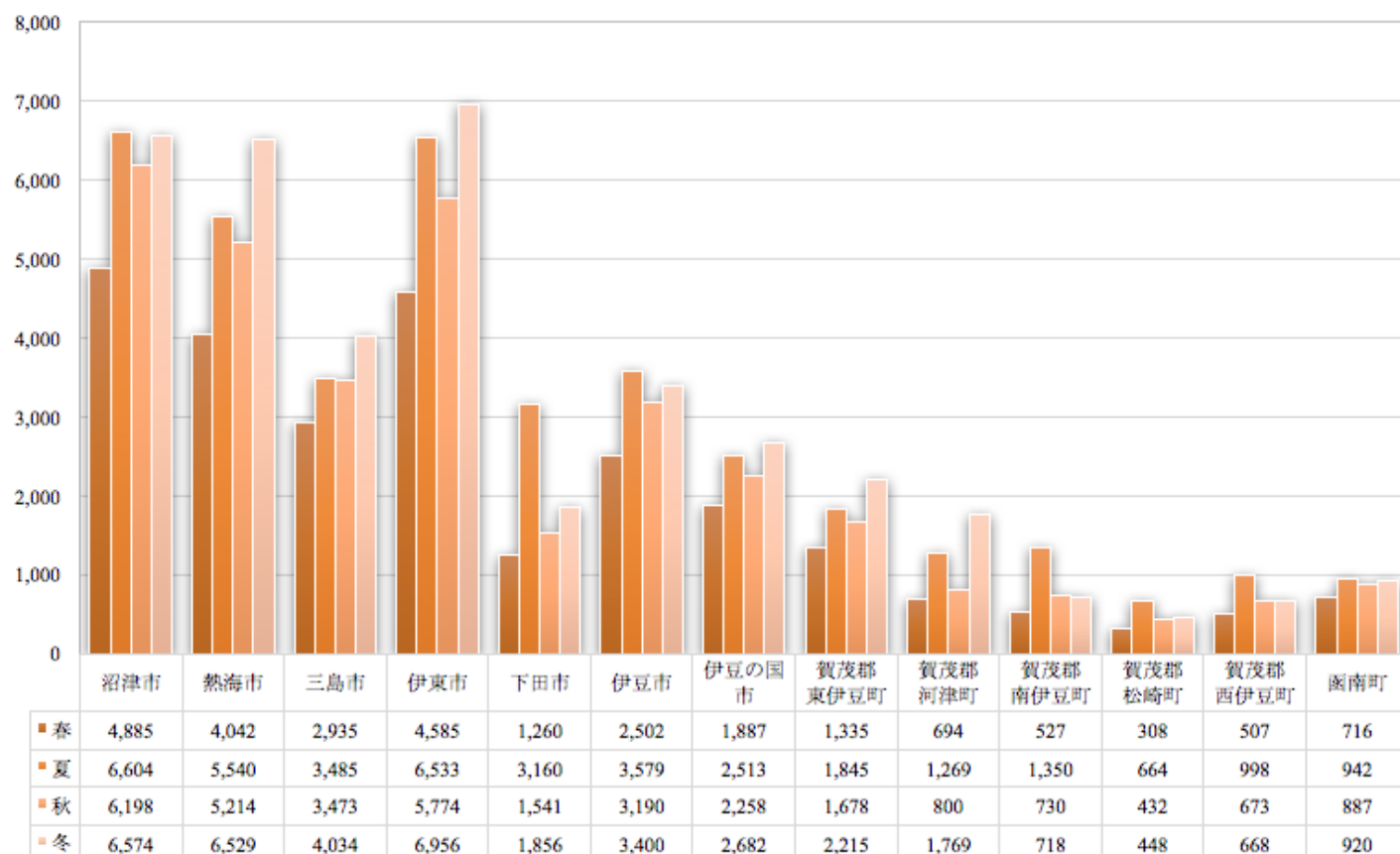
季節曜日に関する分析（休日：土日・祝祭日）

土曜・祝祭日に伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客は冬期、夏期が最も多く約28%。
次いで秋期が約24%、春期が約19%となった。

季節別来訪者数（休日）



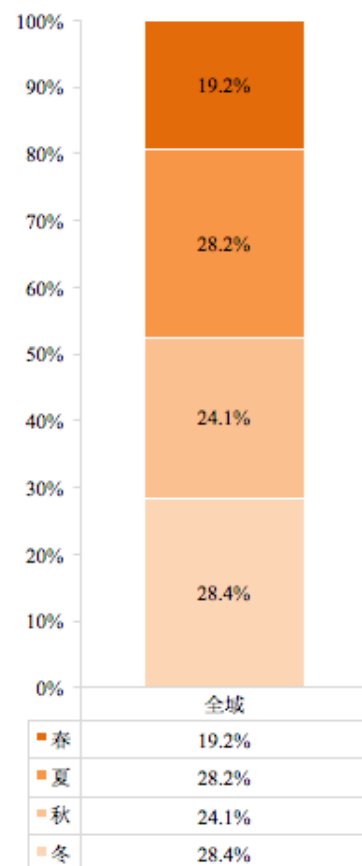
季節別来訪者数（休日）



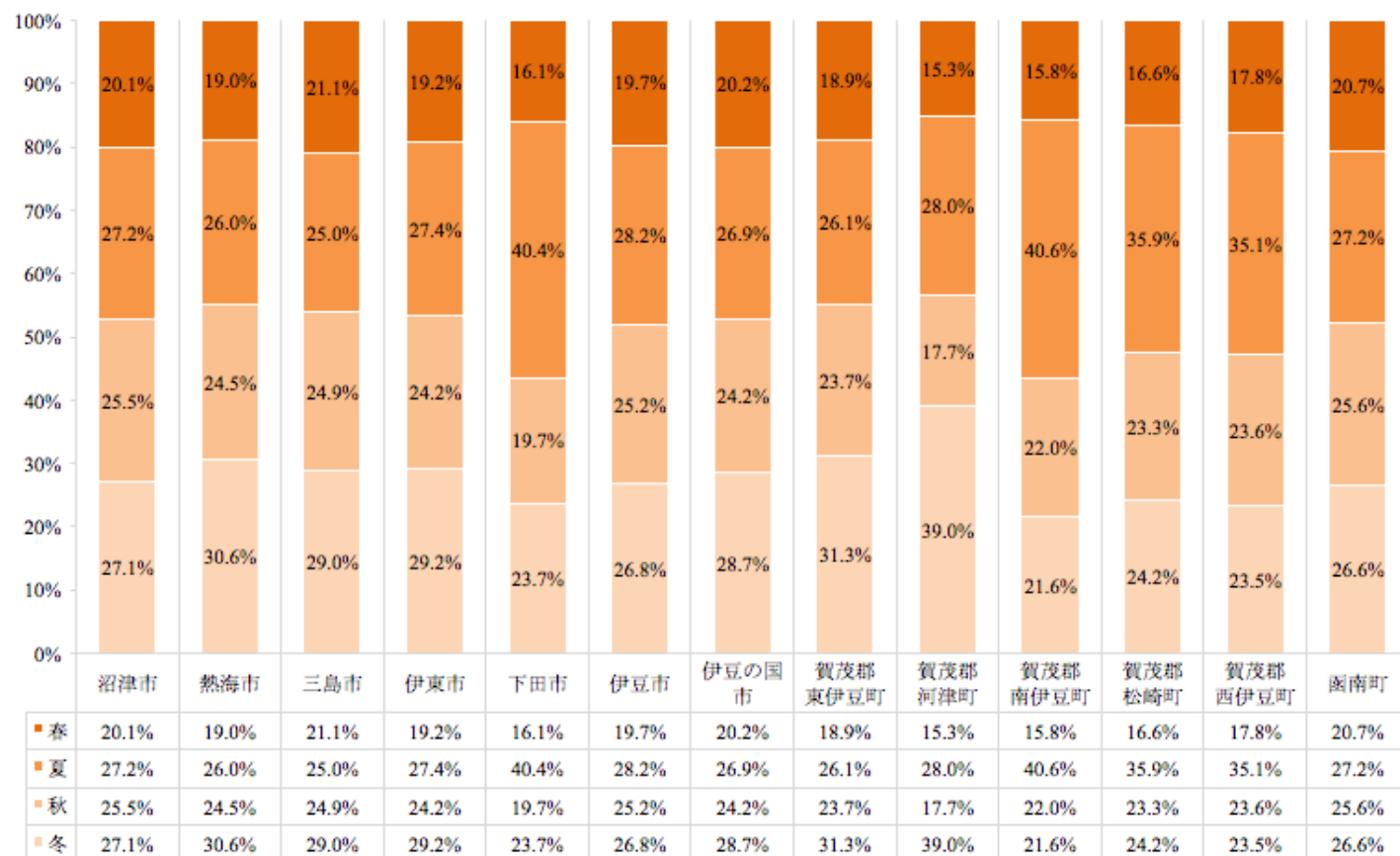
季節曜日に関する分析（休日：土日・祝祭日） 構成比

夏期の割合が最も高いのは南伊豆町、下田市で約40%。次いで松崎町の約36%。一方、冬期は河津町が約41%で最も高く、次いで東伊豆町、熱海市が約31%とつづく。なお、夏期より冬期の割合が高いのは河津町、東伊豆町、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市の4市2町。

季節別来訪者数（休日）



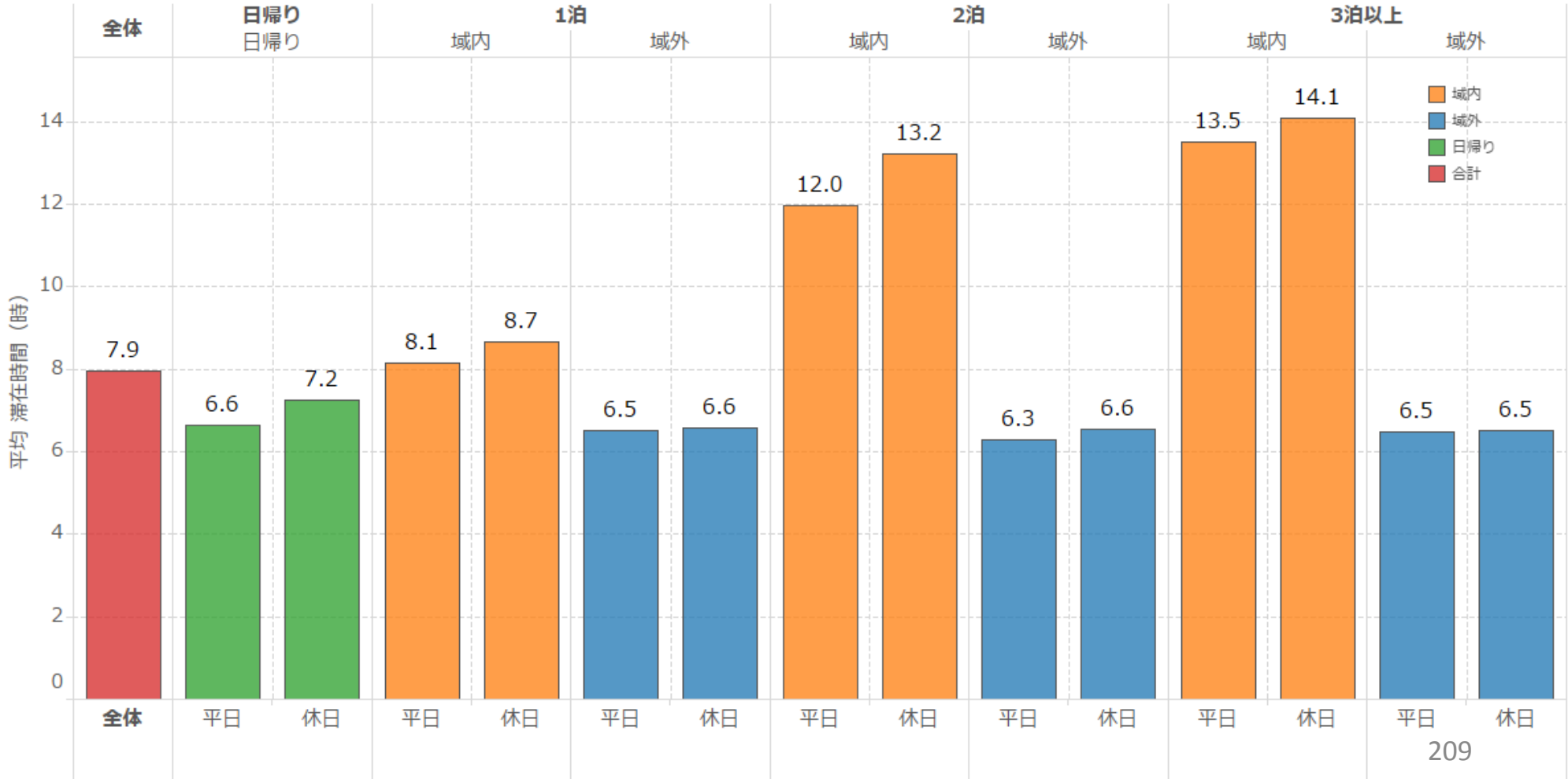
季節別来訪者数（休日）



季節曜日に関する分析（旅程×平日・休日） 伊豆半島 7 市 6 町

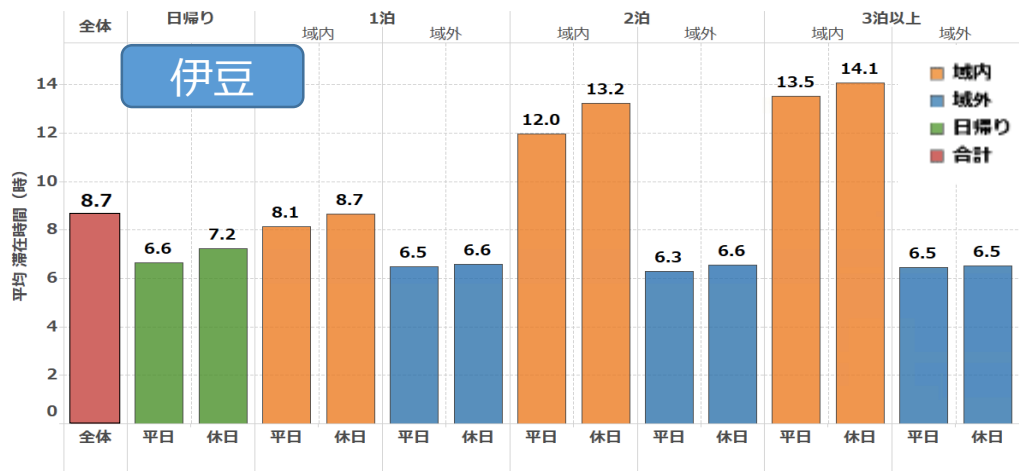
伊豆半島 7 市 6 町を訪れた観光客の平均滞在時間は、域内宿泊の 3 泊以上が最も長く14.1時間。日帰りを除き、域内泊においてはいずれも休日の滞在時間が最も長かった。

旅程・カレンダー別 平均滞在時間
来訪者の旅程・カレンダー別で平均滞在時間を集計しております

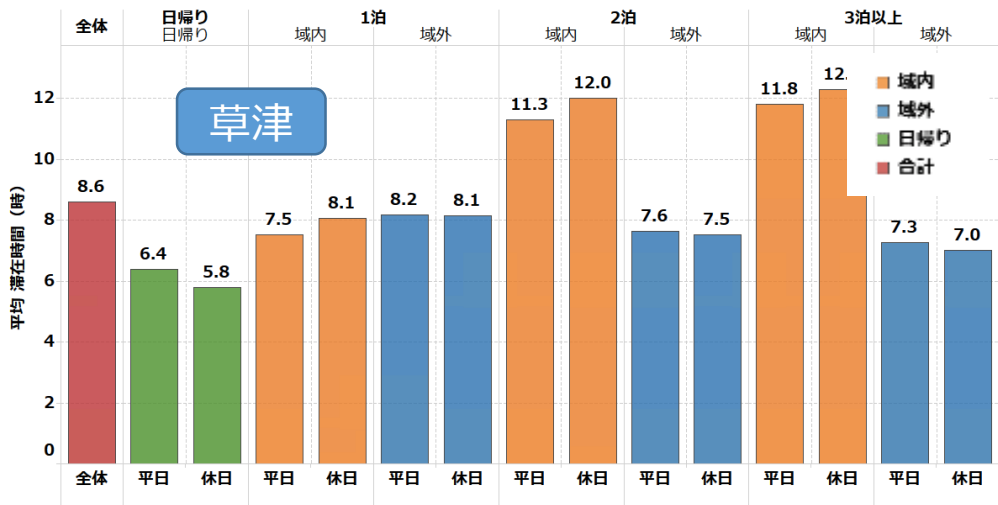
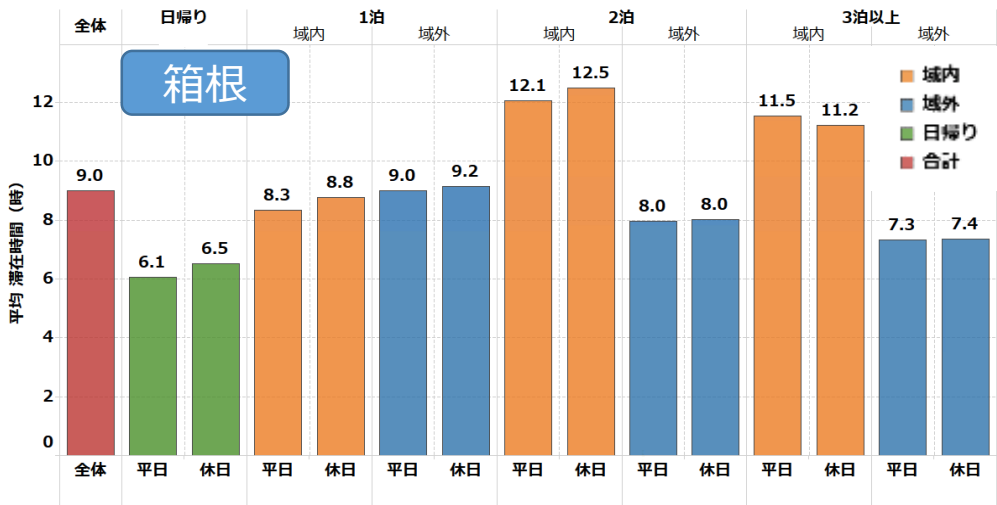


季節曜日に関する分析（旅程×平日・休日） 箱根、草津との比較

観光客の平均滞在時間について域内宿泊で比較した場合、箱根10.7時間、草津10.5時間、伊豆は11.6時間で3エリア中、最も長かった。一方、域外泊で比較した場合、箱根8.2時間、草津10.5時間、伊豆は6.5時間であり、箱根と草津は域外泊の滞在時間が全体を押し上げていることがわかる。伊豆の場合、半島という立地を考えると、域内泊の滞在時間を延ばすことが全体の押し上げに繋がるので、その為に市町の連携を深め周遊を更に促進させることが必要と考えられる。

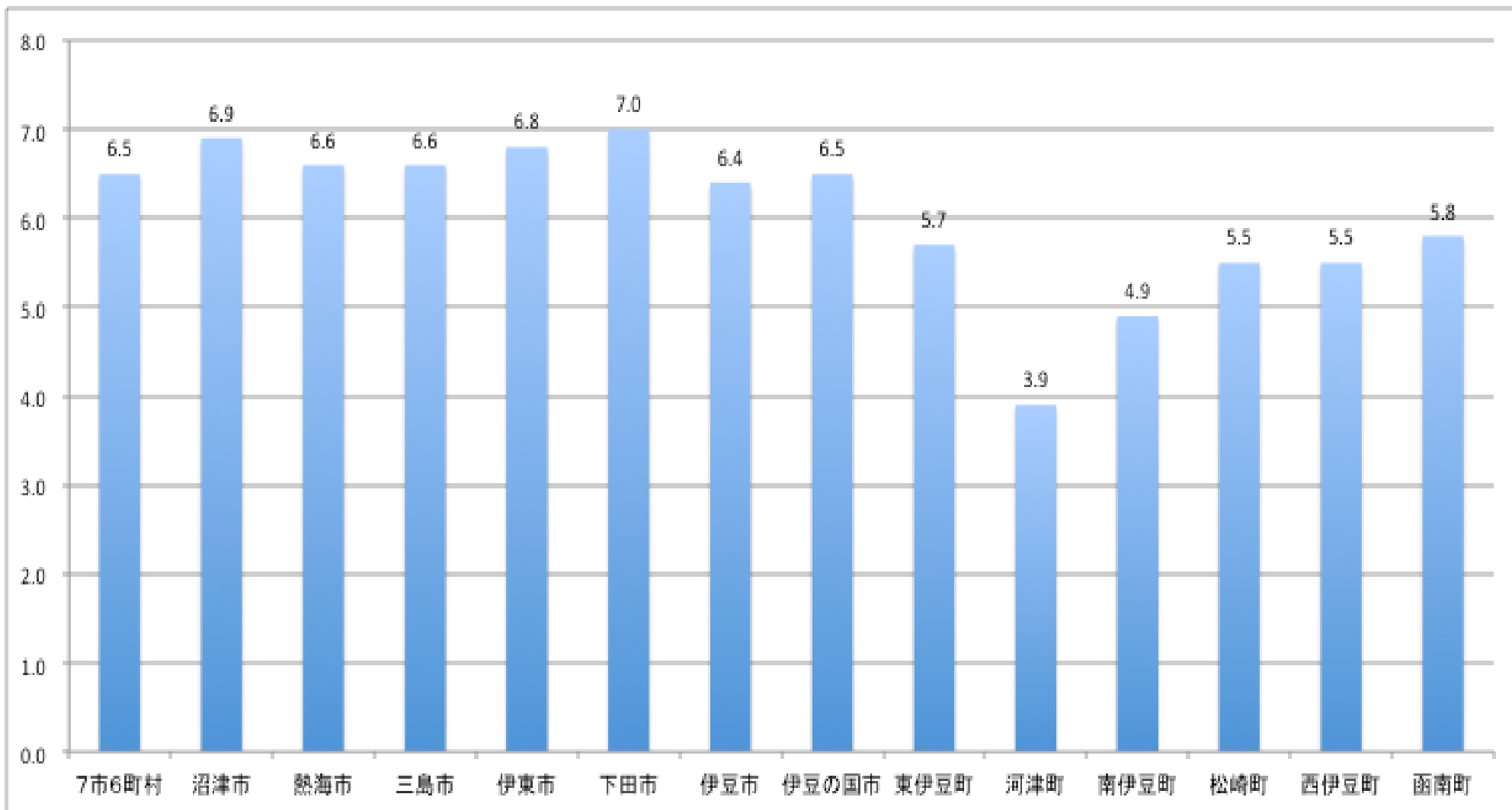


旅程・カレンダー別
平均滞在時間
来訪者の旅程・カレンダー別で
平均滞在時間を集計しております



観光地に関する分析 平均滞在時間

最も滞在時間が長いのは下田市の7.0時間。次いで沼津市の6.9時間、伊東市の6.8時間とつづく。一方、最も短いのは河津町の3.9時間。立ち寄りが多く、他のエリアに流出している可能性がある。



※分析対象者は15分以上の滞在者とする

＜季節毎の集客が安定している沼津市、三島市、熱海市、函南町の活用＞

伊豆半島全体として、北部の4市町は各季節とも安定した集客を実現している。

そこで、夏期に偏る下田市や南伊豆町、冬期に偏る河津町のように季節変動性が大きい市町に対し、相対的に季節変動性の低い北部の市町が伊豆半島の入り口として、滞在ストーリーの起点となることが重要と考えられる。

＜リピーターになることで延びる滞在時間＞

伊豆半島域内での連泊、転泊が増えることで滞在時間延長につながると同時に、箱根や草津より広域な伊豆半島の魅力がより一層伝わる。

また、リピーター化を図ることが周遊性拡大につながるため季節性を持った魅力発信、来訪者満足度向上が鍵となる。

なお、日帰りと域外宿泊は、ほぼ滞在時間の差が見られない。域外宿泊は他のエリアに宿泊施設があるため、日帰りと同じ旅程動向になると推測される。

考察

事実と仮説、打ち手について

■ 今回の調査で明らかになった事実は主に7つ

- 東京都南西部に向けた戦略的アプローチの必要性
- 立寄りエリア「小田原市」「富士市」「富士宮市」「御殿場市」との相互連携
- 来訪率、周遊性を高める観光資源の整理
- 幹線道路沿線の「道の駅」を活用した流入経路の整理
- 伊豆半島内周遊のハブとなる伊東市と伊豆市の連携
- 強い相関関係を示した地域を結ぶゴールデンルートの整備
- 季節変動性の低い北部エリアと偏りがある南部エリアとの連携

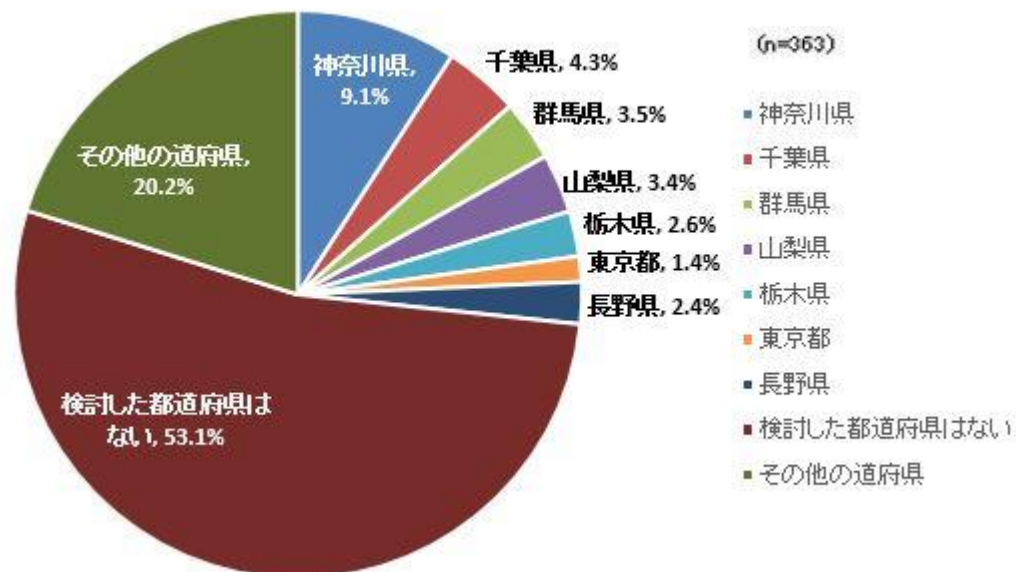
次ページから事実に基づいた仮説立てを行い、誘客促進事業の立案に資する提案を提示します。

■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 東京都南西部に向けた戦略的アプローチの必要性

伊豆半島への来訪発地を見ると首都圏でも南部、西部に主要発地が集中している。同地域において移動の距離と時間を考えると南部であれば房総半島、西部であれば山梨県・長野県と比較検討をされることが想定される。また、隣接する箱根町も比較検討をされる地域である。伊豆半島において房総半島よりも強い地域資源は温泉である（217ページの資料、じゃらん人気温泉地ランキングを参照）。一方、山梨県や長野県、箱根町にない魅力は海・新鮮な海の幸が考えられる。この2つの地域資源を前面に世田谷区、大田区、練馬区、江東区、杉並区、品川区での私鉄、地下鉄、JR各線の交通広告の露出は効果的と考えられる。

伊豆半島の他に旅行先を検討した都道府県



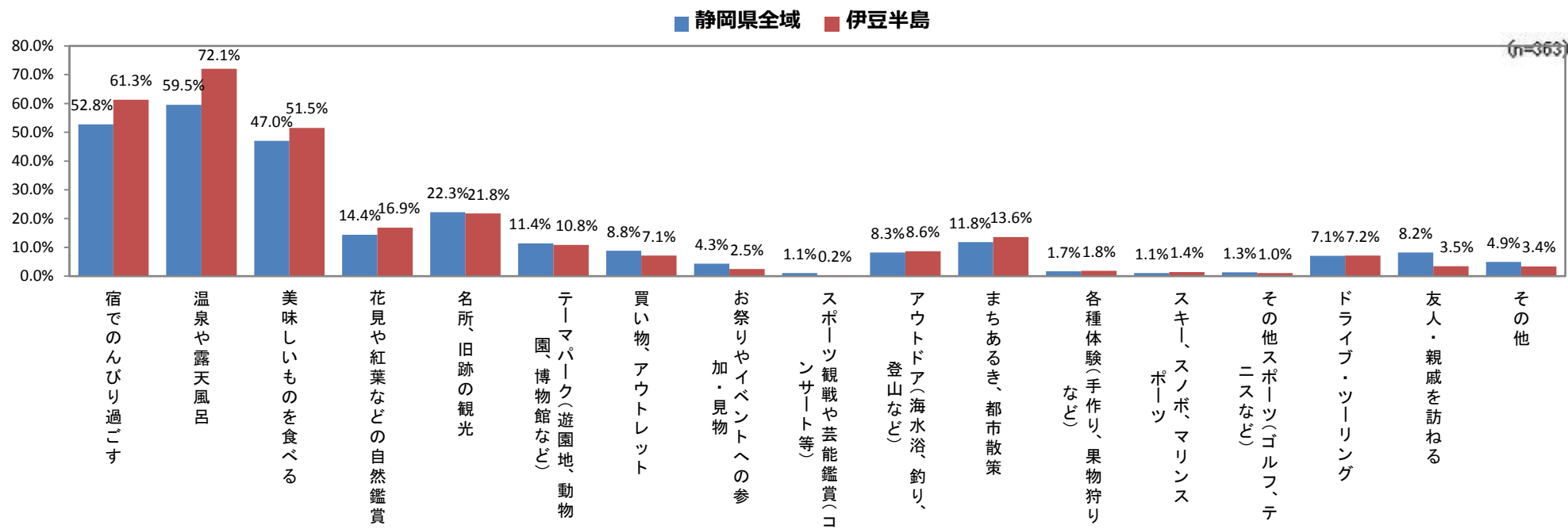
■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 東京都南西部に向けた戦略的アプローチの必要性

じゃらん宿泊旅行調査（2016年）によると、伊豆半島への旅の目的として最も多いのは「温泉」、次いで「宿でのんびり過ごす」「美味しいものを食べる」がつづく。

伊豆半島への誘客を図るプロモーションを行う際には、これら競合地域との差別化を発地と合わせて考えていく必要がある。

伊豆半島旅行者の旅の目的



出典：じゃらん宿泊旅行調査2016

(参考資料) じゃらん人気温泉地ランキング2016

もう一度行ってみたい温泉地	
1	【関東甲信越／神奈川】 箱根温泉
2	【関東甲信越／群馬】 草津温泉
3	【東海／静岡】 熱海温泉
4	【関東甲信越／栃木】 鬼怒川温泉
5	【関東甲信越／群馬】 万座温泉
6	【関東甲信越／群馬】 伊香保温泉
7	【関東甲信越／長野】 白骨温泉
8	【関東甲信越／栃木】 那須温泉
9	【関東甲信越／神奈川】 湯河原温泉
10	【関東甲信越／栃木】 日光湯元温泉
11	【関東甲信越／群馬】 四万温泉
12	【関東甲信越／群馬】 みなかみ18湯（旧水上温泉郷・猿ヶ京温泉・法師温泉・宝川温泉）
13	【東海／静岡】 修善寺温泉
14	【関東甲信越／長野】 野沢温泉
15	【東海／静岡】 伊東温泉・宇佐美温泉
16	【東海／静岡】 土肥温泉
17	【関東甲信越／栃木】 湯西川温泉
18	【東海／静岡】 下田温泉
19	【関東甲信越／山梨】 石和温泉
19	【東海／静岡】 稲取温泉

関東・甲信越・静岡県エリア居住者が選ぶ、関東・甲信越・静岡県エリアの「もう一度行ってみたい温泉地」

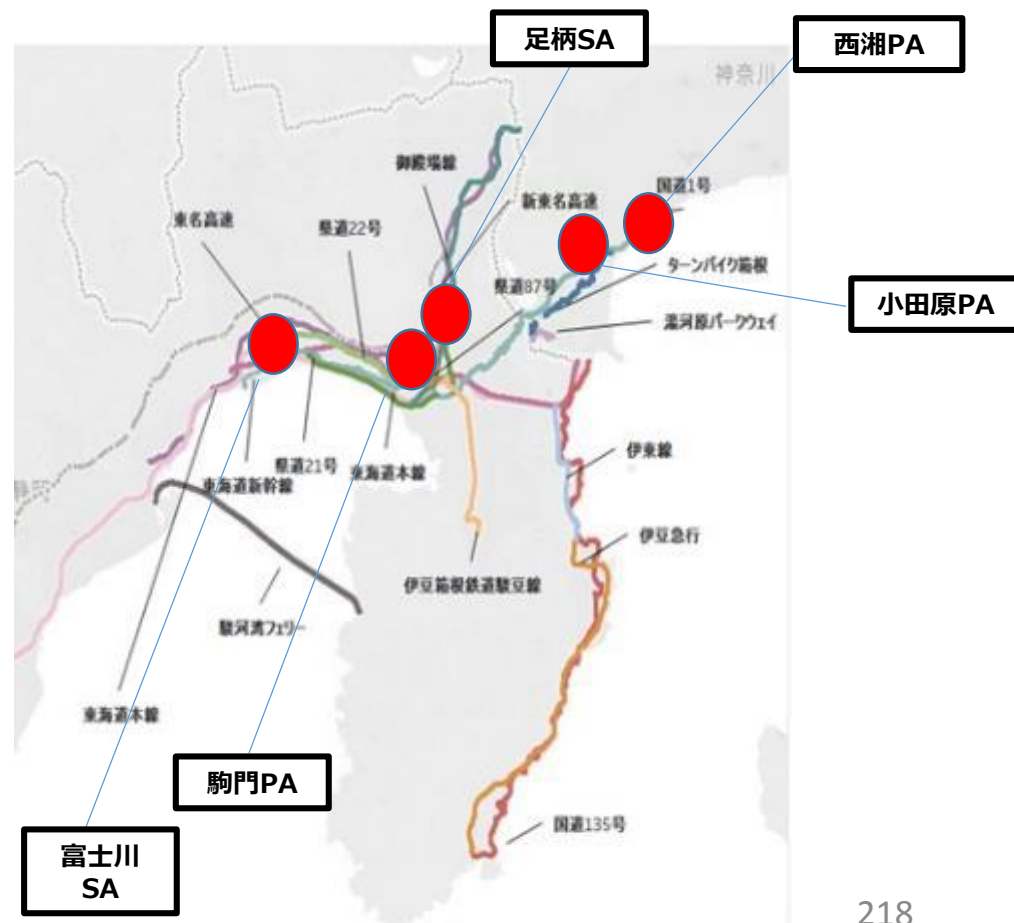
※じゃらんリサーチセンター 2016年12月発表

■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 立ち寄りエリア「小田原市」「富士市」「富士宮市」「御殿場市」の相互連携

小田原市、富士市、富士宮市、御殿場市、平塚市については伊豆半島域外において、通過立ち寄りのログが多く見受けられた。立ち寄り市町については、伊豆半島内に対する着地情報発信の観点で有効に活用できる。今後の施策としてサービスエリアやパーキングエリアがある「小田原市」「富士市」「御殿場市」とは相互連携のもと、パンフレットを配布し合うなども考えられる。

小田原市	小田原厚木道路 小田原パーキングエリア（下り線）
	西湘バイパス 西湘パーキングエリア（下り線）
御殿場市	東名高速道路 EXPASA足柄（下り線）
御殿場市	東名高速道路 駒門パーキングエリア（下り線）
富士市	東名高速道路 富士川サービスエリア（上り線）



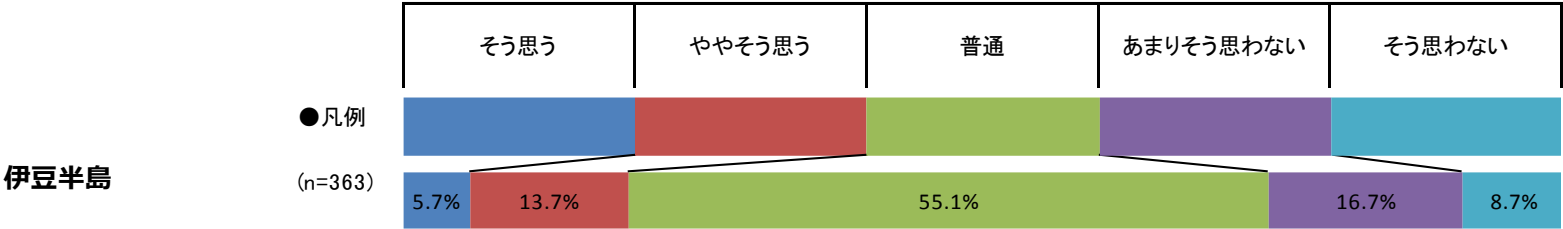
■ 調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 来訪率、周遊性を高める観光資源の整理

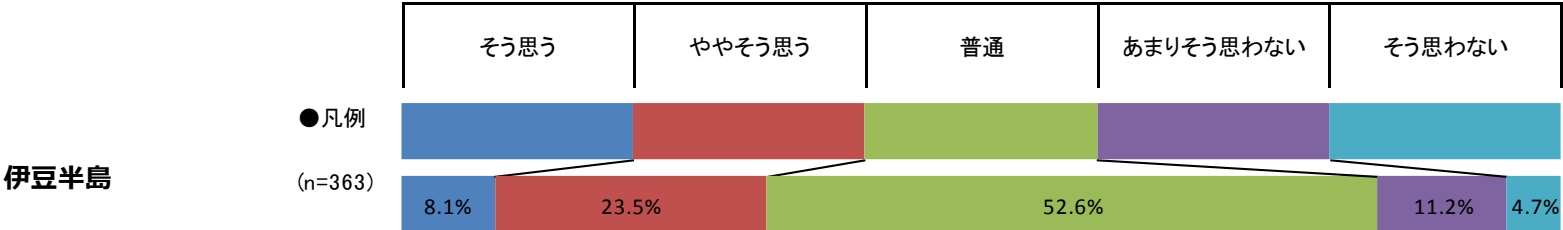
来訪発地毎にややばらつきはあるものの、今回の調査では50歳以上の観光客が多く来訪していることがわかった。この層に繰り返し来訪してもらうには「食」「自然」など、地域資源の整理が改めて重要である。一方、比較的来訪比率の低い「若者」という新規カスタマーの掘り起しには、二次交通の整備等を合わせた新しい旅の提案が早急に求められる。じゃらん宿泊旅行調査（2016年）では若者が楽しめるスポット、大人が楽しめるスポットとも満足度は「普通」が最も多かった。リピーターを増やすには、来訪者がどの地域資源に対し満足しているか、整理が必要である。

伊豆半島旅行後の来訪者の満足度

若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった



大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった



出典：じゃらん宿泊旅行調査2016

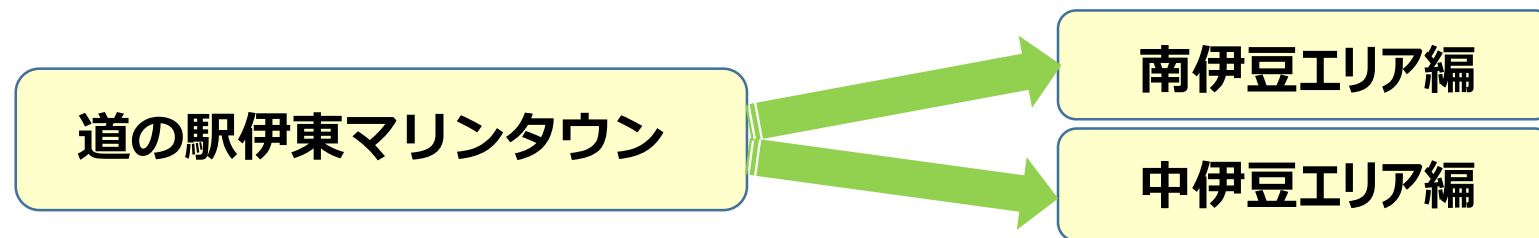
■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 幹線道路沿線の「道の駅」を活用した流入経路の整理

伊豆半島を訪れる観光客のうち24.1%が利用する国道135号は、35歳～49歳の女性では32.3%まで高まり、伊豆観光における主要な導線となっている。

一方、観光地の来訪状況（140ページ）で最も多くの観光客が訪れている道の駅伊東マリンタウンは、国道135号を車で南下する観光客にとって、伊豆と一番最初に接点をもつスポットと言え、この道の駅での伊豆半島の着地情報発信及び更に南部へと誘うキャンペーンの実施は有効であると思われる。

この、道の駅伊東マリンタウンでの着地情報発信やキャンペーンの実施は、周遊に関する分析（88ページ）を踏まえると、国道135を更に南下するルートと県道19号伊東大仁線を西に進むルートの2方面に分けた情報発信が観光客の動向に即している。周遊を喚起するにはこの幹線道路沿線の道の駅を活用した、流入経路を整理した上で、各資源の磨き上げを行っていくことが有効であり、216ページに掲出したじゃらん宿泊旅行調査の「旅の目的」から考察すると下記のように考えられる。



なお、今回は調査できなかったが、2017年5月にオープンする道の駅伊豆ゲートウェイ函南についても同じことが言えるのではないだろうか。

東名・新東名高速道路と直結する伊豆縦貫道や伊豆を南北に通る国道136号に程近く、文字通り伊豆の玄関口に位置する同駅を中心に、道の駅伊東マリンタウンと同じような取り組みを試みることで、特に中伊豆エリアや西伊豆エリアへの回遊性は更に高まっていくだろう。

■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 強い相関関係を示した地域を結ぶゴールデンルートの整備

現状、道の駅伊東マリンタウンとの相関関係が強い観光地は伊豆東海岸に集中している。観光客数が最も多かった道の駅伊東マリンタウン（11.23%）をハブとし、伊豆の国パノラマパーク（3.91%）、堂ヶ島公園（3.83%）、韮山反射炉（3.45%）、道の駅伊豆のへそ（2.74%）などの中伊豆・西伊豆地区の観光スポットとの連携によって、伊豆半島の滞在時間を延ばすことができる。他にも2地点間、3地点間の相関性の高い地域については、今後のゴールデンルートとして磨き上げていくことが重要である。

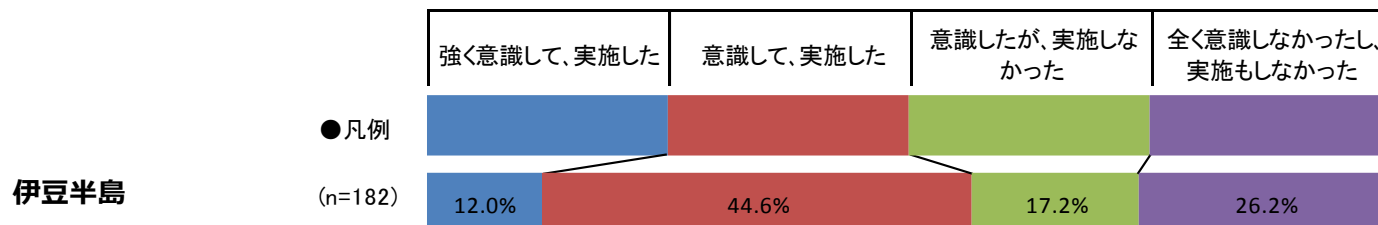
一方で、道の駅伊東マリンタウンのほかに沼津港、堂ヶ島公園、三島スカイウォーク、道の駅開国下田みなとは他のエリアとの相関関係で出現率が高く、伊豆半島の周遊性を高める上で重要な観光地と言える。

なお、熱海市の3つの観光地はすべて熱海市内で完結していることが特徴的であった。

伊豆半島旅行者が旅行前や旅行中に意識したこと

事前（出発前）に立ち寄り先などの計画をたてる

出典：じゃらん宿泊旅行調査2016



じゃらん宿泊旅行調査では伊豆半島旅行者のうち、約43%が事前に立ち寄り先の計画を立てていない、または実行できなかったと回答している。この層を着地情報で周遊させていく仕組みが重要である。

■ 調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

➤ 伊豆半島内周遊のハブとなる伊豆市と伊東市の連携

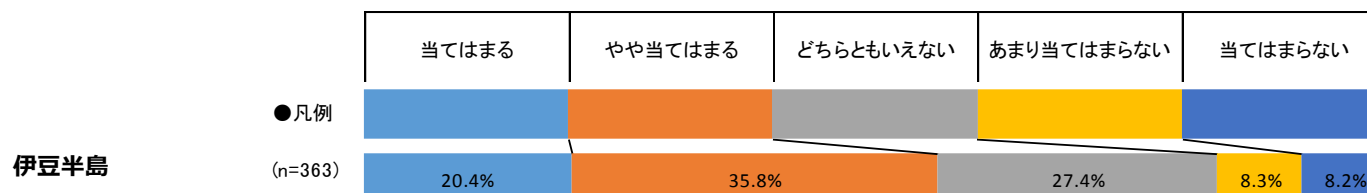
伊豆市は、松崎町、西伊豆町、河津町、南伊豆町、下田市といった南部エリアや西伊豆エリアの市町からの高い周遊性を実現し、伊豆半島内周遊におけるハブ機能を有している。伊豆市を訪れた観光客の交通手段は電車が約46%、自動車が約54%。伊豆市からさらに西部、南部の周遊性を実現するには電車利用の観光客に対する二次交通が課題となる。旅は動機と交通手段で行き先が決まるため、二次交通の整備とともに動機となる地域資源を整理。相関性の強い市町が連携した「旅のストーリー」を、ターゲットに発信すれば周遊性が高まる。

伊東市は南伊豆、東伊豆の各市町と高い周遊性を実現している。今後の伊豆半島全体の周遊性向上の為には、伊東市と伊豆市の連携が不可欠である。現段階でも伊東市来訪の32.9%は伊豆市へ、伊豆市来訪の40.7%は伊東市へ来訪している。この連携を強化することで、伊豆半島西部と東部の周遊性が高まり、滞在時間延長が実現する。

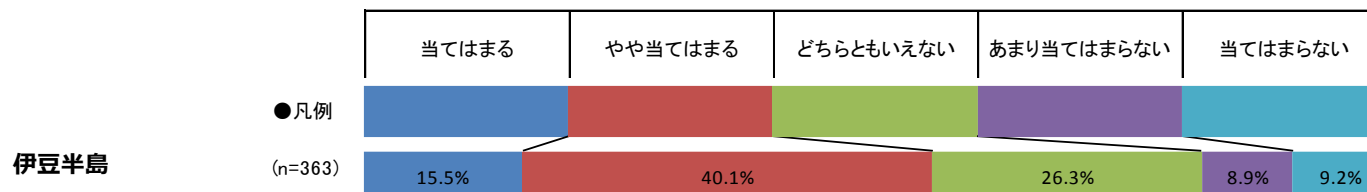
伊豆半島旅行者が旅先を選んだ理由

特定の観光地・観光スポットに興味があったから

出典：じゃらん宿泊旅行調査2016



交通の便が良かったから



■調査から明らかになった事実に基づく仮説、提案

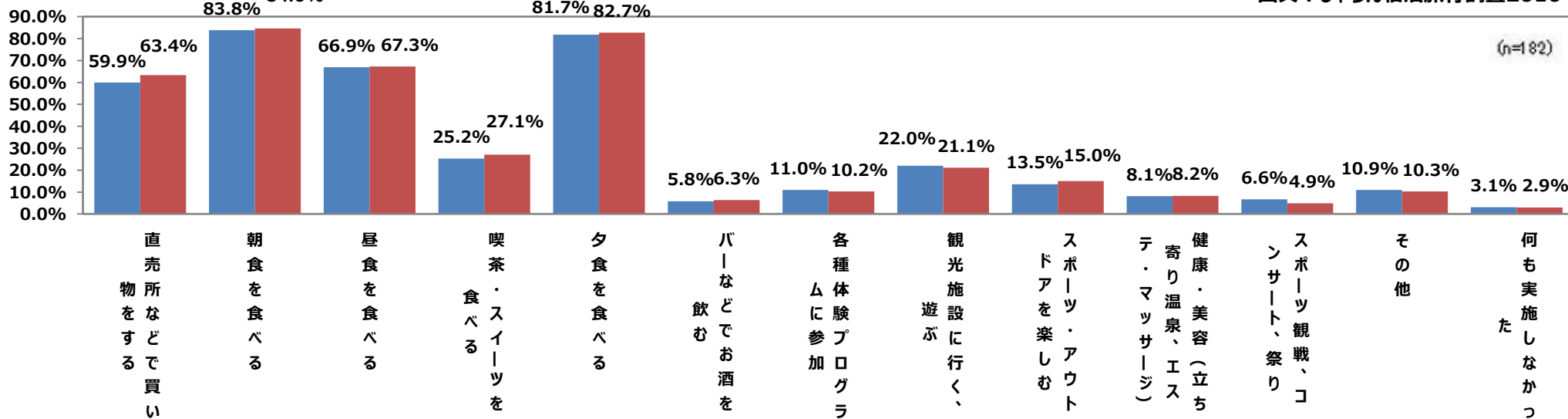
➤ 季節変動性の低い北部エリアと偏りがある南部エリアとの連携

伊豆半島全体として、北部の4市町は各季節とも安定した集客を実現している。そこで、夏期に偏る下田市や南伊豆町、冬期に偏る河津町のように季節変動性が大きい市町に対し、相対的に季節変動性の低い北部の市町が伊豆半島の入り口として、滞在ストーリーの起点となることが重要と考えられる。

伊豆半島旅行者が主目的地で行ったこと

■ 静岡県全域 ■ 伊豆半島

出典：じゃらん宿泊旅行調査2016



じゃらん宿泊旅行調査では、宿泊施設以外で行った行動として「昼食を食べる」「直売所などで買い物をする」が多い。旅のストーリーの例として、伊豆東海岸エリアで朝日を見たあと朝市に出かけ、中伊豆エリアに移動し昼食を食べ、夕陽の見える西伊豆エリアで夕食を食べるなど、東海岸エリアから西伊豆エリアを横断するストーリーは、通年でアピールできる「伊豆ならではの滞在ストーリー」と言える。

誘客推進事業の 立案に資する提案

＜提案 1＞ 若年層×電車・バス。南西部を周遊する企画

課題：伊豆半島南西部（下田市、南伊豆町、松崎町）の季節変動が激しい

打ち手：若年層にしばった二次交通のフリーパス造成、お湯マジの参画

ターゲット：電車で来訪する東京都、神奈川県、静岡県の若年層

時期：12～3月

企画内容

三島市、沼津市は伊豆半島で季節変動が最も小さいエリア。

また、10～34歳の男性42.9%、女性39.3%が電車（新幹線、東海道線、伊豆箱根鉄道駿豆線、御殿場線）を利用し、50歳以上より割合が高い。

三島市、沼津市から伊豆半島南西部を周遊するにはレンタカー、もしくは路線バスの利用が必須。今回の調査結果を踏まえ、動機と交通手段が整った伊豆半島南西部を周遊する旅のストーリーを造成する。

若年層にしばったバスのフリーパスを新たに造成し、旅行費用のコストパフォーマンスをアピールする。じゃらん宿泊旅行調査では旅の動機の1位は「温泉」、2位が「食」。「食」は伊豆半島南西部の市町で展開している「ご当地グルメ」をさらに磨き上げてアピール。

「温泉」は、中・西・南伊豆エリアに学生旅行の時期に合わせて「お湯マジ」を導入、話題性を高めていく。なお、2015年度に実施した大分県の「お湯マジ」は、会員登録者の90%弱が県外から、また利用者のうち、初めて大分県を訪れた人の割合が68.6%を占め、一定の誘客効果が得られている。

参考)「お湯マジ」とは

立ち寄り温泉入浴無料をきっかけとして若者を地域に呼び込み、結果として滞在・回遊してもらい、地域・施設の認知や宿泊に繋げる全国キャンペーン企画です。

■対象者

- ・ 19歳～21歳の若者

■実施期間

- ・秋 ～ 翌年春に実施

■提供クーポン内容

- 専用スマートフォンアプリで、対象者へ曜日限定で立ち寄り

入浴料を無料とするクーポンを提供

※タオル貸与・販売、その他施設内の付帯サービス等は別途徴収いただけます

※利用条件（掲載時期／利用除外日／曜日・時間帯制限など）については可能な範囲で自由に設定可能

- 無料提供回数：19～21歳までの3年間で1人あたり 1施設1回 まで



<提案 2> 熟年層×車。伊豆半島東西を横断する企画

課題：東部、西部の周遊が実現されていない

打ち手：沼津港を起点に西部、東部の周遊を喚起する

ターゲット：車で来訪する東京都、神奈川県、静岡県の50～60代

時期：12～1月

企画内容

沼津市は伊豆半島でも季節変動が小さいエリア。また、東名・新東名のインターチェンジがあり、車の来訪者には首都圏、静岡方面ともにアクセスしやすいエリアである。

また、50歳以上の男性64.7%が国道1号線、東名高速道路、県道22号、県道67号を利用し、自動車の割合が高い。

沼津市から伊豆半島東部を周遊するには自動車の利用が必須のため、ターゲットは自動車の来訪者に絞り、旅の動機を食と絶景のゴールデンルートでつないでいく。

高価でも質が良いものに共感する50代以上に向けて地域資源を磨いていく。

ゴールデンルートは観光地の相関関係の分析、100ページ目の「沼津港」を起点としたルート。

1日目は沼津港と西海岸の富士山、夕陽の「食と絶景」をテーマにした旅。

2日目は中伊豆で、昼食のイズシカ丼を食べ、韮山反射炉を經由しながら東海岸に向かう。

3日目は朝日の見える温泉に入浴し、国道135号沿いの道の駅に立ち寄り地場産品を購入し旅をしめくくる。旅なれた熟年層にはモノではなく、コト（ストーリー）でなければ共感されない。

伊豆半島ならではの「食と絶景」を西海岸から東海岸への横断で打ち出していく。なお、発地のPRはWEB広告に加え、東京都南西部の交通広告を活用。着地のPRはコト（ストーリー）が伝わる仕立ての着地型パンフレットを配布していく。

■まとめ

今回、観光客の行動及び動態を把握することにより、伊豆半島地域の観光の実態が明らかになった。今後、滞在時間を延ばし観光消費額を上げ、地域を活性化するには「北部から西・南部」「東部から中・西部」の連携が最も重要性と言える。まずは、隣接する市町間が地域資源の整理を行い、相互の周遊を積極的に進めていくことが大切である。

旅は特定の市や町を目当てに行くのではなく、「食」「温泉」「自然・風景」「歴史・文化」「体験」「イベント」などの地域資源に共感し動機づけされ、経路や交通手段を調べてでかけるものである。

どの資源とどの資源を組み合わせれば、カスタマーにより強い動機が生まれるのか、そして観光客の誘致を行うにはどのようなプロモーションが効果的で経済的合理性があるのか、美しい伊豆創造センターの会員である行政、交通事業者、観光協会や旅館組合、商工会議所や商工会などが一丸となって、議論・検討していくことが重要ではないだろうか。

少子高齢化で地域の担い手が減る中、イノベーションなく地域の発展はない。伊豆半島の基幹産業である観光業に対し、新しい価値を創造しながら今の需要を的確に把握し、変化に対応しつつ新規の顧客を常に関拓し続けることが重要である。

